

授業評価 2009

—平成 21 年度学生による授業評価報告書—
【2008 年度新規開設科目】

平成 22 年 3 月



授業評価 2009

－平成 21 年度学生による授業評価報告書－

【2008 年度新規開設科目】

I. 「学生による授業評価 2009」の概要 ----- 1

- I－1. 目的
- I－2. 構成と内容
- I－3. 方法と期間
- I－4. 時系列分析
- I－5. 回答者の特性
- I－6. 評価結果の提供と公表
 - I－6－1. 評価結果の提供
 - I－6－2. 評価結果の公表

II. 評定尺度調査の分析結果 ----- 19

- II－1. 学部の分析結果
 - II－1－1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II－1－2. 学習への取組姿勢
 - II－1－3. 学部の授業評価
 - II－1－4. 参考
- II－2. 大学院の分析結果
 - II－1－1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II－1－2. 学習への取組姿勢
 - II－1－3. 大学院の授業評価
 - II－1－4. 参考

III. 自由記述のまとめ ----- 110

- III－1. 総括
- III－2. 学部
- III－3. 大学院

付録 ----- 148

平成 21 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2009」の概要

I-1. 目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、平成 17 年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第 1 回の平成 17 年度は試行的な意味を持たせた内容であったが、第 2 回の平成 18 年度からは本格的な授業評価調査として実施している。第 5 回目となる今年度は、調査内容を一部改善するとともに、評価の対象をこれまでと同じ開講 2 年目の科目（2008 年度新規開設科目）に加え、開講 1 年目の科目（2009 年度新規開設科目）も評価の対象とした。本報告書は、このうち開講 2 年目の科目（2008 年度新規開設科目）の調査結果報告書である。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……専攻または領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第 1 に、放送大学では、収録された放送授業を 4 年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については152、153頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、平成21年度第1学期に本学で開講していた学部223科目、大学院52科目、計275科目の放送授業のうち、開講2年目の科目、学部71科目、大学院7科目、計78科目である（表1-1参照）。開講2年目の科目を対象としたのは、3年目

以降の科目ではすでに次期に向けての改訂作業が進められていて授業改善という目的に十分役立てることができず、また開講したばかりの1年目の科目では結果が出て改訂までに間が空きすぎる等、本学の科目作成の特殊事情を勘案してのことである。またこのような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 専攻・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】

専 攻	科目数		有効回答									
	平成21年度(2008)		平成21年度(2008)		平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基礎科目	23	9	680	12%	1,377	23%	—	—	—	—	—	—
生活と福祉	31	9	662	12%	751	13%	649	13%	366	12%	790	9%
発達と教育	33	11	811	15%	795	14%	1,046	20%	466	15%	809	9%
社会と経済	31	11	868	16%	801	14%	448	9%	895	29%	749	8%
産業と技術	23	9	567	10%	449	8%	677	13%	—	—	1,833	20%
人間の探究	51	14	1,367	25%	1,060	18%	1,786	35%	1,025	33%	2,582	29%
自然の理解	25	8	588	11%	627	11%	526	10%	326	11%	2,210	25%
夏季集中科目	6	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 体	223	71	5,543	100%	5,860	100%	5,132	100%	3,078	100%	8,973	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

【大学院】

プログラム(群)	科目数		有効回答									
	平成21年度(2008)		平成21年度(2008)		平成20年度		平成19年度		平成18年度			
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総合文化(文化情報科学群)	21	0	—	—	238	25%	442	23%	512	32%		
総合文化(環境システム科学群)		2	79	22%	64	7%	344	18%	439	28%		
政策経営	13	3	166	47%	125	13%	487	25%	265	17%		
教育開発	11	1	39	11%	282	30%	476	25%	201	13%		
臨床心理	7	1	70	20%	240	25%	172	9%	172	11%		
全 体	52	7	354	100%	949	100%	1,921	100%	1,589	100%		

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 78 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 17,671 名、大学院 938 名、計 18,609 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 10 月下旬から 11 月中旬までの約 3 週間とした。有効回答数は学部 5,543 票、大学院 354 票、計 5,897 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 31.4%、大学院 37.7%、全体で 31.7%と低めであった（表 1－2 参照）。回収率の低さの要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。なお、昨年度の有効回答率（学部 37.0%、大学院 45.0%、全体 37.9%）と比較すると、学部・大学院とも有効回答率が下がっているが、これは調査時期が昨年度と異なること（昨年度までは単位認定試験直後の 9 月に実施）や、今年度は 2009 年度新規開設科目も同時に調査したため、複数の科目を依頼した学生が多かったことなどが影響しているものと考えられる。

表 1－2 調査対象者数および有効回答率

	21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)			20年度(2007年新規開設科目)		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	10,882	3,836	35.3%	17,671	5,543	31.4%	15,853	5,860	37.0%
大学院	2,826	1,184	41.9%	938	354	37.7%	2,107	949	45.0%
計	13,708	5,020	36.6%	18,609	5,897	31.7%	17,960	6,809	37.9%

I－4. 時系列分析

報告書の一部に第 2 回目（平成 18 年度）以降の調査との比較を掲載した。ただし、今年度は調査票の一部を修正したため、基本的に修正のなかった評価項目のみを時系列分析の対象とした。また、第 1 回目（平成 17 年度）の調査は、今回とは質問内容が異なる項目が多くあったため、時系列比較には入れていない。

さらに本調査は原則として開講 2 年目（あるいは 1 年目）の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成される専攻（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目は異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I－5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布

回答者の属性分布は、次頁の表 1－3 に示したとおりである。母集団（全受講登録者）の分布と比較すると、学部は、性別では男性、年齢階層では 50 歳以上、学生種では科目履修生の比率が母集団と比べやや高くなっている。一方、大学院は、性別では男性、年齢階層では 20 代、学生種では修士全科生と修士科目生の比率が高くなっている。それぞれの属性別分析をする場合には問題はないが、全体の結果等を見る場合には、このような属性の偏りも考慮する必要があるだろう。なお、ここで比率が高いからと言っても、それらの属性の回答率が高いことをただちに意味するものではないので注意していただきたい。たとえば、たまたま今回は男性の比率が多い科目が対象になったため、男性に偏った属性分布になっているということもありうるからである。

表 1－3 回答者の属性分布

【学部】

		21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)			20年度(2007年新規開設科目)		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	47.6%	44.6%	3.0%	47.4%	44.6%	2.8%	44.9%	42.8%	2.1%
	女性	49.0%	55.4%	▲6.4%	49.3%	55.4%	▲6.1%	53.3%	57.2%	▲3.9%
年齢階層別	19歳以下	0.4%	1.5%	▲1.1%	0.4%	1.5%	▲1.1%	0.5%	1.0%	▲0.5%
	20～29歳	8.2%	20.6%	▲12.4%	10.2%	20.6%	▲10.4%	9.9%	18.3%	▲8.4%
	30～39歳	16.0%	21.2%	▲5.2%	16.7%	21.2%	▲4.5%	17.4%	23.9%	▲6.5%
	40～49歳	20.6%	22.3%	▲1.7%	18.9%	22.3%	▲3.4%	19.8%	22.0%	▲2.2%
	50～59歳	18.5%	16.3%	2.2%	18.8%	16.3%	2.5%	20.5%	18.0%	2.5%
	60～69歳	24.3%	13.4%	10.9%	23.3%	13.4%	9.9%	21.6%	16.8%	14.1%
	70歳以上	11.5%	4.9%	6.6%	11.0%	4.9%	6.1%	9.3%		
学生種別	全科履修生	66.7%	80.8%	▲14.1%	74.5%	80.8%	▲6.3%	74.8%	76.0%	▲1.2%
	選科履修生	19.5%	16.7%	2.8%	16.3%	16.7%	▲0.4%	16.9%	18.0%	▲1.1%
	科目履修生	12.1%	2.5%	9.6%	7.4%	2.5%	4.9%	5.8%	5.9%	▲0.1%
人数(N)		3,836	－	－	5,543	－	－	5,860	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)			20年度(2007年新規開設科目)		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	60.8%	59.5%	1.3%	63.8%	59.5%	4.3%	58.3%	54.2%	4.1%
	女性	35.4%	40.5%	▲5.1%	33.9%	40.5%	▲6.6%	39.6%	45.8%	▲6.2%
年齢階層別	20～29歳	3.0%	4.9%	▲1.9%	12.4%	4.9%	7.5%	3.1%	5.5%	▲2.4%
	30～39歳	13.8%	18.2%	▲4.4%	15.0%	18.2%	▲3.2%	17.9%	20.6%	▲2.7%
	40～49歳	25.2%	28.9%	▲3.7%	25.7%	28.9%	▲3.2%	24.6%	29.1%	▲4.5%
	50～59歳	26.9%	27.2%	▲0.3%	24.0%	27.2%	▲3.2%	25.5%	27.3%	▲1.8%
	60～69歳	22.1%	14.6%	7.5%	14.1%	14.6%	▲0.5%	17.5%	17.5%	10.2%
	70歳以上	8.4%	6.2%	2.2%	7.3%	6.2%	1.1%	10.2%		
学生種別	修士全科生	30.7%	21.1%	9.6%	24.0%	21.1%	2.9%	24.3%	17.4%	6.9%
	修士選科生	59.0%	71.4%	▲12.4%	49.7%	71.4%	▲21.7%	59.9%	70.0%	▲10.1%
	修士科目生	8.9%	7.5%	1.4%	24.3%	7.5%	16.8%	14.0%	12.6%	1.4%
人数(N)		1,184	－	－	354	－	－	949	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

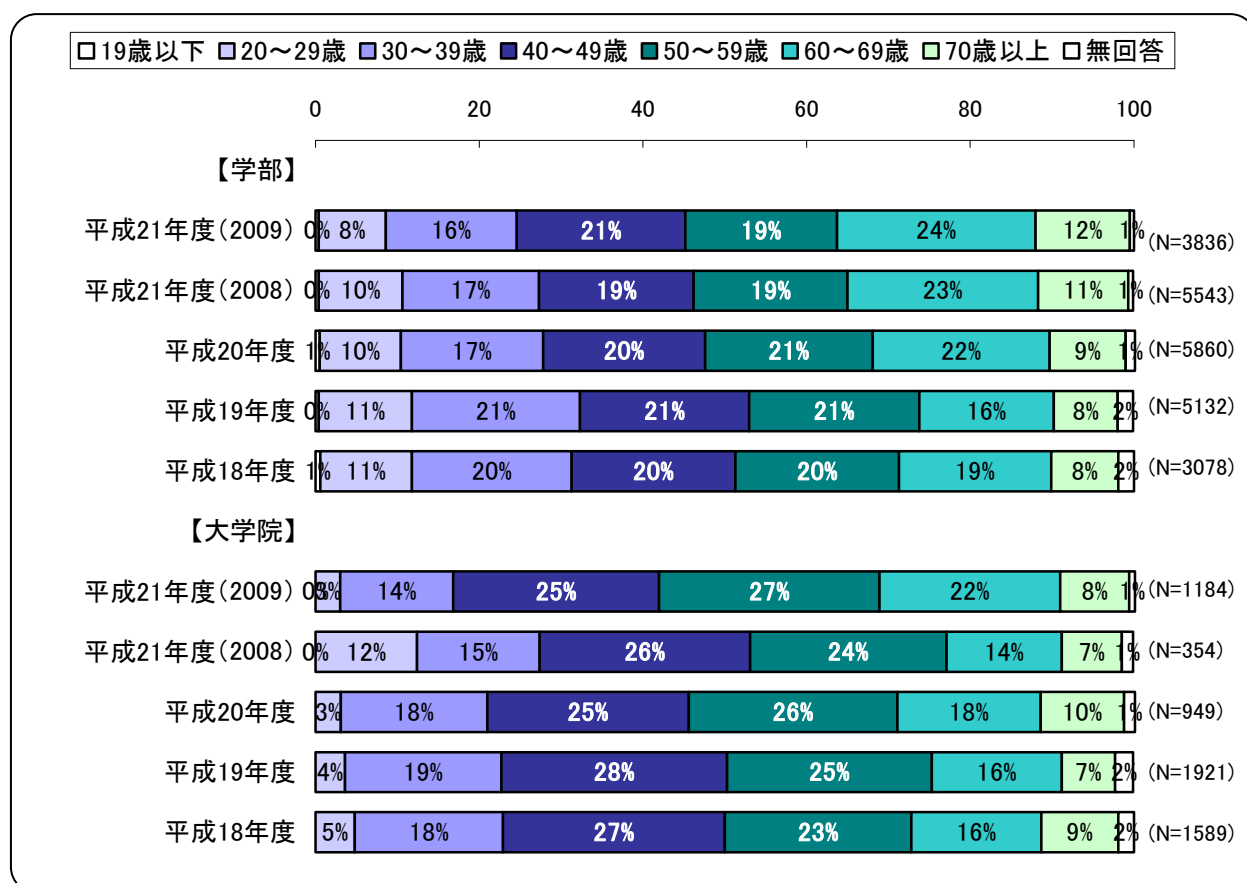
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

（２）年齢階層別回答者（２００８年新規開設科目）

年齢階層別に今年度（２００８年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図１－１）、学部では３０代～６０代が中心であり、６０歳代が最も多く２３％、次いで４０歳代と５０歳代が１９％、３０歳代が１７％を占める。昨年度と比べると、６０歳以上の高齢者の割合が若干増加している。

大学院の今年度（２００８年新規開設科目）は、対象科目数が少なく、特定の科目の影響を受けたためか、これまでとはやや異なった年齢構成になっている。４０歳代と５０歳代の割合が多いのはこれまでと同じだが、これまでの調査と比べると４０歳未満の若い年代が増え、６０歳以上の高齢者が少なくなっている。

図１－１ 年齢階層別回答者

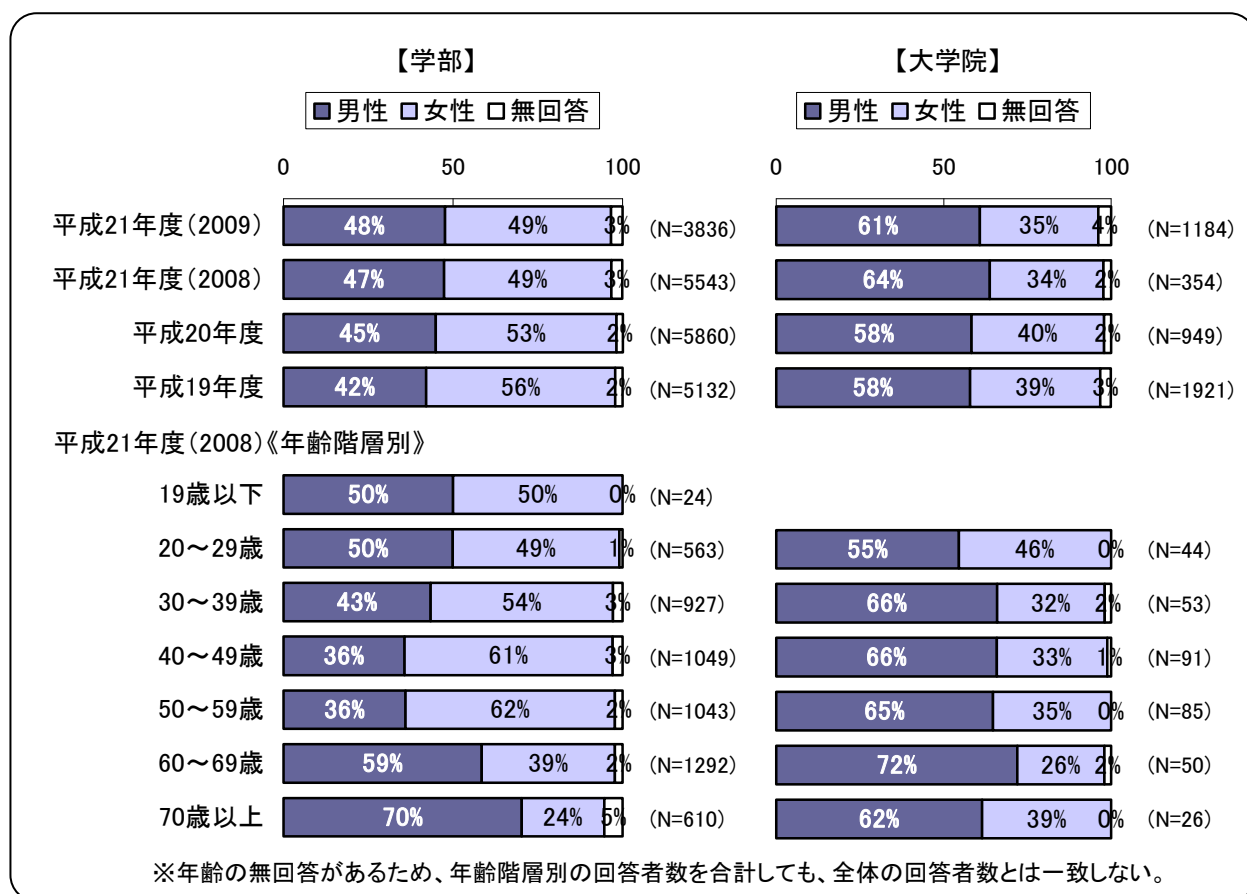


（３）性別回答者（２００８ 年新規開設科目）

回答者の性別（図１－２）は、学部では男性 47%、女性 49%となっており、昨年までの調査に比べると男性の割合がやや増えている。また 30 歳代～50 歳代では女性が多く、60 歳以上では逆に男性が多くなっているのが特徴である。

大学院は、男性 64%、女性 34%と男性の比率が高い。大学院も昨年までの調査と比べると男性の割合が増えている。大学院の場合は、年齢階層に関係なく男性の割合が多くなっている。

図 1－2 性別回答者



（４）職業別回答者（２００８ 年新規開設科目）

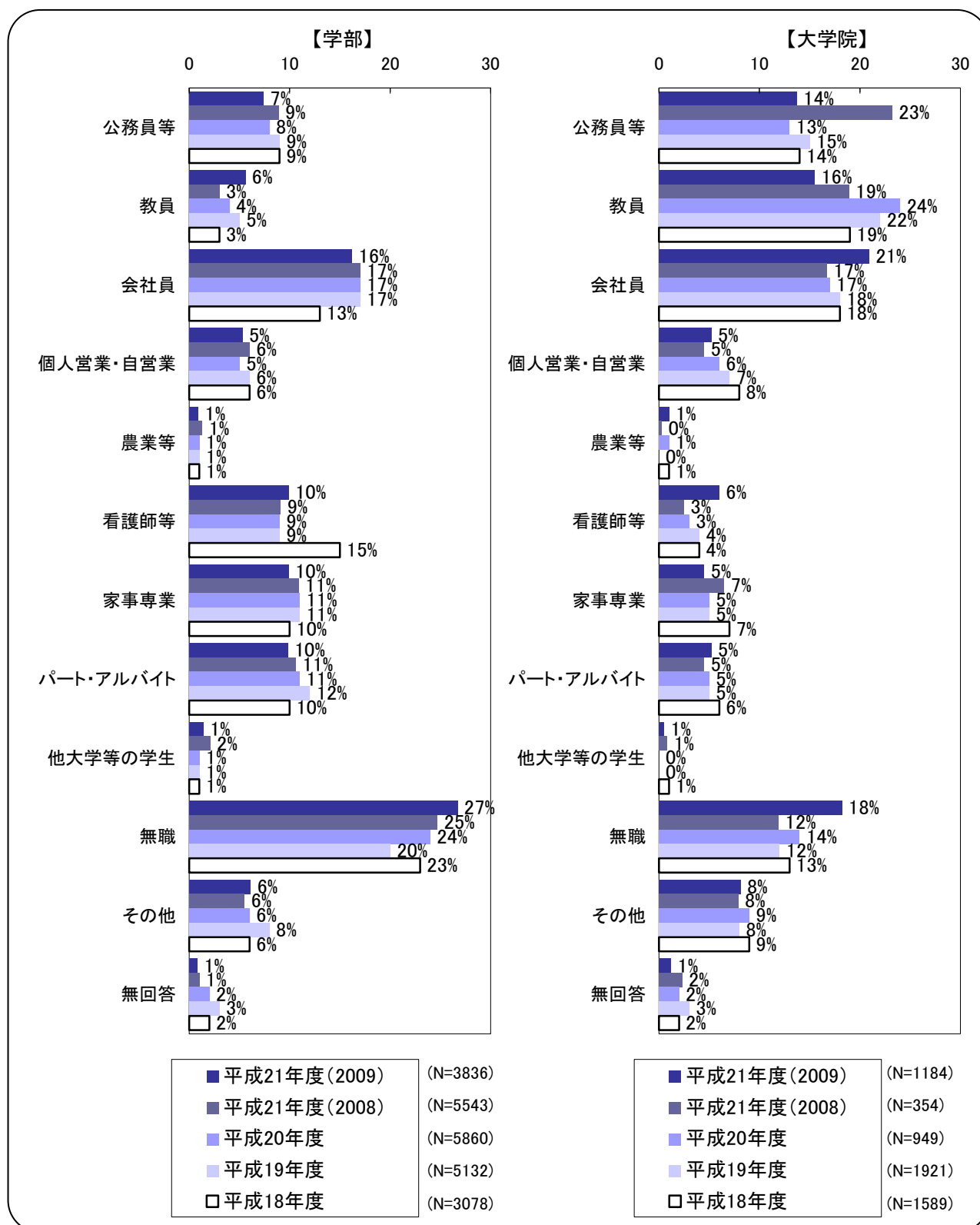
職業別に回答者の分布を見ると（図１－３）、学部では無職層が 25%と最も多く、次いで会社員 17%、家事専業 11%、パート・アルバイト 11%、公務員等 9%、看護師等 9%となっており、有職者（パート・アルバイト含む）は全体の 6 割程度を占めている。昨年までの調査とはあまり変化はない。

一方、大学院では、公務員等が 23%と最も多く、次いで教員 19%、会社員 17%、無

職 12%と多くなっており、有職者は8割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1－3 職業別回答者

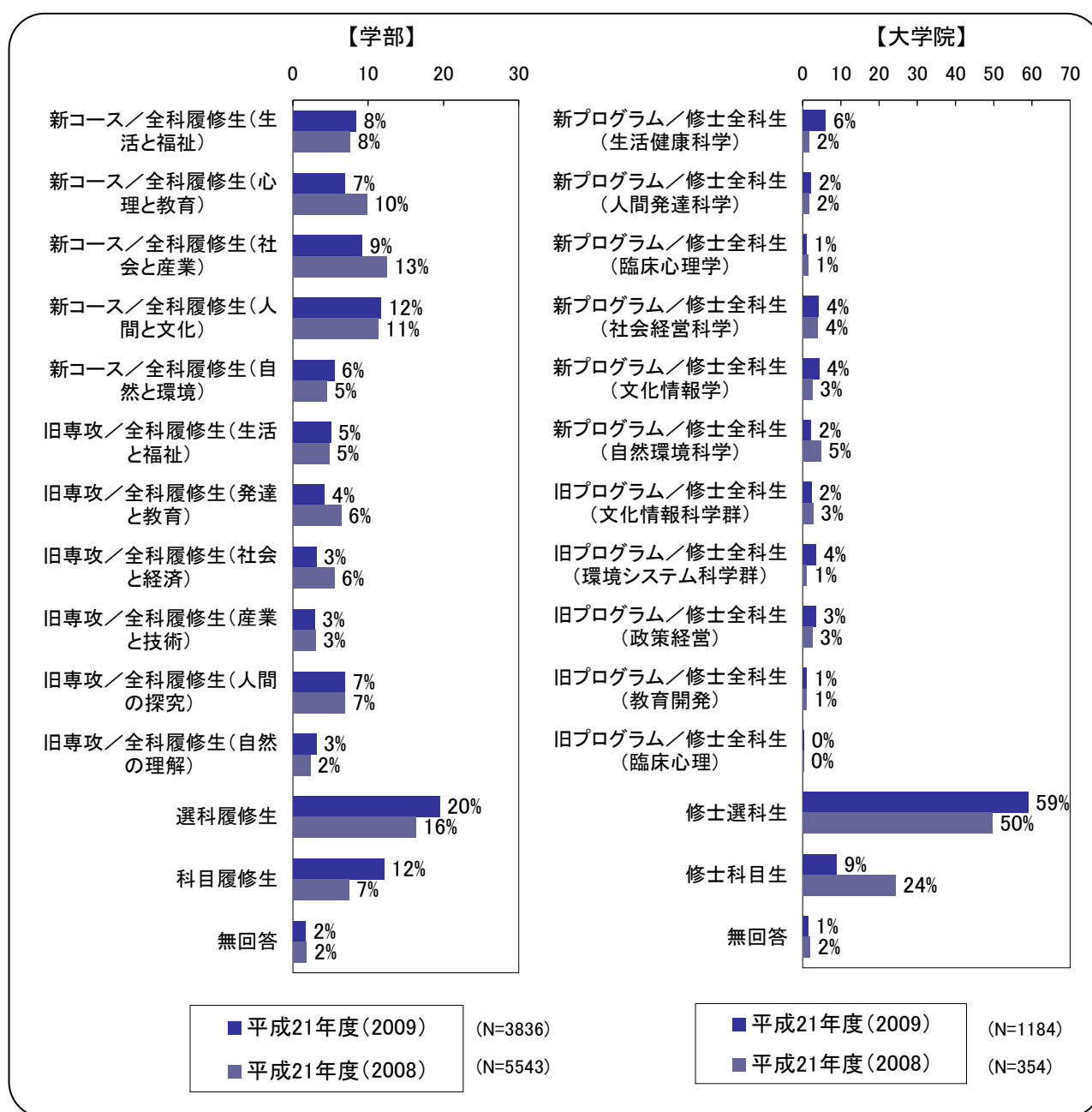


（５）所属専攻（プログラム）別回答者（２００８ 年新規開設科目）

次に学生の所属専攻（プログラム）別の分布を見ると（図１－４）、学部では全科履修生が 75%を占め、そのうち新コース所属が 46%、旧専攻所属が 29%となっている。全科履修生の中では、新コース所属の「社会と産業」が 13%、同「人間と文化」が 11%、同「心理と教育」が 10%とやや多くなっている。

大学院では修士選科生が 50%を占めており、修士全科生と修士科目生がともに 24%となっている。修士全科生の所属プログラムはかなりばらついている。

図 1－4 学生の所属専攻（プログラム）別回答者



I－6．評価結果の提供と公表

I－6－1．評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) 専攻主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教育課程編成委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13 頁～18 頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I－6－2．評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ①調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ②回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2) の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

提供資料サンプル【学部】

学 部

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2008年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等 ○○○○

科目名(コード): ○○○○ (TV)

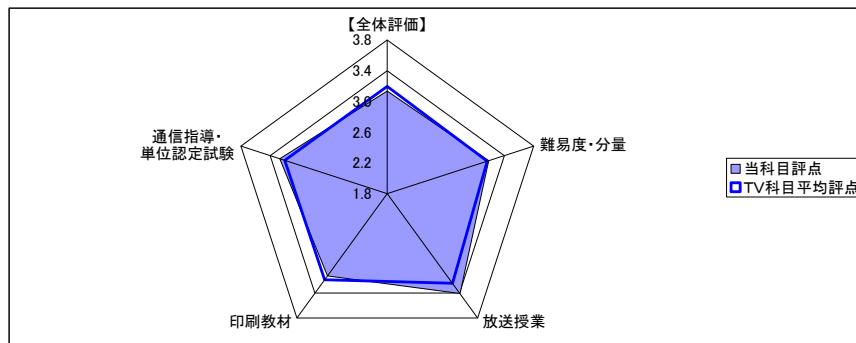
教員氏名: ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	66	50%	33%	15%	2%	3.32	3.26	3.28	0.04
	A-2 放送授業を十分に視聴した	66	49%	30%	17%	5%	3.23	2.88	2.98	0.25
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	66	47%	35%	17%	2%	3.27	3.32	3.30	-0.03

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	66	38%	44%	17%	0%	3.22	3.15	3.16	0.06
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	66	42%	38%	17%	0%	3.27	3.17	3.17	0.10
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	66	33%	46%	18%	2%	3.12	3.18	3.15	-0.03
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	66	35%	44%	18%	2%	3.14	3.22	3.19	-0.05
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	66	39%	42%	14%	0%	3.27	3.17	3.19	0.08
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	66	61%	30%	5%	0%	3.59	3.29	3.33	0.26
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	66	39%	44%	12%	0%	3.29	3.16	3.22	0.07
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	66	55%	30%	9%	0%	3.48	3.11	3.23	0.25
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	66	38%	44%	12%	0%	3.27	3.27	3.27	0.00
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	66	29%	47%	21%	2%	3.05	3.16	3.13	-0.08
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った	66	35%	38%	26%	2%	3.06	3.03	3.13	-0.07
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	66	32%	46%	18%	2%	3.11	3.21	3.21	-0.10
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	66	41%	35%	14%	0%	3.31	3.25	3.24	0.07
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	66	46%	41%	6%	0%	3.43	3.29	3.27	0.16
	B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	66	29%	38%	17%	3%	3.07	3.11	3.09	-0.02
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	66	33%	47%	17%	2%	3.14	3.14	3.13	0.01
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	66	41%	42%	11%	5%	3.22	3.23	3.24	-0.02
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	66	50%	33%	11%	5%	3.31	3.38	3.39	-0.08
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	66	27%	41%	26%	5%	2.92	3.05	3.04	-0.12
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	66	32%	47%	15%	5%	3.08	3.17	3.17	-0.09

3. 回答者の属性 (単位:人)

学生種別	全科目履修生(新コース所属)					全科目履修生(旧専攻所属)					全科目履修生 【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計	
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求						自然の理解
	2	0	9	2	16	1	0	2	3	1						3
性 別	男性	女性	無回答	計	年 齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計		
	49	16	1	66		0	8	13	8	8	19	9	1	66		
職 業	公務員等	教員	会社員	個人営業・ 自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の 学生	無職	その他	無回答	計			
	5	1	17	6	0	5	1	6	1	19	4	1	66			
通信指導・単位 認定試験	単位認定試験		通信指導 未提出	無回答	計	単位認定の ための学習 方法	ほとんど放送教材の学 習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学 習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の 両方の学習で臨んだ	無回答	計					
	51	7	5	3	66		2	11	51	2	66					

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2008年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学 部

	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した																			
	回答数					選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価					ポイント 平均					回答数					選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価					ポイント 平均				
	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答										
合計(全体)	5543	44%	38%	12%	3%	2%	83%	3.26			5543	34%	30%	20%	13%	3%	64%	2.88			5543	47%	38%	11%	3%	2%	85%	3.32												
	2457	2129	677	176	104						1908	1665	1092	725	153						2624	2108	581	138	92															
全科(新コース)	421	39%	43%	14%	3%	2%	82%	3.19			421	30%	31%	21%	15%	3%	60%	2.77			421	45%	40%	10%	3%	2%	86%	3.31												
		162	181	57	13	8						124	130	90	64	13					191	170	42	11	7															
	544	43%	41%	13%	2%	2%	83%	3.27			544	33%	31%	20%	13%	3%	64%	2.87			544	48%	39%	10%	2%	1%	87%	3.36												
		233	221	69	9	12						179	170	109	70	16					262	213	54	8	7															
	692	44%	40%	11%	4%	0%	84%	3.24			692	33%	33%	20%	14%	1%	66%	2.85			692	45%	41%	11%	2%	1%	86%	3.30												
全科(旧専攻)		305	278	77	30	2						225	230	135	97	5					313	285	75	15	4															
	625	53%	35%	8%	2%	1%	89%	3.41			625	44%	31%	14%	9%	2%	74%	3.11			625	56%	33%	8%	2%	1%	89%	3.44												
		333	221	51	13	7						273	191	90	59	12					352	203	49	14	7															
	250	46%	32%	16%	6%	1%	78%	3.19			250	37%	29%	22%	12%	1%	66%	2.92			250	43%	34%	16%	5%	1%	78%	3.17												
		114	81	39	14	2						92	72	54	29	3					108	86	40	13	3															
全科(旧専攻)	264	37%	46%	14%	0%	3%	83%	3.23			264	27%	27%	25%	17%	5%	54%	2.67			264	44%	44%	8%	0%	4%	88%	3.38												
		97	122	37	1	7						72	70	66	44	12						117	116	21	0	10														
	356	42%	39%	12%	4%	2%	81%	3.22			356	32%	26%	25%	14%	3%	58%	2.79			356	49%	37%	10%	2%	1%	87%	3.35												
		149	140	44	15	8						115	93	89	50	9					175	133	35	8	5															
	306	45%	37%	12%	4%	2%	82%	3.26			306	36%	23%	24%	13%	5%	59%	2.86			306	47%	32%	14%	4%	3%	80%	3.26												
全科(旧専攻)		137	114	36	12	7						110	70	72	40	14					144	99	42	12	9															
	164	46%	37%	11%	4%	1%	84%	3.27			164	38%	31%	17%	12%	2%	69%	2.98			164	42%	40%	13%	2%	2%	82%	3.24												
		76	61	18	7	2						63	50	27	20	4					68	66	22	4	4															
	380	45%	38%	12%	3%	3%	83%	3.28			380	36%	32%	15%	14%	3%	68%	2.92			380	49%	38%	9%	2%	1%	88%	3.36												
		169	146	45	10	10						135	122	57	53	13					187	146	35	8	4															
全科(旧専攻)	128	47%	38%	12%	2%	1%	85%	3.31			128	33%	34%	25%	7%	1%	67%	2.94			128	44%	39%	13%	4%	0%	83%	3.23												
		60	49	15	3	1						42	44	32	9	1					56	50	17	5	0															
	4130	44%	39%	12%	3%	2%	84%	3.27			4130	35%	30%	20%	13%	3%	65%	2.89			4130	48%	38%	11%	2%	2%	86%	3.33												
		1835	1614	488	127	66						1430	1242	821	535	102					1973	1567	432	98	60															
	902	46%	36%	12%	3%	3%	82%	3.28			902	35%	31%	19%	12%	4%	66%	2.92			902	48%	37%	11%	2%	2%	85%	3.33												
全科(旧専攻)		412	326	110	27	27						316	279	167	108	32					430	336	95	22	19															
	411	39%	38%	17%	4%	1%	77%	3.14			411	31%	28%	22%	17%	3%	59%	2.75			411	41%	42%	11%	4%	2%	83%	3.23												
		161	157	70	18	5						127	115	89	68	12					169	174	45	15	8															
	4768	47%	39%	11%	2%	1%	86%	3.34			4768	37%	31%	19%	12%	2%	67%	2.94			4768	50%	39%	9%	1%	1%	89%	3.40												
		2243	1877	503	78	67						1743	1465	895	559	106					2397	1836	420	57	58															
全科(旧専攻)	385	26%	38%	25%	8%	4%	64%	2.85			385	21%	28%	29%	18%	4%	49%	2.54			385	27%	42%	21%	6%	3%	69%	2.93												
		100	145	97	29	14						79	109	110	70	17					105	161	82	24	13															
	225	19%	21%	25%	29%	6%	40%	2.32			225	12%	23%	25%	31%	8%	36%	2.18			225	23%	21%	28%	23%	5%	44%	2.47												
		42	48	56	65	14						28	52	57	70	18					52	48	62	52	11															
	通信指導未提出																																							

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
3. 評価については、選択肢「あてはまる」4点」「ややあてはまる」3点」「あてはまらない」2点」「あてはまらない」1点」として算出した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

社会全般に関心を持たなくてはいけないと思った。政治や経済など主婦には理解できない事も多いが、この教材を学ぶ事によって少し興味が湧いてきた。テレビのワイドショーでしか社会を知らなかった自分が恥ずかしいと思った。マキャベリ、マーシャル、アダム・スミスなど、もう少し調べてみたいと思う。

- (2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

多少説明不足を感じた事は否めません。専門性を脚注などで補って頂けると更に良かったと思います。また最も分かりにくかったのは、何故そのように考えたかが、これまでの自分の経験に照らしても受け入れがたく、その真意が結論としてどうなのかが多少曖昧に感じられました。（但し個人差、自身の勉強不足にもよる）

- (3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

私は仕事をしながら勉強しているので、平日は休みが取れず、単位認定試験は土曜、日曜しか受けることができません。その為受けた科目があっても試験が平日にあるものは諦めざるを得ない状況です。試験会場を増やす等して土日に試験科目を増やすことはできませんか？

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（該当する番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（該当する番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境 〔全科履修生 旧専攻所属の方〕 6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究 11. 自然の理解 〔選科履修生・科目履修生〕 12. 選科履修生 13. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他（ ）

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2008年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等 ○○○○

科目名(コード): ○○○○ (R)

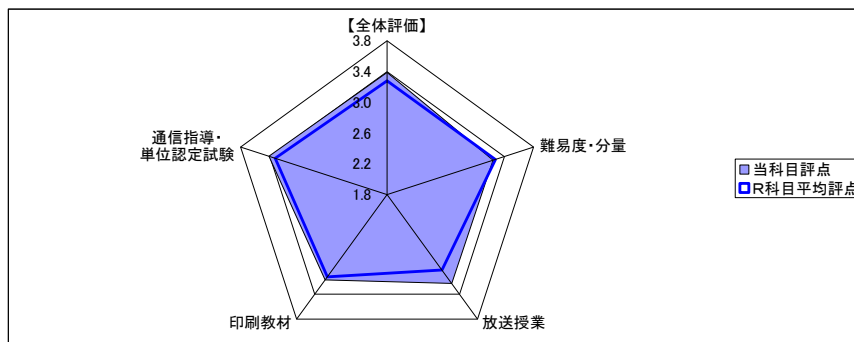
教員氏名: ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	30	47%	40%	13%	0%	3.33	3.41	3.37	-0.04
	A-2 放送授業を十分に視聴した	30	43%	27%	20%	10%	3.03	2.90	2.73	0.30
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	30	60%	27%	13%	0%	3.47	3.48	3.50	-0.03

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	30	43%	40%	13%	3%	3.23	3.29	3.25	-0.02
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	30	37%	43%	17%	3%	3.13	3.26	3.20	-0.07
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	30	50%	40%	10%	0%	3.40	3.32	3.33	0.07
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	30	40%	43%	17%	0%	3.23	3.33	3.34	-0.11
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	30	50%	23%	17%	7%	3.21	3.18	3.03	0.18
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	30	60%	30%	3%	3%	3.52	3.22	3.07	0.45
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	30	40%	27%	23%	3%	3.11	3.12	2.94	0.17
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	30	43%	23%	23%	7%	3.07	3.18	3.01	0.06
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	30	50%	40%	7%	3%	3.37	3.32	3.23	0.14
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	30	40%	37%	23%	0%	3.17	3.22	3.17	0.00
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った	30	27%	33%	40%	0%	2.87	3.02	2.88	-0.01
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	30	40%	47%	13%	0%	3.27	3.26	3.21	0.06
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	30	50%	37%	10%	0%	3.41	3.35	3.37	0.04
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	30	57%	27%	13%	0%	3.45	3.40	3.41	0.04
	B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	30	33%	53%	0%	0%	3.38	3.23	3.21	0.17
	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	30	37%	57%	7%	0%	3.30	3.23	3.23	0.07
全体評価	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	30	53%	37%	7%	3%	3.40	3.32	3.24	0.16
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	30	50%	47%	3%	0%	3.47	3.47	3.44	0.03
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	30	47%	43%	10%	0%	3.37	3.23	3.22	0.15
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	30	50%	40%	10%	0%	3.40	3.30	3.27	0.13

3. 回答者の属性 (単位:人)

学生種別	修士全科生(新プログラム所属)						修士全科生(旧プログラム所属)					修士全科生 【小計】	修士選科生	修士科目生	無回答	計
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報科学	自然環境科学	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理					
	1	0	0	5	1	0	1	0	0	0	0					
性 別	男性	女性	無回答	計	年 齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計		
	24	5	1	30		0	3	4	10	4	8	1	0	30		
職 業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計			
	5	2	14	3	0	0	2	0	0	1	2	1	30			
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計	単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計					
	受 験	未受験	3	1	0		30	1	7	21	1	30				
	26	3	1	0	30											

平成21年度学生による授業評価の調査結果【2008年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した										
	選択肢別回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	選択肢別回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	選択肢別回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	選択肢別回答割合・回答数					肯定評価	評点平均			
	回答数	4	3	2	1	無回答			回答数	4	3	2	1	無回答			回答数	4	3	2	1	無回答			回答数	4	3	2	1	無回答	
合計(全体)																															
全 科 (新プログラム)																															
全 科 (旧プログラム)																															
修 士 全 科 生 【小計】																															
修 士 選 科 生																															
修 士 科 目 生																															
通 信 指 導 中 試 験 認 定																															

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価点については、選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

幅広い内容で、今まで自分にとって曖昧であった事柄や学んでいなかった事柄を、きちんと整理し理解することができました。有難うございました。

- (2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

放送授業の内容がほとんど印刷教材の音読だったのは、残念だった。これでは放送授業を聴く意味がないので、印刷教材をより詳しく解説する内容にするなど、改善したほうがよいのではないかと。

- (3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

放送大学大学院は、一般の大学院のように専門性は高いが重箱の隅をつつくような視野の狭さがあるようなものにはなってほしくありません。さまざまな職業の人が受講しています。その意味、多角的な、多元的なものの見方を養えるような…また、いまの社会で問題となっている、現場の生の素材、事実を授業にとりあげ、分析していく。そういう視点で授業を構成してほしいです。インターネットによる教育方法をもっと取り入れて、同じ科目を受講している学生どうしが議論できる、そういう場をつくっていただければ、よりダイナミックな教育ができるのではないかと思います。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔修士全科生 新プログラム所属の方〕 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 文化情報学 6. 自然環境科学 〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕 7. 文化情報科学群 8. 環境システム科学群 9. 政策経営 10. 教育開発 11. 臨床心理 〔修士選科生・修士科目生〕 12. 修士選科生 13. 修士科目生			
(2) 性別	1. 男性 2. 女性			
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上			
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()			

どうもありがとうございました。

Ⅱ． 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階評価である。本報告書においては、データの理解のしやすさや分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離(つまり1の間隔)だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数(パーセント)を見て、そこから何らかの傾向を把握することは必ずしも容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察するための目安の1つとして用いていくことにしたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でしかその傾向をつかみにくいという性格を持っている。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した(本文中では『肯定的評価』として表示)。これによって、その評価項目に対して肯定的な評価をしている学生がどれくらいの割合で存在するかを推測する目安となろう。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示しておく。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると非常に煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした(次頁表2-1)。以下、本章においては、常に次頁の回答者数を念頭においてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層は誤差も大きく出る可能性があるので、注意が必要である。たとえば、大学院の年齢階層別で見る場合等である。なお、学部の年齢階層別の「19歳以下」および大学院の職業別は、極端に回答者数の少ない層が多いため、本報告書の分析からはずした。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体	5543	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	2,787	19歳以下	24
ラジオ科目(R)	2,756	20～29歳	563
職業		30～39歳	927
公務員等	491	40～49歳	1,049
教員	165	50～59歳	1,043
会社員	943	60～69歳	1,292
個人営業・自営業	334	70歳以上	610
農業等	73	専攻	
看護師等	504	基礎科目	680
家事専業	602	生活と福祉	662
パート・アルバイト	589	発達と教育	811
他大学等の学生	115	社会と経済	868
無職	1,367	産業と技術	567
その他	303	人間の探究	1,367
		自然の理解	588

【大学院】

全体	354	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	139	19歳以下	0
ラジオ科目(R)	215	20～29歳	44
職業		30～39歳	53
公務員等	82	40～49歳	91
教員	67	50～59歳	85
会社員	59	60～69歳	50
個人営業・自営業	16	70歳以上	26
農業等	1	プログラム	
看護師等	9	総合文化(文化情報科学群)	—
家事専業	23	総合文化(環境システム科学群)	79
パート・アルバイト	16	政策経営	166
他大学等の学生	3	教育開発	39
無職	42	臨床心理	70
その他	28		

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－１．学部の実験結果

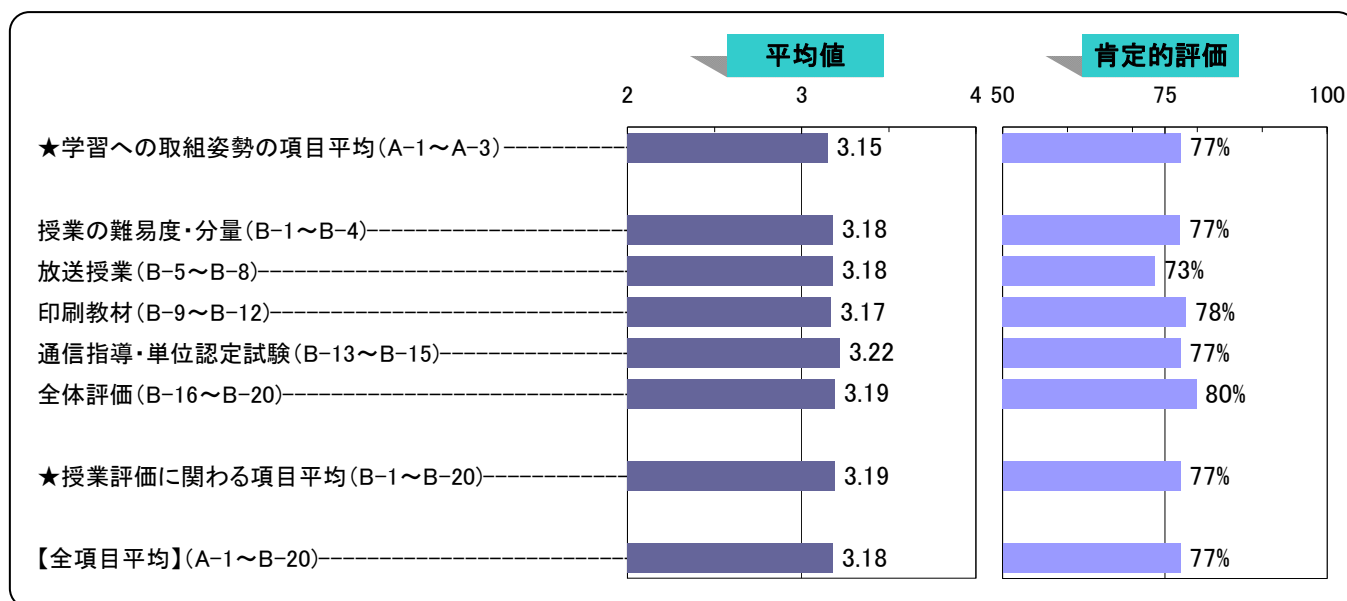
Ⅱ－１－１．項目平均から見た全体的傾向

学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図 2－1 である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.15、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）77%であり、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.19、肯定的評価 77%とまずまずの高い値を示している。すなわち比較的熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も比較的高いということが言える。

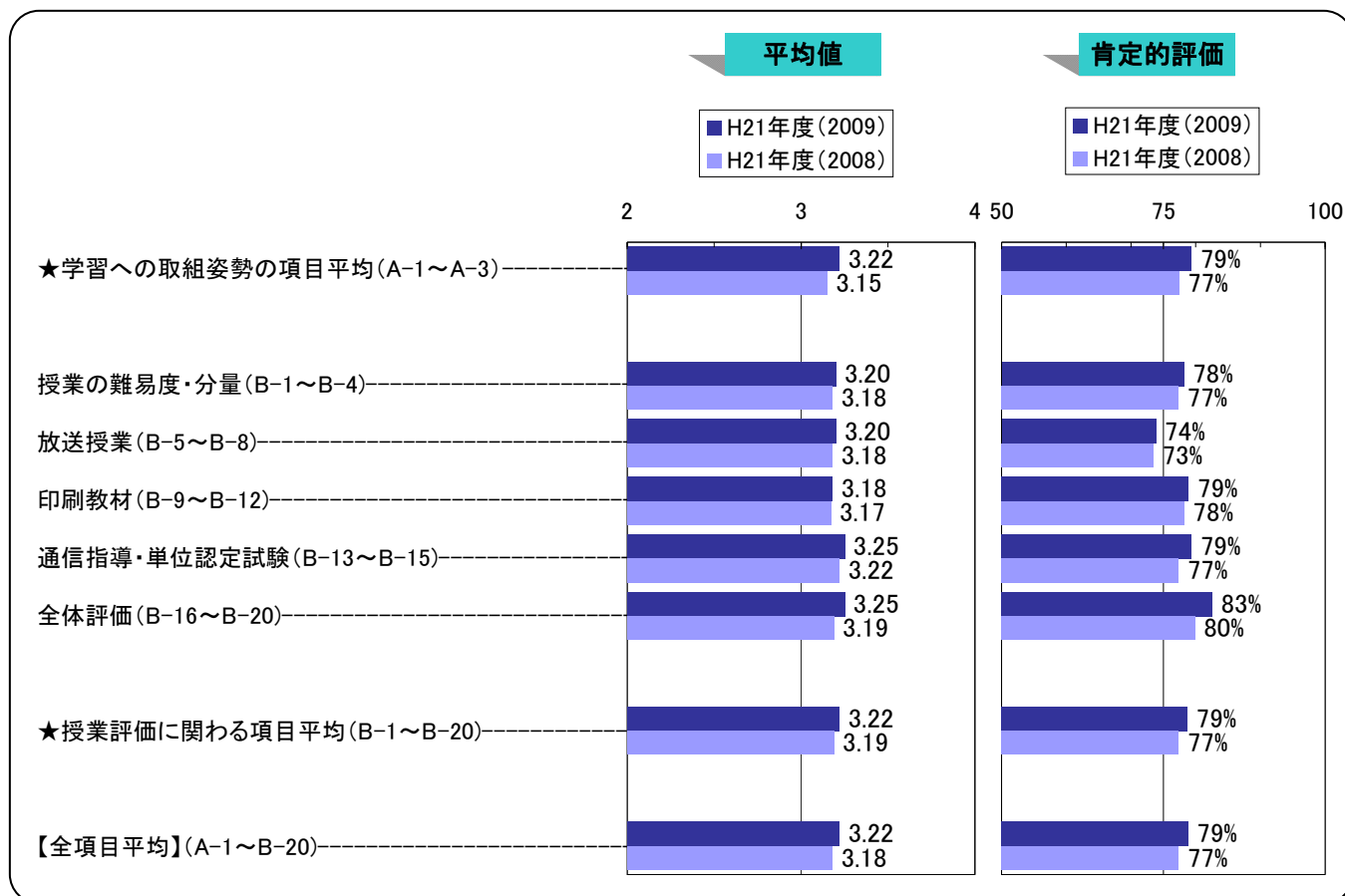
『授業評価に関わる項目平均』をさらに内容ごとにみると、『全体評価』と『通信指導・単位認定試験』が他の項目平均より若干高めになっているが、『放送授業』は肯定的評価をしている人が、他よりやや少なくなっている。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向



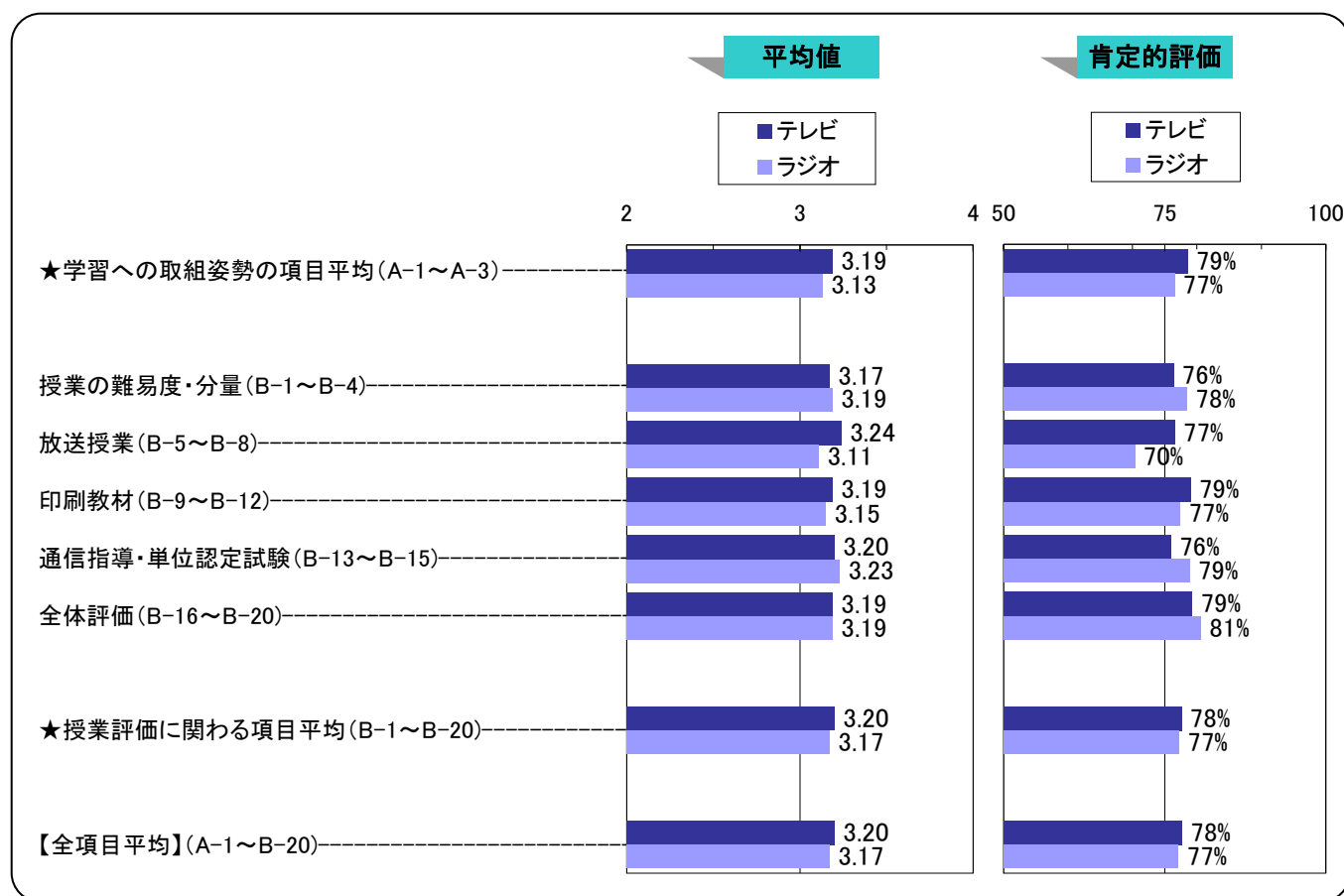
次に評価項目の内容ごとの平均を科目の開設年度で比較してみると（図 2－2）、2009 年度新規開設科目は、2008 年度新規開設科目に比べ、いずれの内容でも評価が上がっている。特に『全体評価』の値が最も上がっている。2009 年度新規開設科目は、2008 年度新規開設科目に比べ授業内容改善の効果が出てきていると言えよう。（なお、今回の調査では調査項目の一部修正があったため、評価項目内容ごとの平均においては、2007 年度以前の新規開設科目との比較はできない）

図 2－2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



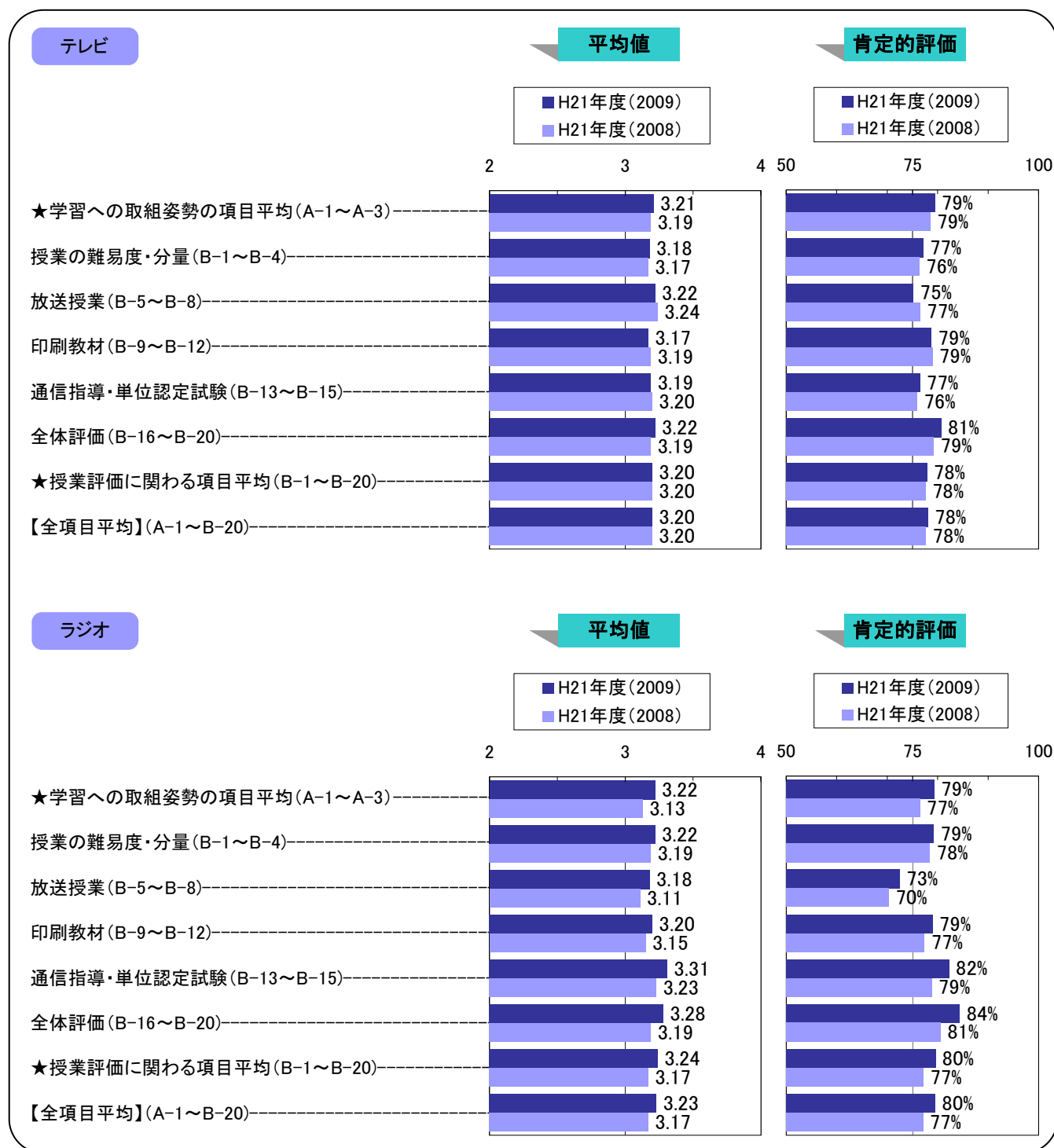
メディア別に 2008 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると（図 2－3）、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』ともテレビ科目の方が値が高くなっている。特に『放送授業』でその差が大きい。映像がなく音声のみというラジオの制約が反映された形となっている。また『授業の難易度・分量』や『通信指導・単位認定試験』ではラジオ科目の方がやや高くなっているが、『印刷教材』ではテレビ科目の方がやや高い。ラジオ科目では授業の方法上の制約を『印刷教材』等で補われることが望ましいが、必ずしもそうした結果にはなっていないと言える。

図 2－3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



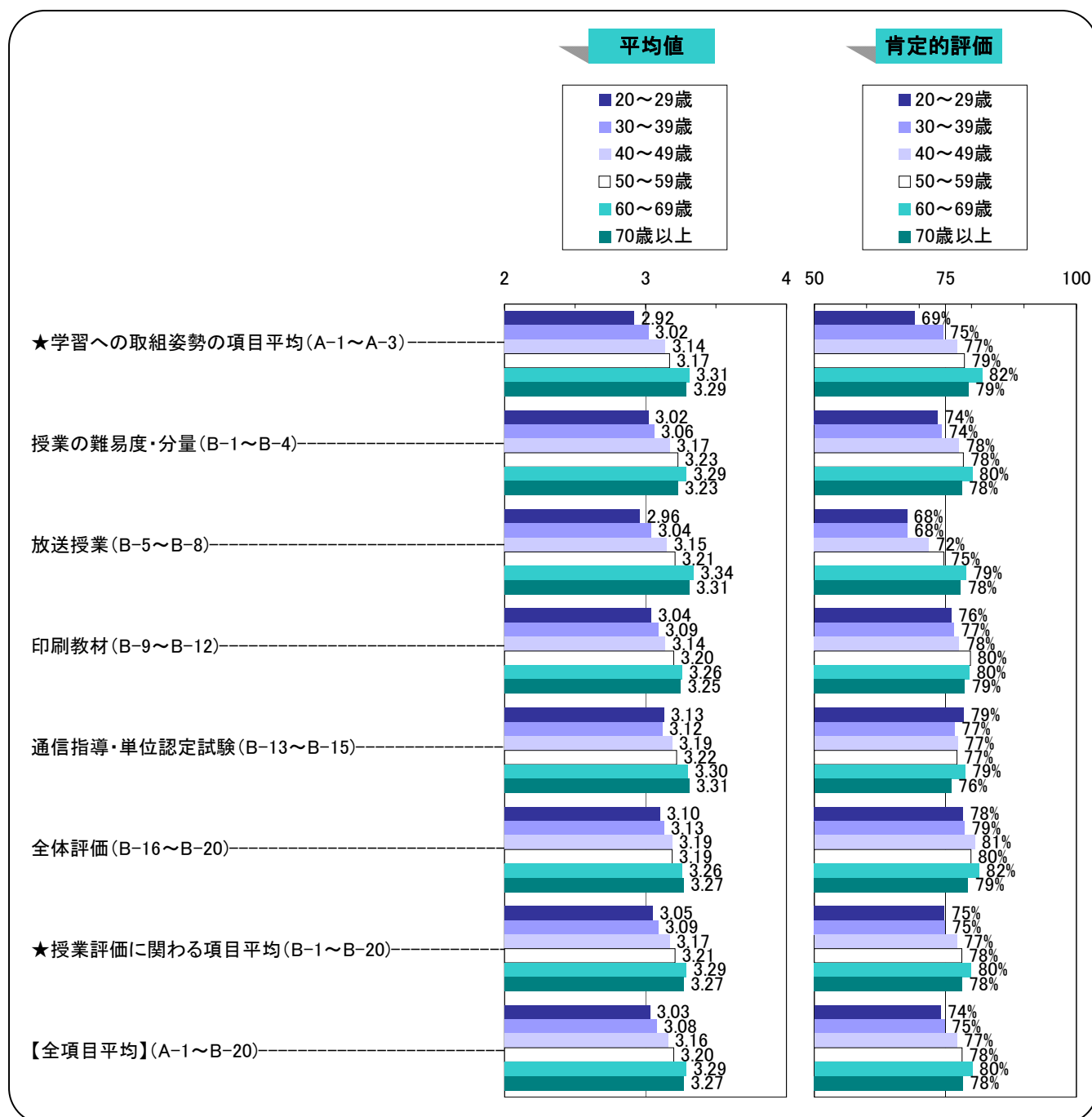
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図 2－4）、テレビ科目は 2008 年度と 2009 年度の差がほとんどなく、あまり改善の効果が現れていないのに対し、ラジオ科目は、いずれの項目平均でも 2009 年度の方が高い値となっている。このことから先に見た両年度間の改善の効果は、主にラジオ科目の改善の効果が大きいことが分かる。

図 2－4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



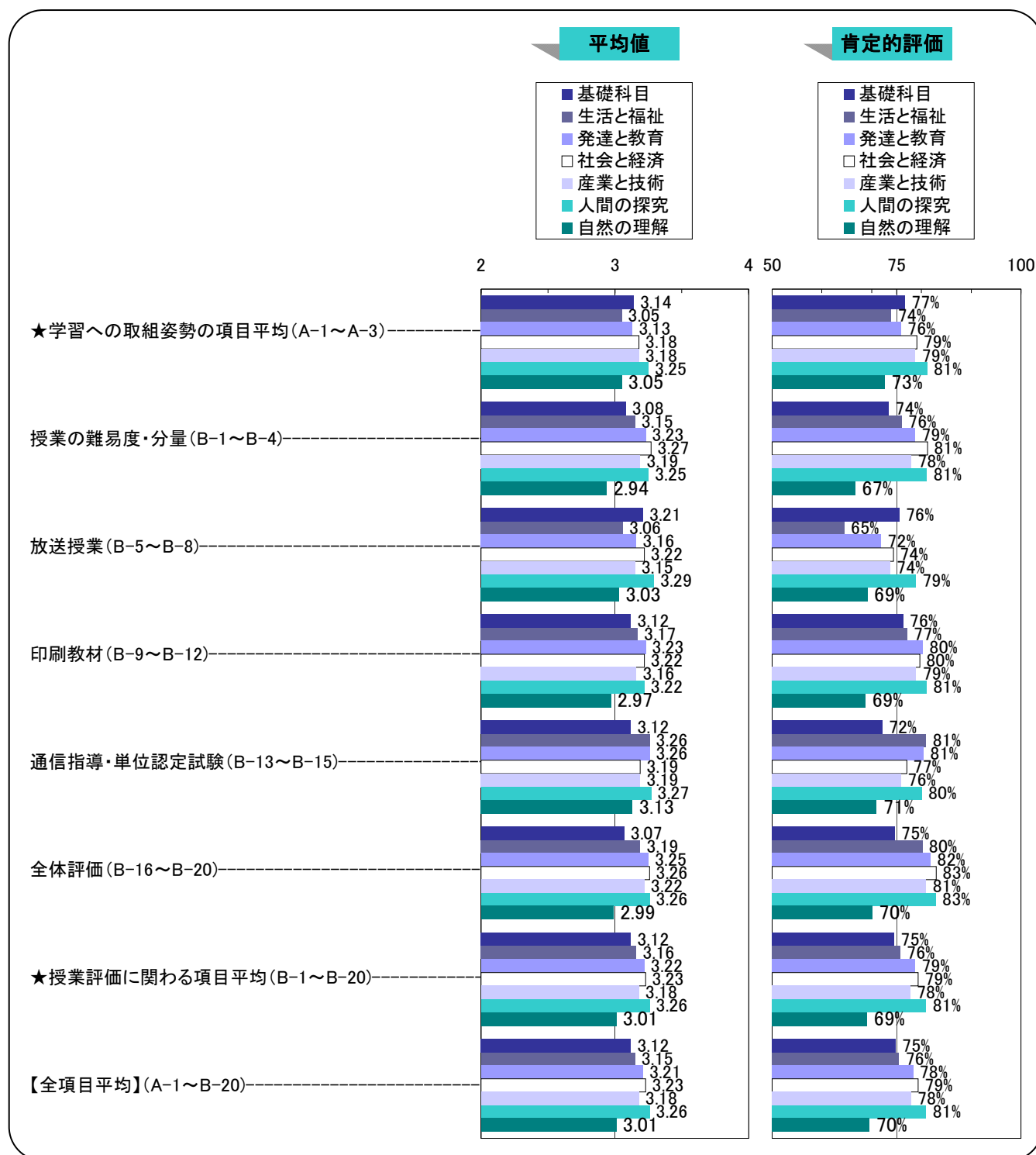
回答者の年齢階層別に 2008 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2－5）、年配層ほど平均値、肯定的評価とも高くなる傾向にある。ほとんどの項目平均において 60 歳代が最も高く、20 歳代が最も低い。特に授業評価だけでなく、『学習への取組姿勢の項目平均』も年配層ほど高いということは、単に年配層は評価が甘いというだけが原因ではないことが窺われる。

図 2－5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属専攻別に見ると（図2－6）、『授業評価に関わる項目平均』では、「人間の探究」が最も高い値となっており、次いで「社会と経済」「発達と教育」「産業と技術」が高くなっている。『学習への取組姿勢の項目平均』でも「人間の探究」が最も高い。一方、理系科目の「自然の理解」は『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』のいずれも最も低い値となっている。

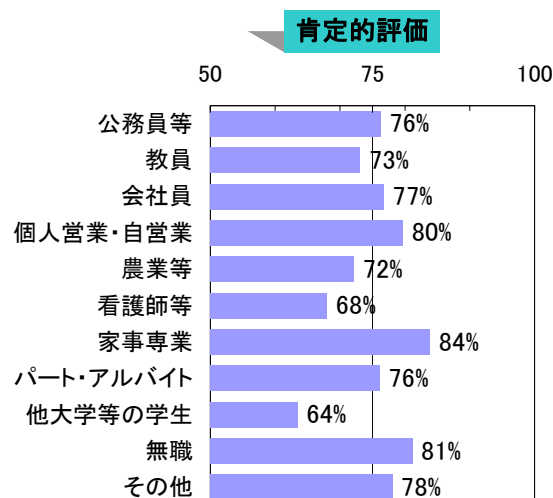
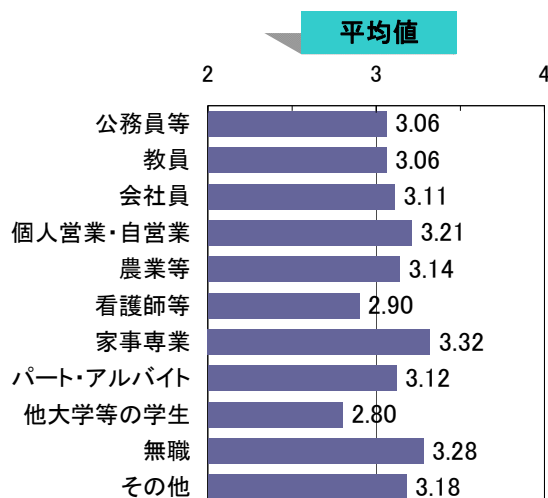
図2－6 【学部】項目平均による所属専攻別全体的傾向



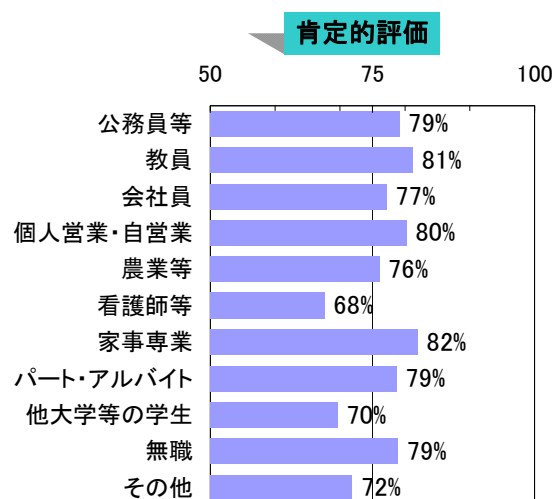
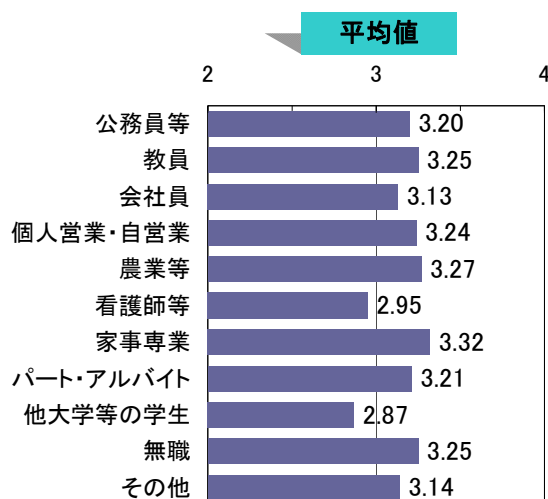
回答者の職業別に見ると（次頁図 2－7）、『学習への取組姿勢の項目平均』は、家事専業、無職、個人営業・自営業など、比較的時間に融通のきく職業の人で高い値となっているが、逆に看護師や他大学等の学生は低い値となっている。看護師や他大学等の学生は『授業評価に関わる項目平均』も低いのが特徴である。

図 2 - 7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

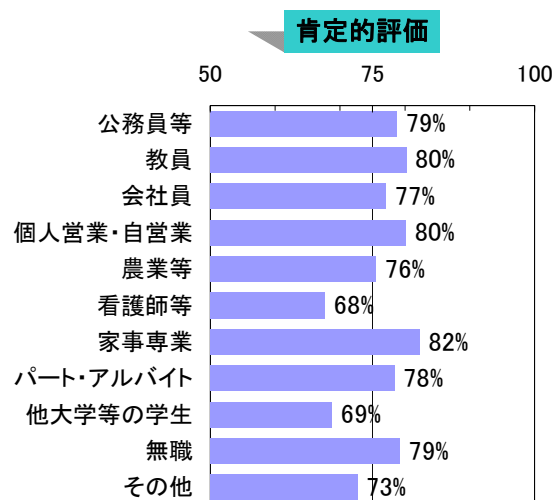
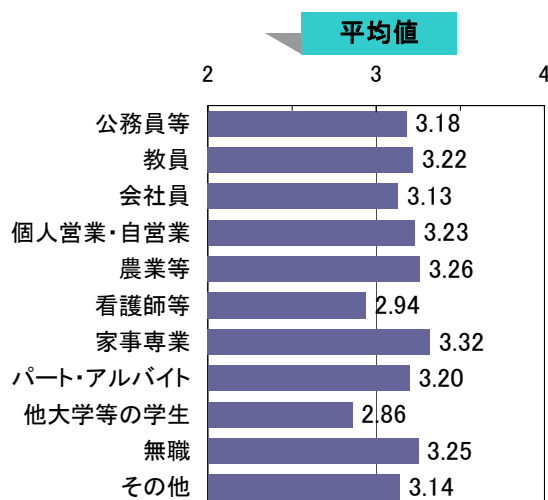
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1～A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1～B-20)



【全項目平均】(A-1～B-20)

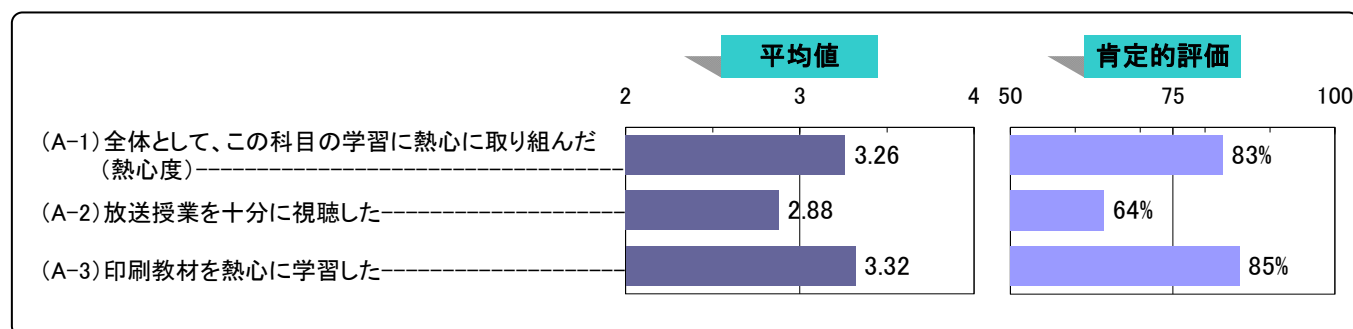


Ⅱ－１－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

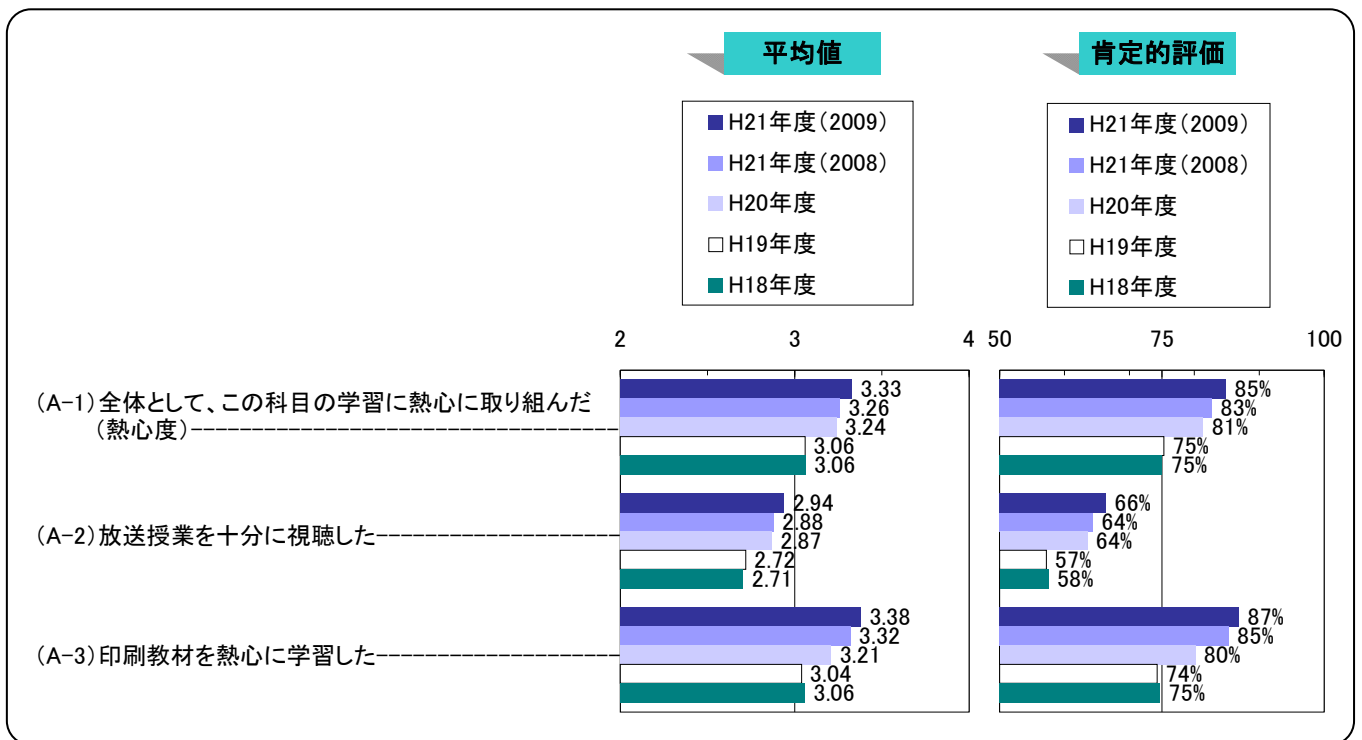
学習への取組姿勢（図２－８）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.26、肯定的評価 83%と比較的熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.32、肯定的評価 85%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.88、肯定的評価 64%と低く、放送授業を十分に視聴したという回答者は 2/3 弱にとどまっている。学習には比較的熱心に取り組んでいるものの、学習は印刷教材中心という傾向が見られる。

図２－８ 【学部】回答者全体の取組姿勢



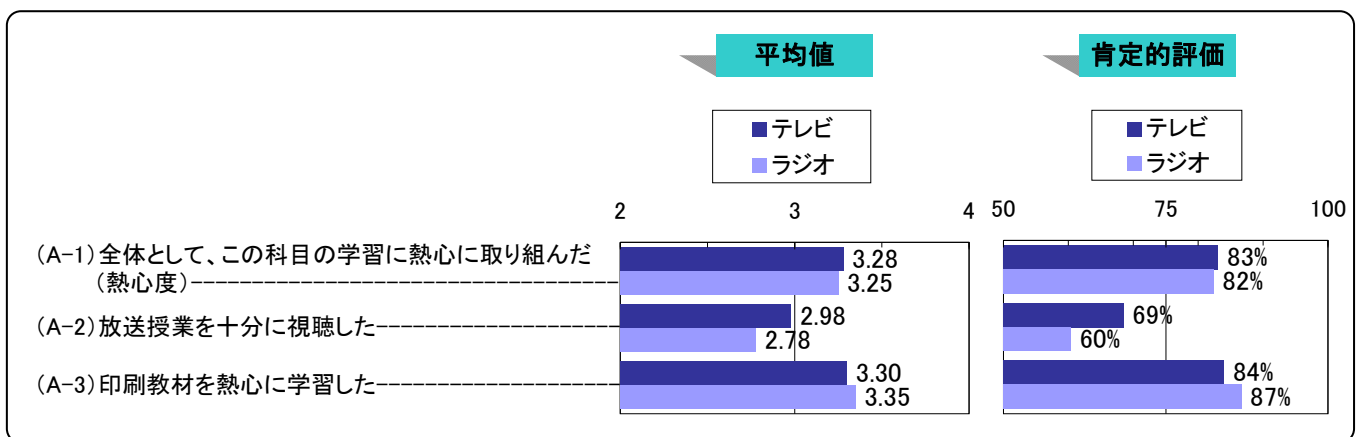
取組姿勢を時系列で見ると（次頁図２－９）、年ごとに取組姿勢が良くなっていることが分かる。これは単に学生の意識が高まっただけでなく、授業内容や教材が改善され、分かりやすく興味や関心がもてる科目が増えていることが大きく関係していると考えられる（取組姿勢と授業評価の関係については後述）。そのため取組姿勢があまり良くない放送授業についても、さらなる授業内容の改善に注力することによって取組姿勢も向上するものと考えられる。また、インターネットなどでの番組提供を増やすことによって、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図 2－9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



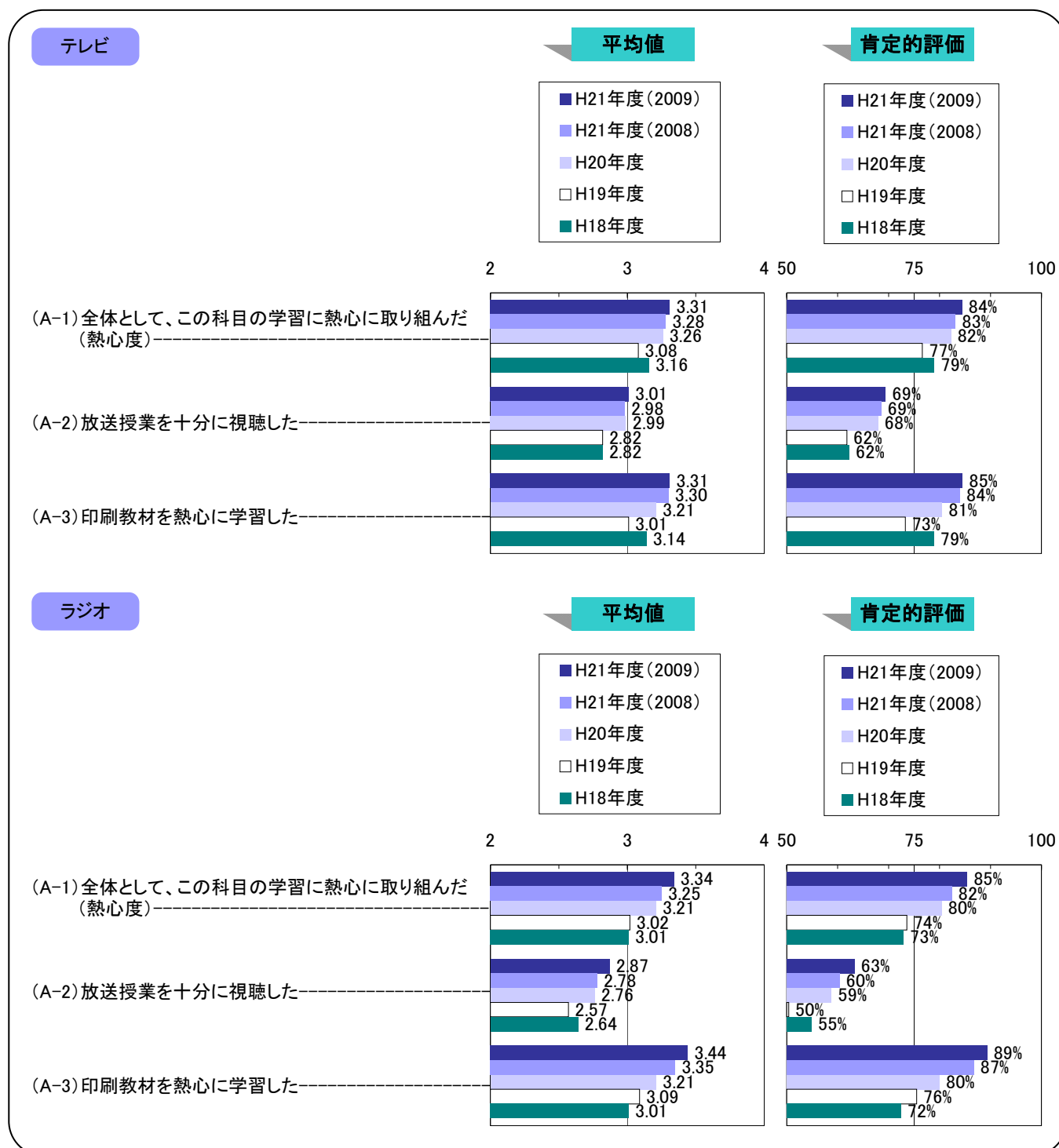
次にメディア別に取り組む姿勢を見ると（図 2－10）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、テレビ科目とラジオ科目で大きな差はない。しかし (A-2)「放送授業を十分に視聴した」という人は、やはりテレビ科目の方が多くなっている。逆に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」という人は、ラジオ科目の方が若干多くなっている。

図 2－10 【学部】メディア別の取組姿勢



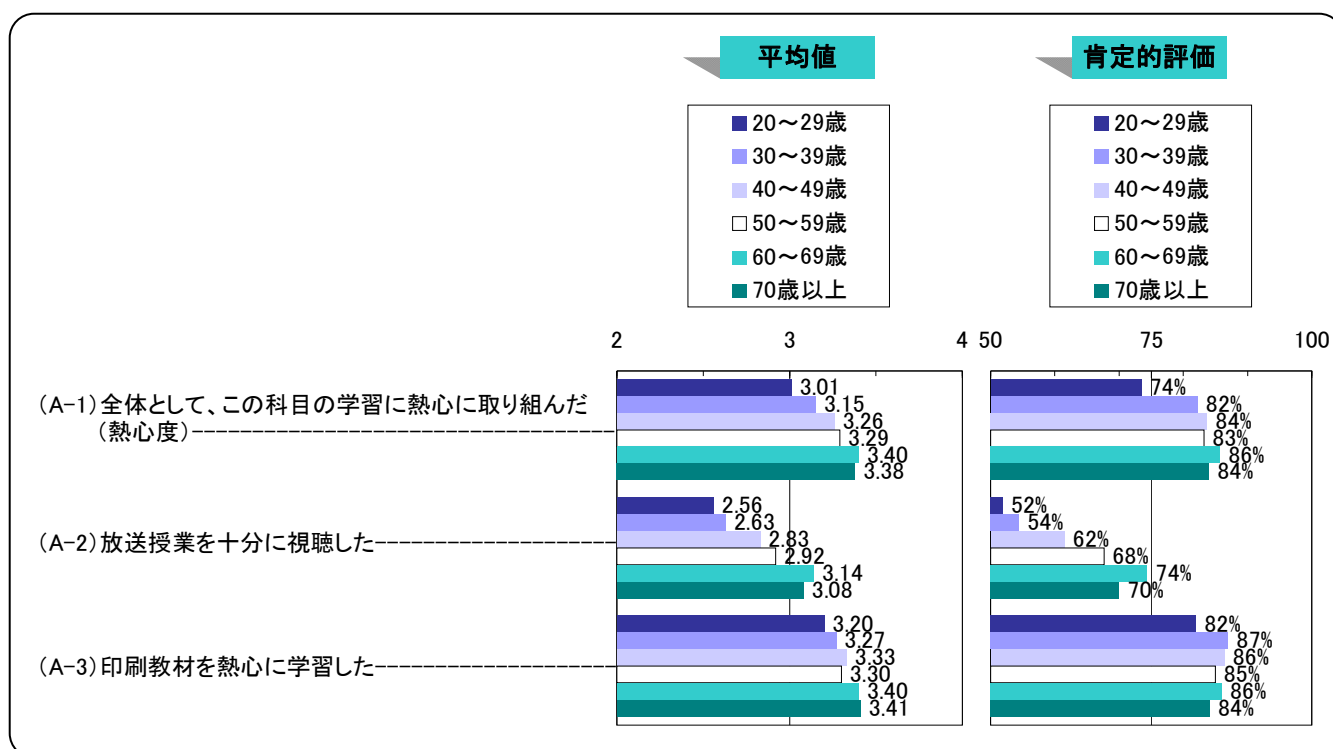
メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図２－１１）、テレビ科目、ラジオ科目とも年々取組姿勢が良くなっている。特にラジオ科目の（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」の改善度合いが最も大きい。一方、テレビ科目の（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、平成 20 年度調査（2007 年新規開設科目）以降、ほとんど改善されていない。

図 2－11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



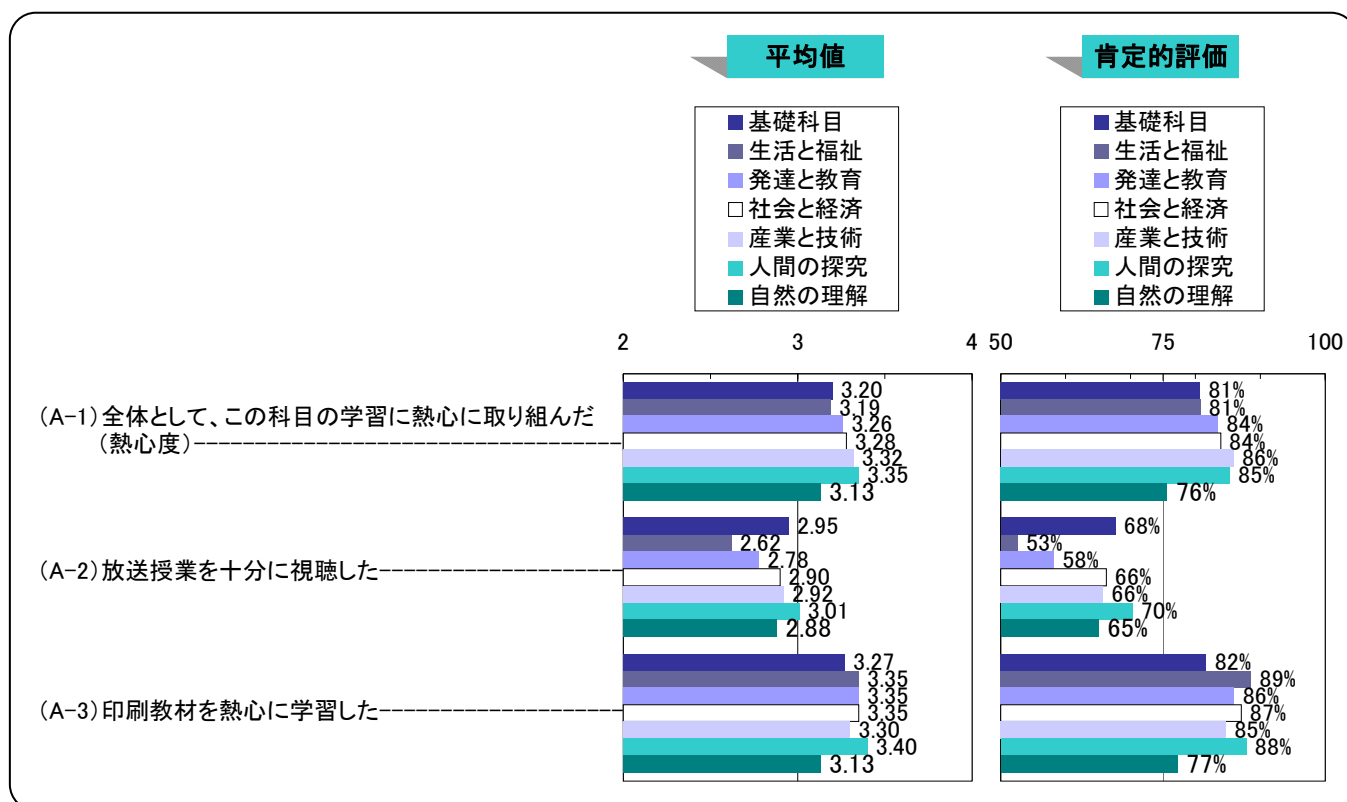
年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図 2－1 2）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」をはじめ、放送授業、印刷教材とも年配層ほど熱心に取り組んでいる傾向が見られる。取組姿勢のあまりよくない放送授業については、20～30 歳代では 50％程度しか十分に視聴したという人がおらず、若い年代での視聴を増やす必要がある。

図 2－1 2 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属専攻別に取り組姿勢を見ると（図 2－1 3）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、いずれの専攻も比較的高い値となっているが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、いずれの専攻もあまりよくない。特に「生活と福祉」と「発達と教育」で十分に視聴していない人が多くなっている。

図 2－1 3 【学部】所属専攻別の取り組姿勢



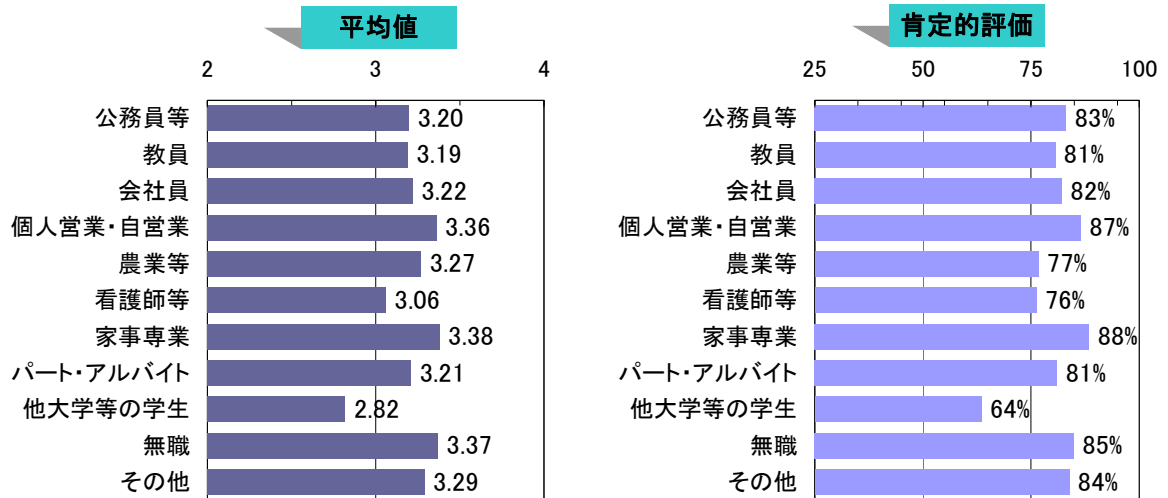
職業別で見ると（次頁図 2－1 4）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、家事専業、個人営業・自営業、無職の人が高い値を示しており、逆に他大学等の学生がよくない。

放送授業については、看護師と他大学等の学生があまり視聴してない。ただ看護師は、印刷教材は比較的热心に学習しており、仕事の性質上、十分な視聴時間がとれない放送授業を、印刷教材の学習でカバーしているものと考えられる。

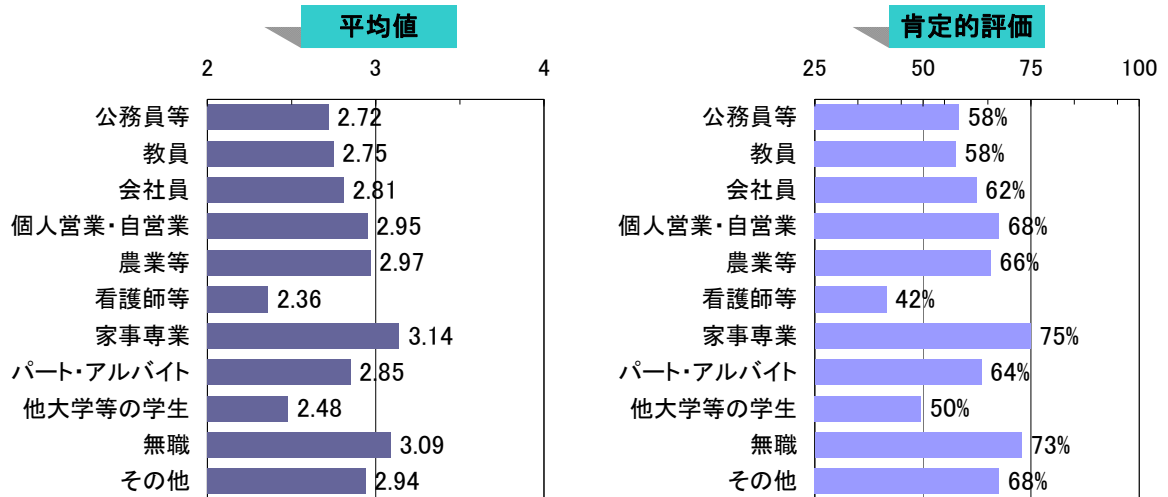
学生の実践姿勢は、本人の意識の高さや関心度、さらに科目（授業や印刷教材）の出来栄だけでなく、仕事や日常生活の時間的制約の程度によっても左右されていることが窺われよう。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

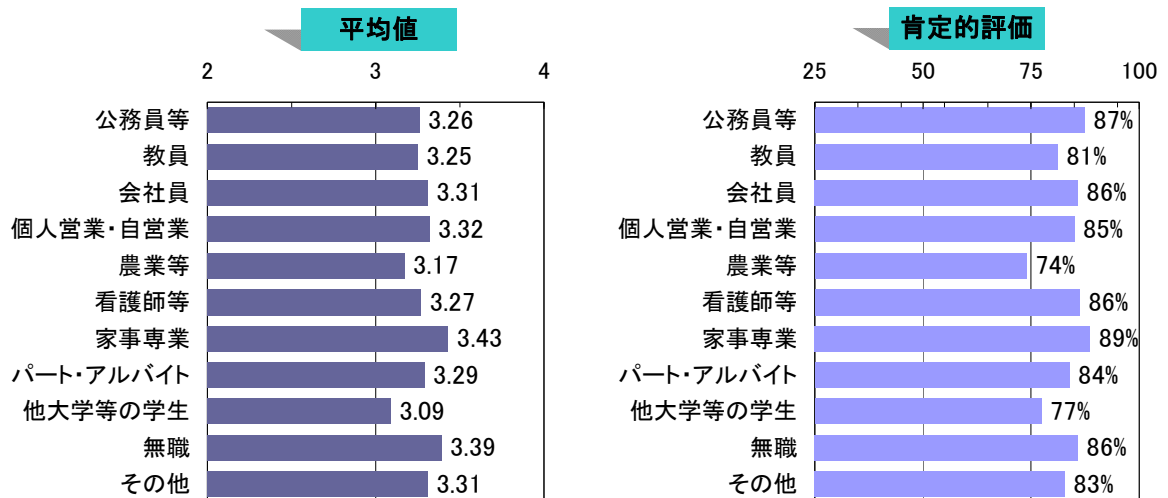
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2) 放送授業を十分に視聴した

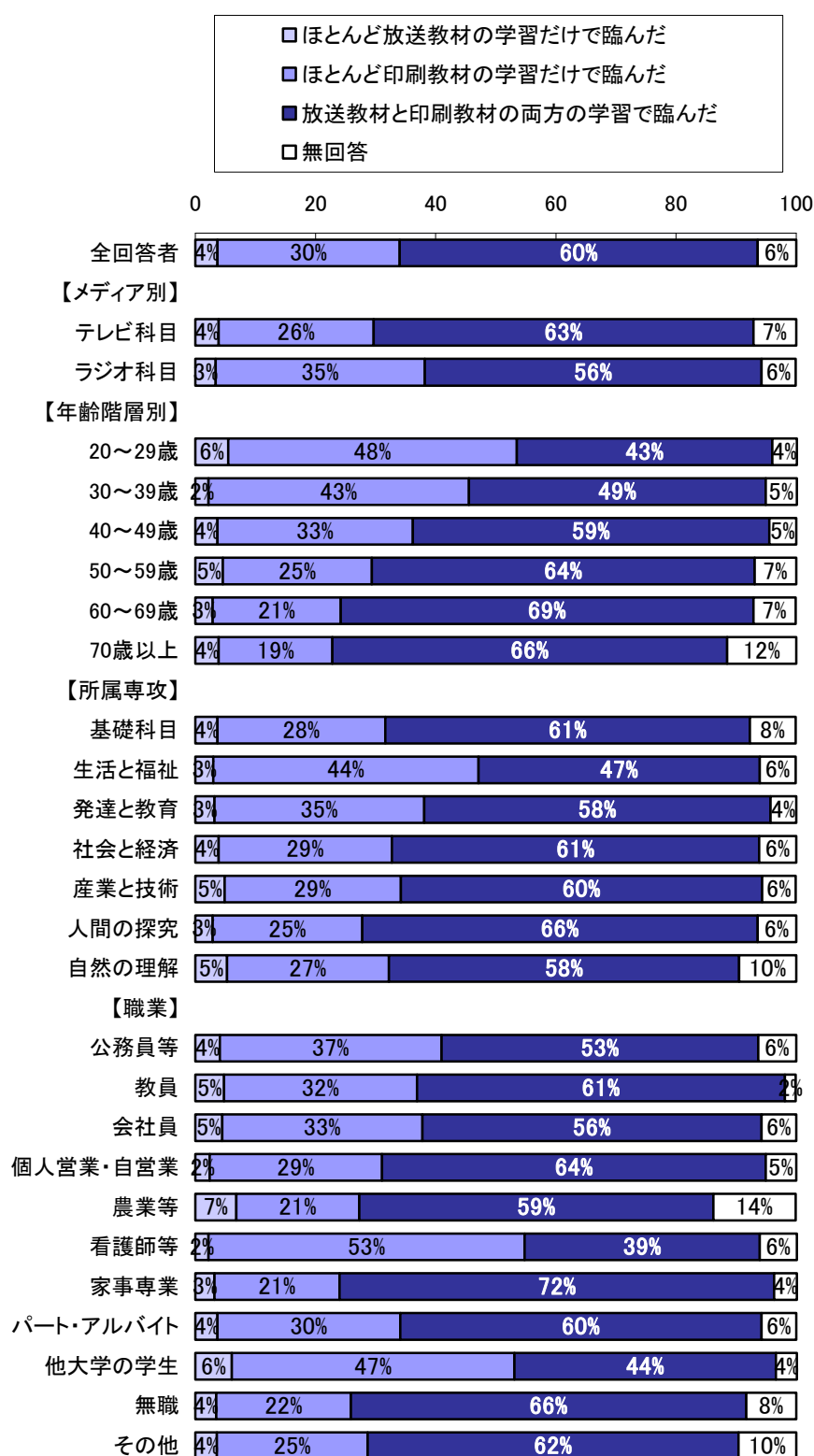


(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（図２－１５）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が60%を占め、次いで「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が30%となっている。「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」は、年齢階層別では年配層ほど多く、職業別では看護師と他大学等の学生で少なくなっており、学習への取組姿勢と同様の傾向が見られる。

図２－１５ 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－１－３．学部の授業評価

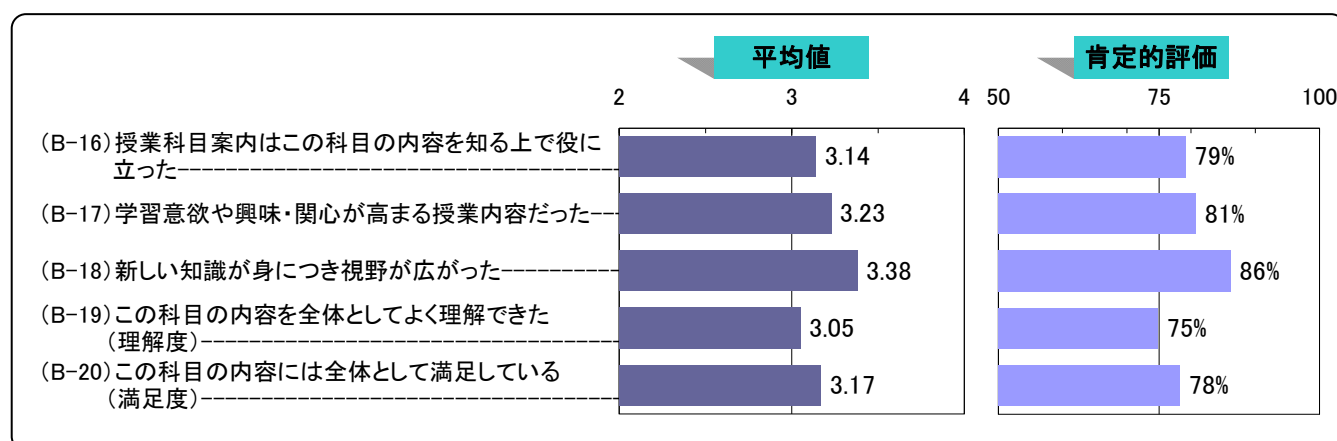
(1) 全体評価

ここからは学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると（図２－１６）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は平均値 3.38、肯定的評価 86%と高い評価を得ている。また (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値 3.23、肯定的評価 81%と高くなっている。学習のテーマや内容については学生の評価は高いと言える。

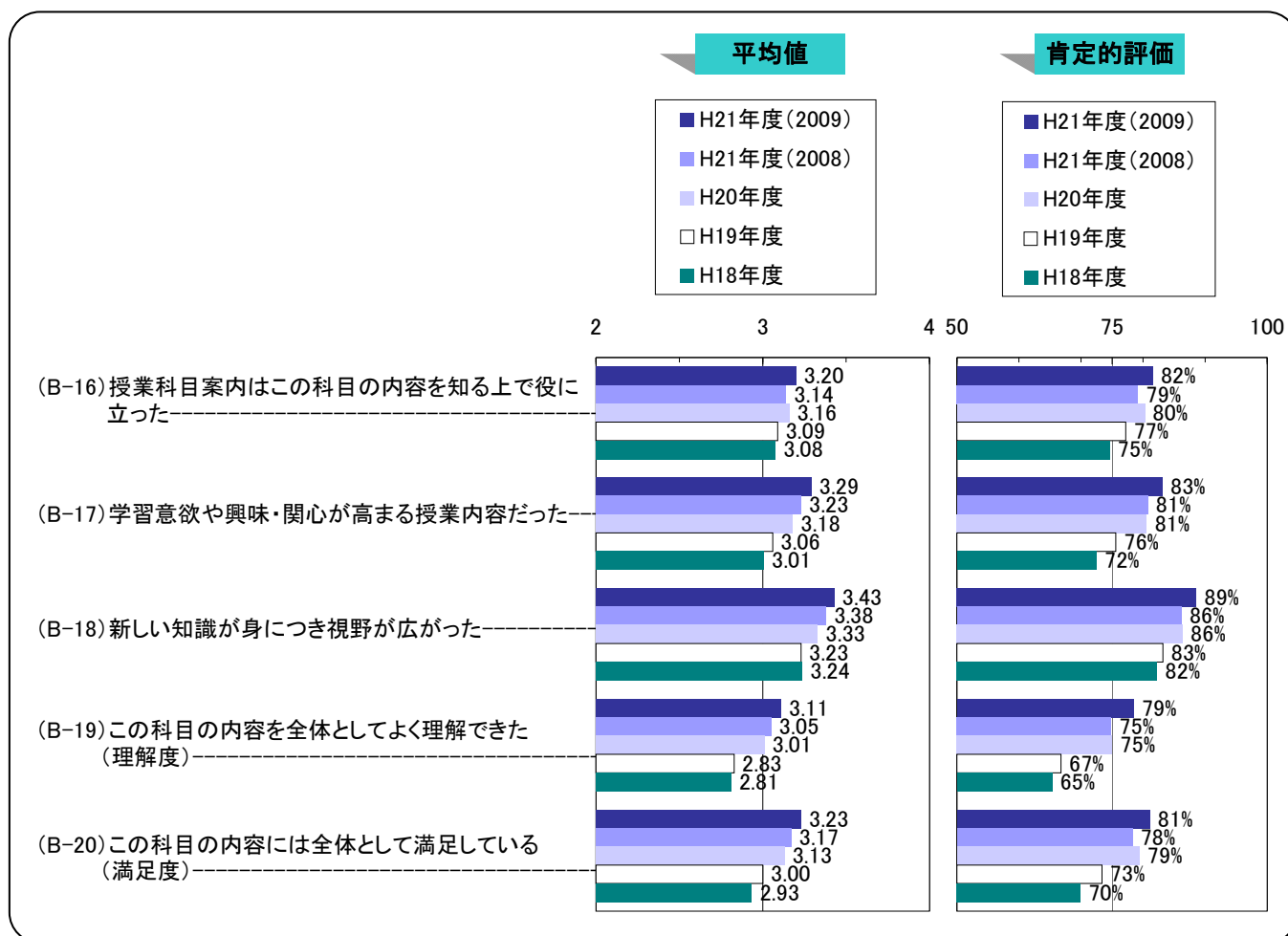
(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は平均値 3.05、肯定的評価 75%、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は平均値 3.17、肯定的評価 78%と、まずまずの評価と言えよう。ただ、理解度や満足度は他の評価項目とは異なり科目の総合評価とも言うべきものであり、学生全員から肯定的評価を受けることを目指すべきであろう。

図 2－１６ 【学部】 回答者全体の全体評価



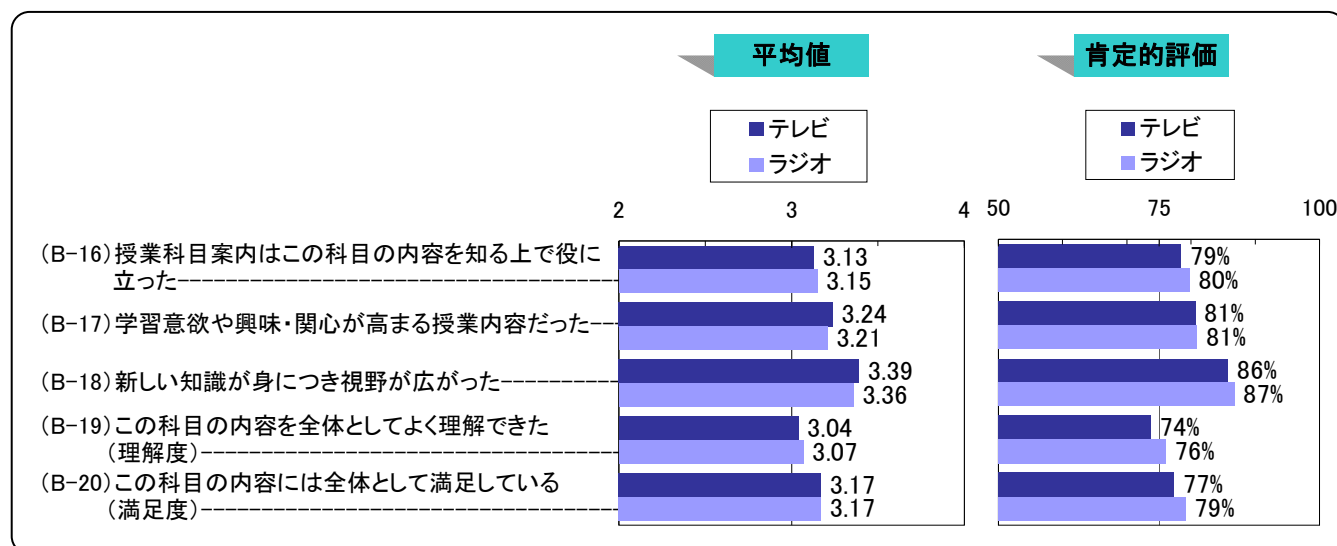
全体評価を時系列で見ると（図２－１７）、いずれも年々評価が上がっており、授業改善の効果が出ていると言えよう。また、科目の総合評価とも言うべき理解度と満足度も年々向上しているが、今後、さらに向上させていく必要があるだろう。

図２－１７【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図 2－18）、テレビ科目とラジオ科目ではあまり大きな差は見られず、ほぼ同じ評価と言ってよいであろう。

図 2－18 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図 2－19）、テレビ科目はいずれの評価も年々高くなってはいるが、その変化はわずかである。（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」などは、ほとんど変化がないと言ってもよい。

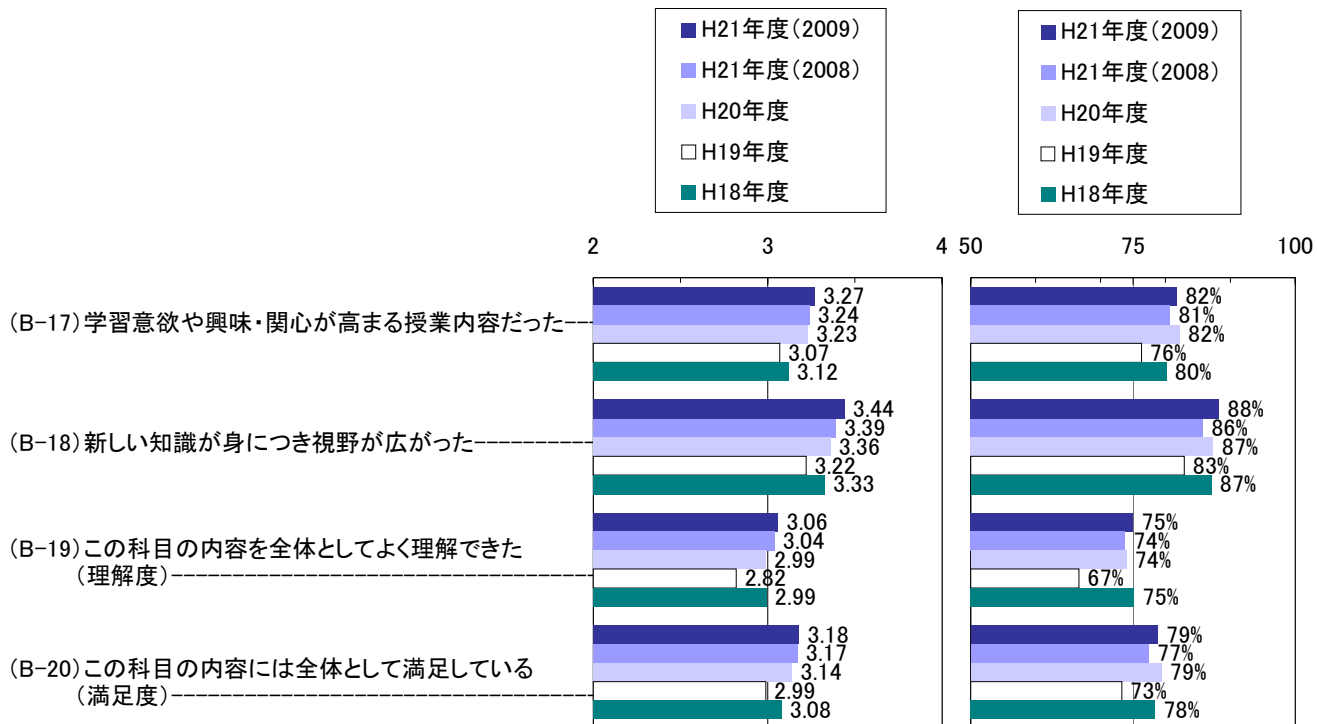
一方、ラジオ科目はいずれの評価項目も年々確実に高くなっている。もともとラジオ科目は全体評価が低く、平成 18 年度時点では、いずれの評価もテレビ科目より低くなっている。しかし平成 21 年度（2009 年度新規開設科目）では、理解度、満足度において逆転し、テレビ科目より高い評価を得ている。テレビ科目においてもさらなる工夫が求められるところである。

図 2 - 1 9 【学部】メディア別の全体評価（時系列）

テレビ

平均値

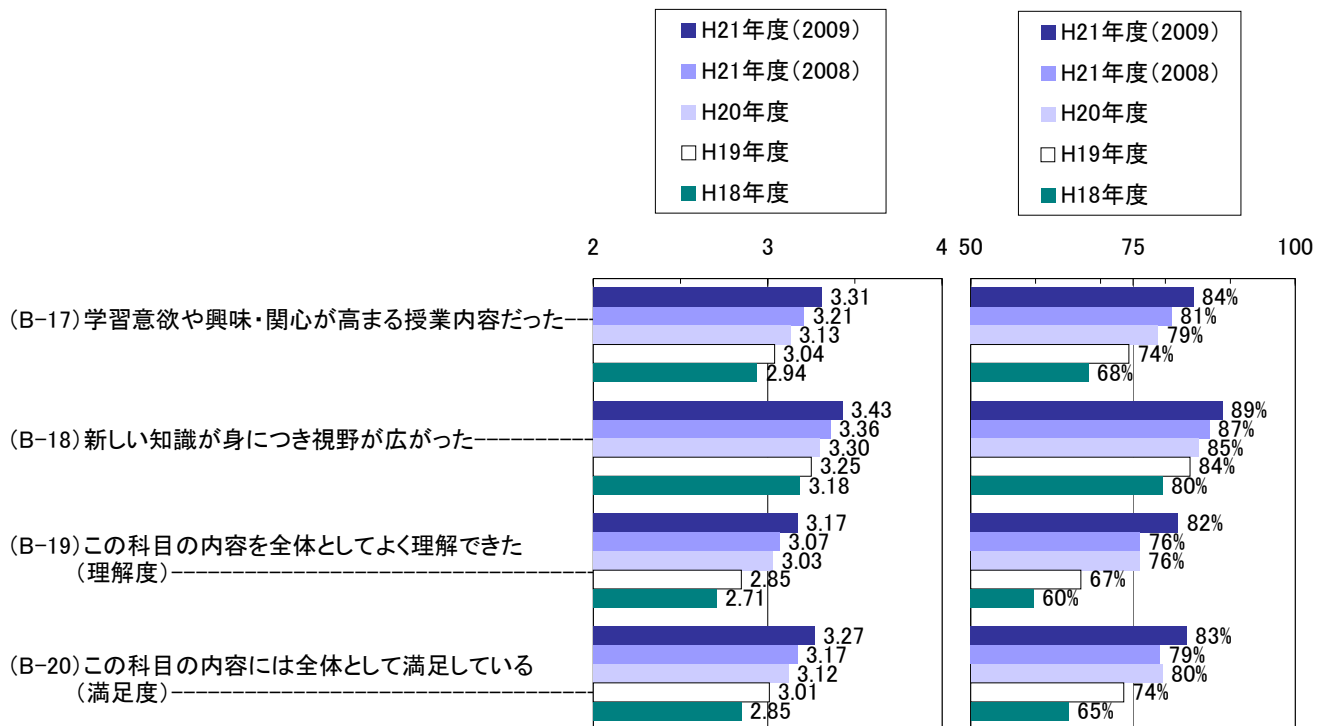
肯定的評価



ラジオ

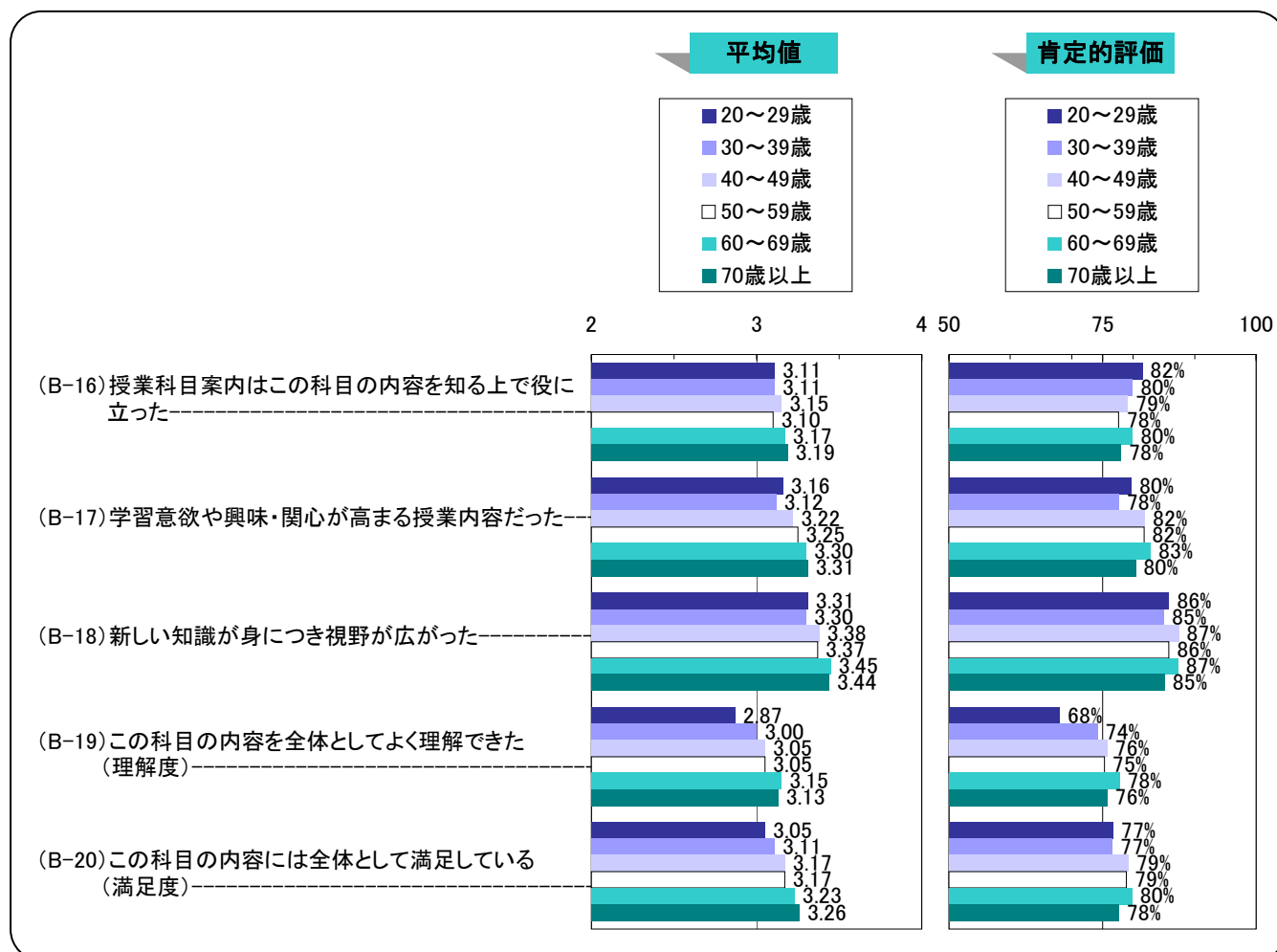
平均値

肯定的評価



年齢階層別に全体評価を見ると（図２－２０）、平均値ではいずれの評価項目も、年配層ほど少しずつ評価が高くなっている。一方、肯定的評価では年代間の差はあまり見られない。

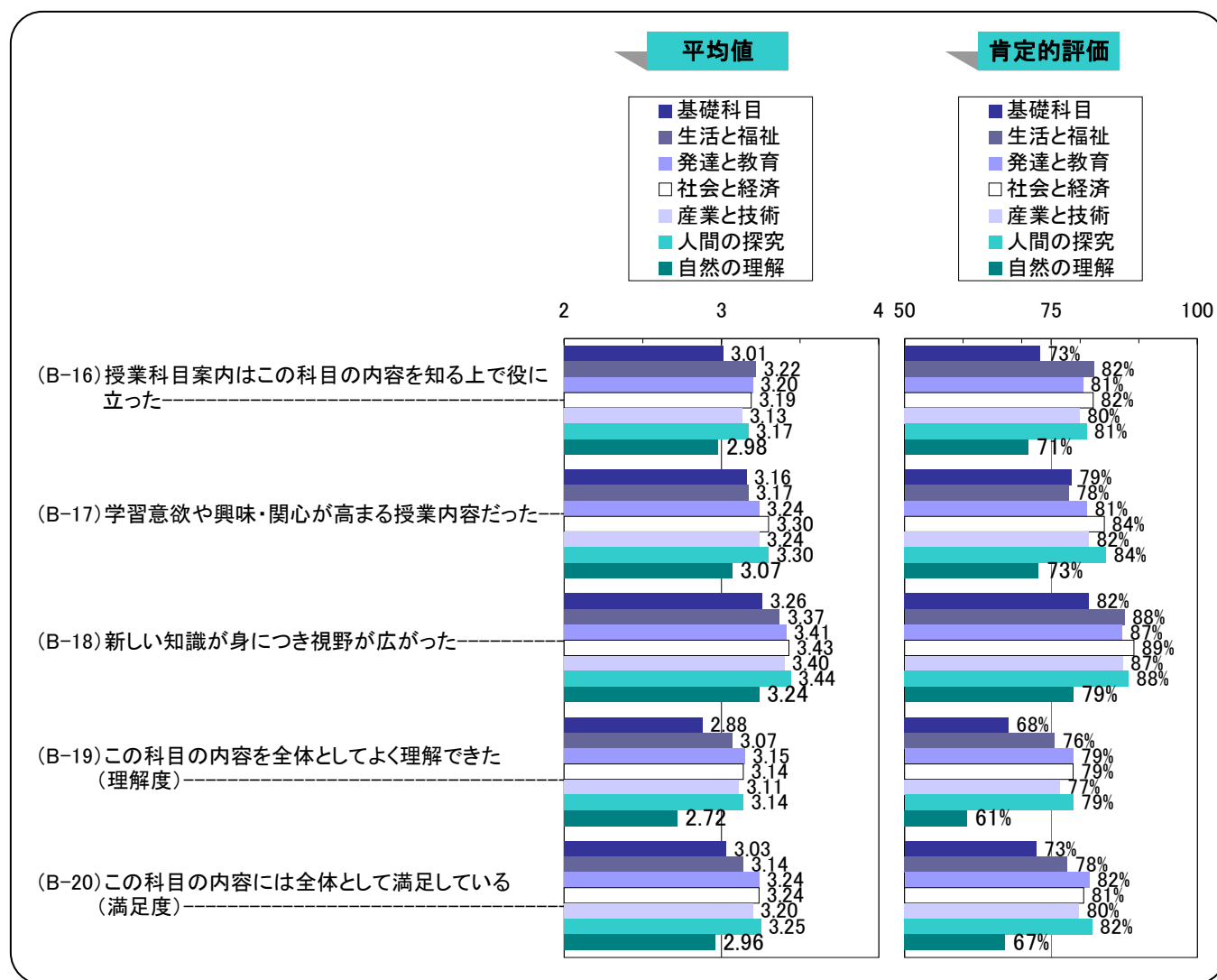
図２－２０【学部】年齢階層別の全体評価



所属専攻別に全体評価を見ると（図 2－2 1）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、「人間の探究」「発達と教育」「社会と経済」「産業と技術」の評価が高い。逆に「自然の理解」は最も評価が低く、次いで「基礎科目」が低くなっている。

「自然の理解」は、全体評価のいずれの項目においても評価が最も低い。

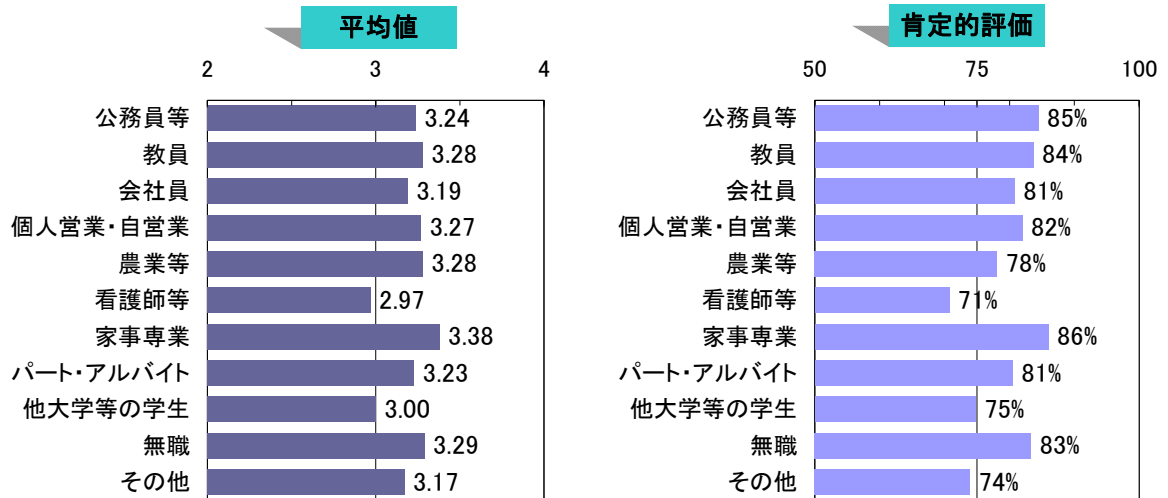
図 2－2 1 【学部】所属専攻別の全体評価



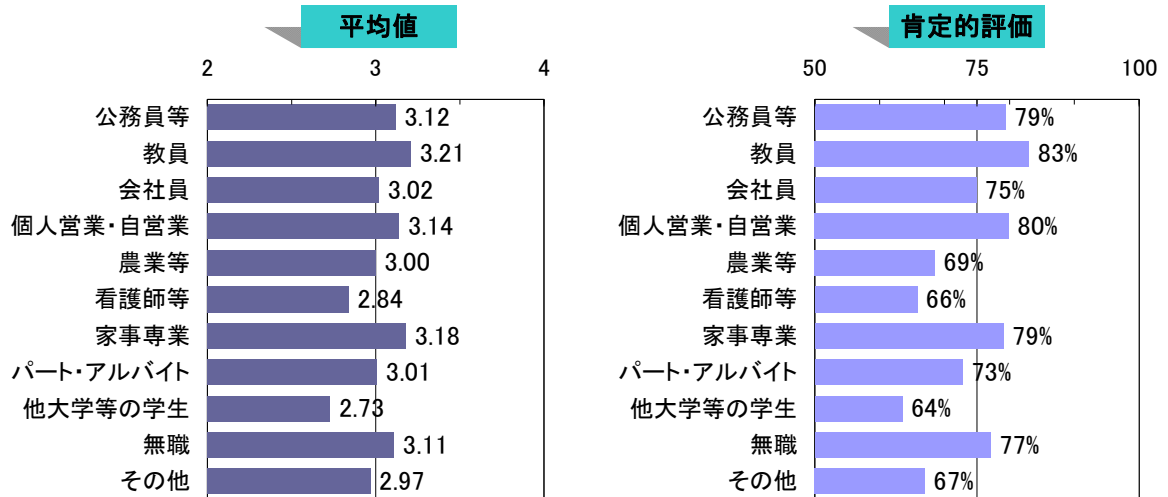
職業別に全体評価を見ると（次頁図 2－2 2）、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」の評価が高いのは、公務員等、教員、家事専業、無職などであり、逆に評価が低いのは、看護師等と他大学等の学生である。(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」もほぼ同様の結果となっており、理解度が高くないと、当然満足度も高くないと言える。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

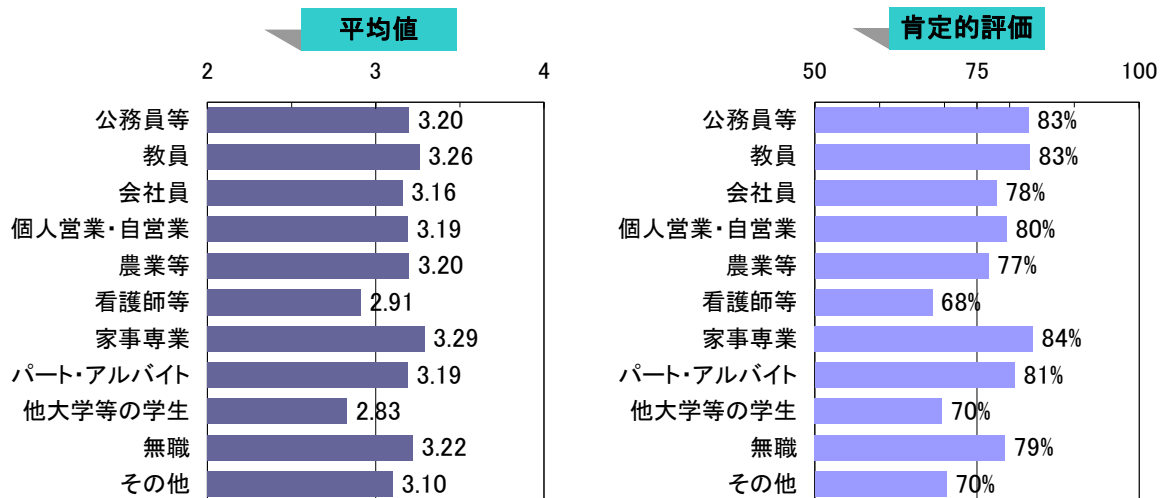
(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)



(B-20) この科目の内容には全体として満足している (満足度)

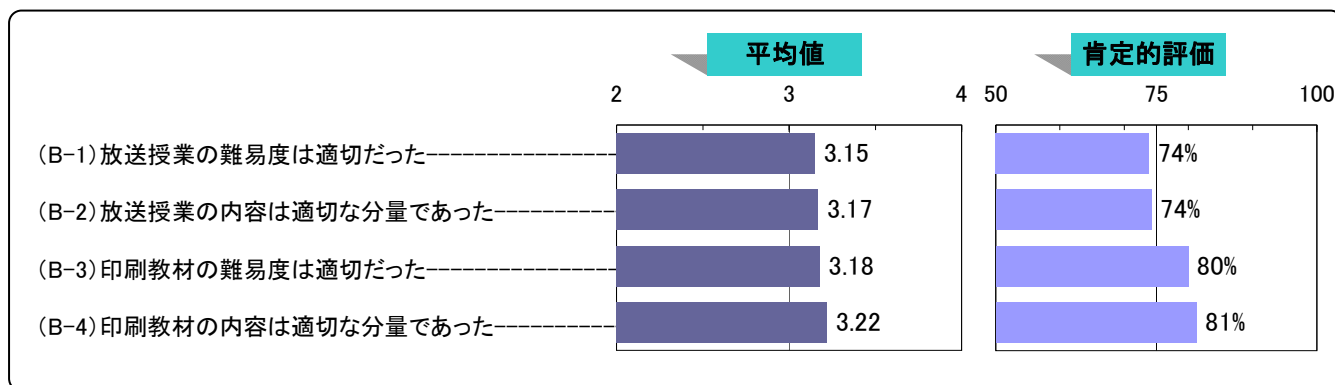


（２）授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

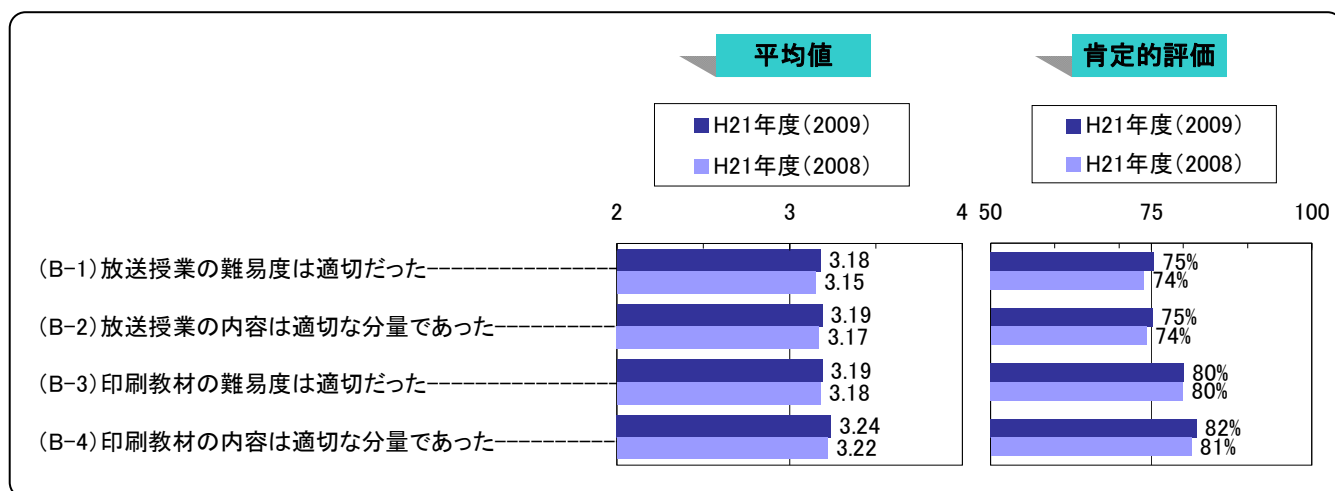
難易度・分量については（図２－２３）、放送授業・印刷教材とも比較的高い評価となっている。特に印刷教材については、難易度・分量とも肯定的評価の割合が多い。

図２－２３ 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－２４）、ほとんど変化はないものの、2009年度新規開設科目は、2008年度新規開設科目に比べ、いずれの評価項目においても若干評価が上がっている。

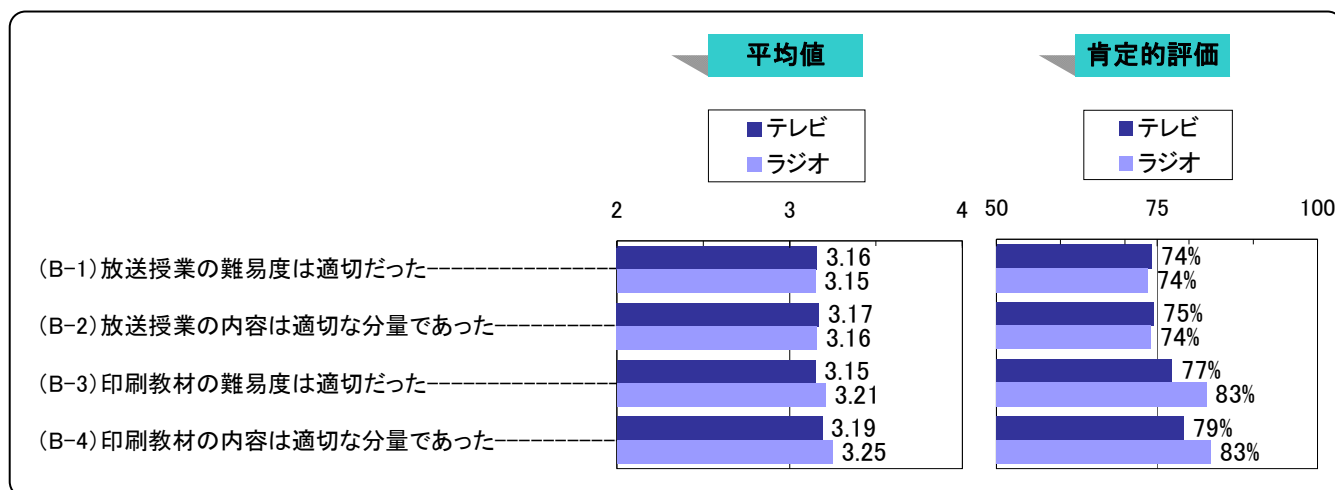
図２－２４ 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２５）、放送授業は難易度・分量ともほとんど差がない。

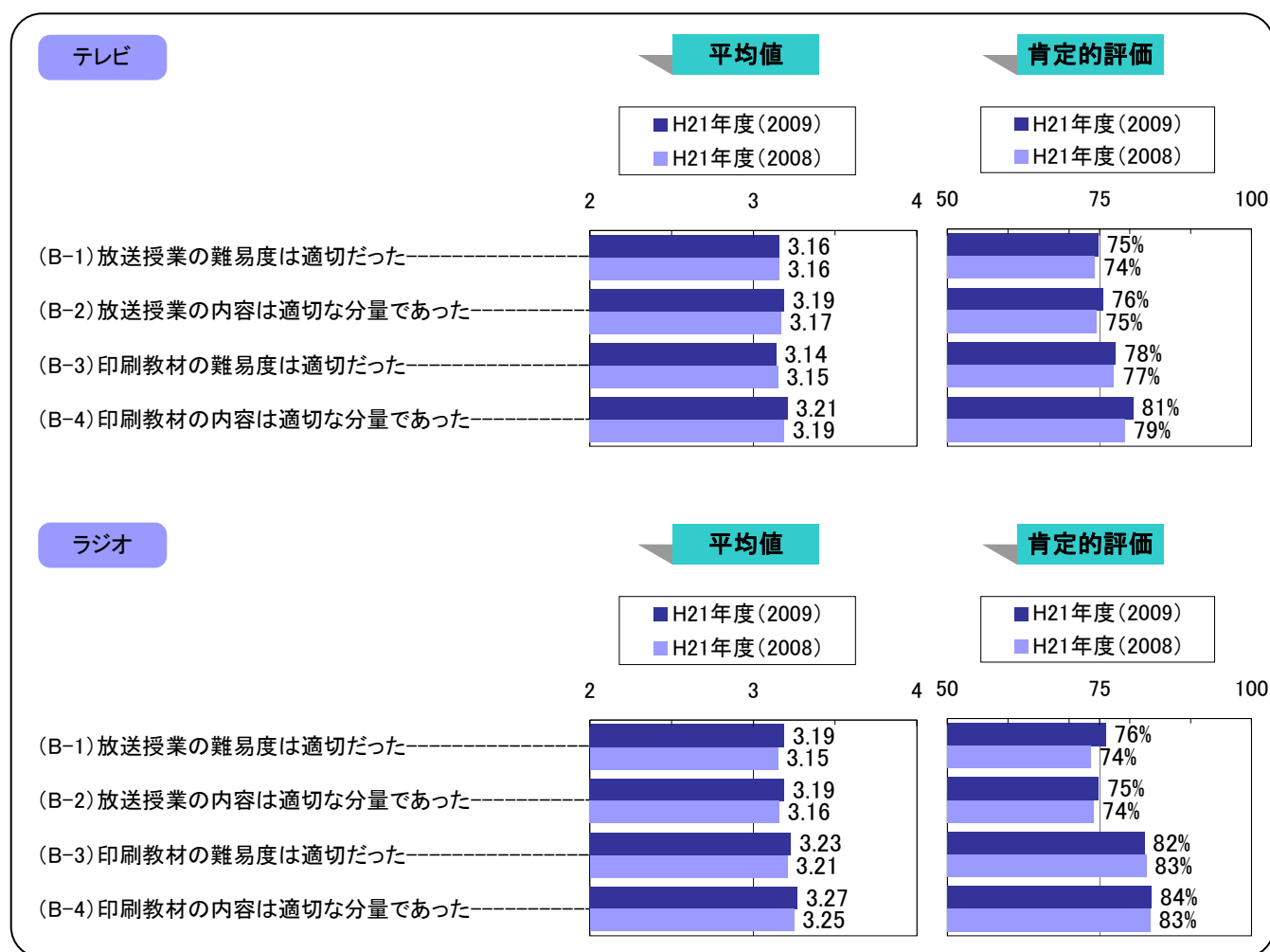
一方、印刷教材については、難易度・分量ともラジオ科目の方が、評価が高くなっている。ラジオ科目は特に肯定的評価をしている人が多い。テレビ科目については、印刷教材の分かりやすさや分量を工夫する必要があるだろう。

図２－２５ 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



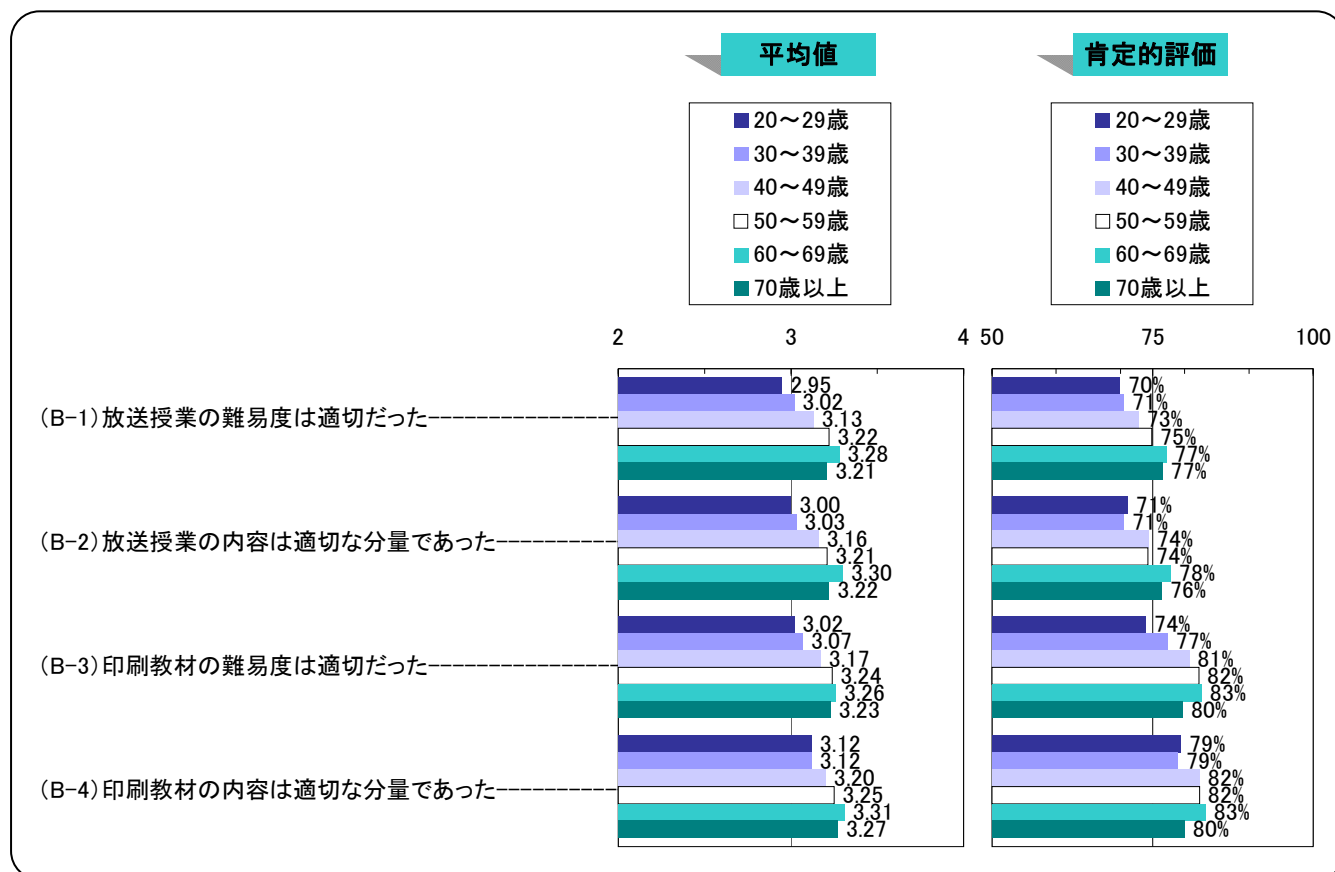
メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-26)、テレビ科目、ラジオ科目とも大きな変化は見られないが、2009年度新規開設科目は、2008年度新規開設科目に比べ、若干評価が向上している。特にラジオ科目の方が評価が上がっており、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」など、放送授業での改善が見られる。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



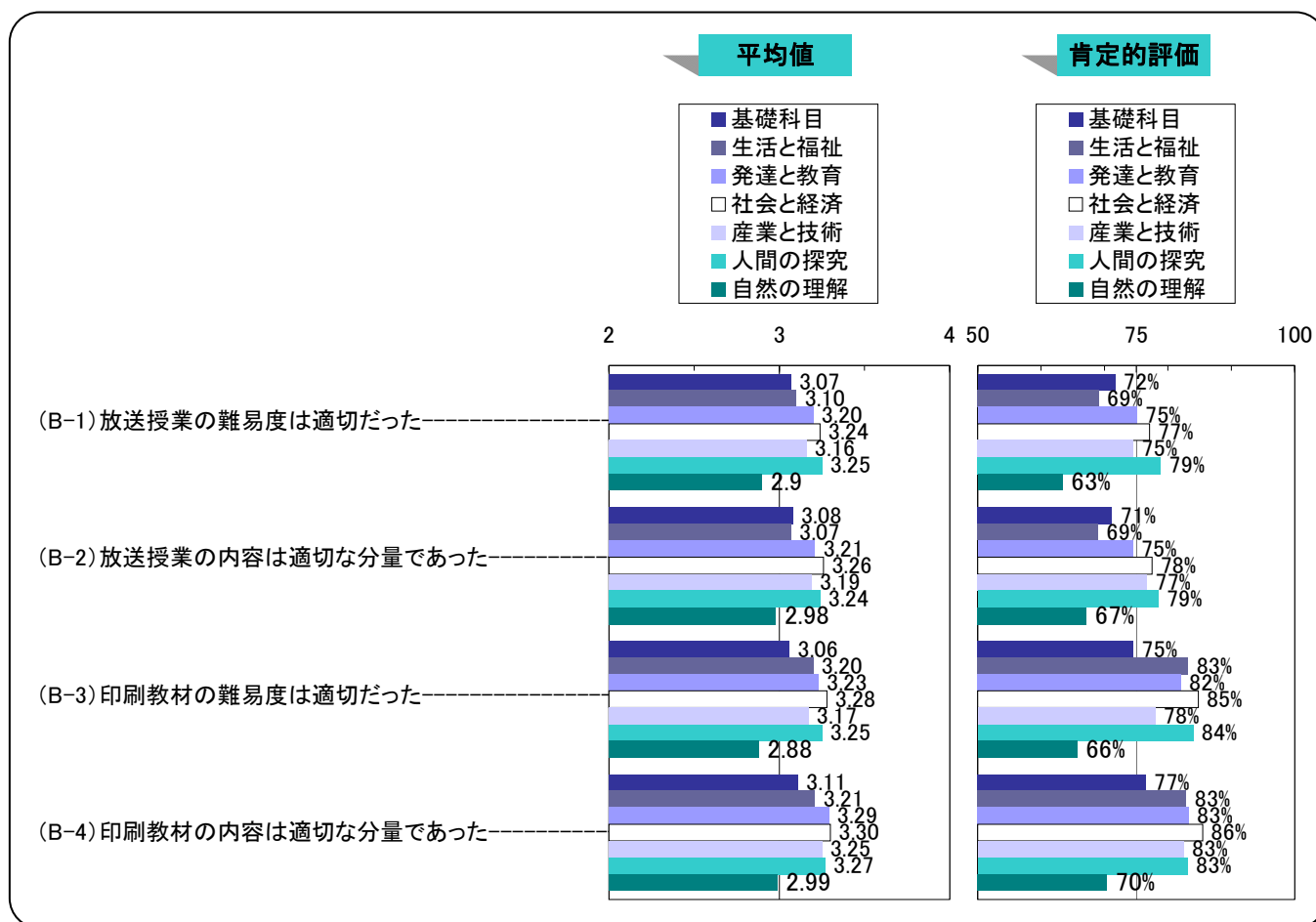
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２７）、放送授業・印刷教材の難易度・分量とも、年配層ほど評価が高くなっており、60歳代が最も評価が高い。70歳以上は、60歳代に比べやや評価が落ちるが、高齢のためと言えるかもしれない。

図２－２７【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属専攻別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２８）、放送授業、印刷教材の難易度・分量とも、「社会と経済」及び「人間の探究」の評価が高い。逆に「自然の理解」は、いずれの項目も最も評価が低い。さらに放送授業の難易度と分量では「基礎科目」と「生活と福祉」、印刷教材の難易度と分量では「基礎科目」の評価も低く、改善が求められる。特に「基礎科目」の難易度の評価が低いのは、専門科目とは違った視点での教材作成が必要とされていると言えよう。

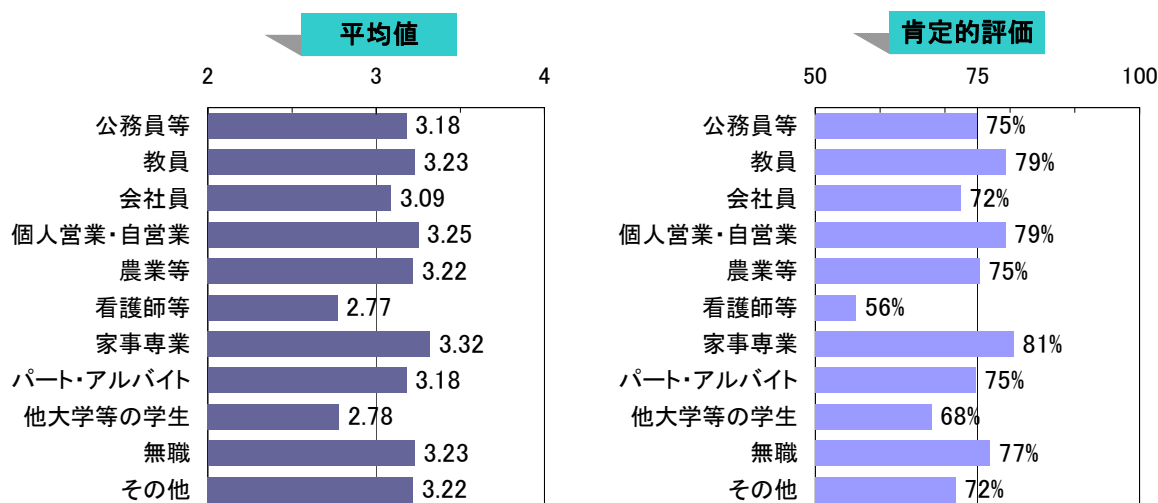
図２－２８ 【学部】所属専攻別の授業難易度・分量の評価



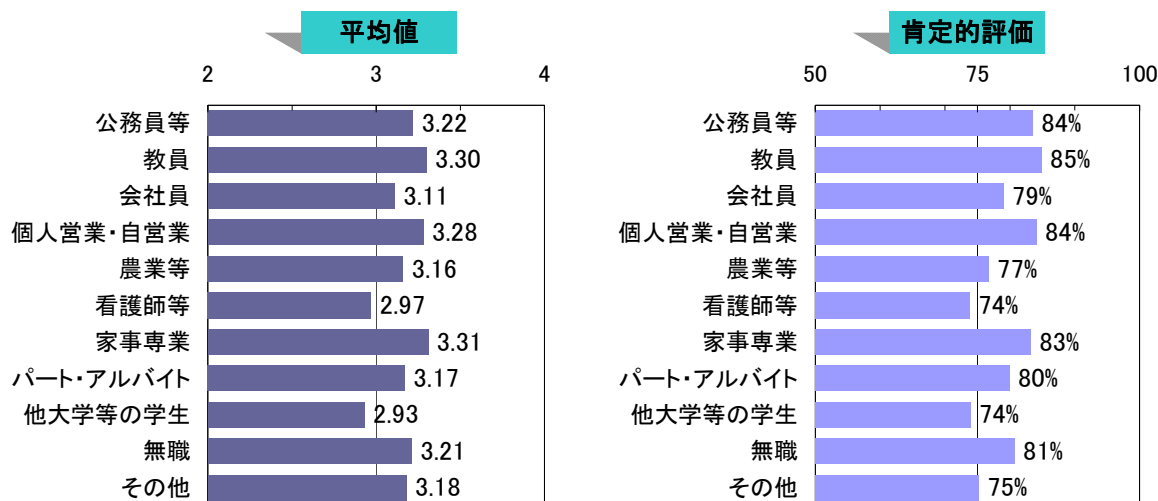
職業別に授業の難易度を見ると（図２－２９）、放送授業の難易度は、取組姿勢のよくない看護師等と他大学等の学生で評価が低くなっている。これらの職業の人で、放送授業の取組姿勢がよい原因が授業の難易度にある可能性もあるが、取組姿勢がよいために、難易度が高く感じるということも考えられ、相互に影響しあっていると推察される。

図２－２９【学部】職業別の授業難易度・分量の評価

(B-1) 放送授業の難易度は適切だった



(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった

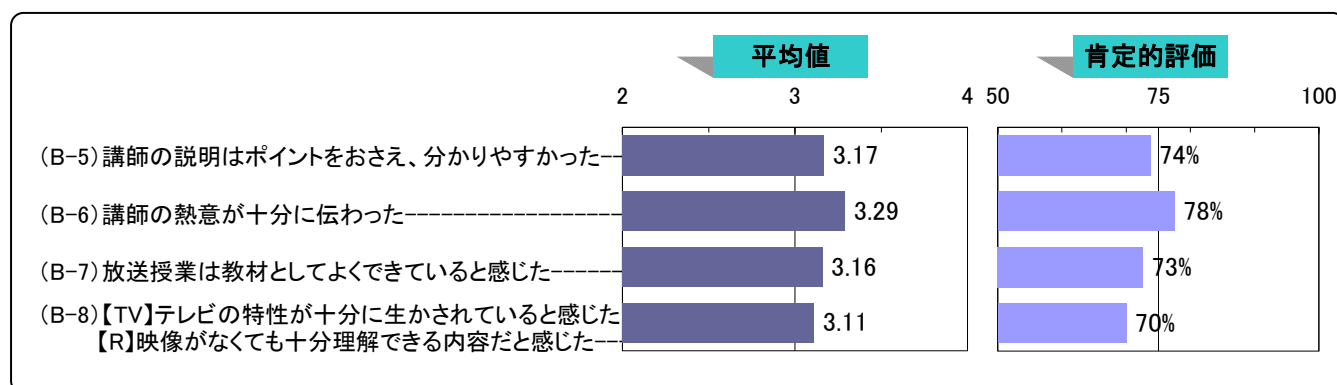


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは（図 2－30）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.29、肯定的評価 78%となっている。逆に最も低いのは、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」である（平均値 3.11、肯定的評価 70%）。(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は、まずまずの評価と言える。

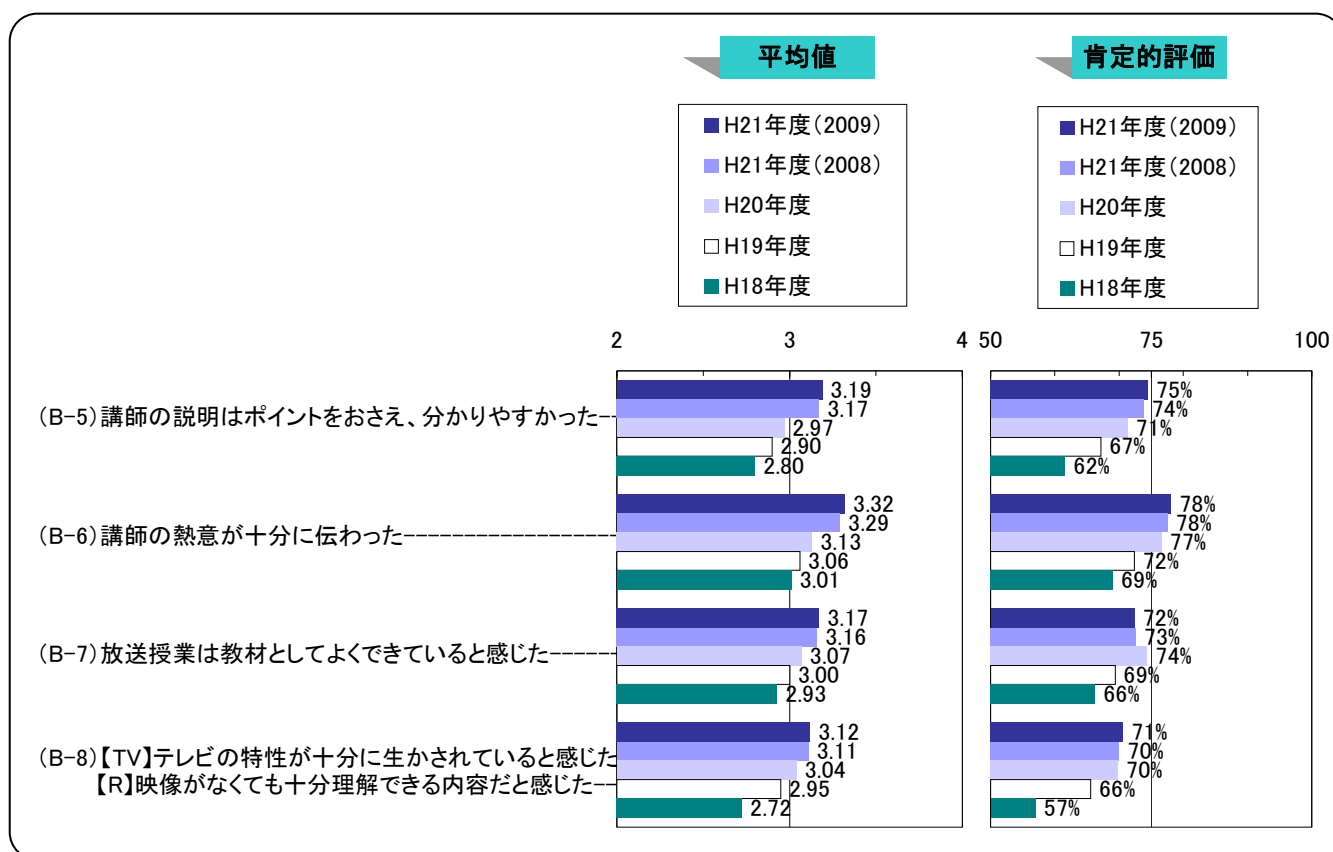
図 2－30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図 2－3 1）、いずれの評価項目も年々評価が向上している。特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、過去 5 年間で評価が大きく向上しており、講師の説明方法や映像の特性を生かした授業、映像がなくても理解できる説明方法などの改善効果があったものと言えよう。

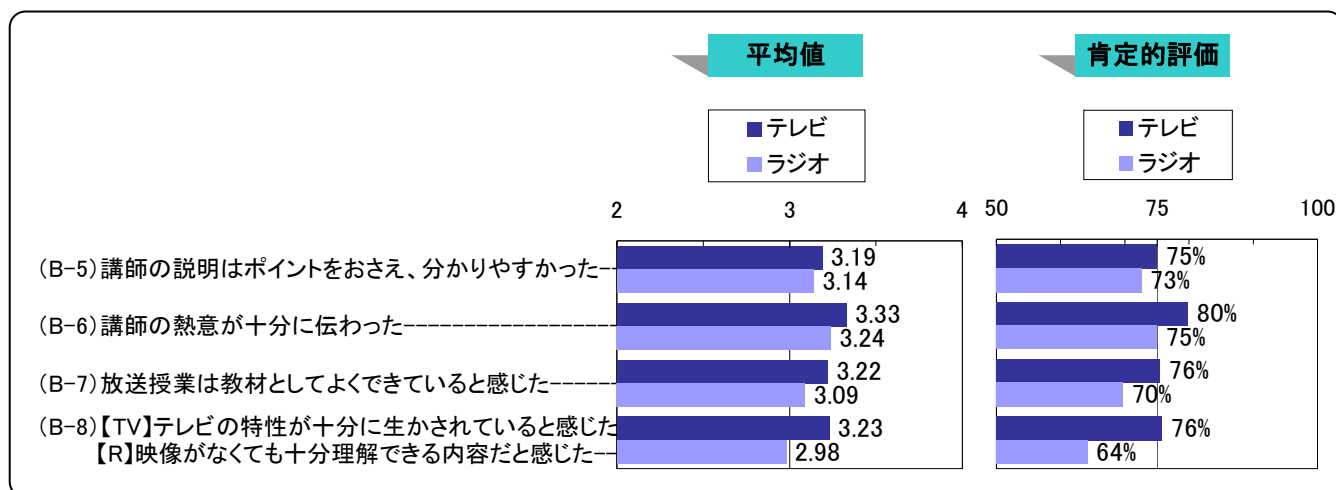
ただ（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の肯定的評価は、平成 20 年度調査（2007 年度新規開設科目）以降、あまり伸びていないため、さらに改善を工夫する必要がある。

図 2－3 1 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図 2－3 2）、いずれの評価項目もテレビ科目の方が、評価が高い。ラジオ科目は特に（B-8）「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価が低く、さらに（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」という放送授業としての総合評価もやや低くなっている。今後、さらに分かりやすさの向上を追及する必要がある。

図 2－3 2 【学部】メディア別の放送授業の評価



さらに、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図 2－3 3）、テレビ科目では、いずれの項目も平成 20 年度調査（2007 年新規開設科目）までは、年々評価が上がってきていたが、それ以降はあまり向上していない。特に（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」という総合評価や、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた」は、評価が下がりつつあり、今後改善に注力する必要がある。

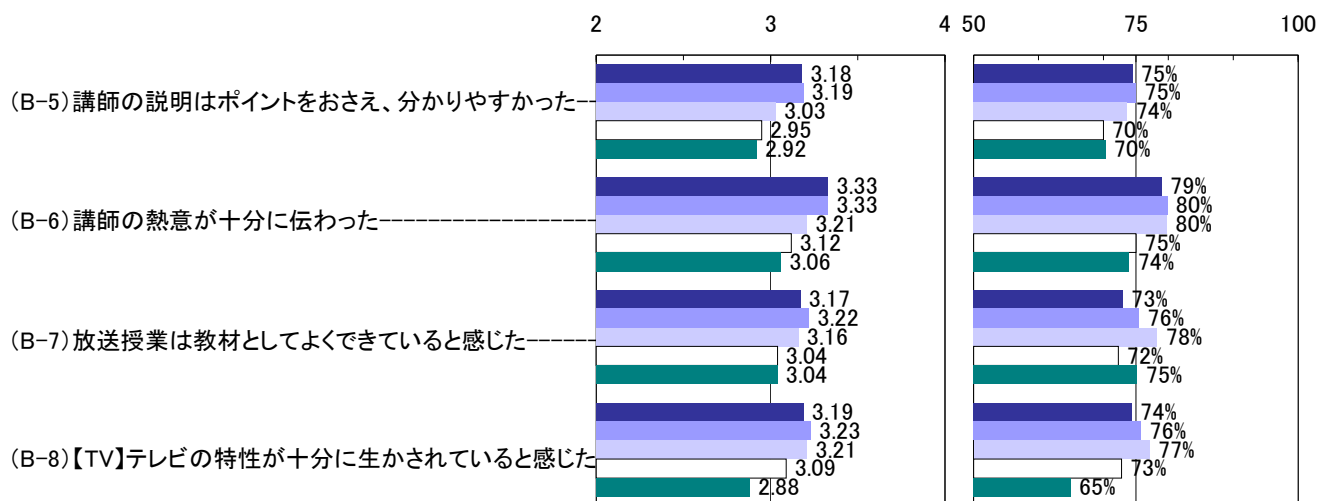
一方、ラジオ科目は、いずれの項目も年々評価が上がっている。ただし、先に見たように、テレビ科目と比べるとまだ評価が低く、今後も改善を工夫していくべきであろう。

図 2-3-3 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）

テレビ

平均値

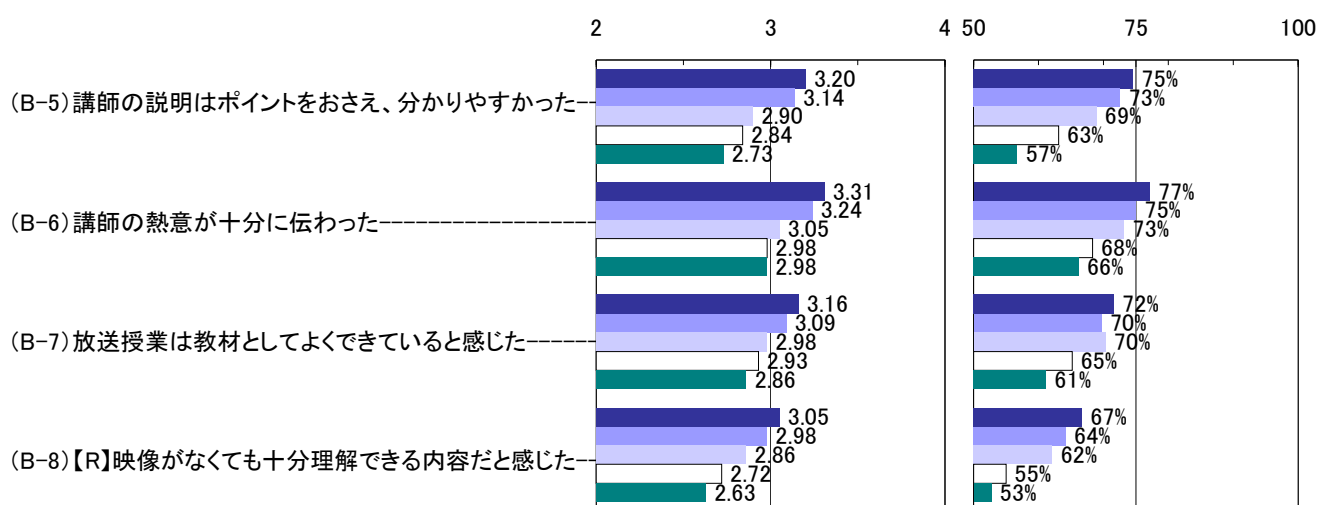
肯定的評価



ラジオ

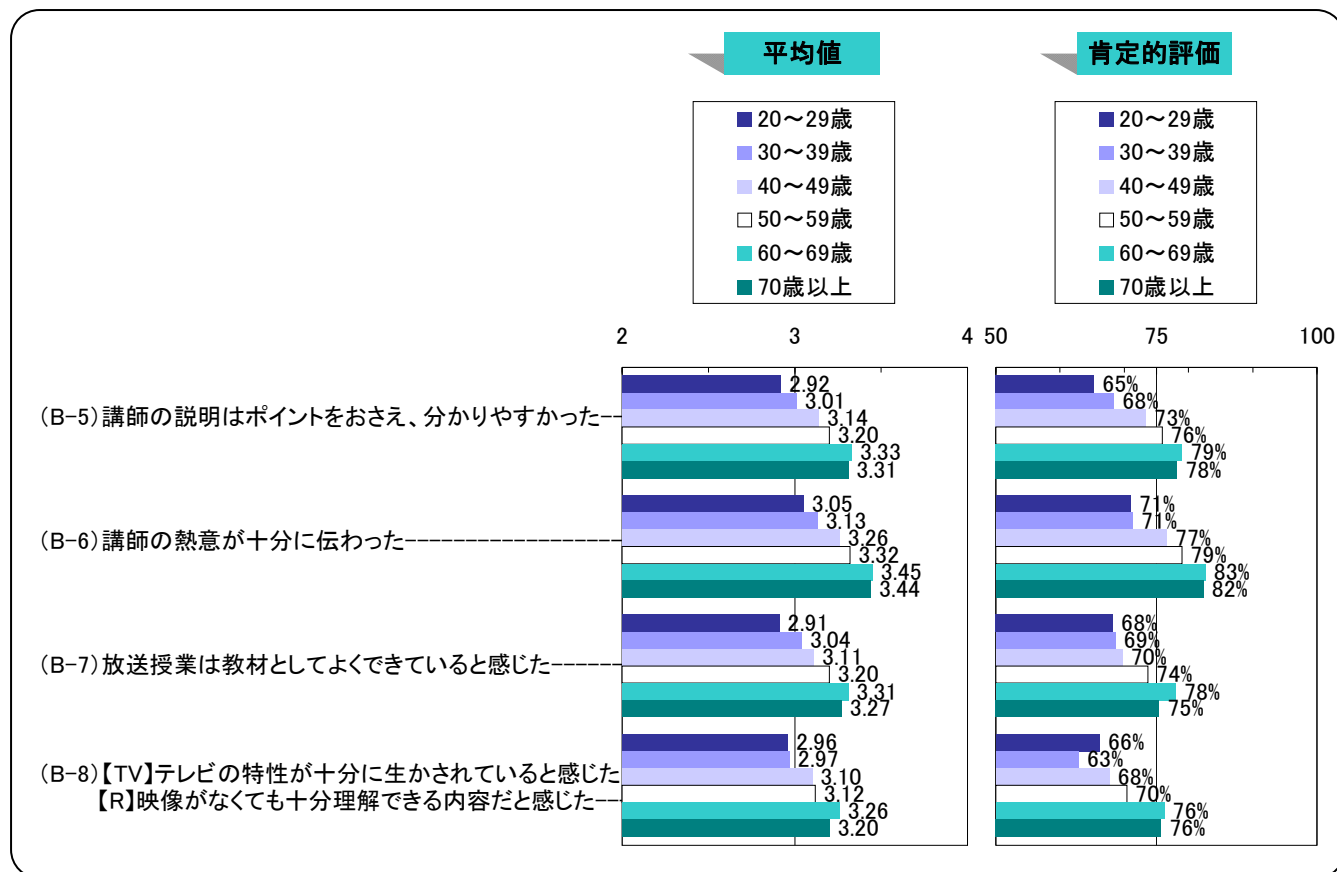
平均値

肯定的評価



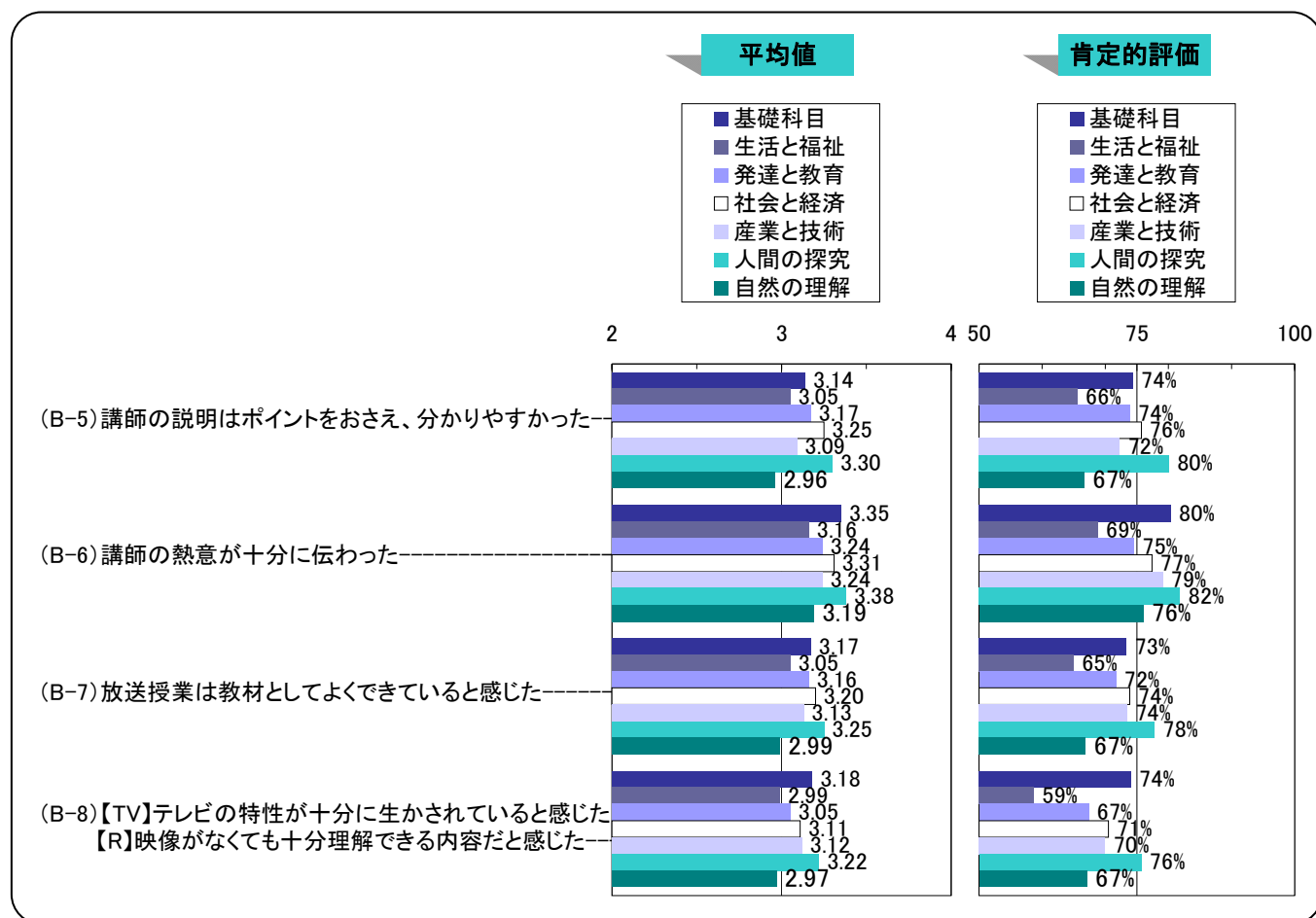
年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図２－３４）、いずれの項目も、年配層ほど評価が高くなっている。

図２－３４ 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属専攻別に放送授業の評価を見ると（図２－３５）、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「人間の探究」が最も評価が高く、次いで「基礎科目」「産業と技術」「社会と経済」などが高くなっている。逆に「生活と福祉」および「自然の理解」は評価がやや低い。なお、「基礎科目」は、難易度や分量では評価が低かったが、放送授業では比較的高い評価を得ている。

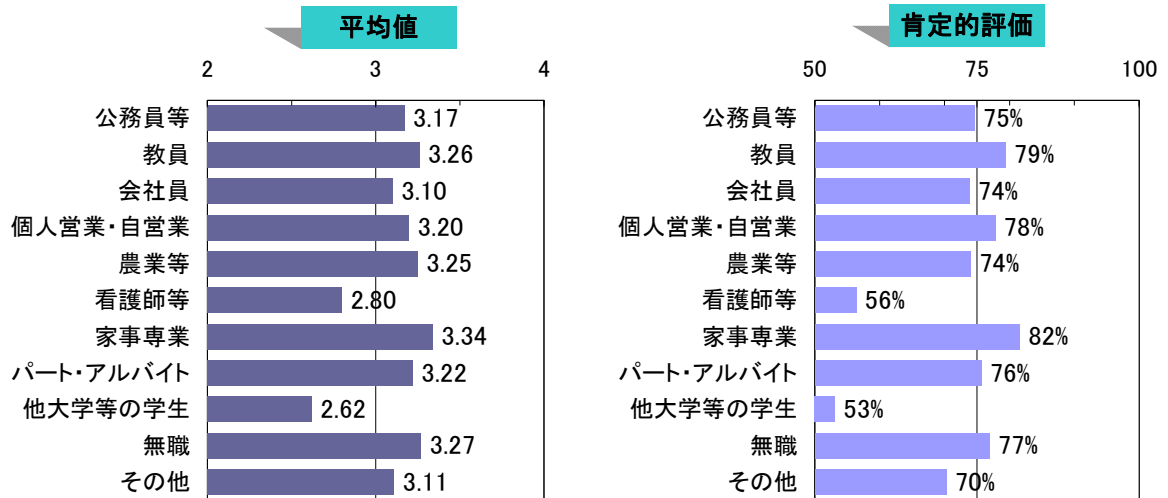
図２－３５ 【学部】所属専攻別の放送授業の評価



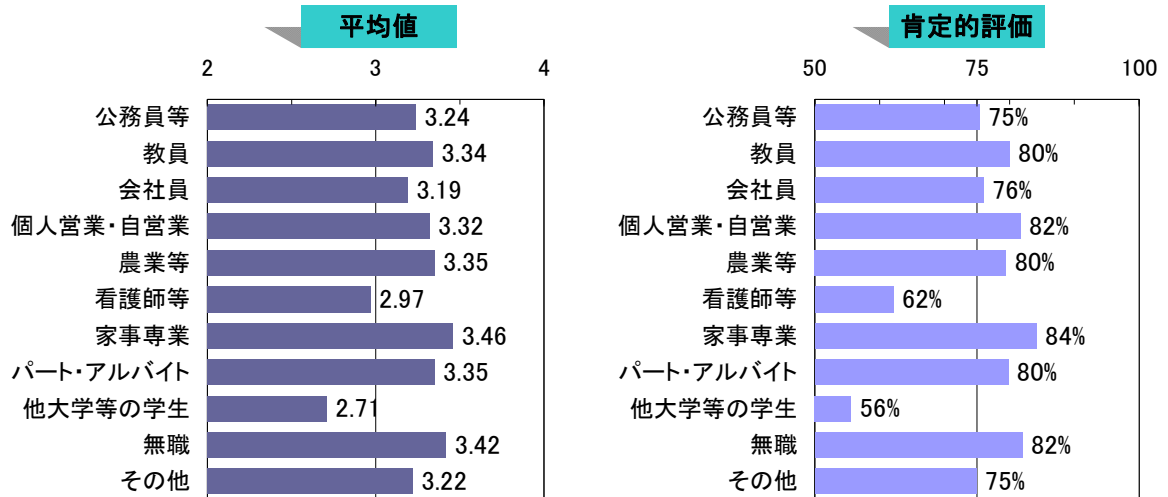
職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図２－３６）、家事専業、無職、個人営業・自営業、教員などの評価が高く、他大学等の学生、看護師等の評価が低くなっている。これは満足度とほぼ同様の結果である。

図 2 - 3 6 【学部】職業別の放送授業の評価

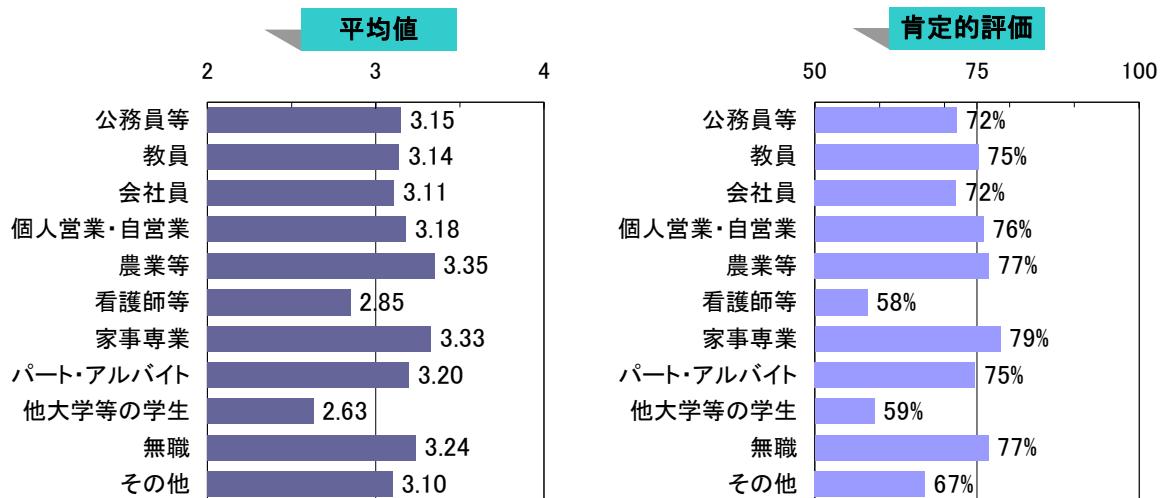
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった



(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた

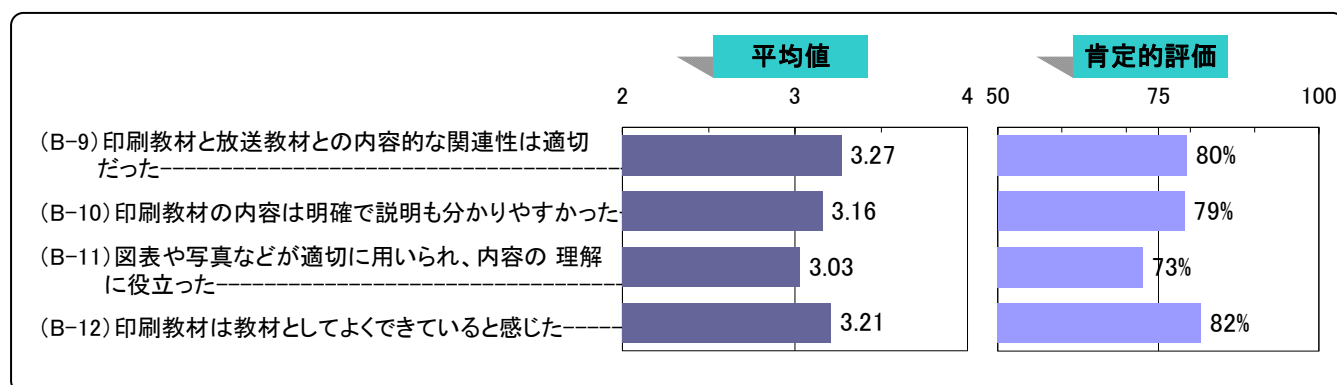


（４）印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

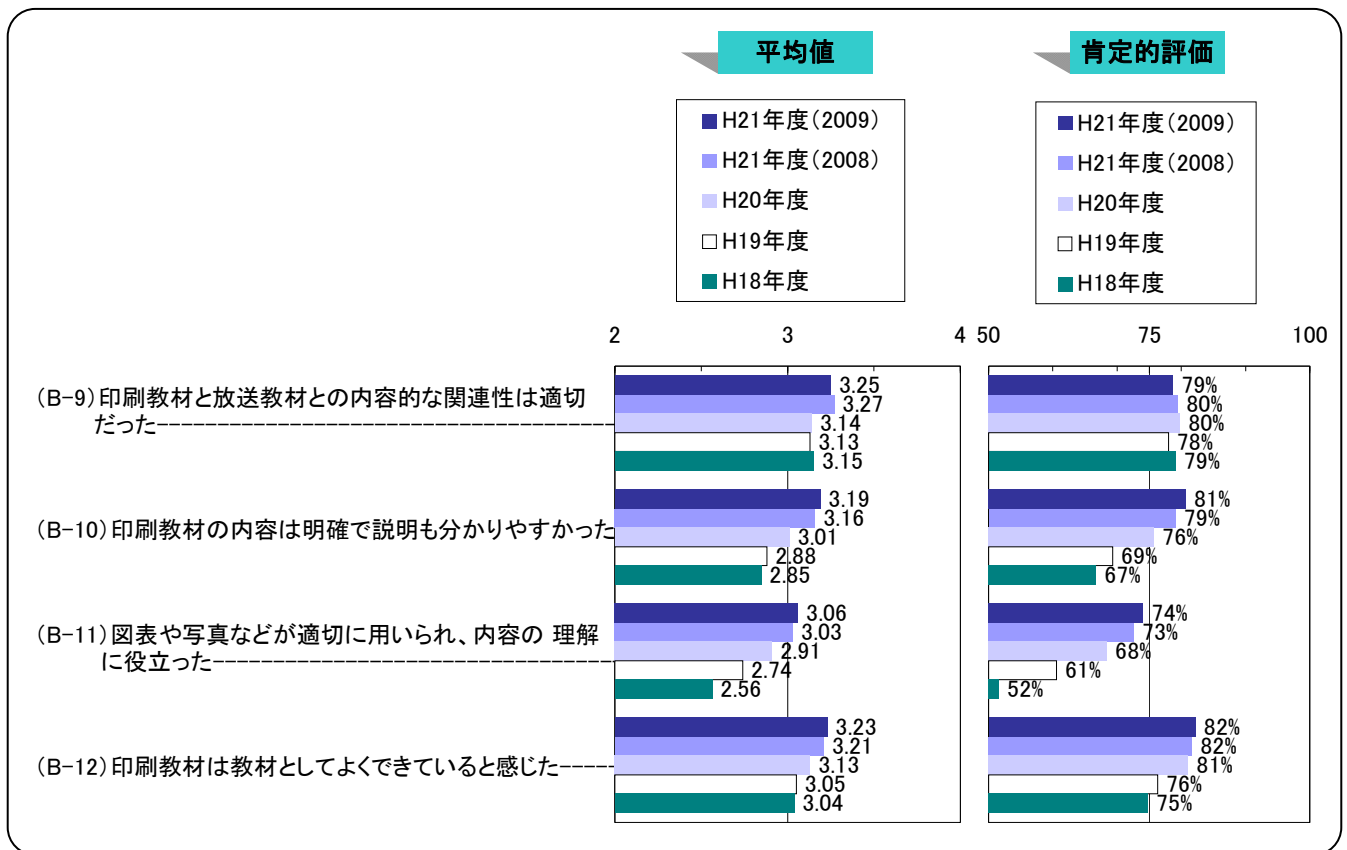
印刷教材の評価項目では（図２－３７）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と、印刷教材の総合評価とも言うべき(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の評価が高くなっている。逆に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。図表や写真などをさらに有効に取り入れることが必要と言える。

図２－３７ 【学部】回答者全体の印刷教材の評価



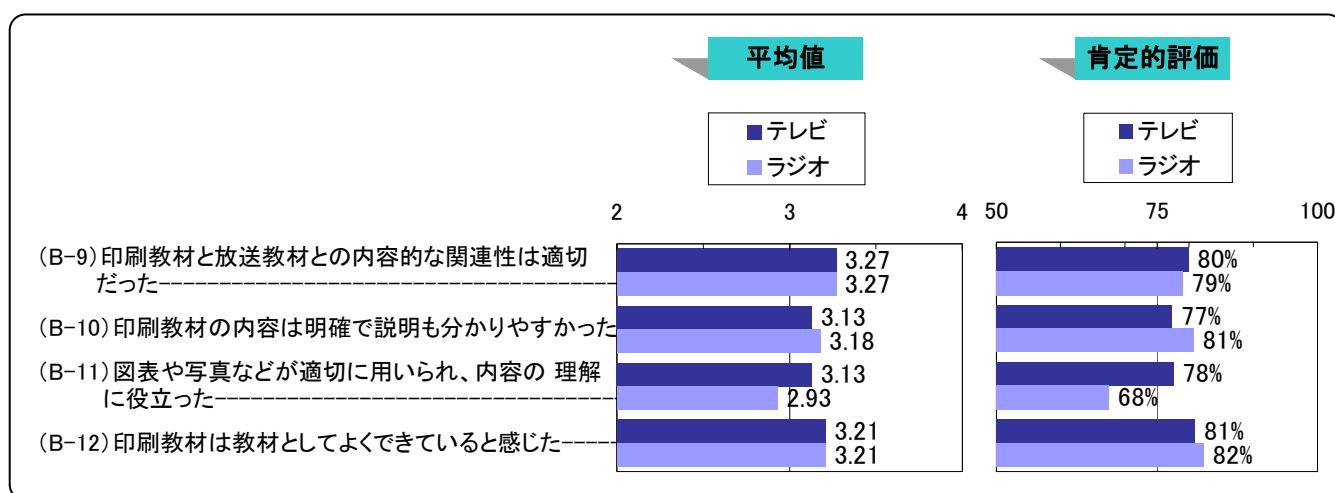
印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図２－３８）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、年々評価が高まっており、改善の効果が現れている。そのため総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」も徐々に評価が上がっている。しかし(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、もともと評価が高かったこともあり、評価はあまり変化していない。

図 2 - 3 8 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図２－３９）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、あまり差は見られない。しかし（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、ラジオ科目の評価が低くなっており、放送授業において映像のないラジオ科目では、印刷教材でそれを補完するために、さらに多くの図表や写真を用いる必要があると言えよう。なお、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、ラジオ科目の評価が高く、逆にテレビ科目の方に説明方法の工夫が求められる。

図２－３９ 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図２－４０）、テレビ科目では、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が年々向上しているが、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はあまり変化がなく、評価は改善されていない。（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」についても同様である。

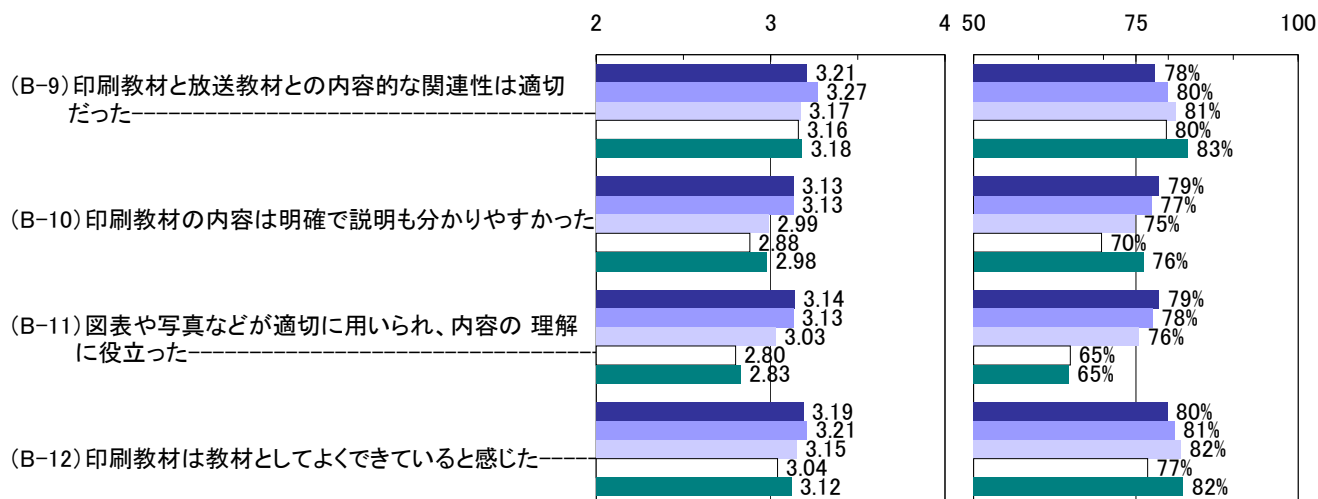
一方、ラジオ科目はいずれの項目も年々評価が高まっており、改善の効果が出ていると言える。とはいえ、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」はまだまだ評価が低い状態にあり、さらなる改善が求められる。

図 2 - 4 0 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）

テレビ

平均値

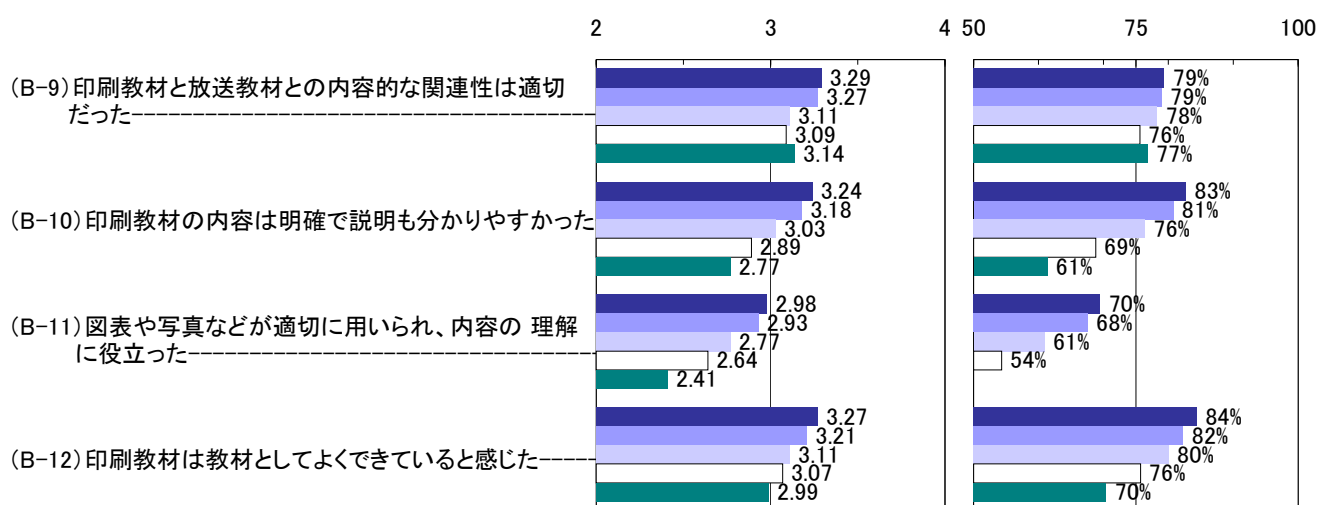
肯定的評価



ラジオ

平均値

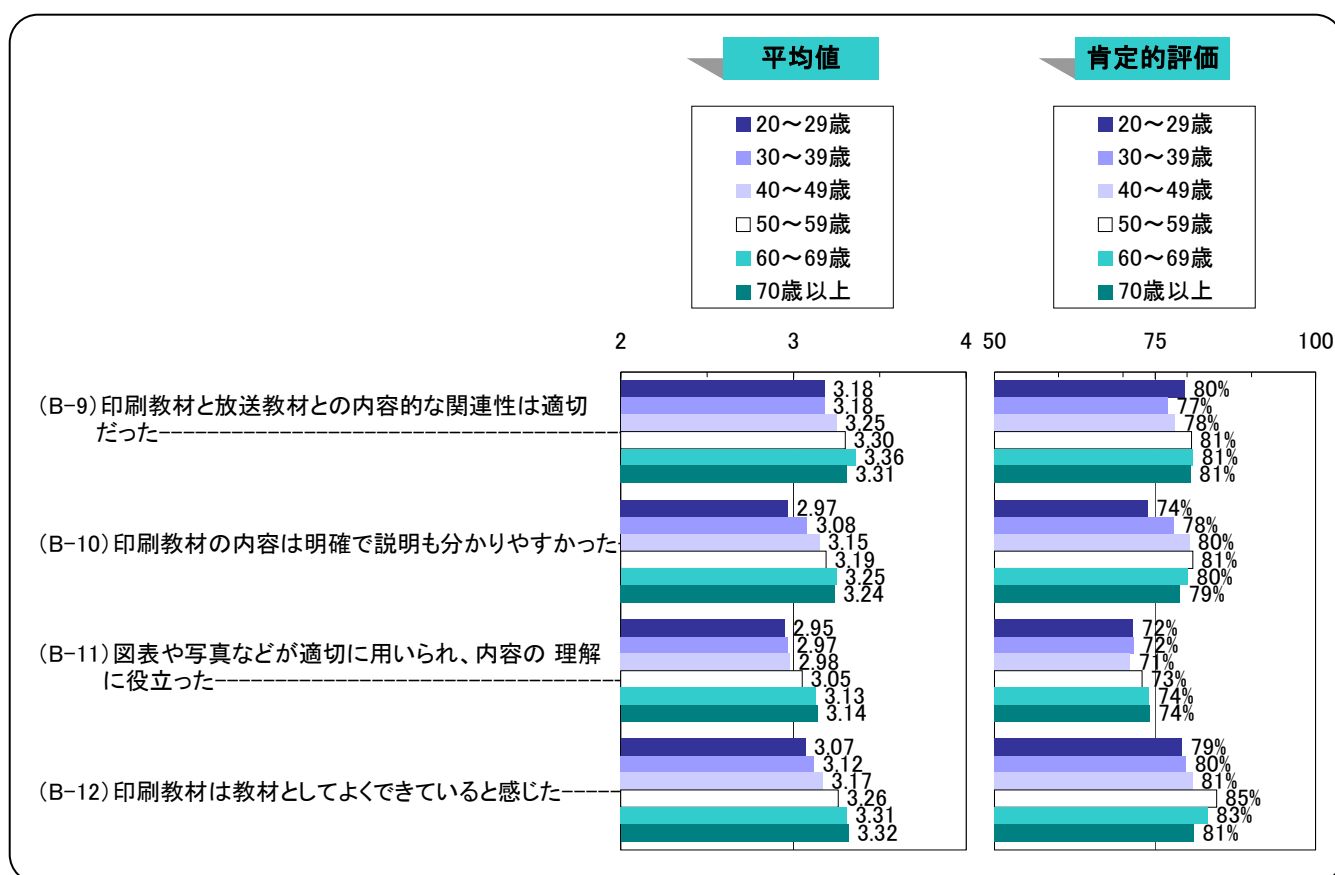
肯定的評価



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図２－４１）、ここでも平均値では年配層ほど評価が高い傾向が見られるものの、肯定的評価ではその傾向がやや異なっている。こうした違いがでるのは、肯定的評価の「あてはまる」と「ややあてはまる」のうち、年配層では「あてはまる」と回答した人が相対的に多いためである。

なお（Ｂ-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」や（Ｂ-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では５０歳代を中心に肯定的評価が高くなっている。

図２－４１ 【学部】 年齢階層別の印刷教材の評価

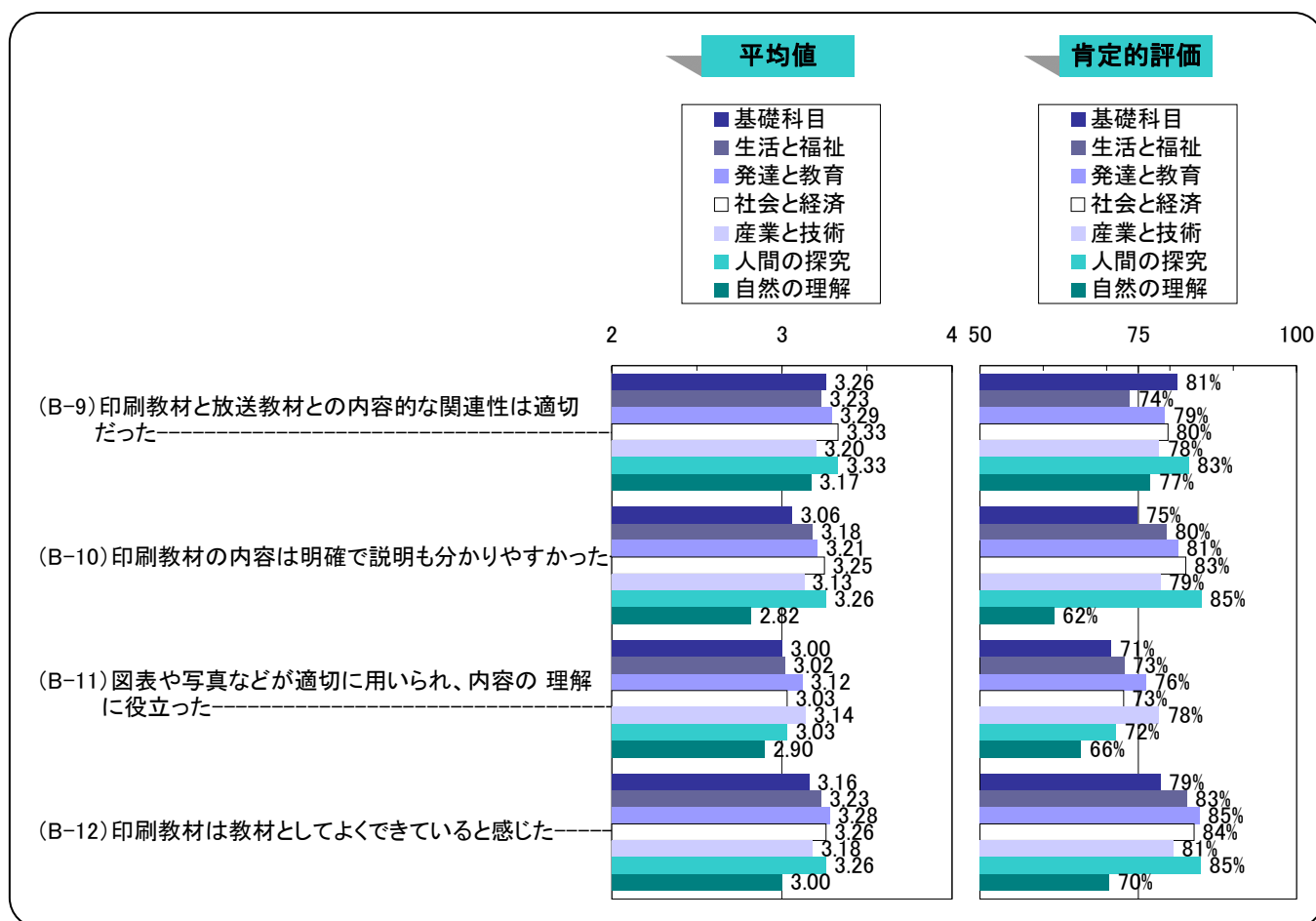


所属専攻別に印刷教材の評価を見ると（図２－４２）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「発達と教育」「社会と経済」「人間の探究」の評価が高く、「自然の理解」の評価が低い。（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」もほぼ同様の結果である。

「自然の理解」は、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が特に低く、説明方法の改善や図表・写真などの活用をすすめる必要がある。

なお、全体的に評価の低い（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、「産業と技術」及び「発達と教育」の評価が比較的高くなっている。

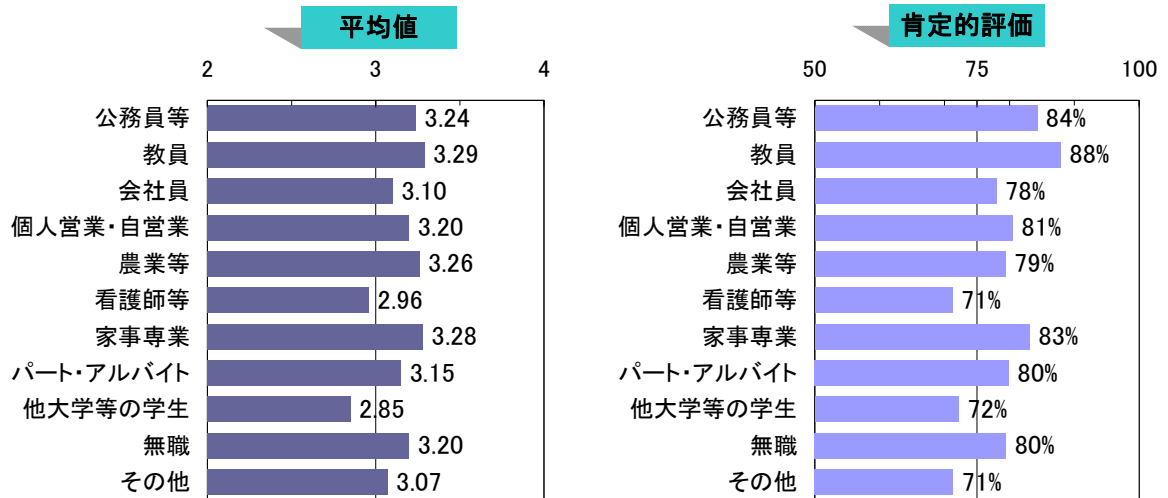
図２－４２【学部】所属専攻別の印刷教材の評価



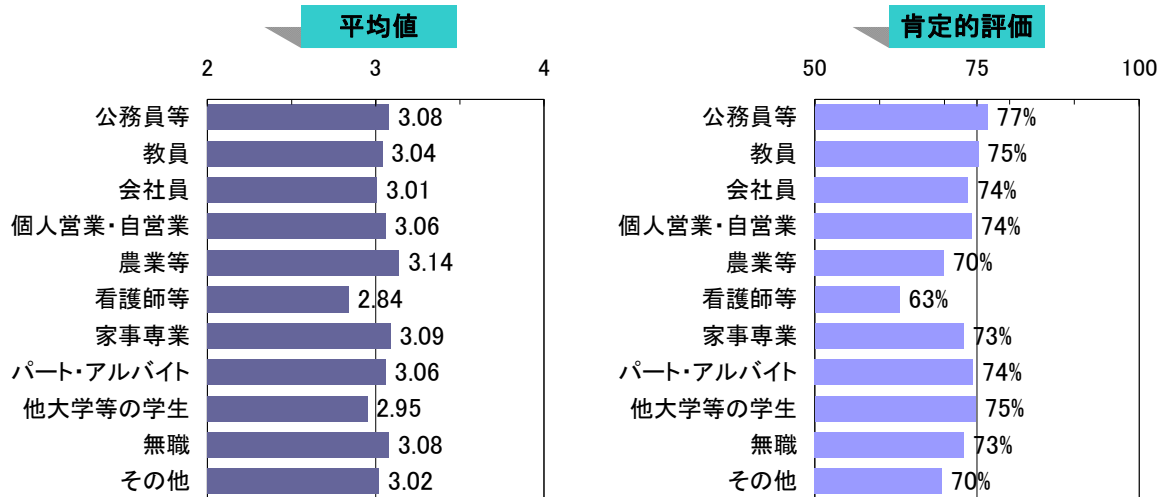
職業別に印刷教材の評価を見ると（次頁図２－４３）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、公務員等、教員、個人営業・自営業、家事専業、パート・アルバイト、無職の人で評価が高くなっている。また（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、公務員等、教員、家事専業の人の評価が高い。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

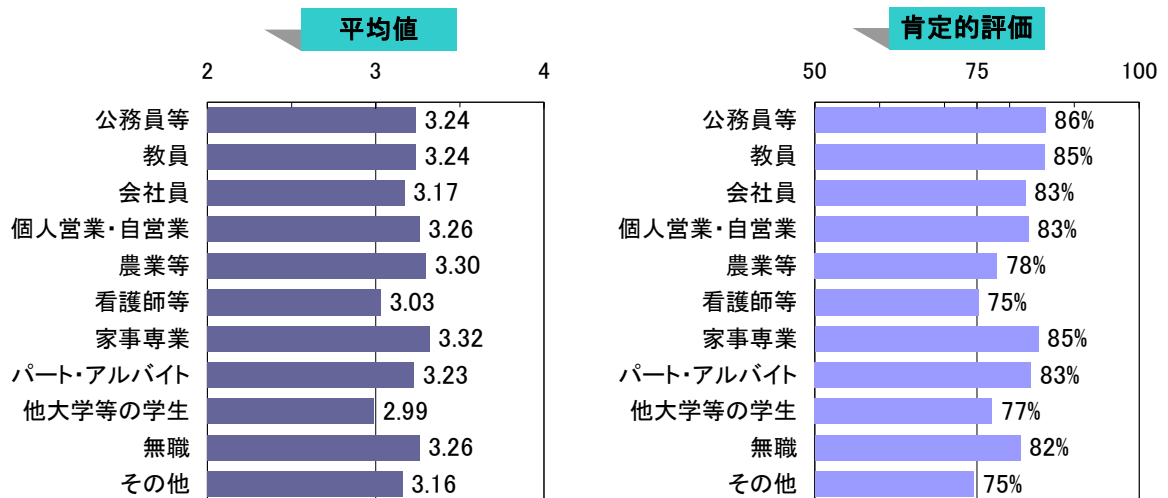
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた



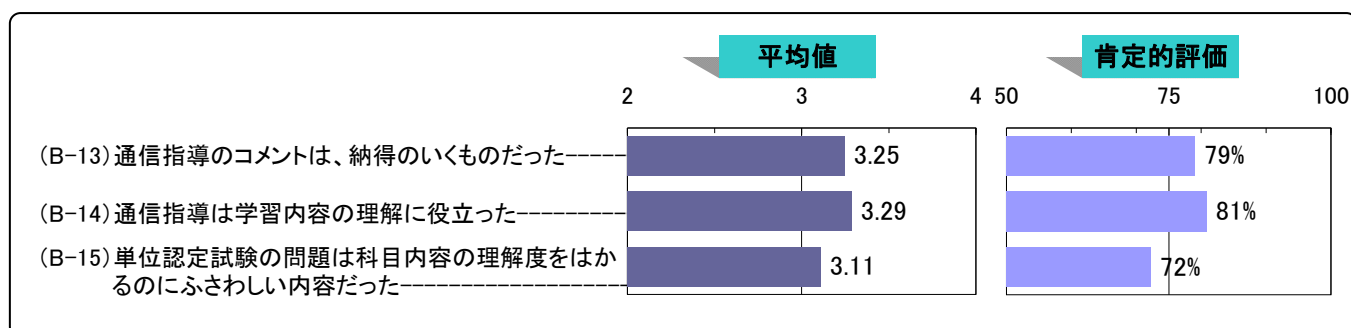
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.25、肯定的評価 79%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.29、肯定的評価 81%と、いずれも高い評価を得ている。

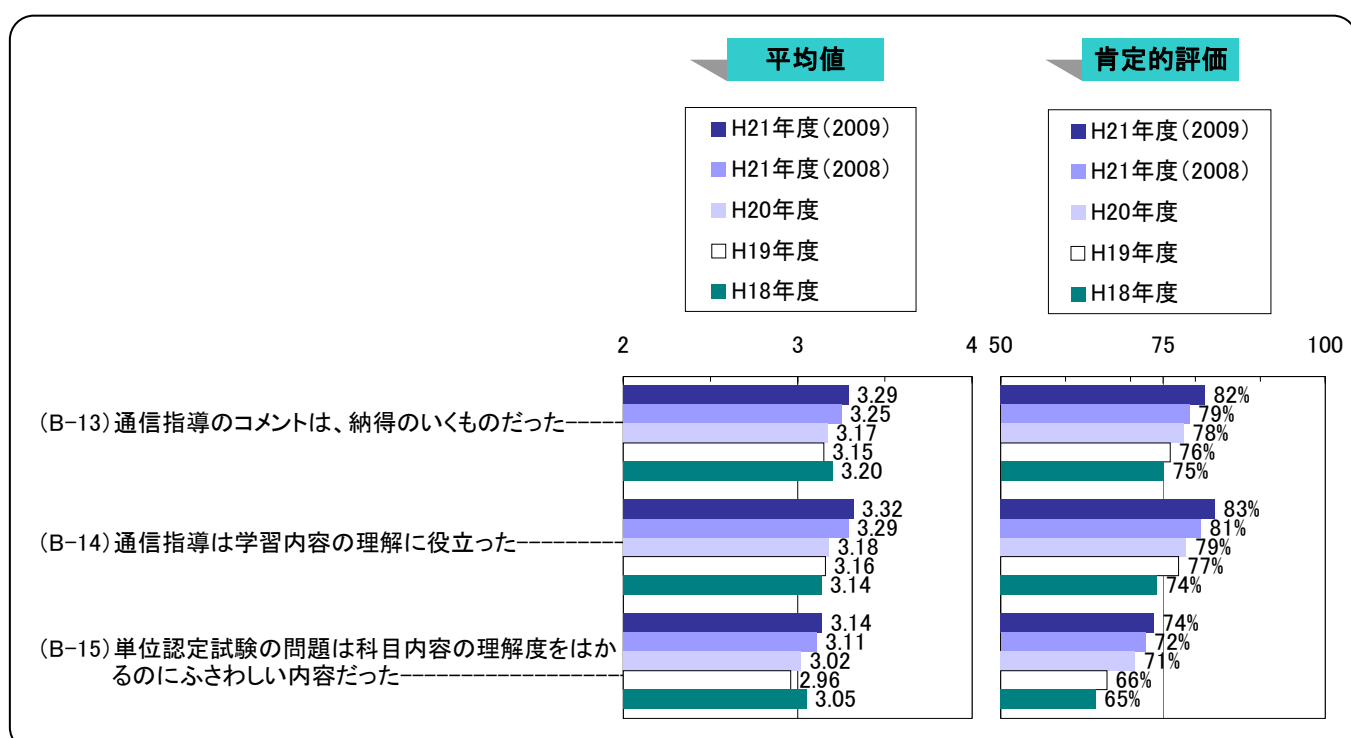
単位認定試験は通信指導よりやや評価が低いものの、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、平均値 3.11、肯定的評価 72%とまずまずの評価と言える。

図2-44 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-45)、いずれの評価項目も年々評価が上がっており、改善の効果が現れている。

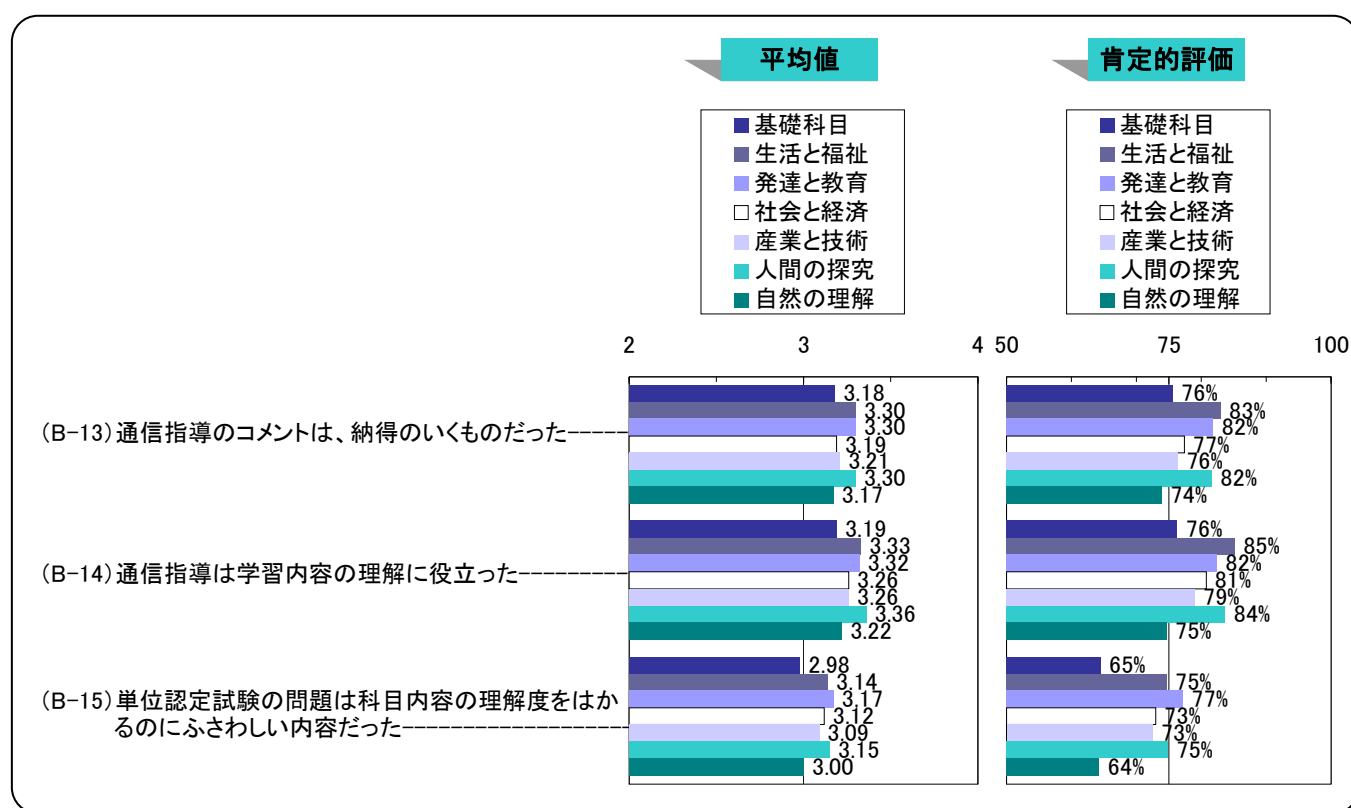
図2-45 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属専攻別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-46)、通指指導の(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」については、生活と福祉、発達と教育、人間の探究などの評価が高くなっている。

単位認定試験の(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」についても生活と福祉、発達と教育、人間の探究の評価が比較的高い。一方、基礎科目と自然の理解の評価は低く、単位認定試験のあり方について再考する必要があるだろう。

図2-46 【学部】所属専攻別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－１－４．参考

ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数（以下、相関係数）を用いた。相関係数は 1.0 から－1.0 までの値をとり、二つの変数間の変化のいわば「足並み」を示す指標である。それらが共変する場合（つまり片方の値が高ければもう一方も高く、低ければ低いという場合）は 1.0 に近づき、逆の変化をする場合は－1.0 に近づく。両者の変化に関係性がない場合は 0 に近づく。ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係（つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ）は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。ただ、総合的な評価は個別の評価を考慮し、総合してなされるであろうことは想像に難くない。そのことを前提として、総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

表 2－2 は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表 2－2 【学部】放送授業と各項目との単相関係数

	(A2)放送授業を十分に視聴した	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.400
(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.415	0.608
(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.430	0.613
(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.420	0.739
(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.448	0.694
(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.400	1.000
(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.354	0.643

これを見ると、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目との間では、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」を除いて、いずれも相関係数が 0.4 以上であり、相関が見られる。同様に（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）も相関係数 0.400 となっており、取組姿勢と放送授業の関係性が見て

取れる。つまり放送授業への取組姿勢のよい人は、放送授業の評価もよくなる傾向が見られる。これは取組姿勢のよい人は授業に真剣に向き合った結果、授業が理解しやすかったと考えることもできるし、授業がよくできていたために、取組姿勢がよくなったと考えることもできる。おそらく両方の効果が相互的に働いていると考えるのが妥当であろう。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)は、放送授業の各評価項目との相関係数がいずれも 0.6 以上と強い相関が見られる。これらのいずれの個別評価項目も、総合評価に影響を与えていることが推察されるが、なかでも最も強い影響を与えていると考えられるのが、相関係数 0.739 と最も高い (B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」である。次いで (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数 0.694 と高くなっている。したがって、総合評価を高める上では、こうした講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が特に重要であると言える。

次いで、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢) 及び (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価) の相関係数を見たのが表 2-3 である。

表 2-3 【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教材を熱心に学習した	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.327
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.351	0.600
(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.335	0.579
(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.271	0.580
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.339	0.753
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.278	0.703
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.327	1.000

これを見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢) と印刷教材の各評価項目は、放送授業における関係ほど相関係数は高くない(相関係数 0.3 以上の項目もあるので、まったく相関がないというわけではない)。つまり印刷教材の場合、印刷教材の評価が多少低くても熱心に取り組んでいる学生がいることを示しており、放送授業とはまた違った関係が見て取れる。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)

は、印刷教材の各評価項目と比較的強い相関が見られる。特に相関係数が高いのは、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」である。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用することが重要であると言える。

さらに(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表2-4である。

まず、全体的な熱心度(取組姿勢)と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は理解度と0.471、満足度と0.439の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間の相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は0.778と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いということを実証しているものと言える。

次に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数0.691と最も相関が高く、次いで(A-2)「放送授業を十分に視聴した」、さらに全体評価の(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-18)「新しい知識が身につiki視野が広がった」との相関が見られる。全体的な熱心度は、印刷教材や放送授業にどれだけ熱心に取り組んだかということだけでなく、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につiki視野が広がるものであったかどうかとも重要な要因になっていることが分かる。

また(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と各評価項目の相関を見ると、いずれの評価項目とも相関が見て取れる。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につiki視野が広がった」と強い相関が見られる。理解度は、教材の分かりやすさだけでなく、熱心度と同様、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につiki視野が広がるものであったかどうかと関係していることが言える。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見ると、これも各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)

「新しい知識が身につく視野が広がった」である。満足度を高める上で、放送授業の分かりやすさ、印刷教材の難易度や出来栄え、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得という点が、特に重要な要素となっている。

表 2 - 4 【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.471	0.439
	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.589	0.310	0.288
	(A3)印刷教材を熱心に学習した	0.691	0.422	0.371
授業の難易度・分量	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.400	0.560	0.569
	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.368	0.512	0.530
	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.367	0.598	0.607
	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.344	0.546	0.565
放送授業	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.375	0.558	0.609
	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.365	0.443	0.526
	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.341	0.506	0.573
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.299	0.451	0.474
印刷教材	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.336	0.478	0.525
	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.360	0.623	0.642
	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.315	0.496	0.536
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.331	0.571	0.646
単位認定試験	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.282	0.449	0.500
	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.301	0.485	0.532
	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.287	0.525	0.583
全体評価	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.329	0.536	0.576
	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.464	0.653	0.756
	(B18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.434	0.623	0.701
	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.471	1.000	0.778
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.439	0.778	1.000

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

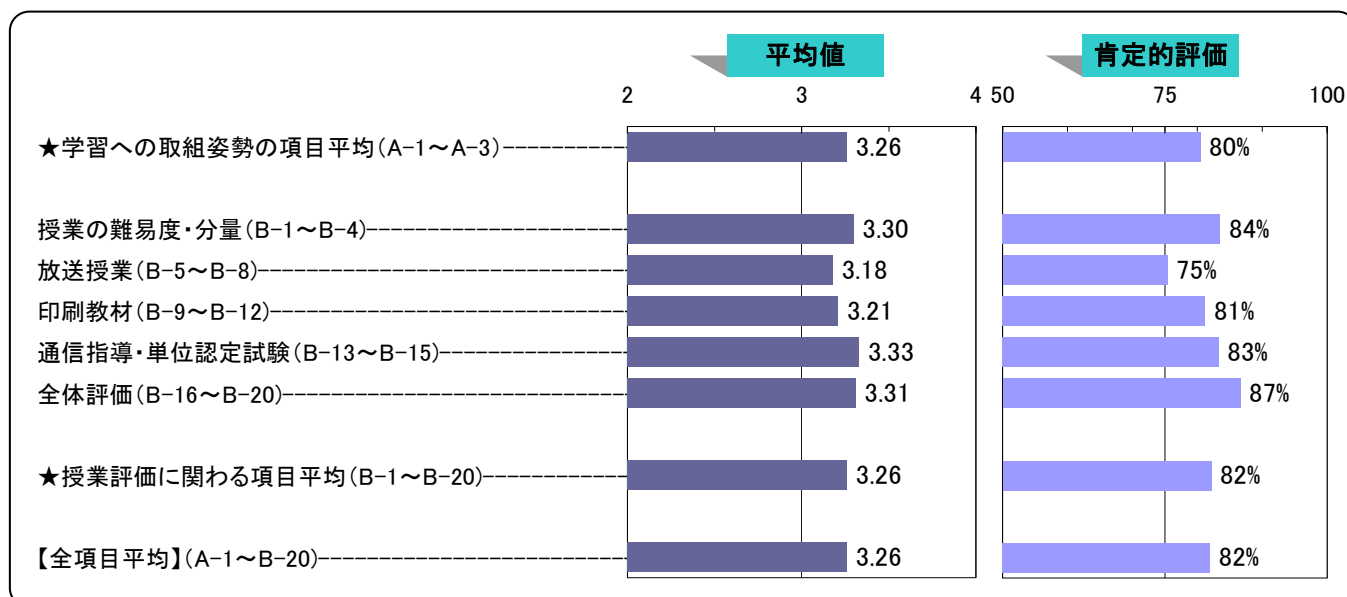
ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図２－４７である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、放送授業は学部とほぼ同じ評価だが、それ以外はいずれも学部より評価が高くなっている。肯定的評価は、放送授業を除いて 80%以上と高く、学部生よりも取組姿勢がよく、授業評価も高いのが特徴である。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.26、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）80%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.26、肯定的評価 82%と高い値を示している。学部と同様、熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も高いと言える。

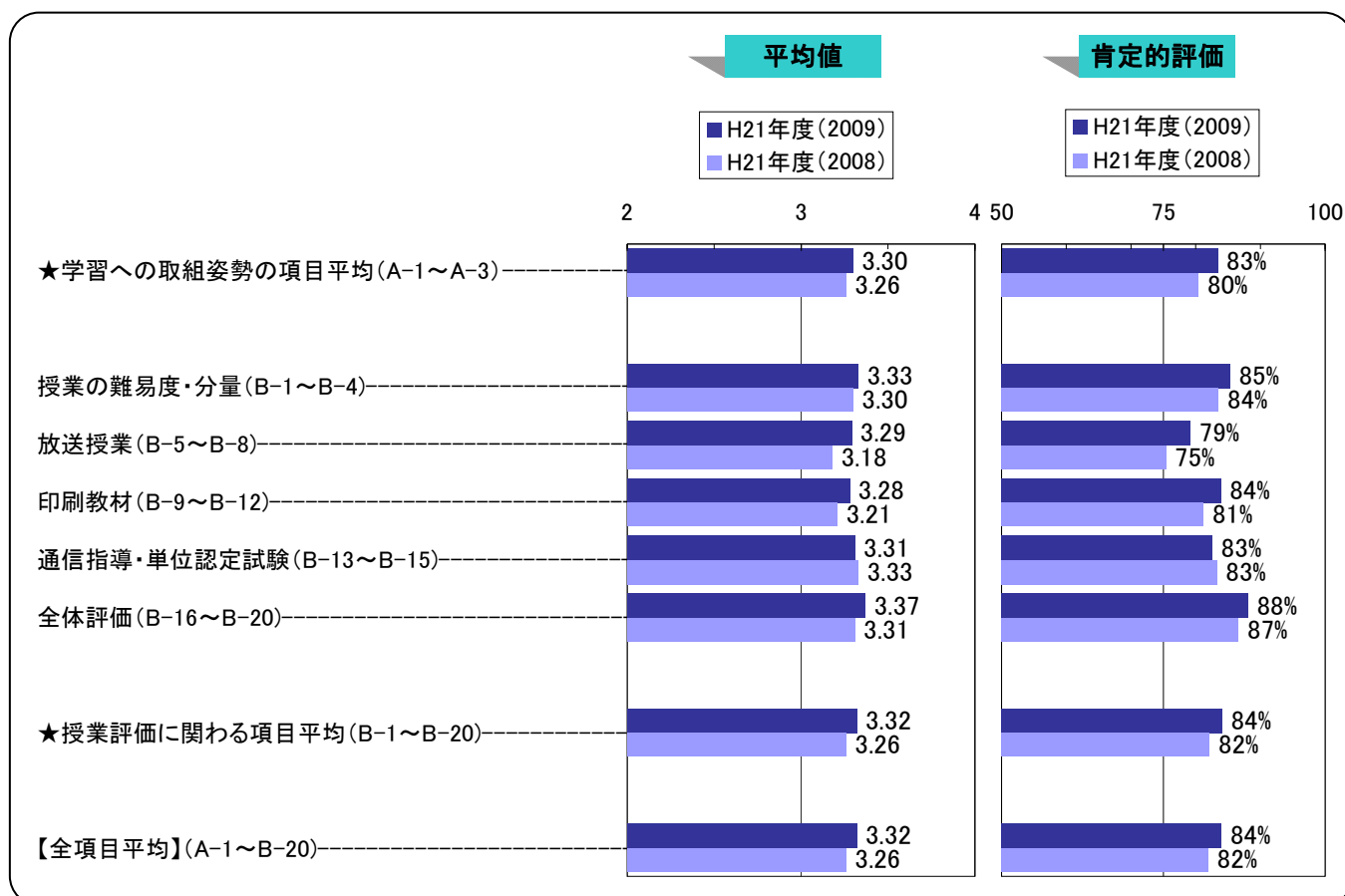
『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとにみると、『全体評価』は平均値 3.31、肯定的評価 87%と評価が高くなっている。逆に『放送授業』は肯定的評価をしている人が、他の内容より少なく、今後の改善ポイントと言える。

図２－４７ 【大学院】項目平均による全体的傾向



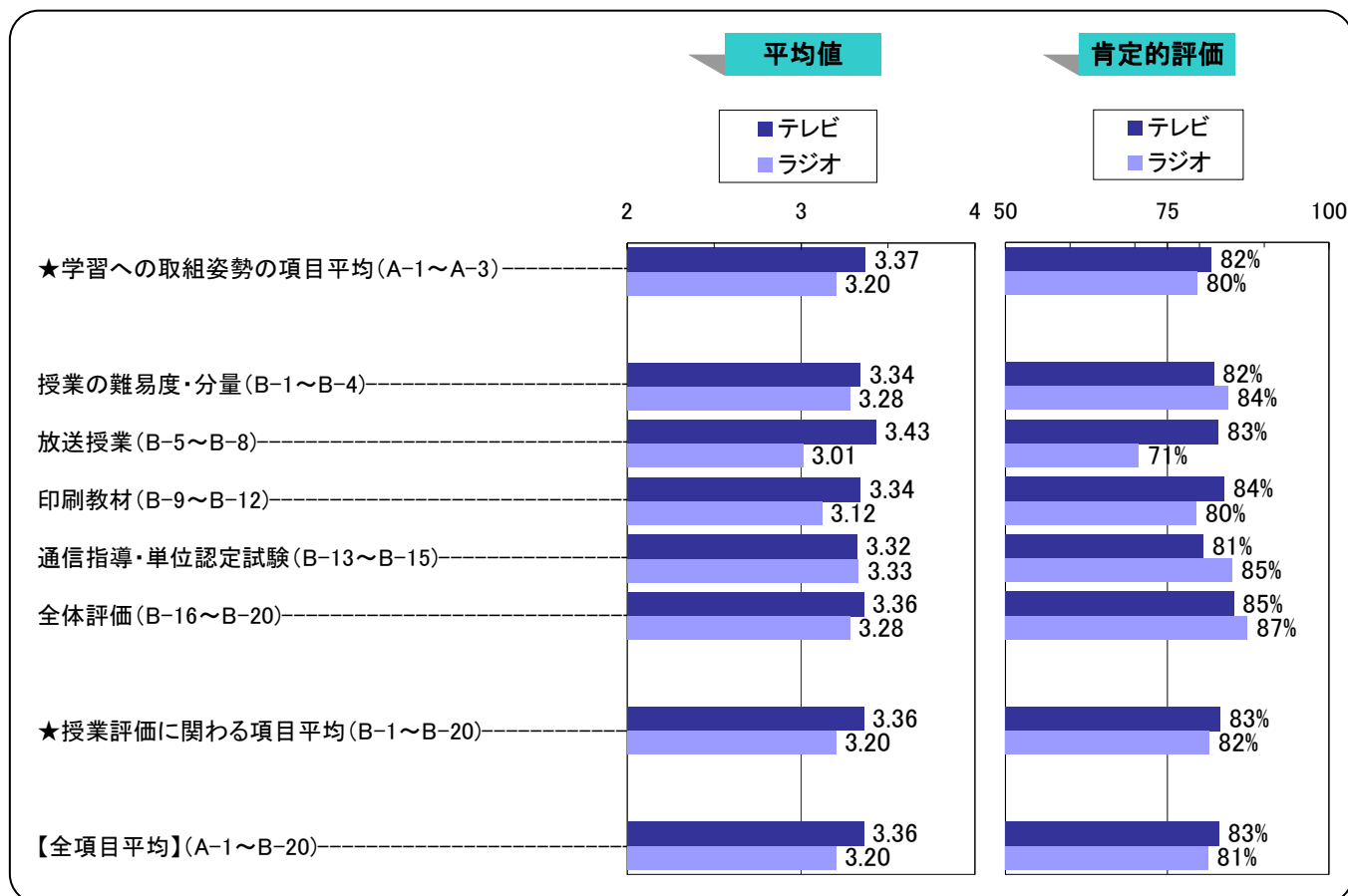
項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図２－４８）、2009 年度新規開設科目は、『通信指導・単位認定試験』を除いて、2008 年度新規開設科目に比べいずれの内容でも僅かずつ評価が上がっている。特に『授業評価』の平均が最も向上しており、改善の効果が见られる。

図２－４８ 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2008 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると（図 2－49）、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』ともテレビ科目の方が、評価が高くなっている。さらに『授業評価に関わる項目平均』の内容ごとに見ると、特に『放送授業』の評価はラジオ科目の評価が低く、テレビ科目との差が大きくなっている。『印刷教材』についても、テレビ科目の方が、評価が高いが、『授業の難易度・分量』、『通信指導・単位認定試験』、『全体評価』は、肯定的評価ではラジオ科目の方が、評価が高い。

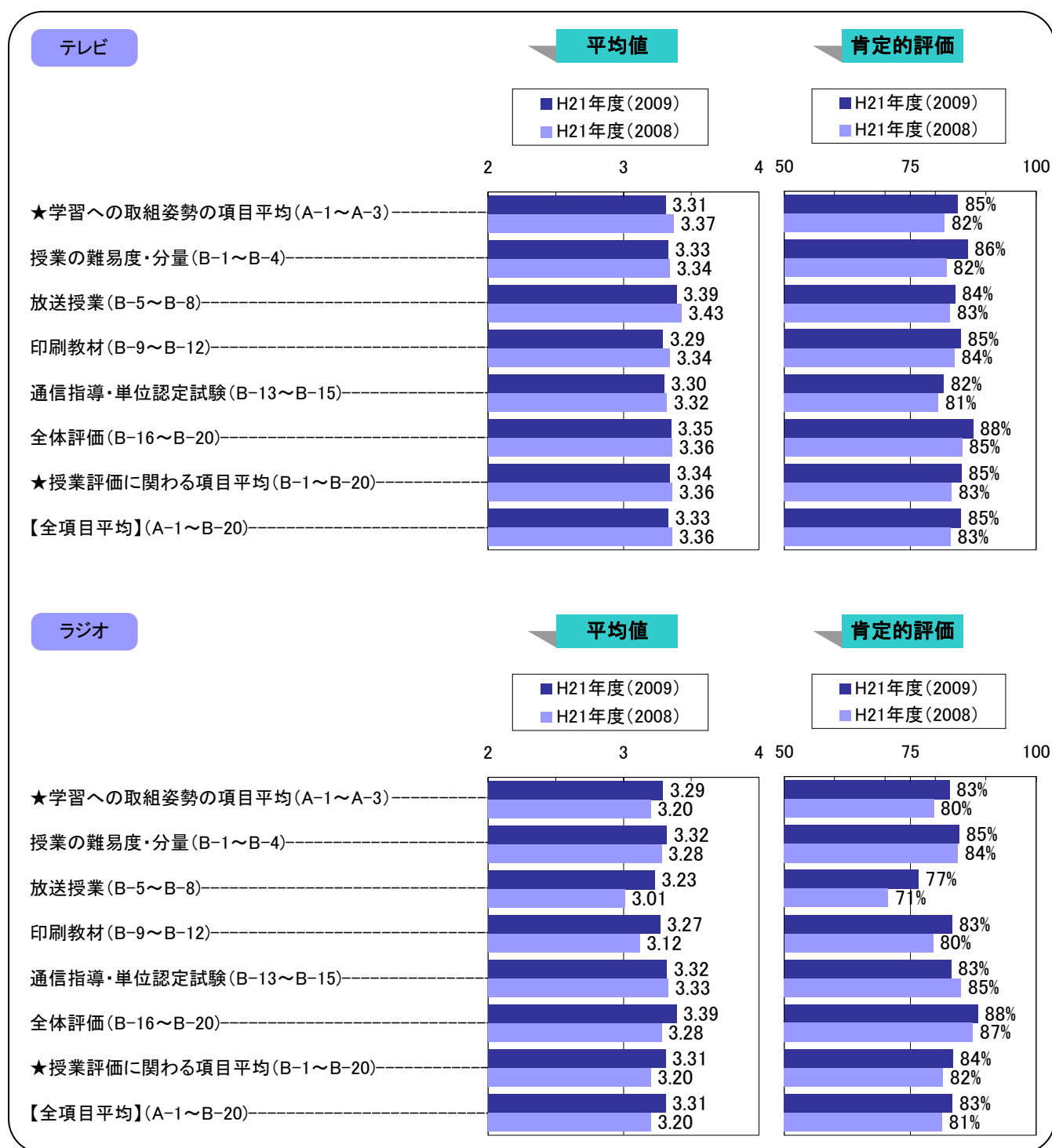
図 2－49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると（図2-50）、テレビ科目は、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業の難易度・分量』、『全体評価』の肯定的評価が向上しているが、それ以外の変化は少ない。

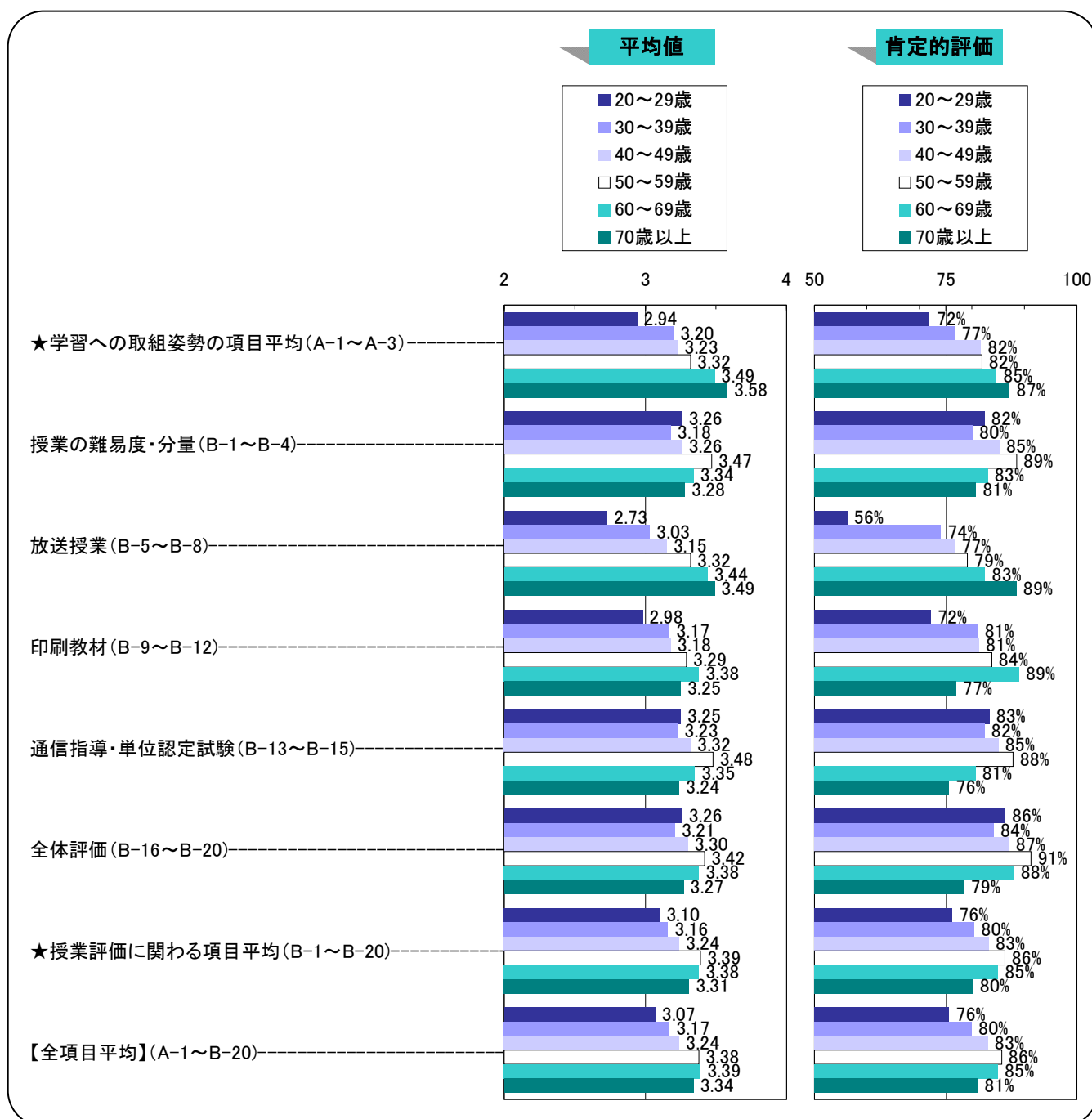
一方、ラジオ科目では、『学習への取組姿勢の項目平均』や、評価の低い『放送授業』、『印刷教材』の評価が向上している。

図2-50 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



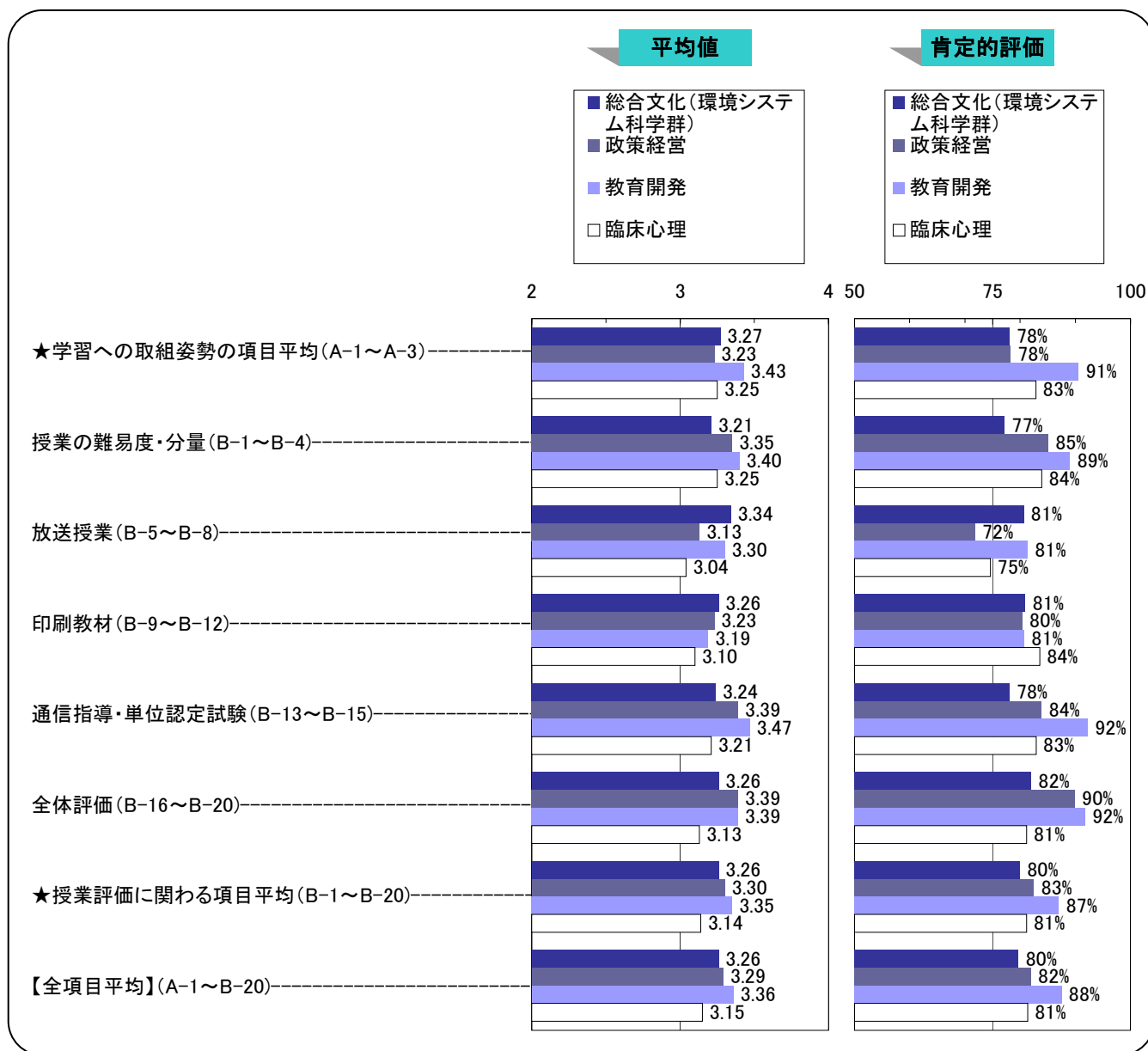
回答者の年齢階層別に 2008 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2－5 1）、『学習への取組姿勢の項目平均』は年配層ほど値が高くなっているが、『授業評価に関わる項目平均』は 50 歳代が最も評価が高く、それより若年層あるいは高齢者になるにしたがって評価が低くなっている。放送授業の内容ごとの項目平均では、『放送授業』は年配層ほど評価が高くなっているが、『授業の難易度・分量』、『通信指導・単位認定試験』、『全体評価』は 50 歳代の評価が最も高い分布となっている。学部とはやや異なる評価分布となっており、取組姿勢と授業評価の関係が学部に比べやや薄い可能性がある。

図 2－5 1 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると（図2-52）、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』とも「教育心理」の評価が高くなっている。ただし、今回の調査対象は、各プログラムの対象科目数が少なく（1科目のプログラムが2つもある）、プログラムの評価というより、科目の評価という性格が強く出ているため、プログラム別の分析は参考にとどめる必要がある。

図2-52 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

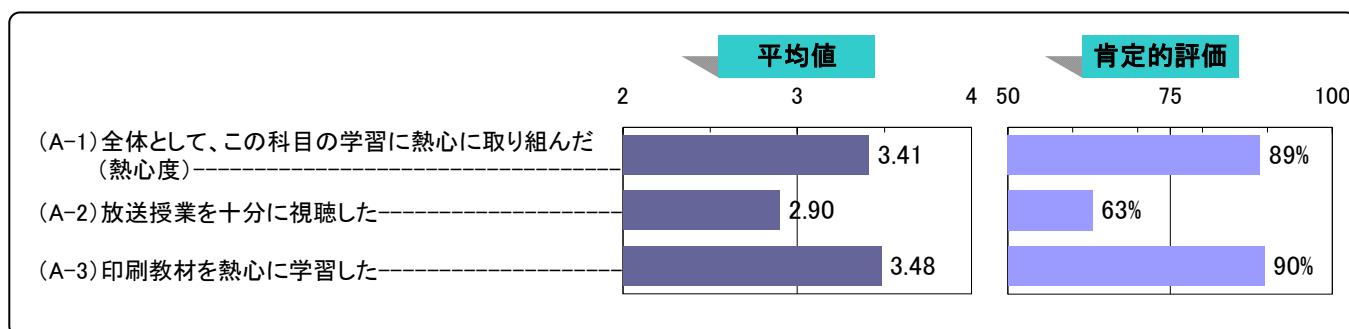


Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

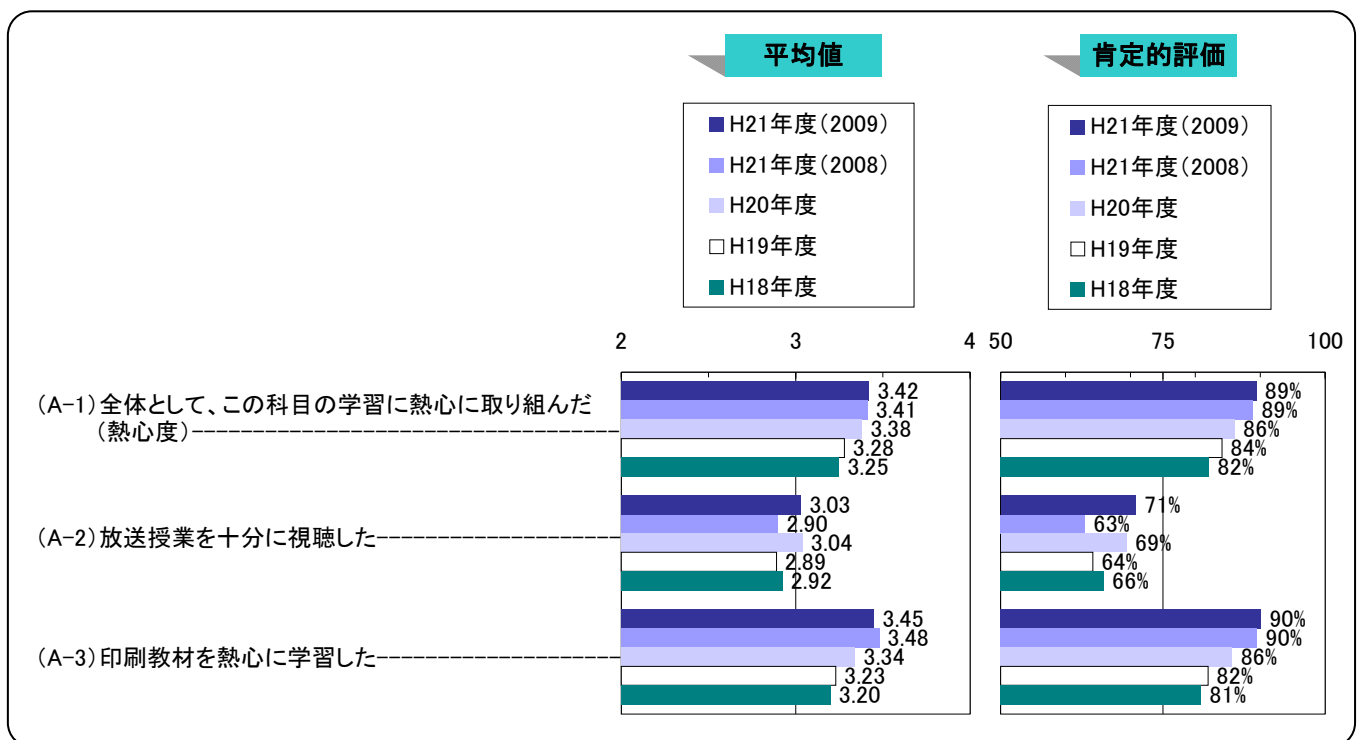
学習への取組姿勢（図２－５３）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.41、肯定的評価 89%と熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.48、肯定的評価 90%と非常に高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.90、肯定的評価 63%と低くなっている。大学院は学部より全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、放送授業に関しては学部と同様、十分に視聴したという人の割合は低く、学習には熱心に取り組んでいるものの、印刷教材中心の学習となっている。

図 2－53 【大学院】回答者全体の取組姿勢



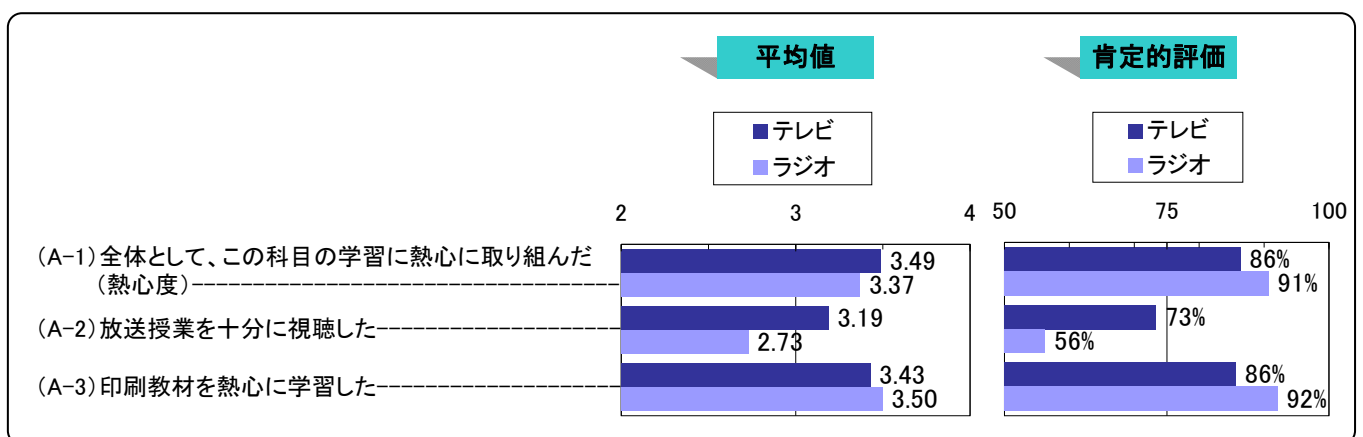
学習への取組姿勢を時系列で見ると（次頁図 2－54）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は年々向上している。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」も年によって変動はあるものの、今年度調査の 2009 年新規開設科目ではまずまずの値となっている。取組姿勢は授業の出来栄によっても変化するが、調査年度によって上下動があるのは、大学院の調査対象の科目数が少ないため、特定の科目の影響が大きいことも影響していると考えられる。

図 2－5 4 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



メディア別の取組姿勢を見ると（図 2－5 5）、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」ではラジオ科目が平均値 2.73、肯定的評価 56%と低くなっている。テレビ科目はまずまずの視聴度と言えるが、今後は授業の改善によって、ラジオ科目の放送授業の視聴を上げていく必要があるだろう。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、ラジオ科目の方がややよくなっている。

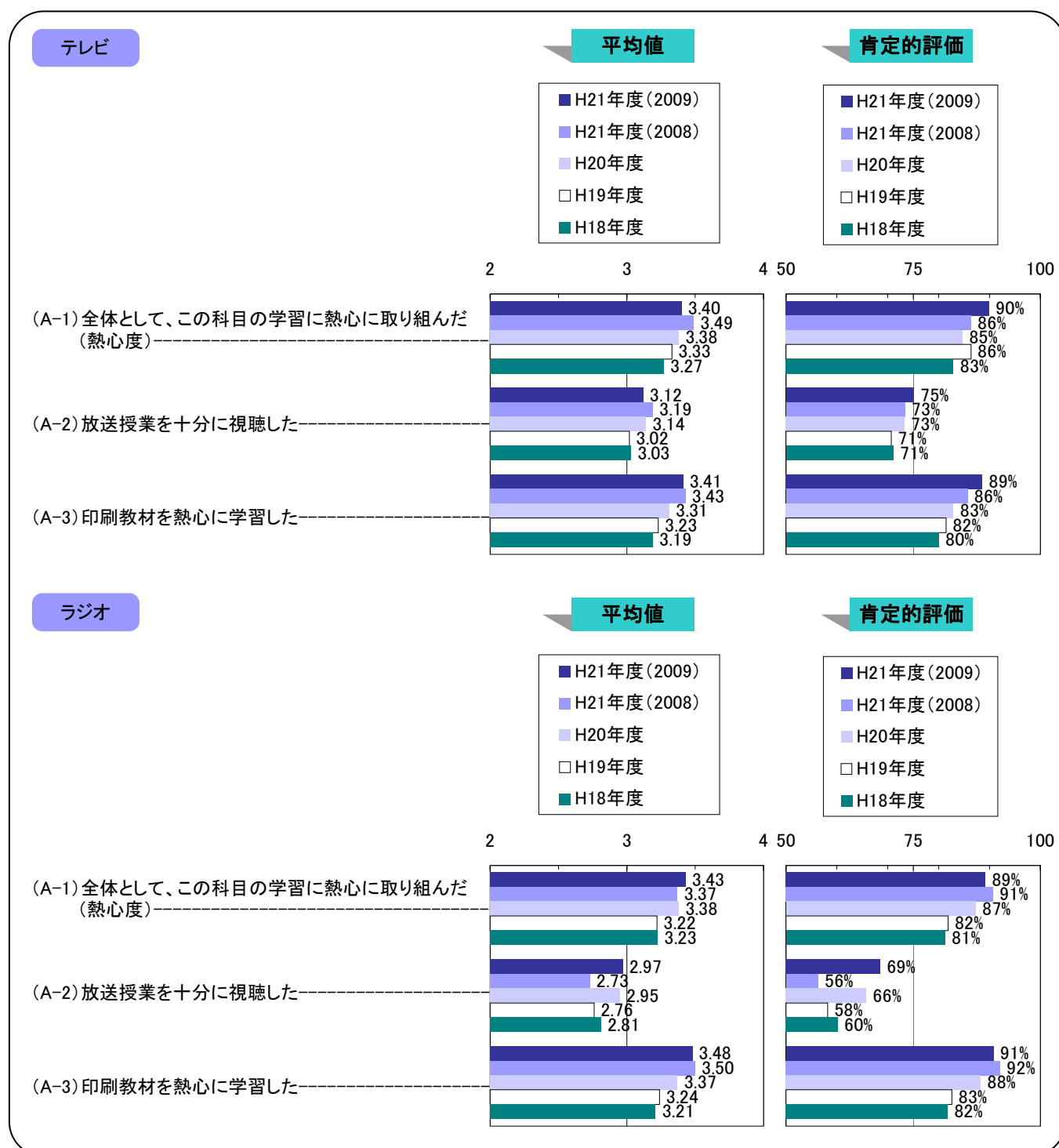
図 2－5 5 【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図２－５６）、全体的にはテレビ科目、ラジオ科目とも、年々取組姿勢が良くなる傾向にある。

ラジオ科目の（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、本調査（2008年度新規開設科目）の取組姿勢が、他の年度に比べても悪くなっている。また、テレビ科目の（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、年々向上してはいるが、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」や（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」に比べると向上度合いは少なく、さらに視聴を伸ばす工夫が必要と言える。

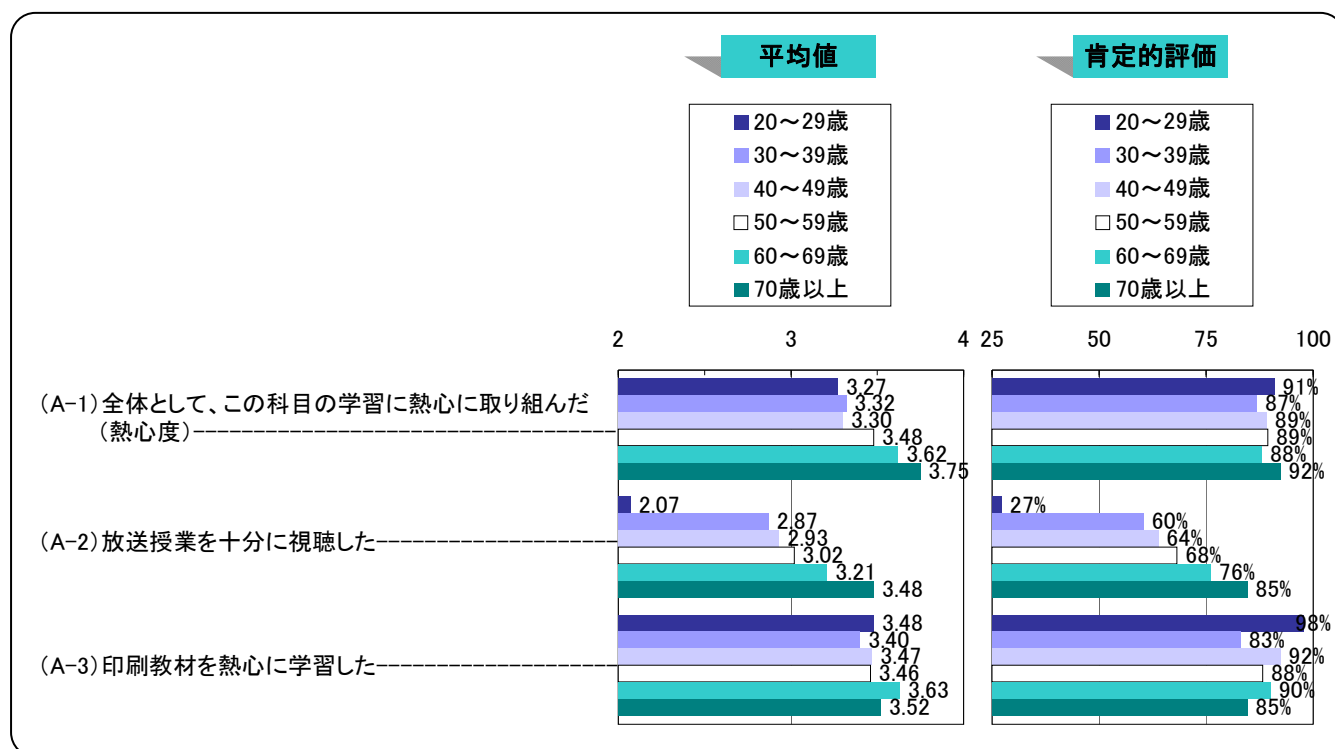
図２－５６ 【大学院】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図 2－5 7）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、年配層ほど熱心に取り組んでいるが、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、年齢階層による差は少ない。

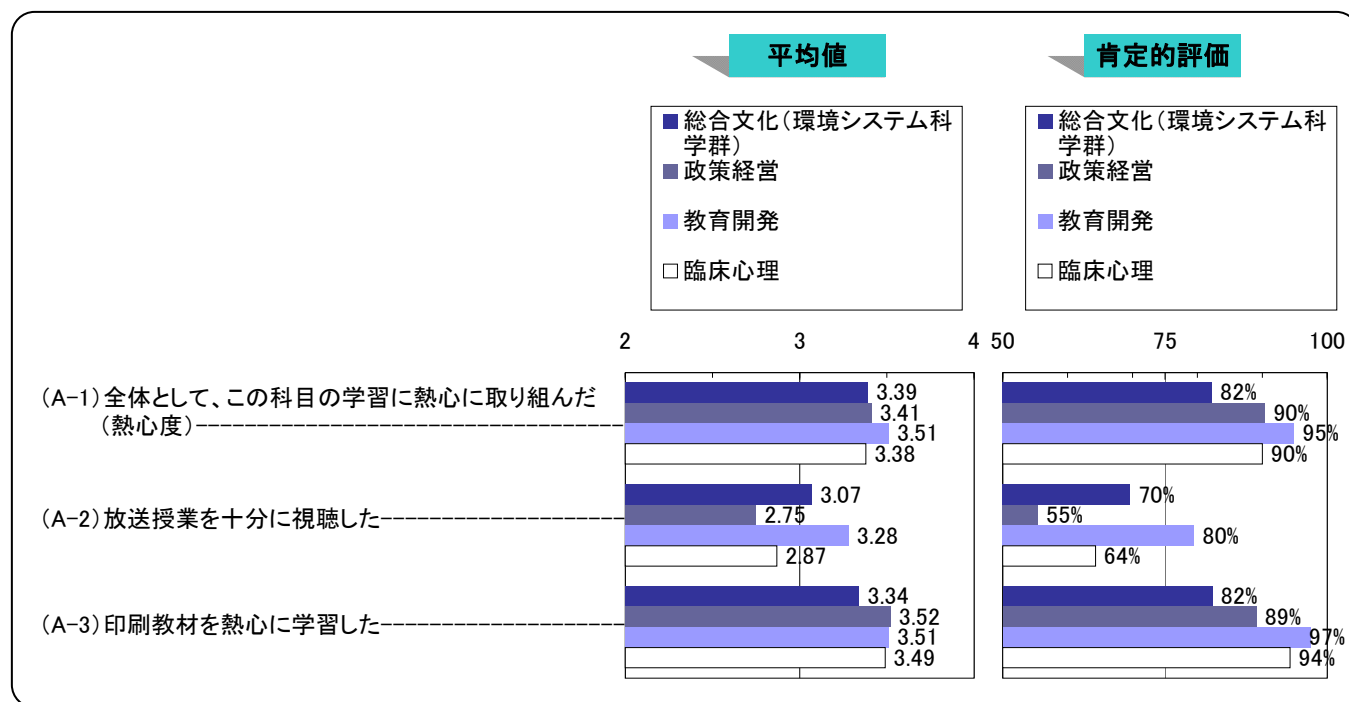
20 歳代は、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」が極めて少なく、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が非常に多くなっており、ほとんどが印刷教材だけの学習となっている。

図 2－5 7 【大学院】年齢階層別に取り組姿勢



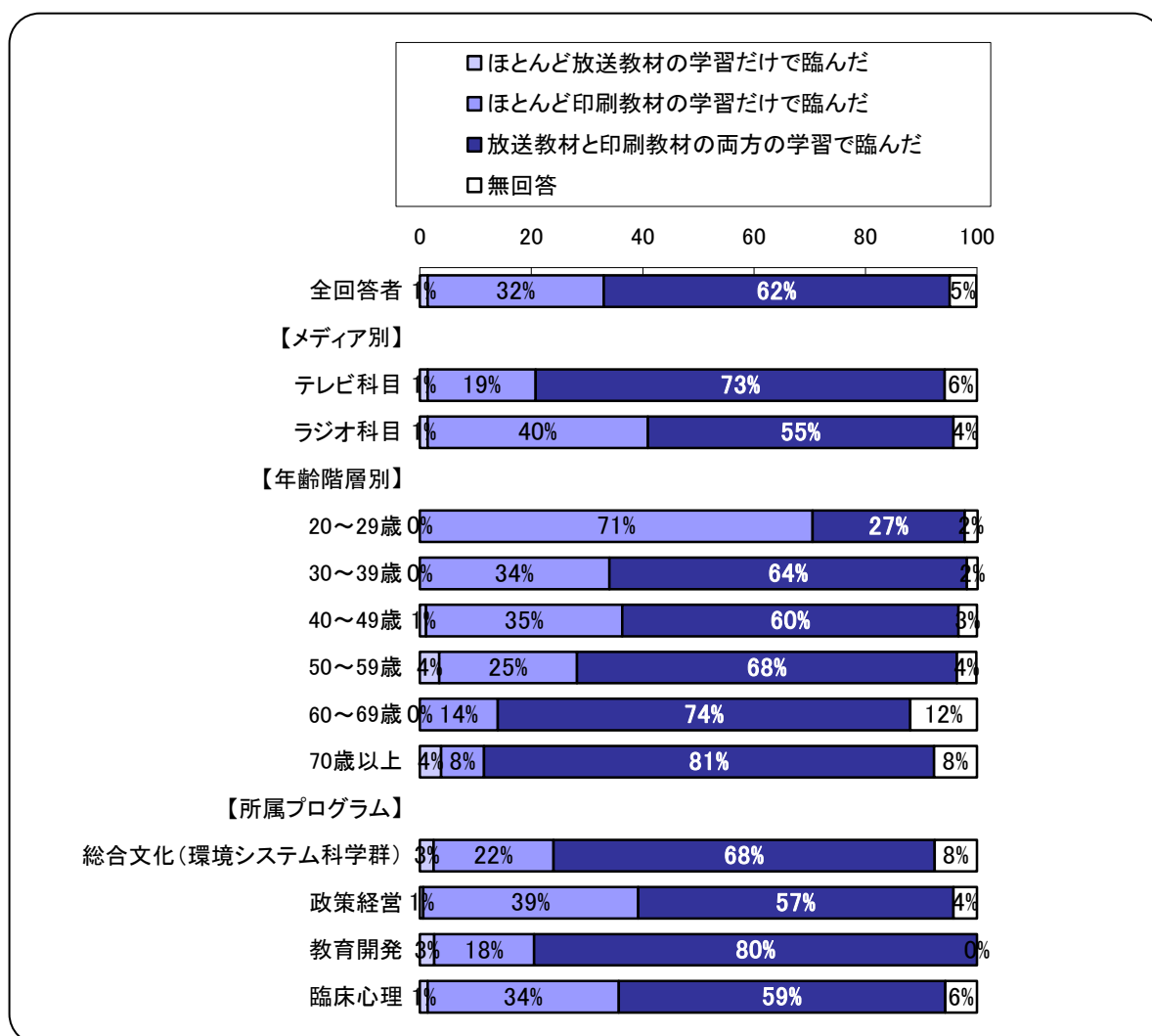
所属プログラム別に取り組姿勢を見ると（図 2－5 8）、「教育心理」がいずれの項目も高い値となっている。（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、「政策経営」と「臨床心理」が特に少ない。

図 2－5 8 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図 2－5 9）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 62%を占め、次いで「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が 32%となっている。テレビ科目では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 73%と多いが、ラジオ科目では 55%にとどまっている。さらに年齢階層別の 20 歳代は「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 27%と非常に少なく、印刷教材の学習だけで臨んでいる人が多い。

図 2－5 9 【大学院】単位認定のための学習方法



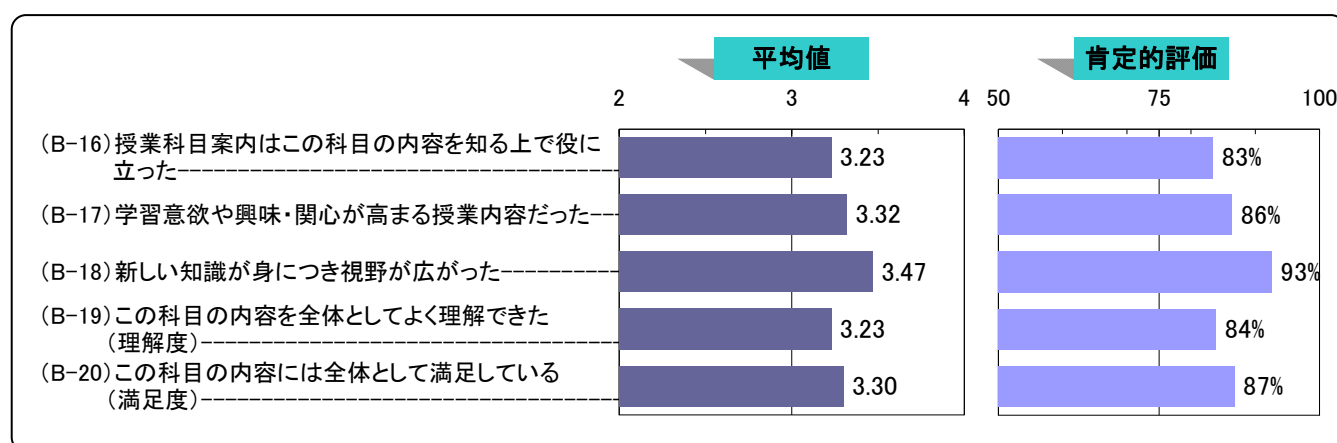
Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

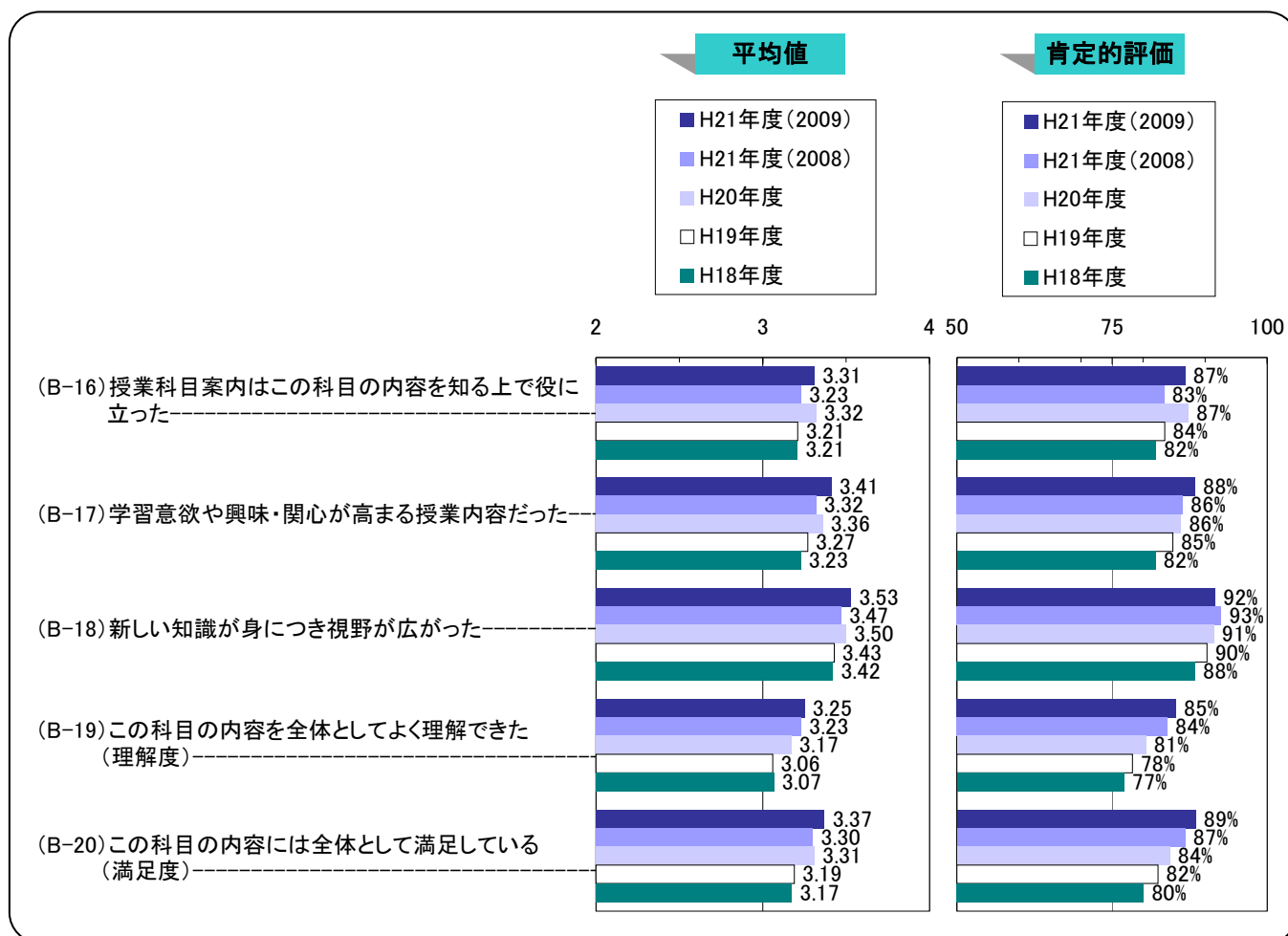
まず全体評価を見ると（図２－６０）、いずれの項目も高い評価となっている。特に（B-18）「新しい知識が身につき視野が広がった」は、平均値 3.47、肯定的評価 93%と非常に高くなっている。（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も平均値 3.30、肯定的評価 87%と高い満足度を示している。今後は、学習意欲や興味・関心が高まる授業を増やし、理解度を高めるとともに、さらに満足度を上げていくことが大切であろう。

図 2－60 【大学院】回答者全体の全体評価



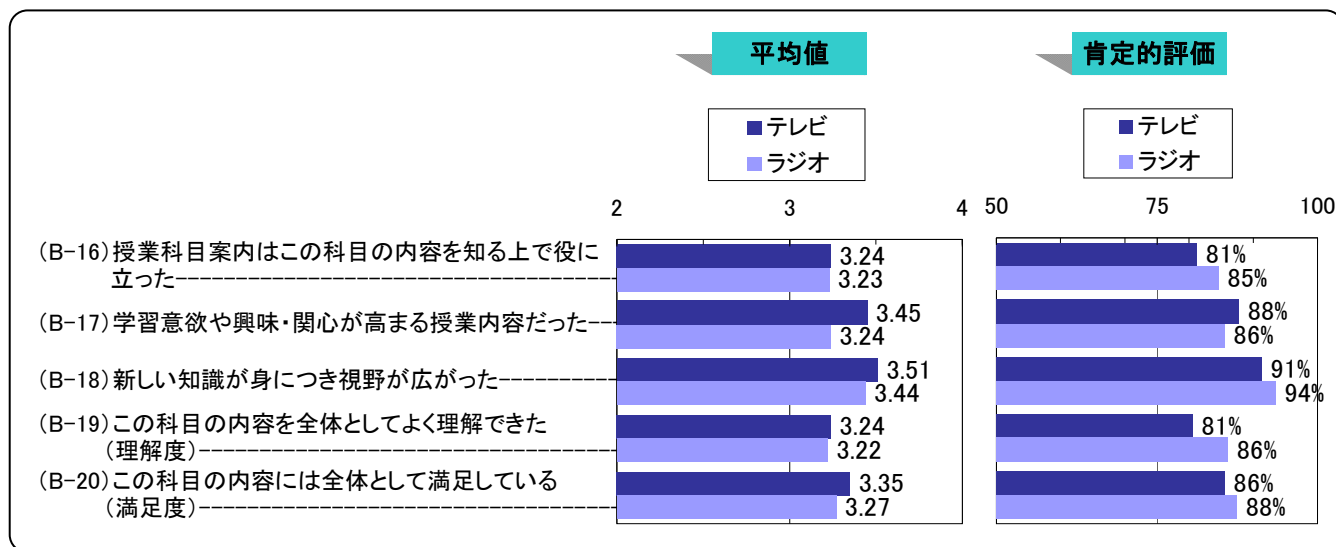
全体評価を時系列で見ると（図２－６１）、いずれの項目も評価が上昇傾向にあると言える。特に（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」の上昇度合いが大きい。

図２－６１【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図 2－6 2）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、テレビ科目の方がやや高い評価となっている。(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、平均値ではややテレビ科目の方が評価が高いが、肯定的評価ではラジオ科目の方が多くなっている。

図 2－6 2 【大学院】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図 2－6 3）、テレビ科目の評価は、いずれの項目も平成 20 年度調査（2007 年新規開設科目）以降、ほぼ横ばい状態であり、やや伸び悩んでいる。

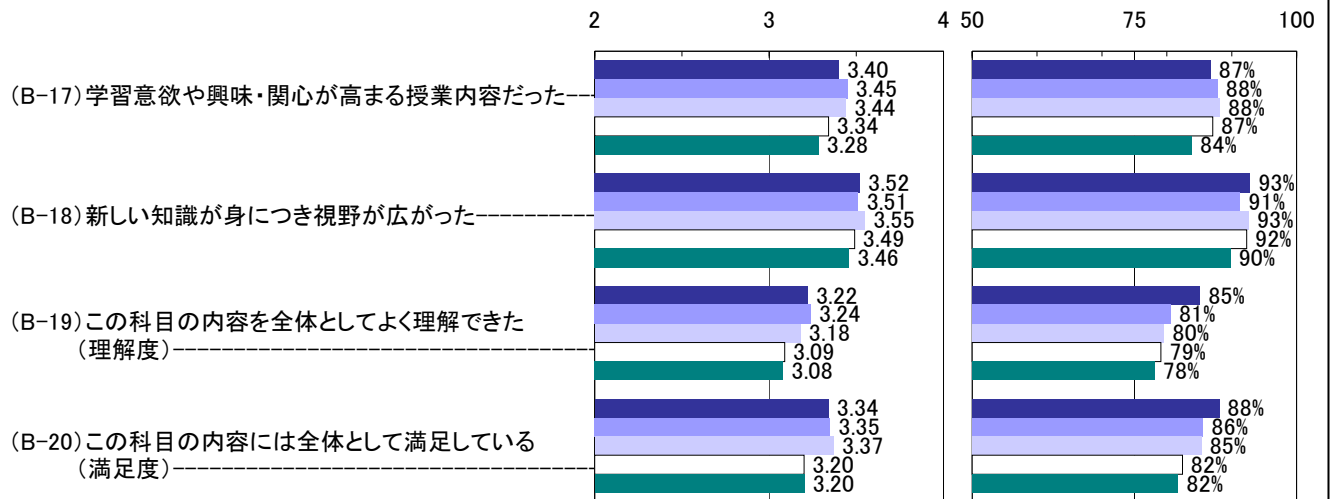
一方ラジオ科目は、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で、年々評価が上昇している。(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、もともと評価が非常に高いため、やや横ばい傾向にある。

図 2 - 6 3 【大学院】メディア別の全体評価（時系列）

テレビ

平均値

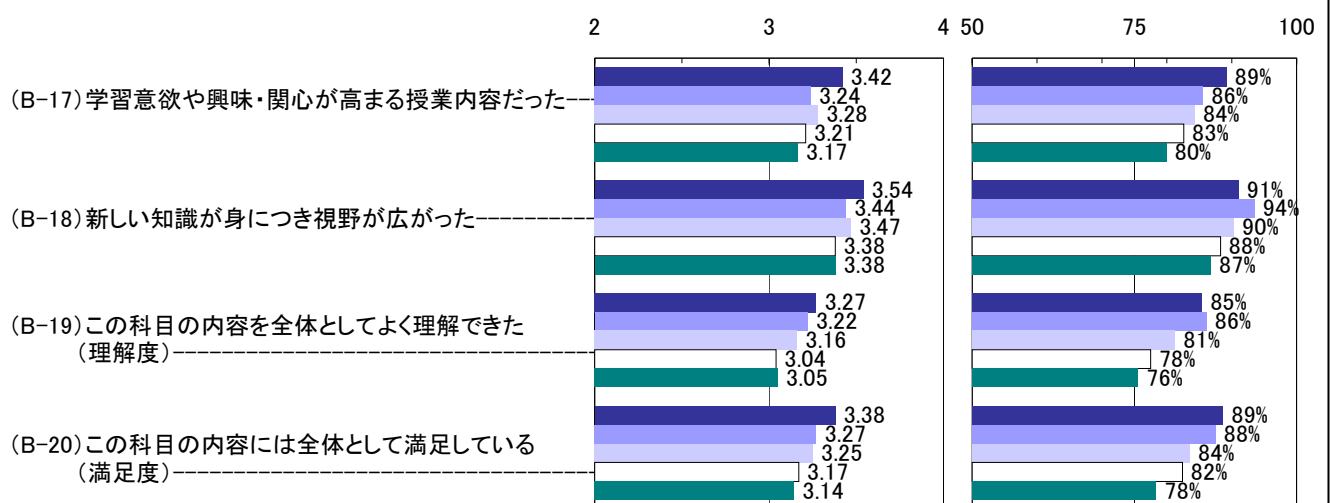
肯定的評価



ラジオ

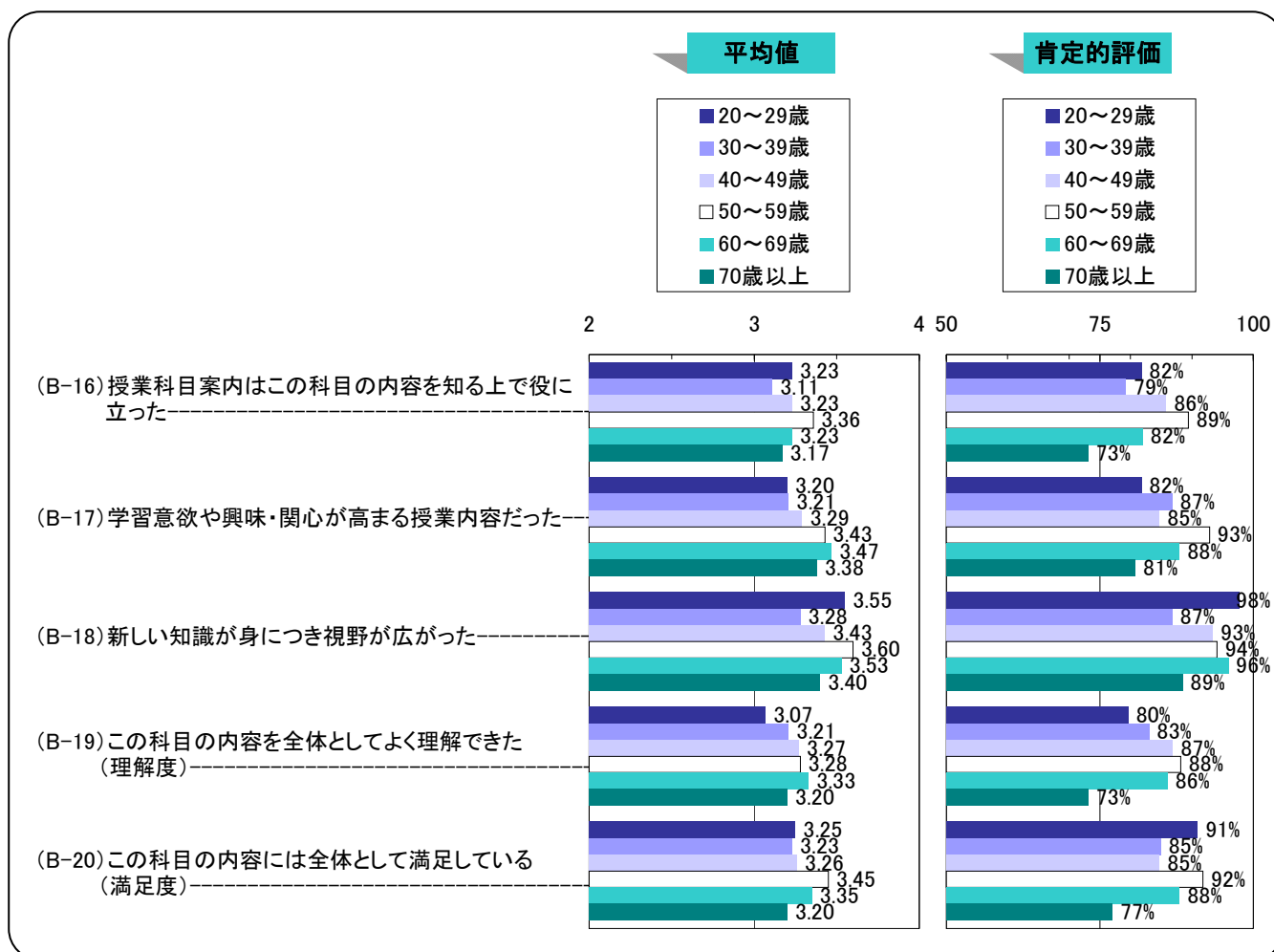
平均値

肯定的評価



年齢階層別に全体評価を見ると（図 2－6 4）、全体的に 50 歳代の評価が最も高く、若年層および高齢者でやや低くなる傾向にある。ただ（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は、20 歳代も評価が高いのが特徴である。また学部とは異なり 70 歳以上は、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は比較的评价が高いが、理解度、満足度はやや低く、学部より高度な内容のため、理解度に課題があると推測される。

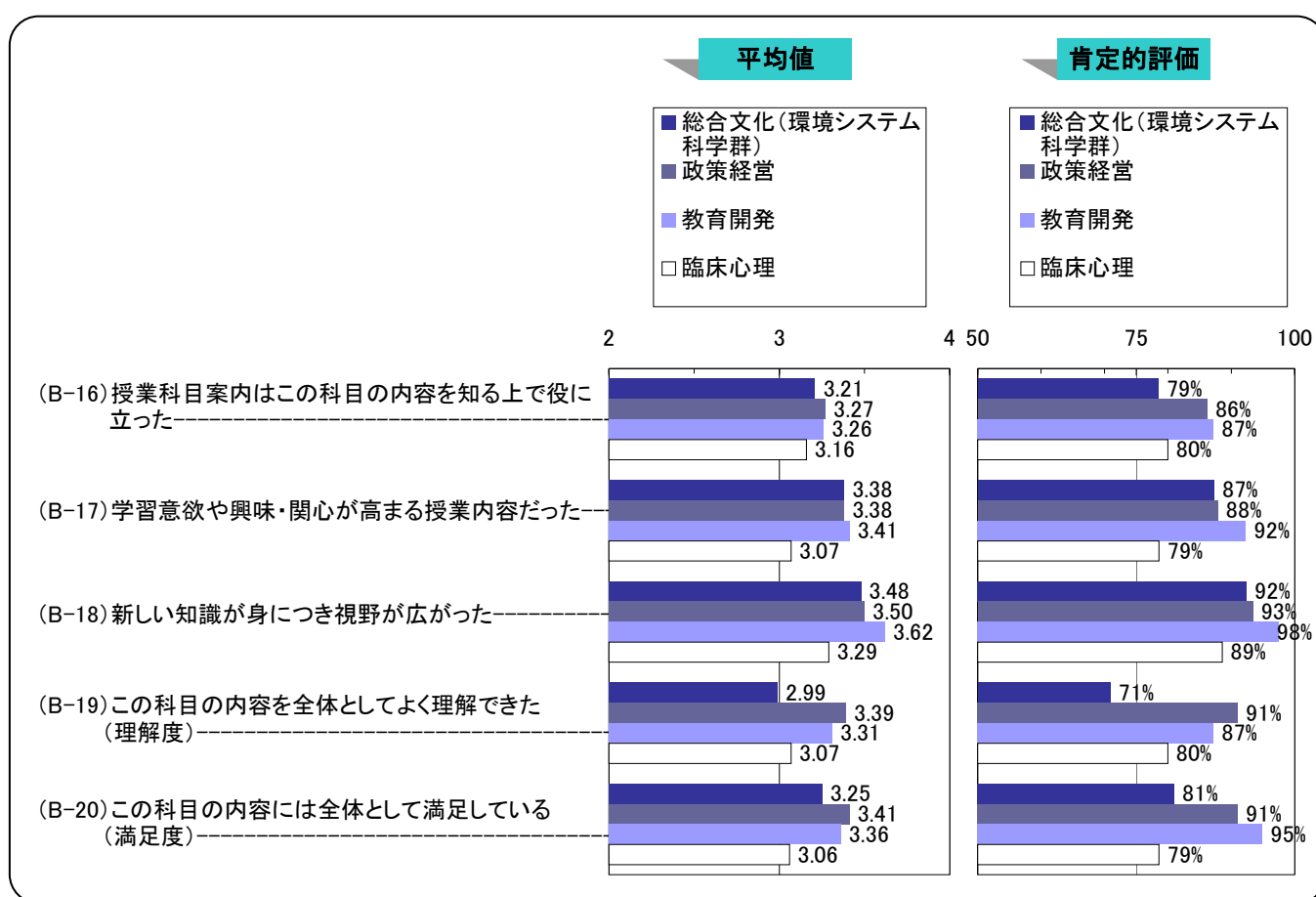
図 2－6 4 【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図 2－6 5）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と (B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、「総合文化（環境システム科学群）」「政策経営」「教育開発」の評価が高く、「臨床心理」はこれらに比べ評価が低い。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、「政策経営」と「教育開発」の評価が高いものの、「総合文化（環境システム科学群）」と「臨床心理」の評価が相対的に低い。

図 2－6 5 【大学院】所属プログラム別の全体評価

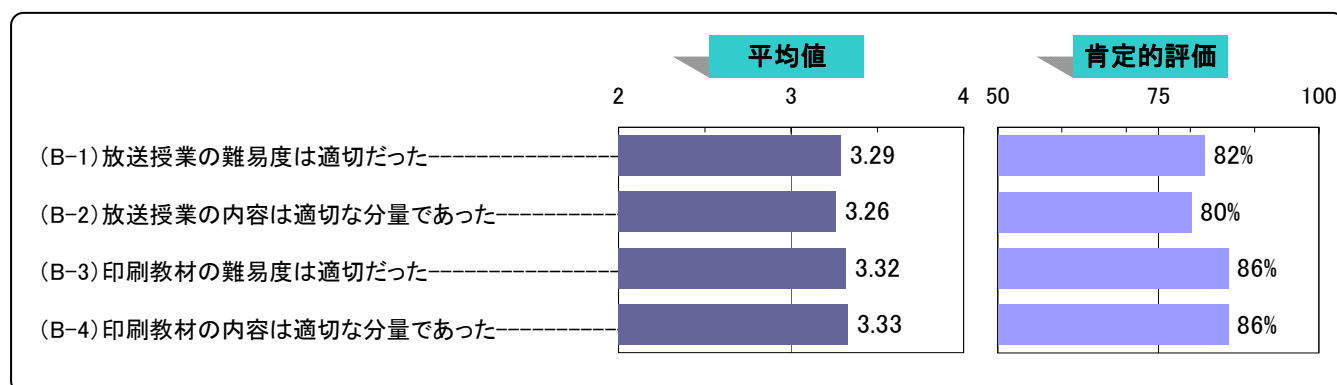


（２）授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

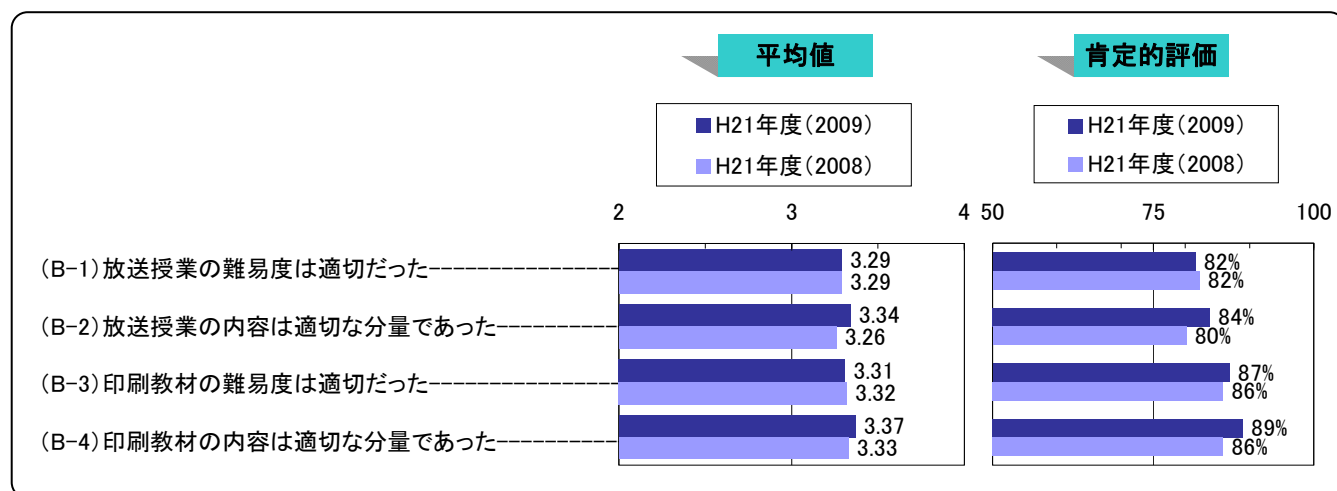
授業の難易度・分量の評価は（図２－６６）、いずれも高い評価となっている。ただ、印刷教材の評価に比べると放送授業の評価は難易度・分量ともやや低く、改善が求められる。

図２－６６ 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



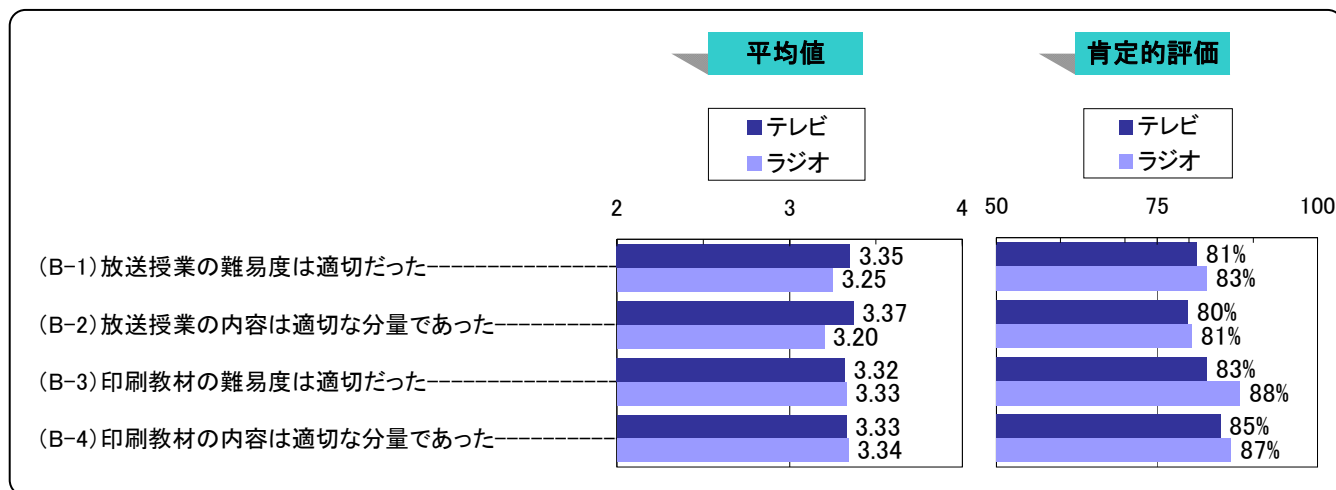
授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると（図２－６７）、放送授業、印刷教材とも分量に関しては評価がやや向上しているが、難易度はほぼ横ばいである。

図２－６７ 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図２－６８）、放送授業は難易度・分量とも平均値はテレビ科目の方がやや高い。印刷教材の難易度は逆にラジオ科目の方がやや評価が高くなっている。

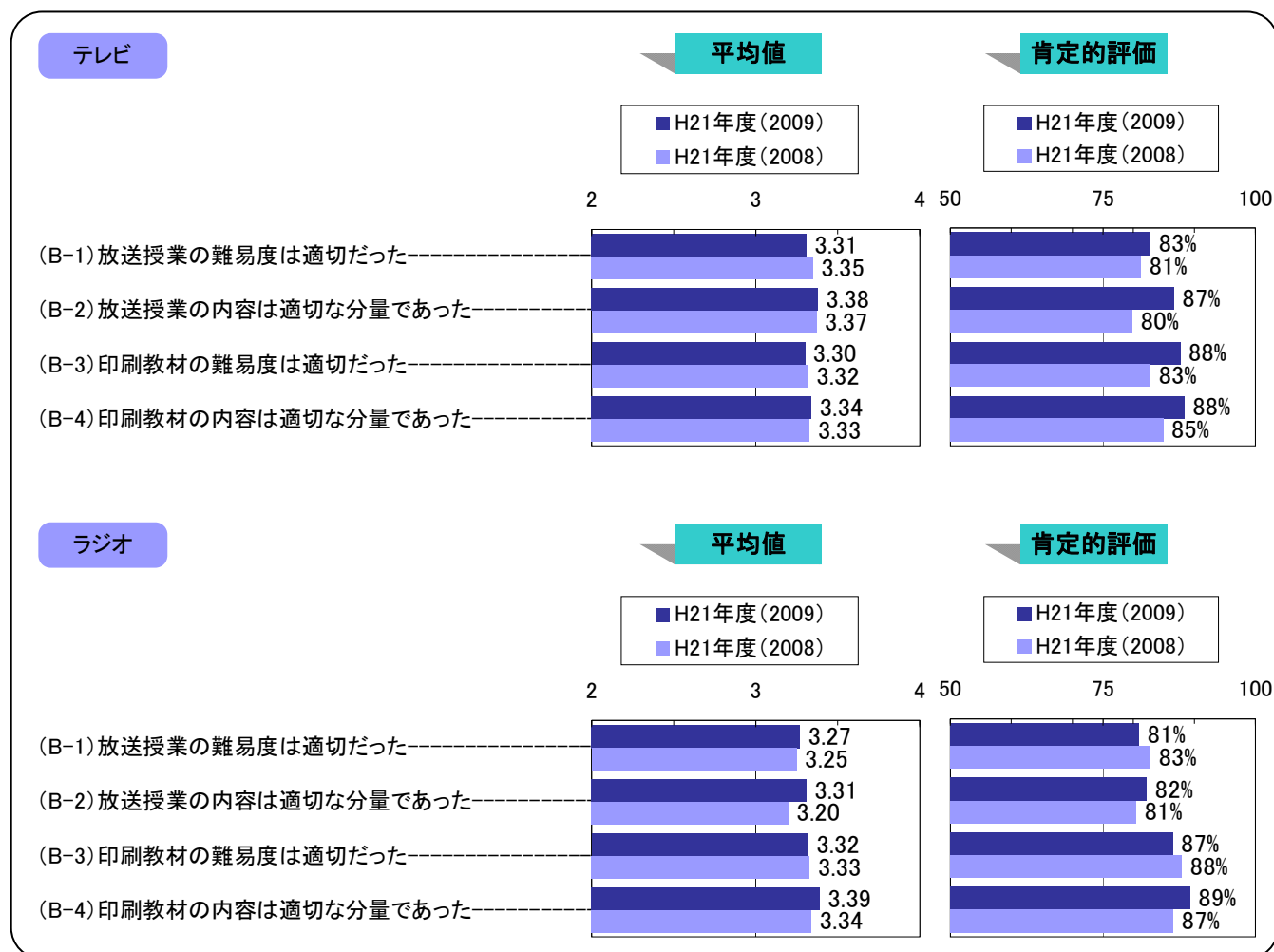
図２－６８ 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－６９）、テレビ科目は平均値ではほとんど変化がないが、肯定的評価ではいずれも評価が向上している。

ラジオ科目は、放送授業、印刷教材とも分量は評価が若干上がっているが、難易度はほぼ横ばいである。

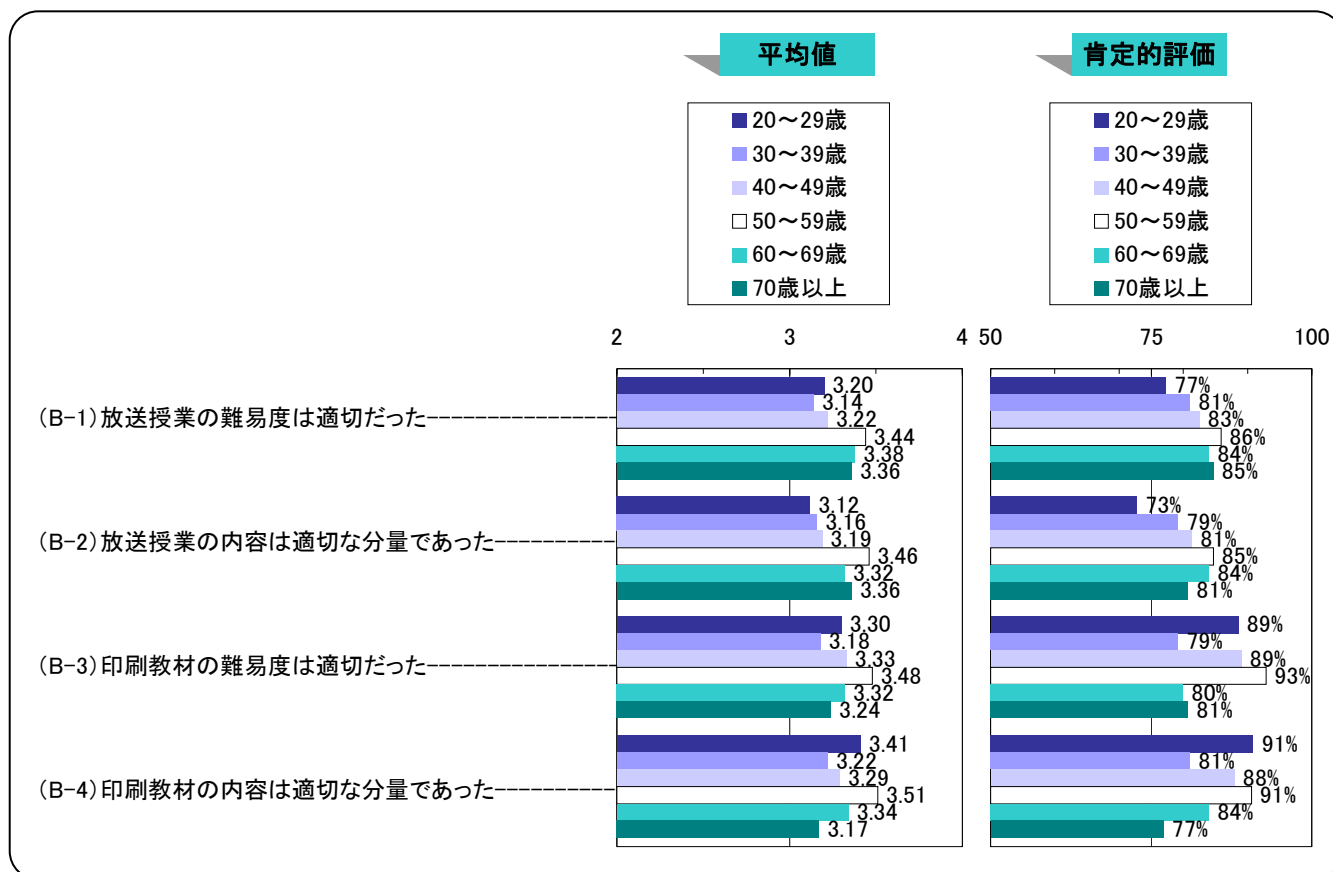
図２－６９ 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７０）、放送授業の難易度と分量は50歳代の評価が最も高く、若年層ほど評価が低い。

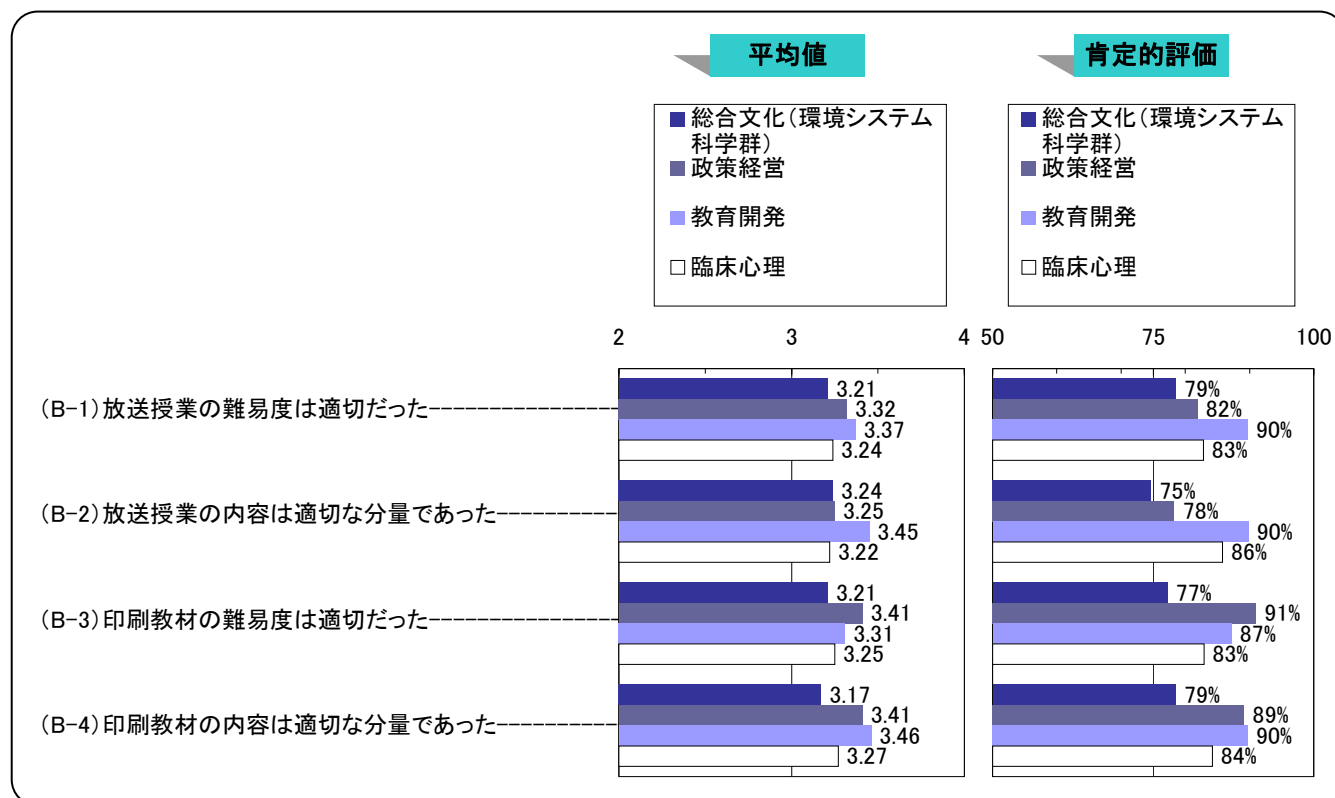
印刷教材の難易度と分量は、50歳代と20歳代、さらに40歳代の評価が高い。

図２－７０【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７１）、放送授業の難易度と分量は「教育開発」の評価が非常に高い。印刷教材の難易度と分量は「政策経営」および「教育開発」で評価が高くなっている。

図２－７１【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価

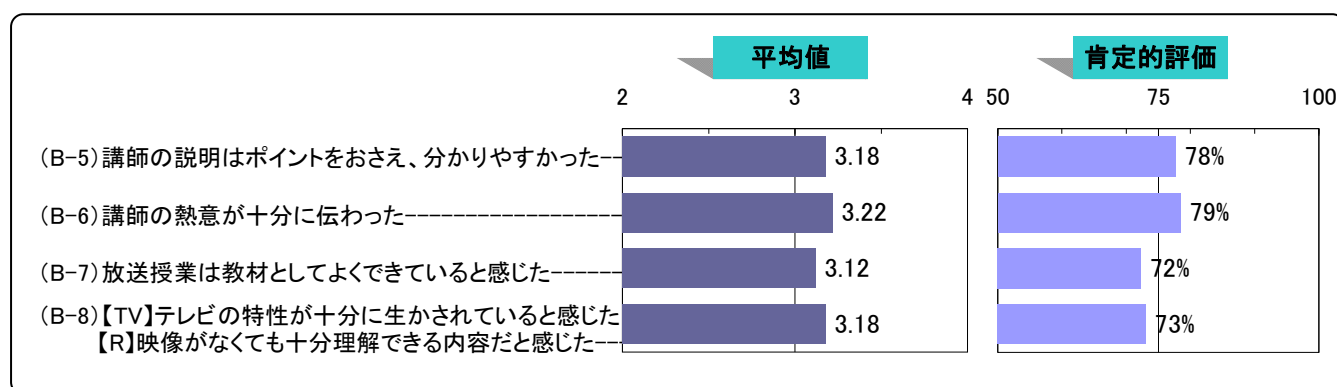


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

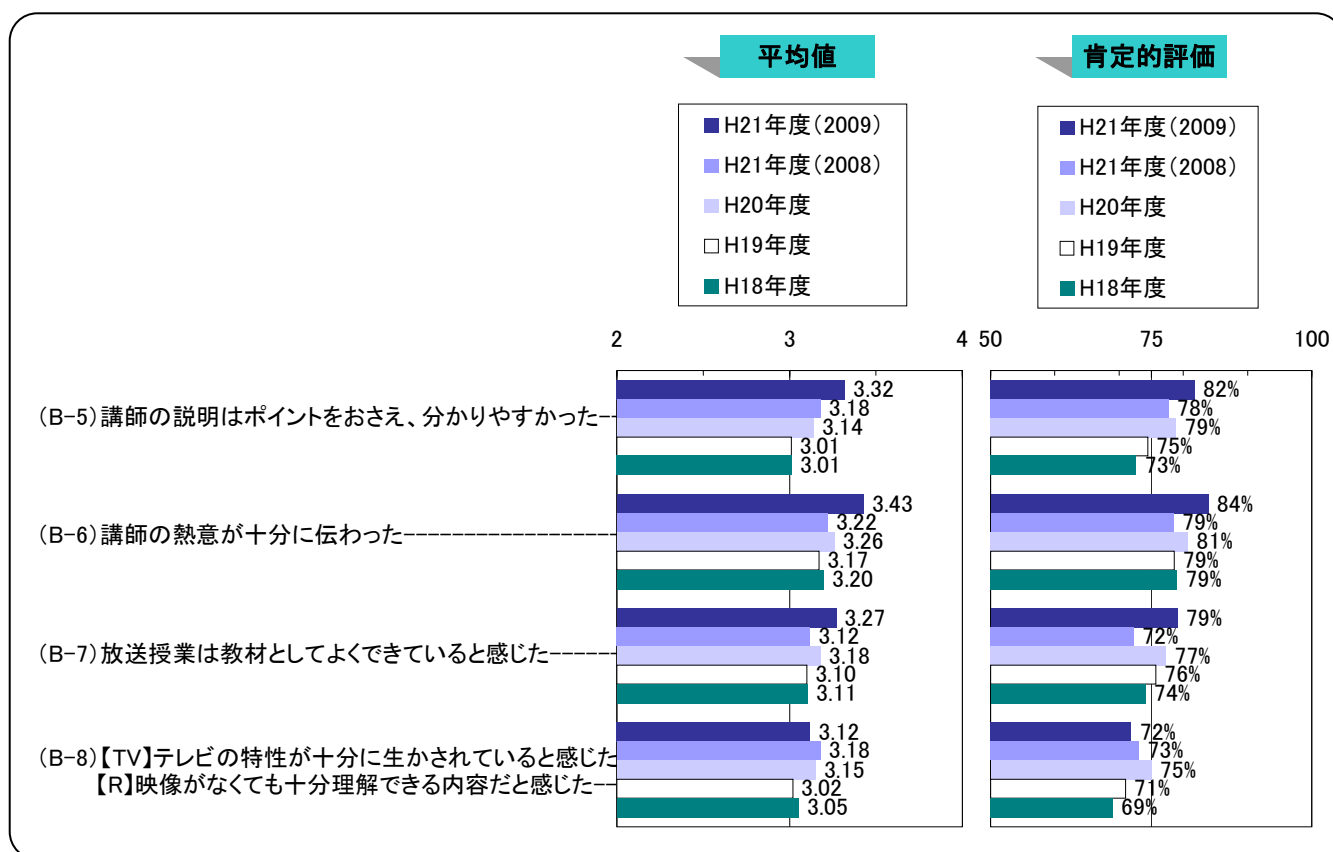
放送授業の評価は他の評価項目に比べるとあまり高くないものの(図2-72)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は、比較的高い評価となっている。ただ放送授業の総合評価とも言える(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.12、肯定的評価 72%にとどまっている。また、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も評価が非常に高いとは言えず、改善が求められるところである。

図2-72 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



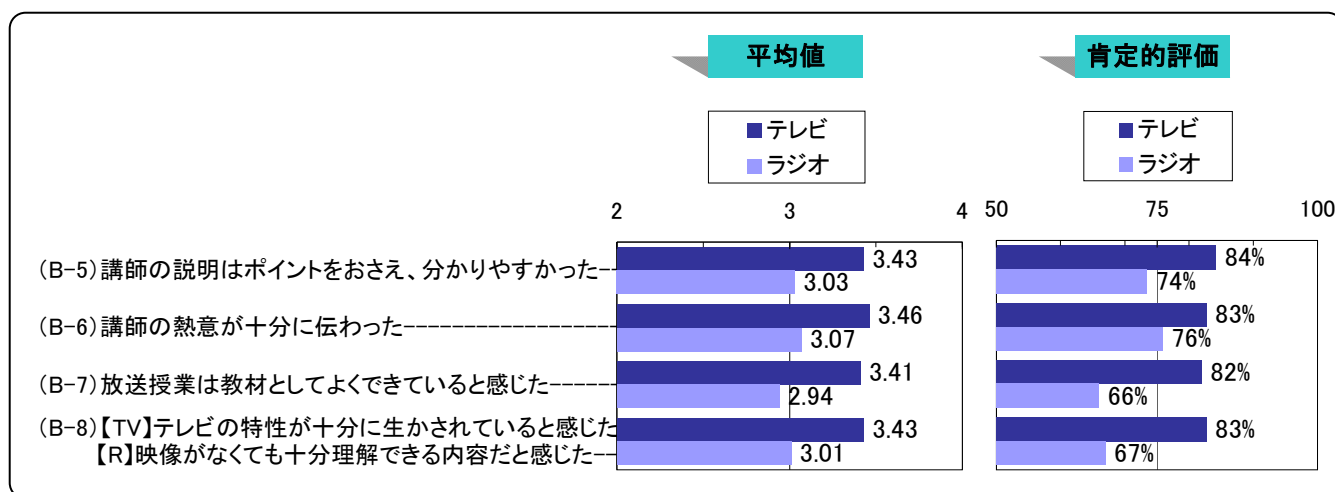
放送授業の評価を時系列で見ると（図２－７３）、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」は、平成 21 年度調査（2009 年新規開設科目）において、評価が上がり、それに伴い、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」も評価が上がっている。しかし、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、評価があまり向上しておらず、さらなる工夫が必要である。

図 2－7 3 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図 2－7 4）、テレビ科目は高い評価を得ているものの、ラジオ科目の評価が低くなっている。特に（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と（B-8）「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価が低く、講師の説明方法や熱意だけでなく、映像がなくても理解できる工夫が求められている。

図 2－7 4 【大学院】メディア別の放送授業の評価



メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図 2－7 5）、テレビ科目は、平均値では僅かずつではあるが評価が上昇傾向にあるが、肯定的評価では平成 20 年度調査（2007 年新規開設科目）以降、やや伸び悩んでいる。

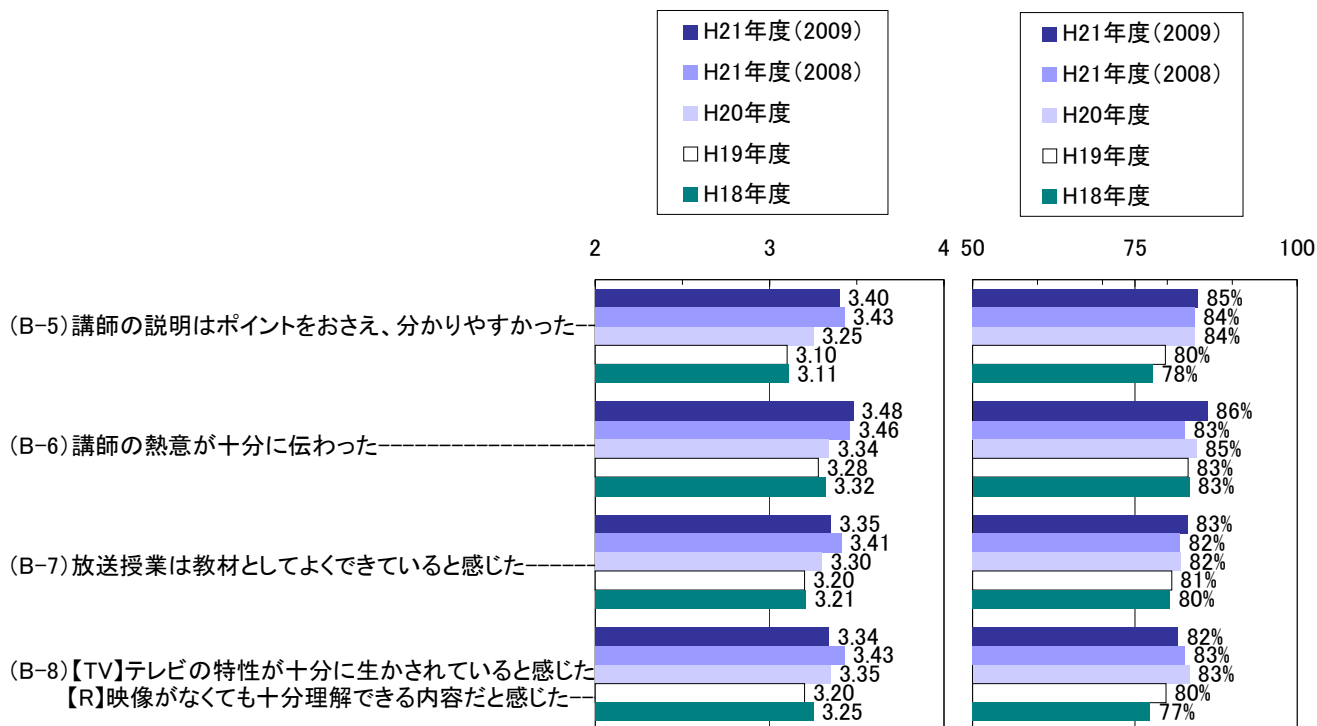
ラジオ科目は、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、今年度調査（2009 年度新規開設科目）で大きく評価が上昇している。しかし（B-8）「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平成 20 年度調査（2007 年新規開設科目）以降、評価が低いまま、ほぼ横ばい状態となっている。内容が高度であればあるほど音声だけの説明では限度があると言えるが、改善の努力をとめるべきではなかろう。

図 2-75 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）

テレビ

平均値

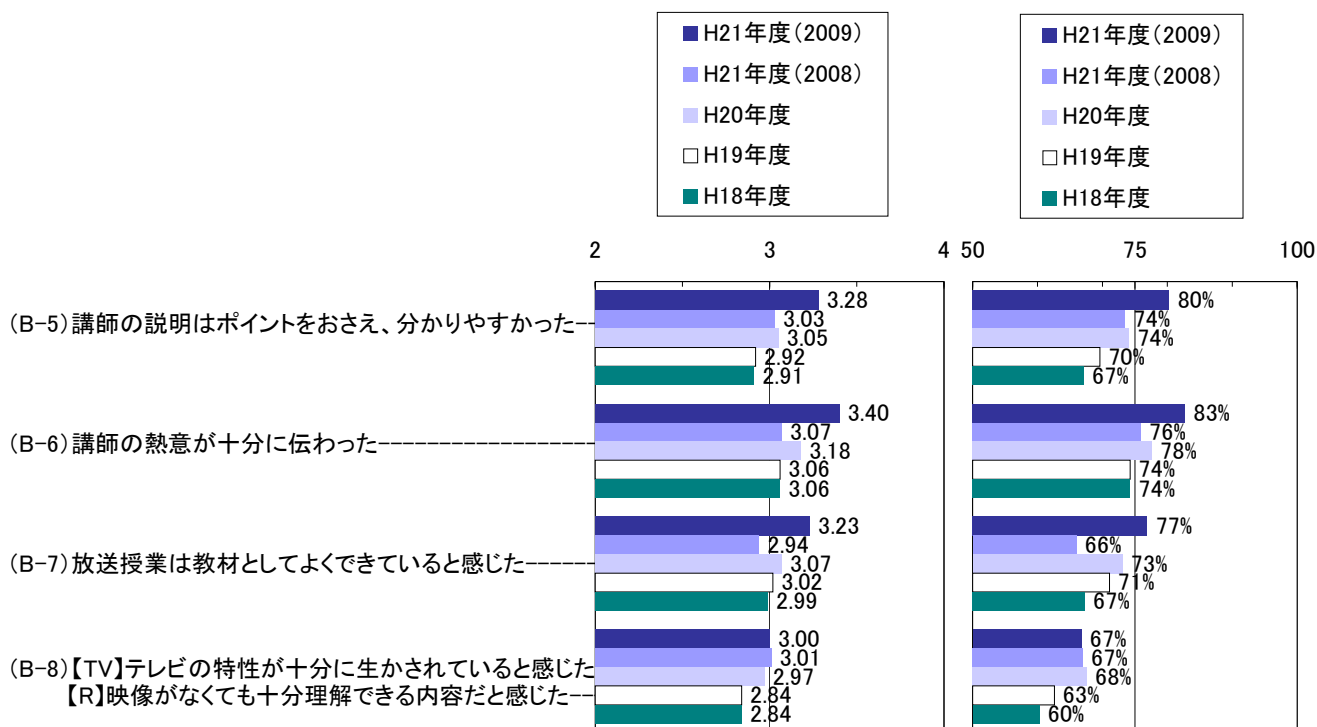
肯定的評価



ラジオ

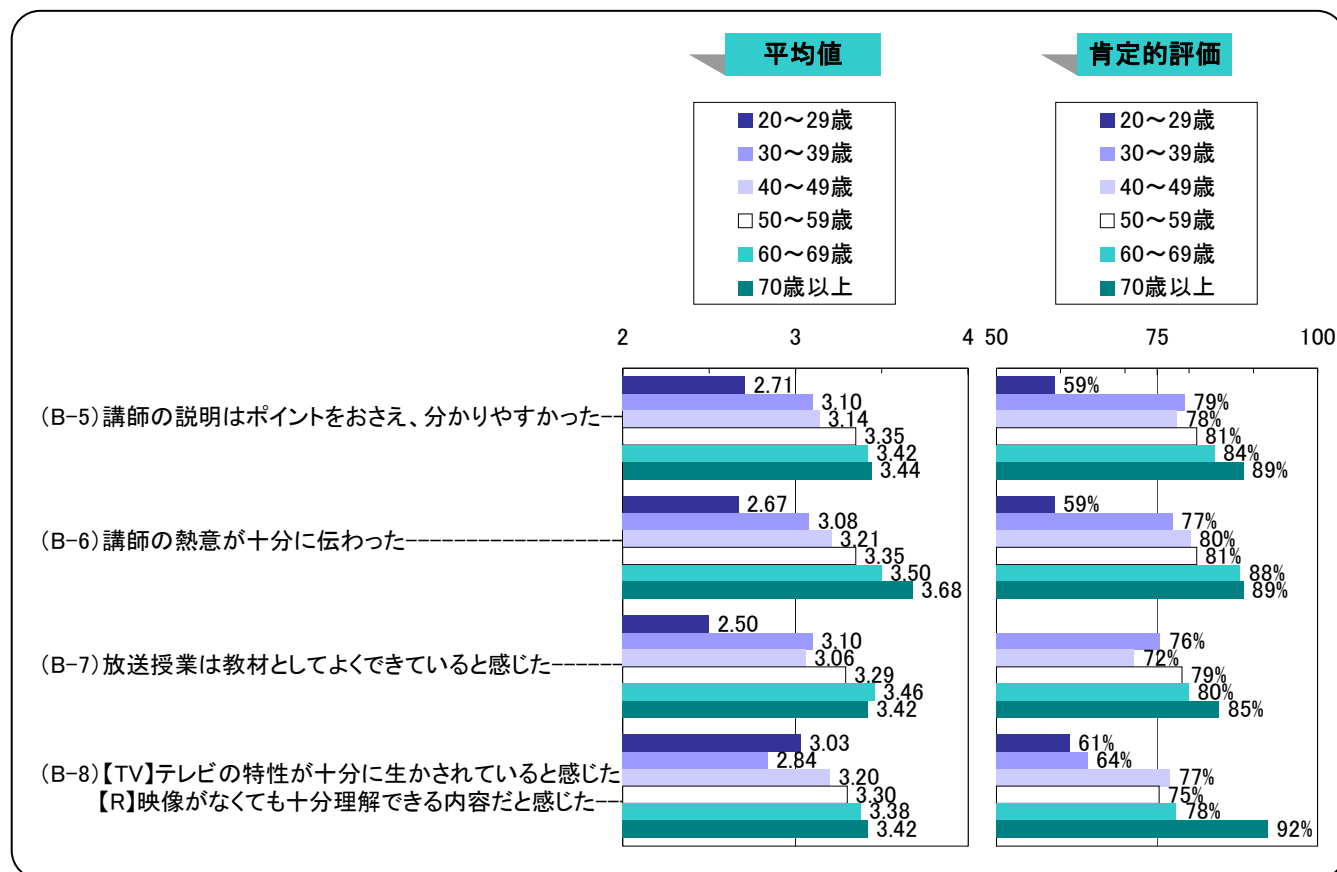
平均値

肯定的評価



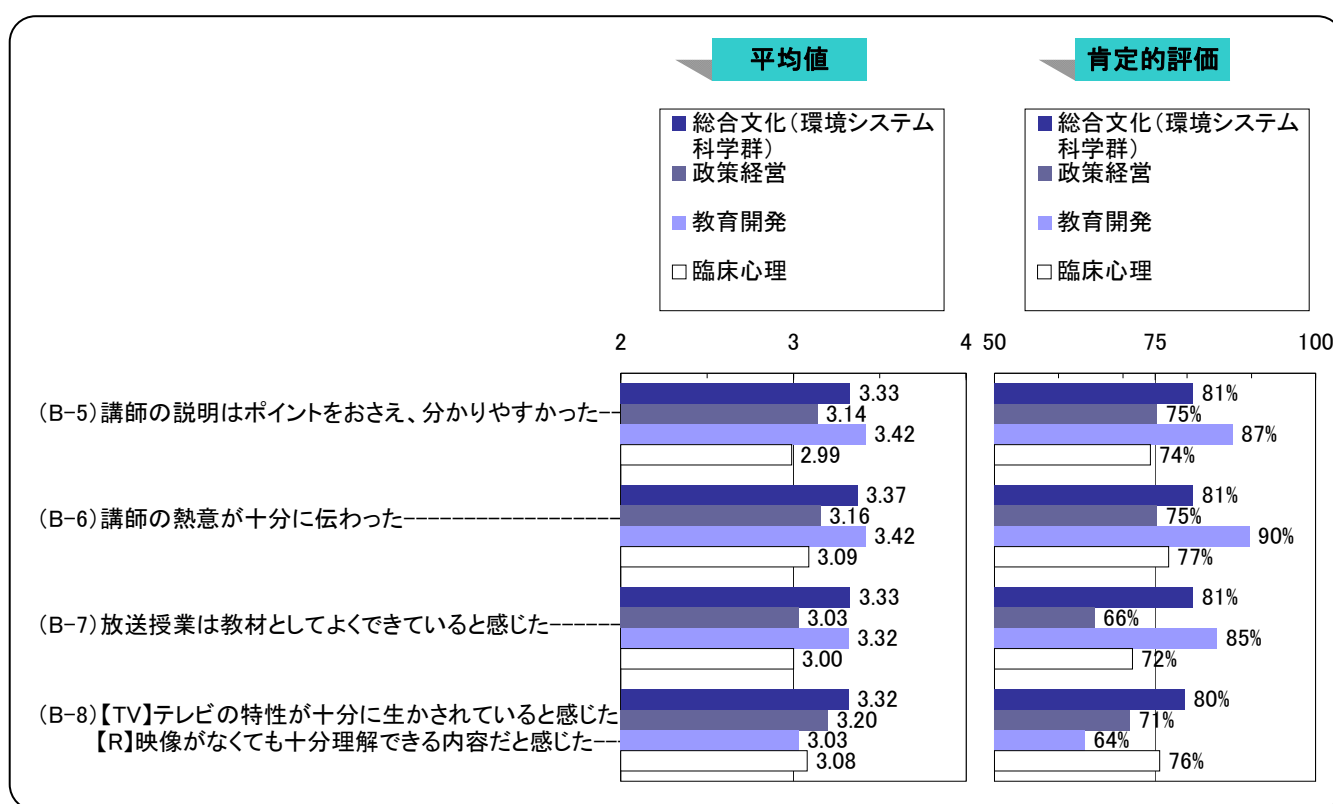
年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図２－７６）、いずれの項目も、年配層ほど評価が高くなっており、授業の難易度・分量とは違った評価構造となっている。

図２－７６【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属専攻別に放送授業の評価を見ると（図２－７７）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「総合文化（環境システム科学群）」と「教育開発」の評価が高くなっている。なお、「教育開発」と「臨床心理」はともにラジオ科目１科目が対象となっているが、評価に大きな違いがある。「教育開発」の科目は(B-8)「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価は低いものの、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」の評価は高く、内容の難易度の高さを講師の説明や熱意でカバーしている状況が窺える。

図２－７７【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

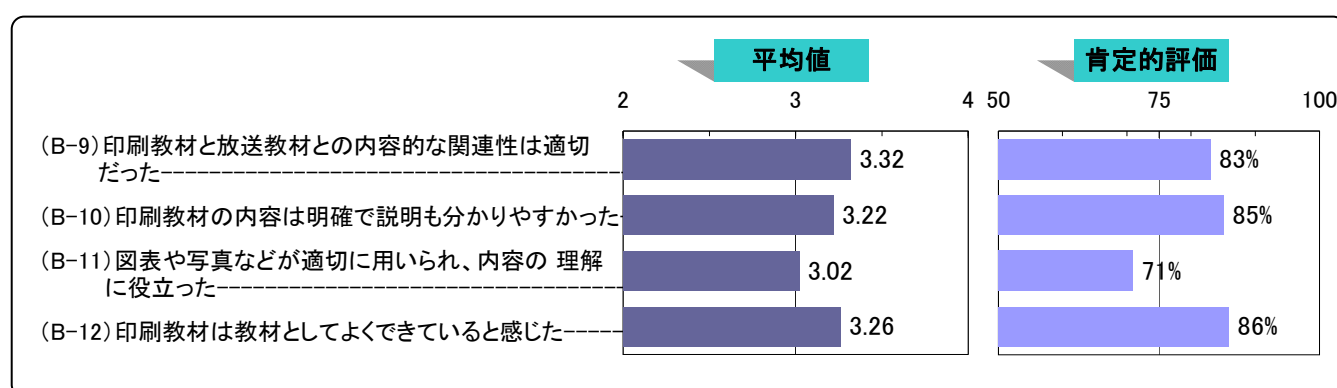


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

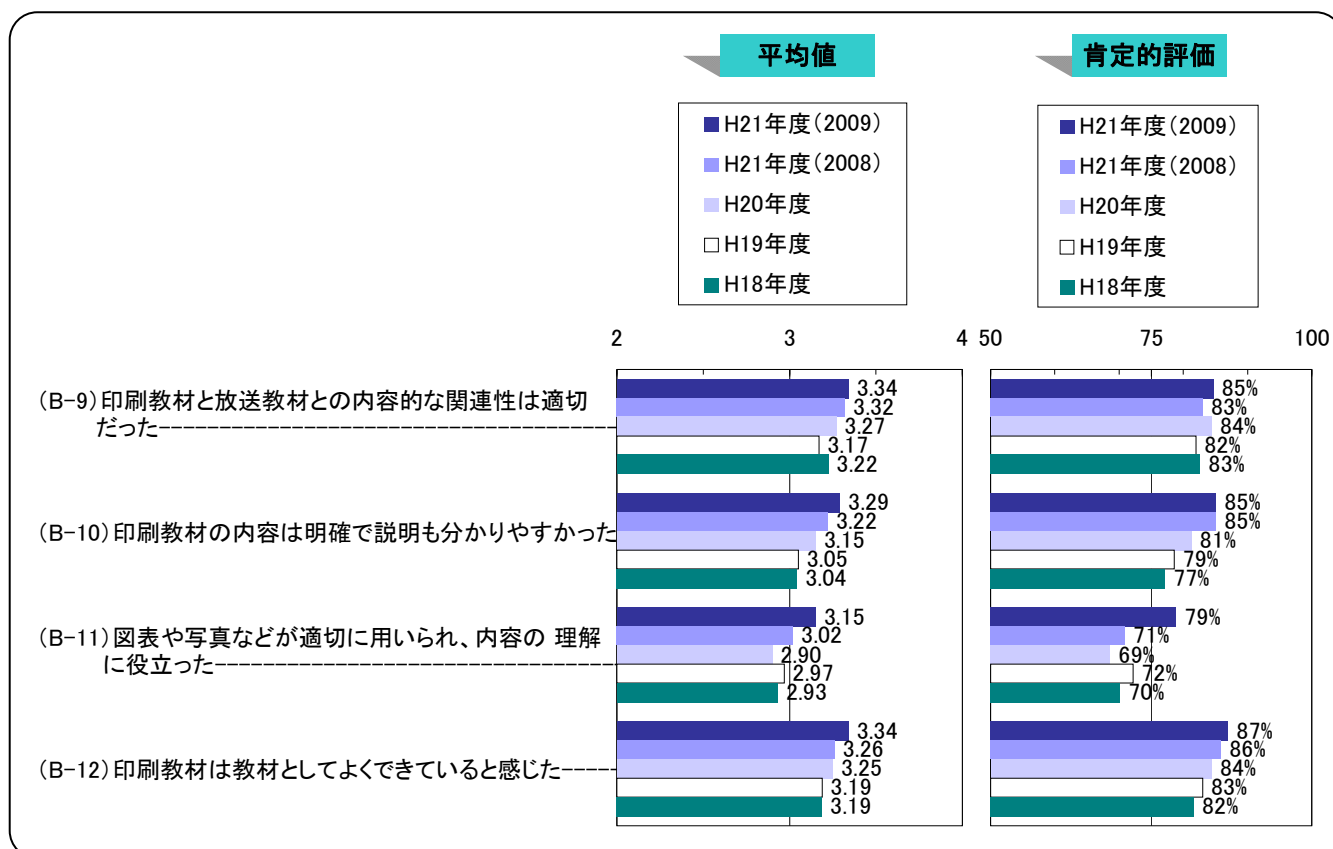
印刷教材の評価項目では（図 2－78）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、そして総合評価としての (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は高い評価を得ているものの、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は平均値 3.02、肯定的評価 71%にとどまっている。

図 2－78 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



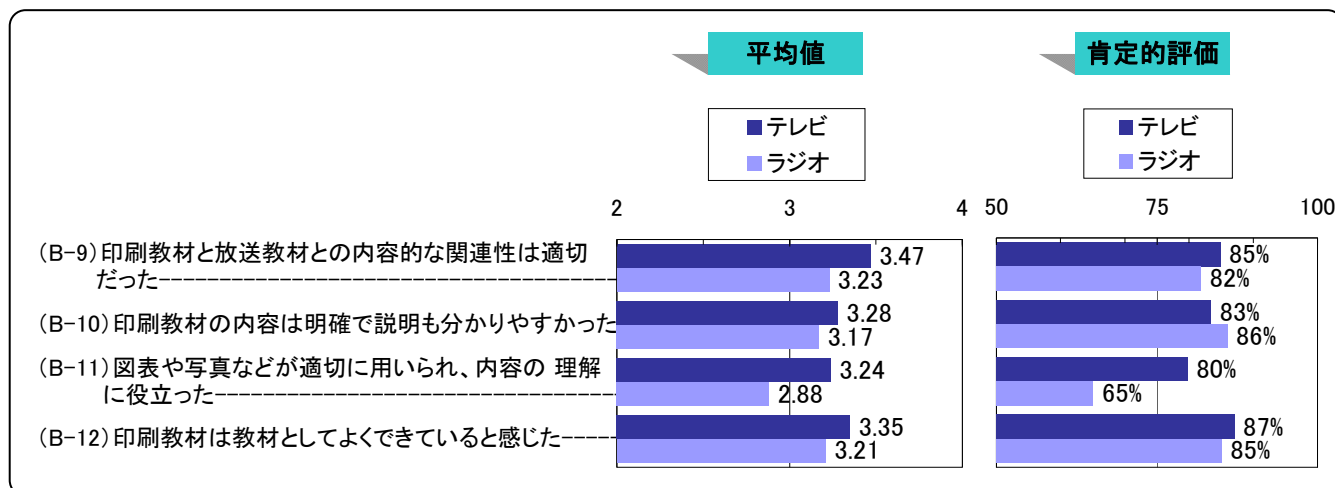
印刷教材の評価を時系列で見ると（図２－７９）、いずれの項目も評価が上昇傾向にある。（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」も今年度調査（2009年新規開設科目）では、比較的评价が高くなってきている。

図２－７９ 【大学院】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図２－８０）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」および(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、テレビ科目の方が、評価が高い。特に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」はラジオ科目の評価が低く、映像のないラジオの放送授業を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを活用することが求められる。

図２－８０【大学院】メディア別の印刷教材の評価



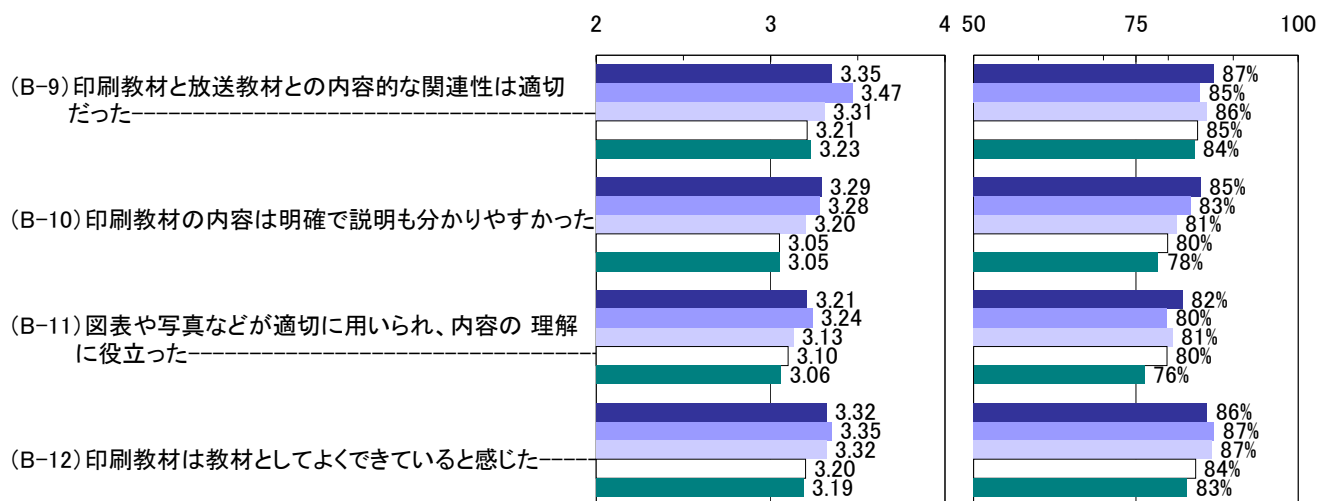
メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図２－８１）、テレビ科目、ラジオ科目とも、評価は年々上昇傾向にある。特に評価の低かったラジオ科目の(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、今年度調査（2009年新規開設科目）において大きく評価が上がっている。

図 2 - 8 1 【大学院】メディア別の印刷教材の評価（時系列）

テレビ

平均値

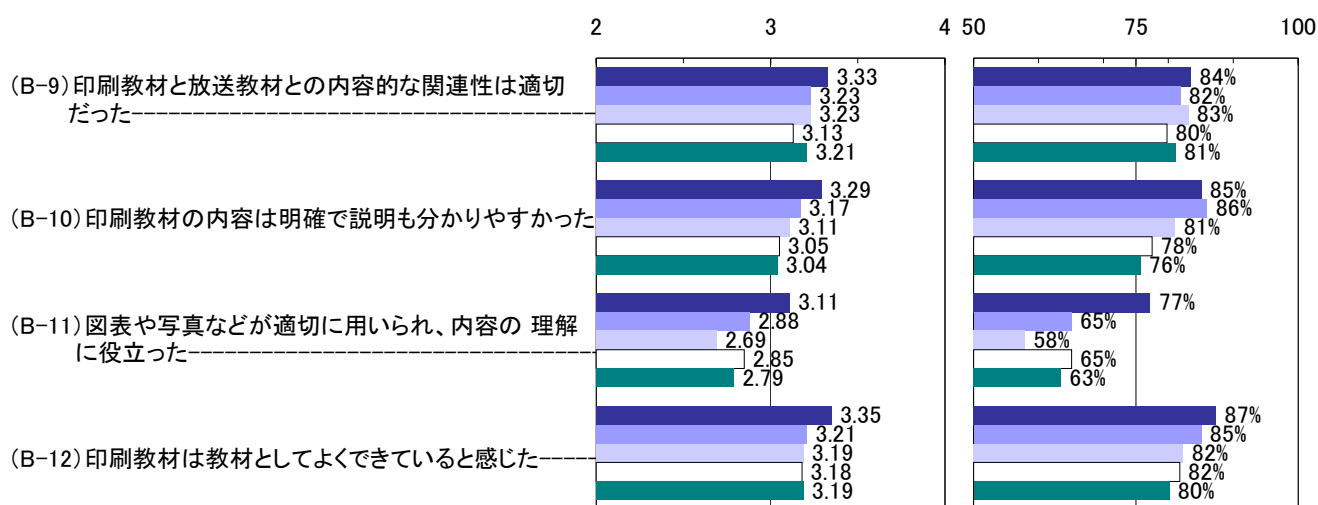
肯定的評価



ラジオ

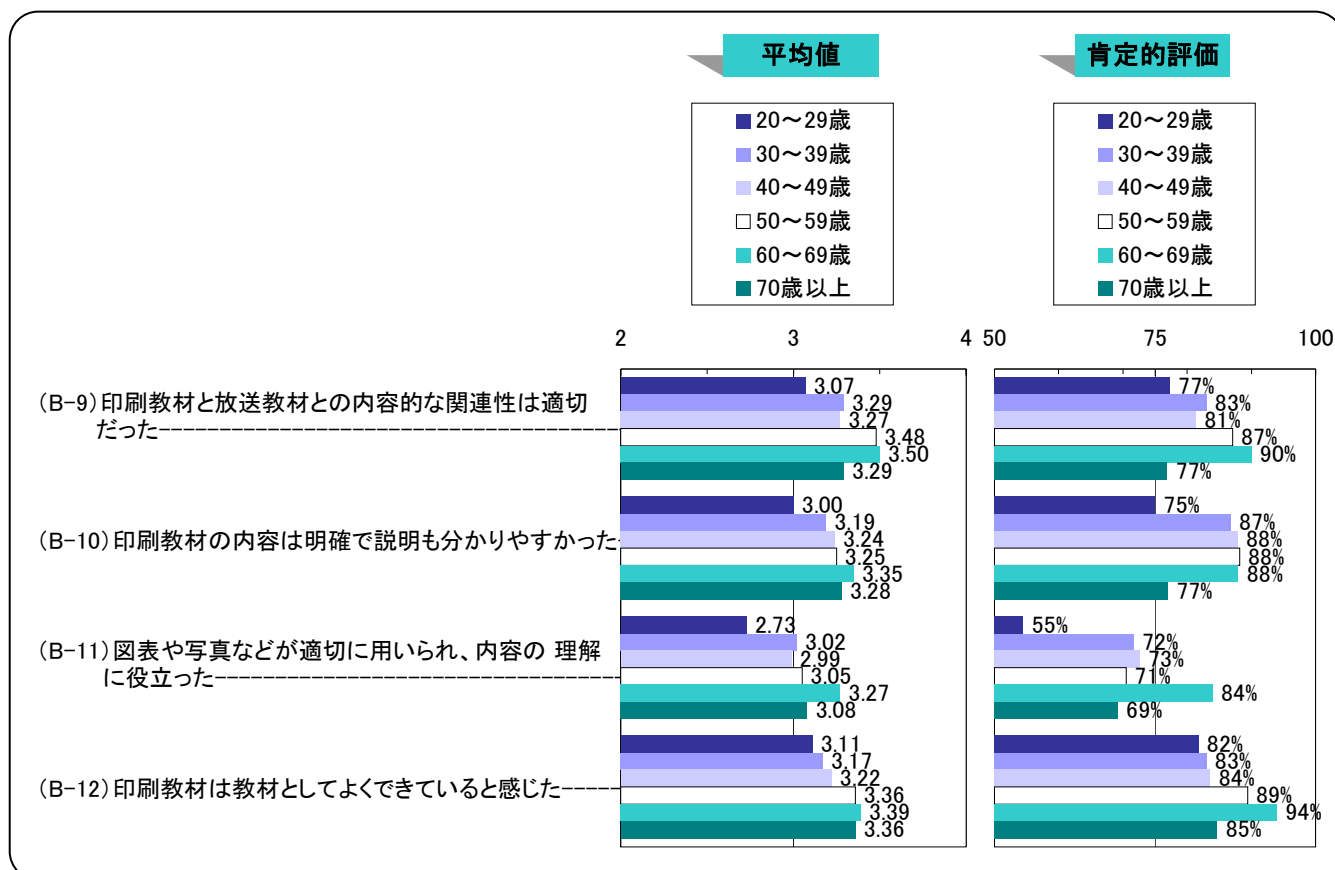
平均値

肯定的評価



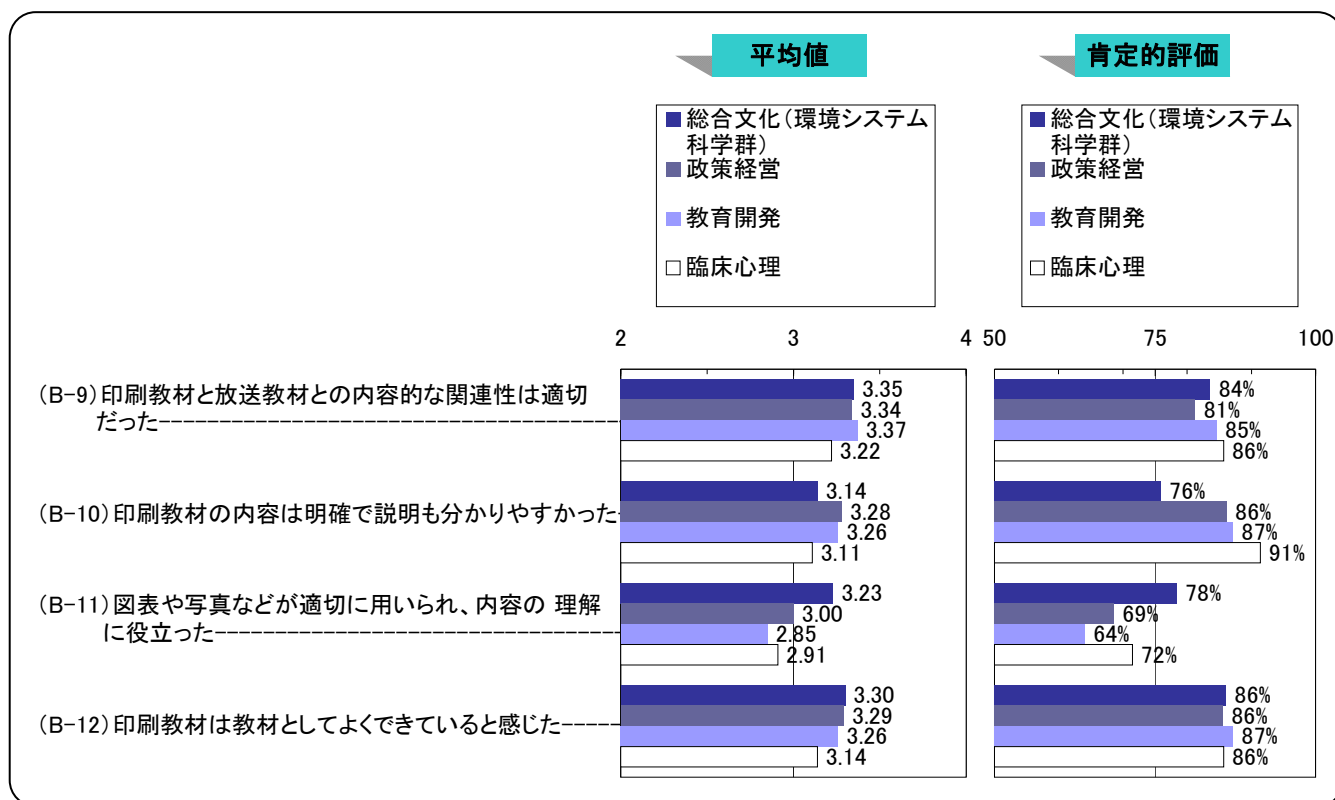
年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-82）、総合評価としての（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、50歳代～60歳代の評価が高く、若年層ほど評価が低い。またいずれの項目も20歳代の評価が低く、特に（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は非常に低くなっている。

図2-82 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると(図2-83)、総合評価としての(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、いずれのプログラムも評価が高くなっている。一方、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、「教育開発」「政策経営」「臨床心理」の評価が低い。

図2-83 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



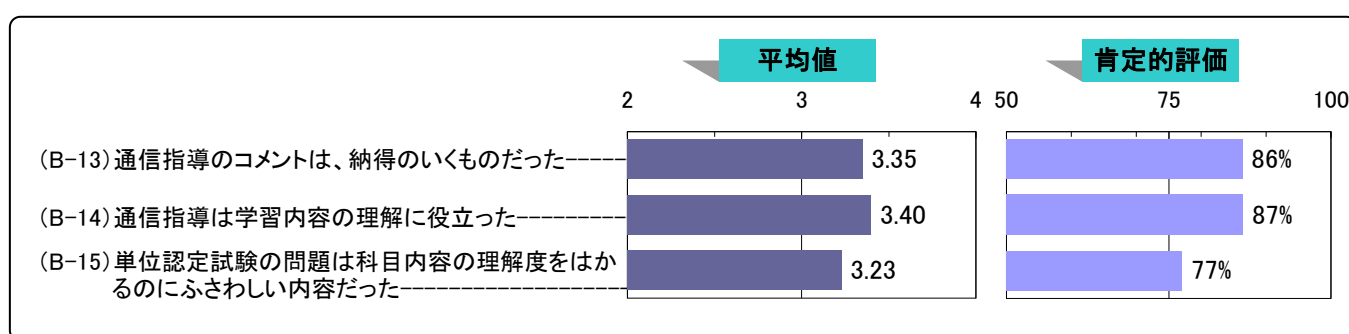
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-84)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.35、肯定的評価 86%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.40、肯定的評価 87%と、いずれも高い評価を得ている。

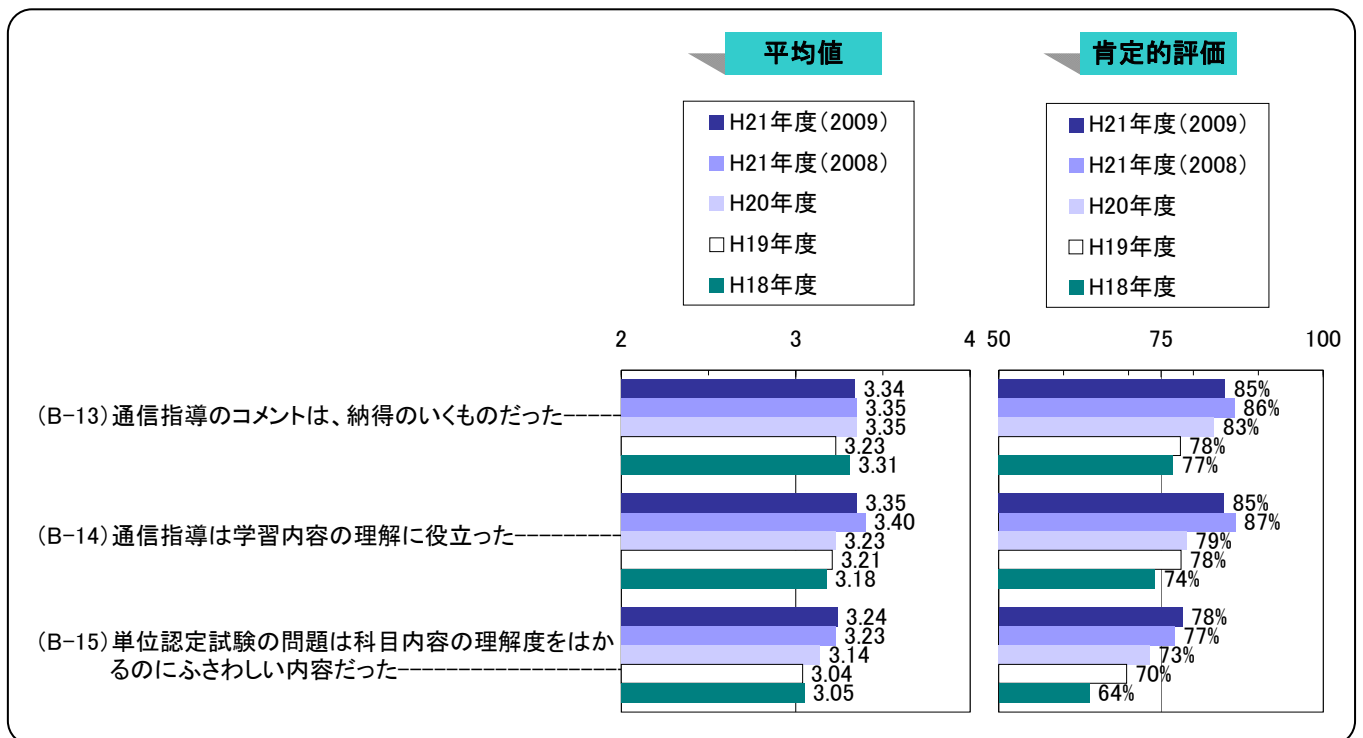
単位認定試験についても(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」の評価はますますの高さである。

図2-84 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



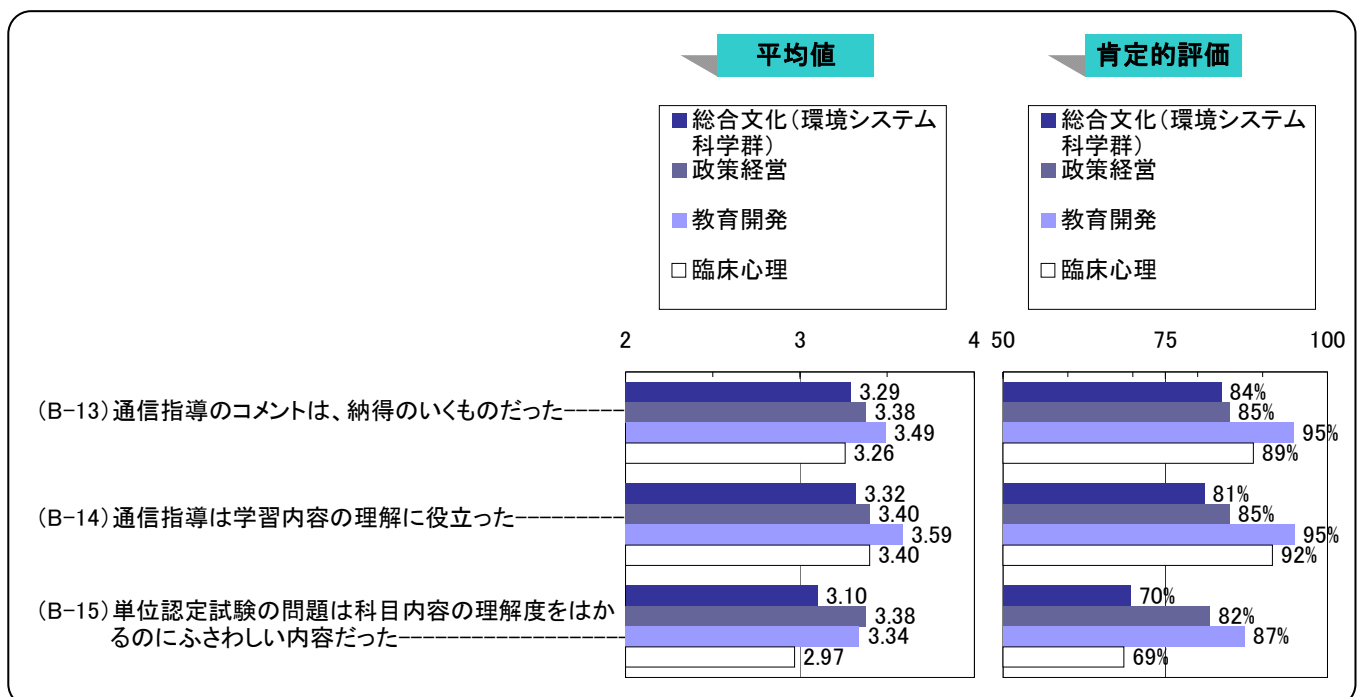
通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(次頁図2-85)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、平均値ではあまり大きな変化はないものの、肯定的評価では徐々に評価が上がっている。(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、年々評価が向上しており、改善の効果が現れていると言えよう。

図 2－8 5 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図 2－8 6）、通信指導は、いずれも「教育開発」の評価が非常に高い。単位認定試験は、「政策経営」と「教育開発」の評価が高いが、「総合文化（環境システム科学群）」と「臨床心理」の評価は低い。

図 2－8 6 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．参考

ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく（相関係数の意味と見方については、65 頁を参照されたい）。

表 2－5 は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表 2－5 【大学院】放送授業と各項目との単相関係数

	(A2) 放送授業を十分に視聴した	(B7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.515
(B1) 放送授業の難易度は適切だった	0.363	0.594
(B2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.415	0.640
(B5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.495	0.789
(B6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.512	0.762
(B7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.515	1.000
(B8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.331	0.633

これを見ると、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は 0.515 と相関が見られる。また（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目である（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」などが、相関係数 0.4 以上と相関が見られる。放送授業の取組姿勢のよい人は放送授業の評価がよく、逆に放送授業の評価がよいと取組姿勢もよくなることが推測される。

一方、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）と放送授業の各評価項目との相関係数はいずれも相関が見られるが、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数 0.789、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数 0.762 と強い相関が見られる。したがって、放送授業の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切であると言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)の相関係数を見たのが表2-6である。

表2-6 【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教材を熱心に学習した	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.283
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.224	0.524
(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.248	0.544
(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.232	0.555
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.297	0.738
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.203	0.665
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.283	1.000

これを見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)と印刷教材の各評価項目は、あまり相関が見られない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関が見られ、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.738、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.665 と強い相関が見られる。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用することが大切であると言える。

さらに(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表2-7である。

まず、全体的な熱心度(取組姿勢)と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は理解度と 0.406、満足度と 0.387 の相関係数であり、学部ほどではないが、熱心度と理解度・満足度との間に緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.786 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

表 2-7 【大学院】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.406	0.387
	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.529	0.311	0.299
	(A3)印刷教材を熱心に学習した	0.672	0.414	0.382
授業の難易度・分量	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.257	0.508	0.588
	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.284	0.475	0.529
	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.211	0.558	0.609
	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.264	0.506	0.588
放送授業	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.362	0.479	0.588
	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.332	0.425	0.504
	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.273	0.426	0.556
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.214	0.365	0.478
印刷教材	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.297	0.468	0.537
	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.335	0.642	0.633
	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.213	0.433	0.511
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.300	0.555	0.603
通信指導・単位認定試験	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.214	0.410	0.490
	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.283	0.478	0.526
	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.280	0.504	0.574
全体評価	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.258	0.512	0.600
	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.403	0.651	0.743
	(B18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.340	0.547	0.658
	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.406	1.000	0.786
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.387	0.786	1.000

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.672 と最も相関が強く、次いで (A-2)「放送授業を十分に視聴した」、さらに (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」との相関が見られる。全体的な熱心度は、印刷教材や放送授業への取組姿勢、さらに授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか重要な要因になっていると言える。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と各評価項目の相関を見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」と(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」を除いて、いずれの評価項目とも相関が見て取れる。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と強い相関が見られる。理解度は、教材の分かりやすさや授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうかと特に関係していることが分かる。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」と各評価項目の相関係数を見ると、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、いずれの評価項目も満足度に対して重要な要素なっていることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」である。満足度を高める上で、放送授業の分かりやすさ、印刷教材の難易度や分かりやすさ、興味・関心もてる授業内容、視野が広がるような知識の習得という点が、特に重要な影響を与えていると言える。

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ－1. 総括

自由記述については膨大な量の回答が寄せられており、全ての回答を原文のまま主任講師に提供している。個々の自由記述意見を熟読するだけでも有益な情報を得ることができるが、ここではさらに学生の意見の全体像を把握するため、自由記述意見の分類・集約を行なった。集約方法は、外国語及び専攻（プログラム）ごとに、この科目を受講して①「よかった点」及び②「気になった点」を、その意見内容によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」をまとめた。

まず学部を集約した結果を概観すると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ テーマについて考えるきっかけになった、さらに勉強するきっかけになった
- ・ 今後の人生・生活に役立つ
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ 基礎的な知識が得られた、概要が分かった
- ・ テーマについて興味が深まった
- ・ これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った
- ・ 現在の課題や問題点を学べた

等といった意見が多く見られた。

その他、放送授業のよかった点としては、「実験がよかった」「理解しやすい授業だった」「講師の話し方がよかった、分かりやすかった」「講師以外の人の話も聞けた」「対話形式の授業がよかった」「実際の物や場面・現場を見ることができた」「映像で理解しやすかった」等の意見が多い。

印刷教材については「CD、DVD が役に立った」「理解しやすい内容だった」「練習問題・課題が役に立った」「内容が充実していた」「引用・参考文献があった」「図表・写真等があり理解しやすかった」等の意見が多い。

一方、科目内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 内容に不足な点、もっと知りたいことがあった
- ・ 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい
- ・ 具体例・事例を増やして欲しい
- ・ 内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい

- ・ 分量が多すぎる
- ・ 放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい
- ・ 期待する内容、科目案内とは違っていた
- ・ 用語が分からない、解説して欲しい

等、難易度、分量、内容や説明不足、内容の広さ、事例不足に関する不満が多かった。

放送授業で気になった点では

- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい
- ・ ポイントが分かりにくい
- ・ 面白みがない
- ・ 講師の話し方がよくない、速すぎる

印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・ 説明が分かりにくい
- ・ カラー印刷にしてほしい
- ・ 資料・データが古い、改訂版を出してほしい、誤字がある
- ・ 練習問題やその解説を増やして欲しい

等が多く見られた。ポイントは理解のしやすさと具体性、さらにテーマの広さと深さのバランスと言えよう。しかしこれは専攻（プログラム）ごとにみた内容であり、さらに個々の科目ごとにどのような意見が多いのかを検討し、今後、その科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていくべきであろう。

次に、大学院の集約した結果を見ると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ 基礎的な知識が得られた、概要が分かった
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ テーマについて考えるきっかけになった、さらに勉強するきっかけになった

等が多い。

一方、授業内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 放送授業と印刷教材の内容が同じである
- ・ もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- ・ 具体例・事例を増やして欲しい

また、放送授業で気になった点は

- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい

さらに印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ 文章表現が分かりにくい、まわりくどい
- ・ 執筆者が複数であるため統一性に欠ける

等が多く見られた。全体としては、学部と同じような意見が多くなっているが、プログラムや科目による差が大きいので、やはり科目ごとの検討が必要である。

Ⅲ－２．学部

【学部】「外国語」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
題材が良かった、題材や作家、人物に興味 味が深まった	3	39	42
理解・知識が深まった	6	25	31
学習意欲が湧いた、興味が深まった	10	14	24
文化や歴史等、語学以外も理解できた	8	14	22
楽しく学べた	9	10	19
再学習に役に立った	9	7	16
文法が学べた	3	12	15
自分の実力がわかった、わからないこと がわかった	5	6	11
解説が豊富・分かりやすかった	3	5	8
無理なく学べた・理解しやすかった	2	2	4
難しさを実感した	1	3	4
構成が良い	1	2	3
よかった		3	3
内容がバラエティに富んでいる	2		2
反復練習できた	1	1	2
基礎を学ぶことができた	1	1	2
その他	4	15	19

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師が良い	5	4	9
ネイティブの発音を学べた	2	4	6
会話練習が良かった		6	6
講師の熱意が伝わった	2	3	5
生きた外国語を聴けた	2	1	3
インターネットで受講できた		3	3
テレビ授業の良さを感じた	2		2
聴き取れるようになった	1	1	2
ポイントコーナーが良かった		2	2
その他	0	2	2

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
CDが役立つ	1	3	4
内容が良い、分かりやすい		4	4
練習問題が多い・充実している		2	2

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
自分に見合った難しさだった		1	1
問題を持ち帰れたのがよかった		1	1
単位がとれた		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 授業で採り上げる素材・テーマを工夫し、興味を持たせる
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 科目案内で難易度や必要とされる基礎知識についても言及する
- 文法についての詳しい説明を入れる
- 理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する
- 授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- 印刷教材に和訳(全訳)を掲載する
- 単位認定試験を充実し、学習度合いを適切に評価できる内容にする

【学部】「外国語」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい	6	11	17
題材が悪い、もっと身近なテーマにした方がよい	1	15	16
テレビ科目にして欲しい		7	7
科目案内が不適切、内容が期待するものでなかった	4	2	6
文法や背景の説明が長い	2	3	5
文法説明が不十分	1	3	4
例やトピックスを取り入れてほしい		4	4
分量が多い、範囲が広い	3		3
構成が悪い	1	2	3
文化や歴史等も紹介して欲しい	1	1	2
日常会話について詳しく学びたい		2	2
その他	7	32	39

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
進行スピードが速い、早口すぎる	7	5	12
ヒアリングが難しい	2		2
教材と授業の内容がかけ離れている		1	1
講義が聞きづらい		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
日本語訳がない、不十分である	3	4	7
CDの内容が不十分	1	3	4
CDを付けてほしい		4	4
見にくい	1	2	3
分かりにくい・解説が不十分	1	1	2
誤植がある・誤植が多い		2	2
(全)訳が欲しい		2	2
字が小さい	1		1
分量が多い	1		1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、簡単すぎて試験として不適格		5	5
難しかった		2	2
持ち込み可にして欲しい	1		1

【学部】「外国語」科目

よかった点

- 中国の知識人について知ることができた。日常生活（手紙）をかいま見る事ができた。
- 中国語の奥の深さを知る事が出来たこと。文法は難しいので、なかなか理解するのに時間がかかるけど、漢字ばかりで気持ちを言い表す中国語は面白い。日本語文のようにだらだら長なくて的確に伝える文章で、中国語を改めてすごい言語と感じた。
- 苦手科目が少し興味深い科目に変わった。
- 言葉だけでなく、社会、文化、歴史などについて学ぶことができた。
- 英語（英文）を勉強したいと思って受講しました。私のレベルにちょうど合っていて（自分より少し上のレベル）とても大変でしたが、楽しく勉強できました。録音したテープを何回も巻き戻して聞き、訳（内容）を理解するよう努め、自分なりに一生懸命取り組めたと思います。英文（物語）を読む事、読めた事が本当に楽しかったし、充実していました。
- 英語は不得意だったのもう一度復習し、理解できたことがうれしく思います。中学、高校レベルの私でも分かりやすい内容で助かりました。
- 文法解説が適切で、大枠が身についた。読解の手法が自分のものになり実力が向上するのを感じた。
- 自分の中国語の基礎学力は未だ未だ不十分であることを自覚させられ、今後も継続して学習していくべきと思った。
- 講師が良かった。ポイントなどを良く教えてもらった。
- CD 付だったので繰り返し聞くのに便利だった。内容が食べ物、園芸、家、すまいなどバラエティに富んでいて楽しかった。

気になった点

- 基本といっても内容がむずかしすぎると思う、高齢の方などは特に感じられるのでは。
- 題材をもう少し現代的なものにしていいただいたら、もっと興味深く学習できたと思う。
- やはり、テレビでの受講の方が勉強しやすかったように思います。テレビを見て、図表などの解説を聞くことで、重要なポイント等がラジオよりもわかりやすいです。
- 「基礎」となっていましたのであまり知識がなくても大丈夫かと気軽に受講を決めました。実際には文法項目も訳もかなり最初は苦労しました。文法書を再度半年かけて再勉強してからやり直し、やっと普通に授業を聞けるようになり一年かかってしまいました。特に文法についてはこの程度の知識レベルは必要といったレベルを科目案内にのせたらいいのではないかと思います。
- 英語がボツボツと文法で区切られて楽しくなかった。中学や高校の入試英語の勉強をしている感じがした。背景説明は、単語についての様々な辞書の説明の羅列が非常に多く、或いは文献の要約や写しの様な感じで興味を持つものは非常に少なかった。
- 文法が少し難しく感じた。もう少し解釈を詳しくして欲しかった。（特に物語の時代が現代ではないので、その時代特有の物。政治体制が分からなくて理解に手間取った。）。
- 日常的に使用できるうる限りの例を載せていただきたい。
- 出来る人を前提としてペラペラしゃべるので、もう少しゆっくりして下さい。
- 邦訳を印刷教材に記載して欲しい。
- 日本語訳を覚えていれば答えられてしまうような問題を解いても、何の意味もない。授業を聞いたかどうかの大学側の確認でしかない。この科目を取る事ができるレベルの学生なら、この文法とこの文章は解けるだろうというように新たな英文問題を解かせるべきだと思う。

【学部】「基礎科目」

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	129	64	193
テーマについての興味が深まった	25	24	49
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	32	10	42
視野が広がった、視点が変わった	18	19	37
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	30	2	32
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	23	3	26
今後の人生・生活に役立つ	18	3	21
楽しく学べた	12	6	18
仕事・社会活動に役立つ	12		12
具体例・事例があった	9	1	10
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	7	2	9
他の科目の学習に役立つ	6	3	9
身近な生活に関わる内容だった	5	1	6
受講してよかった	2	4	6
今後の学習に役に立つ	4	1	5
学ぶ、知る楽しさを覚えた	2	1	3
資格取得に役立った	1	1	2
社会に対する理解が深まった		2	2
その他	4	1	5

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
実験がよかった	11		11
理解しやすい授業だった	7		7
映像で理解しやすかった	5	1	6
講師以外の人の話も聞けた	4		4
講師が熱心だった、熱意が伝わった	3		3
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	1	1	2
対話形式の授業がよかった	1		1
楽しく受講できた	1		1
図表があり理解しやすかった	1		1
講義の内容がよかった	1		1
複数の講師による各専門分野から講義であった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
DVDが役に立った	5		5
理解しやすい内容だった	2		2
CD-ROMが役に立った	2		2
練習問題・課題が役に立った	2		2
図表・写真等があり理解しやすかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	3	1	4
試験がわかりやすかった	1		1
試験内容が適切だった	1		1
持ち込み可が良かった	1		1
記述式なのがよかった		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 分かりにくい箇所について詳しい説明・解説をする
- 内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- 科目案内で難易度や必要とされる基礎知識についても言及する
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- テレビ科目は映像を生かした内容にする
- 授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- 印刷教材の解説を充実させる
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

【学部】「基礎科目」

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	41	13	54
分量が多すぎる	10	4	14
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	10	2	12
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	9	3	12
期待する内容、科目案内とは違っていた	8	2	10
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	8	1	9
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	6	2	8
具体例・事例を増やして欲しい	5		5
放送授業と印刷教材の内容が同じである	3	2	5
取上げられた本が絶版である、見つからない		5	5
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	3		3
不要に感じる部分がある	2		2
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	2		2
他の科目との関連を考慮して欲しい	2		2
用語が分からない、解説をしてほしい	1	1	2
もっと実践的な内容にしてほしい	1	1	2
内容がばらついている、まとまりがない	1	1	2
取上げられた本の量が多く、読みきれない		2	2
その他	25	10	35

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである	5	8	13
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	9		9
講義のスピードが速すぎる	9		9
ポイントが分かりにくい	6	3	9
テレビ科目にして欲しい		6	6
面白みがない	2	3	5
講師の話が聞きづらい	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2	1	3
講師の話し方がよくない	2	1	3
映像が不鮮明な箇所がある	2		2
講師の相手がよくない	2		2
対話形式の授業にして欲しい	1	1	2
その他	3	2	5

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8		8
カラー印刷にして欲しい	5		5
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	5		5
練習問題の解答例・解説が欲しい	3	2	5
分かりにくい	3	1	4
補完教材を加えて欲しい	3	1	4
図表・写真を掲載して欲しい	1	3	4
まとめや学習のポイントが欲しい	2		2
誤字がある	2		2
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	2		2
難しい漢字に振り仮名が欲しい	1	1	2
その他	3	2	5

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
誤字・誤植がある	2		2
もっとコメントしてほしい	1		1
問題の解答例・解説が欲しい	1		1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1		1
難しかった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	13	1	14
理解度や学習度合を図る内容になっていない	5	1	6
通信指導の内容とかけ離れている	3	2	5
問題文の文章表現が悪い	3	1	4
問題数が多い、時間が足りない	1	2	3
問題数が少ない	1	1	2
その他	4	3	7

【学部】「基礎科目」

よかった点

- 古代や現代まで、その時代を生きた人々の考えや行動を知ることができ、知識が広がった。
- 学習科目の中で親しみにくい科目の一つでありましたが、学習が進行していくうちに科目の理解が深まり、興味が湧いて来ました。
- 問題とは何かを考える機会を与えてくれた。又、その解決のための方法がわかりやすく書かれていた。
- 物の見方、考え方、社会に対して、人間に対して、色々な意味で視野が広がった。
- ” 初歩 ” という題目通りで今後の学習の基礎となった。
- 在職中、問題の発見とその解決に特別な用語、及び、大まかなルールは一般的ではなかったため、「技法」として整理して習得できたことが良かったと考えている。
- 具体的で生活の上で役立つ内容でした。分かりやすく意欲的に取り組めた。
- 楽しく改めて新鮮な気持ちで受講させて頂きました。
- 放送授業の中で簡単な実験の映像があり、学習の助けとなりよかったと思う。(本科目がテレビ放送科目であったのが良かった)
- DVD 教材にとっても助けられ、数学を自習する助けになりました。

気になった点

- もう少し内容が易しくなっているとよい（というか高校レベルのものかと思ってました）と思いました。
- 量が結構あって、いっぱい勉強しなければならなかったのが大変だった。もうちょっと基礎的な事でも良かった。
- 問題の解説で、ここまでは理解できたが次が分からないと感じた事がありました。途中省略してあるのではないかと思います。その点を改善して欲しいと思います。
- 内容が多岐にわたり、全体として少し説明が少ないような感じでした。これが入門編なら応用編とか専門科目とかでももう少し勉強したいような気がします。
- 授業科目案内書により、当科目を選んだのだが講義概要と実際の授業の内容に大きな隔たりがあり講義についていけなかった。
- 歴史との関連が少しあるとよかったかと。
- あまり中身の濃い内容でなかったのもう少し掘り下げた内容にしたらどうかと思います。
- 放送の内容は、印刷教材をほとんど読んでいる形だったのが残念だった。部分的に詳しく説明したり、関連する内容を話してくれたり、などより掘り下げた内容の放送が聞きたかった。
- 各章、各項の説明が十分でなかった。初めて学ぶ人にはもう少しページ数を増やして説明すべきだと感じた。
- 放送教材、印刷教材を通して自分なりに勉強したつもりでしたが、単位認定試験の難易度は高すぎるのではないだろうか？科目授業内容と試験で求められるレベルがかけはなれていると思った。単位認定試験難しかった。

【学部】「生活と福祉専攻」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	93	167	260
今後の人生・生活に役立つ	3	51	54
現在の課題や問題点を学べた	11	25	36
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	9	26	35
視野が広がった、視点が変わった	12	20	32
仕事・社会活動に役立つ	1	23	24
テーマについての興味が深まった	8	15	23
身近な生活に関わる内容だった	1	20	21
具体例・事例があった	1	15	16
知りたかったことを学ぶことができた	3	11	14
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	2	11	13
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1	7	8
内容が充実していた、幅広い内容だった	2	5	7
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	1	6	7
受講してよかった	2	4	6
最新の情報や研究が学べた		3	3
楽しく学べた	1	1	2
資格取得に役立った		2	2
その他	3	2	5

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい授業だった	1	7	8
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	2	4	6
講師以外の人の話も聞けた	3	1	4
映像で理解しやすかった	2		2
実際の物や場面・現場を見ることができた	2		2
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2		2

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった		3	3

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		2	2
試験内容が適切だった		1	1
以前と同じ問題で良かった		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- 放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- 専門用語の解説を詳しくする
- 科目案内で難易度や必要とされる基礎知識についても言及する
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

【学部】「生活と福祉専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	4	21	25
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	15	9	24
分量が多すぎる	3	6	9
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい		9	9
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	1	6	7
用語が分からない、解説をしてほしい	1	5	6
期待する内容、科目案内とは違っていた	4	1	5
放送授業と印刷教材の内容が同じである	2	3	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	2	4
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	1	3	4
内容がばらついている、まとまりがない	1	2	3
最新の情報や研究を知りたかった	1	2	3
具体例・事例を増やして欲しい		3	3
放送授業と印刷教材の内容が異なる		3	3
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1	1	2
学習の方法が分からない		2	2
内容がおもしろくない		2	2
今後に向けた解決策などもいれてほしい		2	2
その他	4	14	18

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		24	24
印刷教材を読んでいるだけである	4	12	16
面白みがない	5	4	9
ポイントが分かりにくい		5	5
原稿を棒読みしている、会話が不自然な感じ	3	1	4
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	3		3
講師の話し方がよくない	1	2	3
講義のスピードが速すぎる		3	3
講師の話が聞きづらい	1	1	2
説明が分かりにくい	1	1	2
複数の講師のため統一性・連携に欠ける		2	2
その他	1	2	3

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	1	10	11
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	2	3	5
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	1	4	5
分かりにくい	1	3	4
カラー印刷にして欲しい	1	2	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	2	3
文字や図表が小さい		3	3
誤字がある		2	2
図表や写真が見にくい・不鮮明		2	2
補完教材を加えて欲しい		1	1
難しい漢字に振り仮名が欲しい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が細かすぎる	1		1
難しかった		1	1
内容に偏りがある	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	5	7	12
通信指導の内容と同じである		6	6
問題数が少ない	2	2	4
授業や教材の内容と異なる	1	3	4
問題数が多い、時間が足りない		2	2
物足りない、易しすぎて試験として不適格		2	2
通信指導の内容とかけ離れている	1		1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1		1
解答と解説が欲しい	1		1
教材等持ち込み可にして欲しい		1	1
問題文の文章表現が悪い		1	1
内容に偏りがある	1		1

【学部】「生活と福祉専攻」科目

よかった点

- 言葉の概念など、知らないことが多かったが、知識を習得することができた。事例が豊富にあり、理解しやすかった。
- 社会経済環境が大きく変化する中で、自分の生活設計・人生を満足いくようにどう生きるべきか参考になった。
- 最新の食品に関する問題や背景を知る事ができた。
- 食べ物についての安全性を考える良い機会となった。何気なく口にしていたが、今後は、色々と注意もしていきたい。
- ほんの少しであっても、視野が広がって自分自身に幅が持てたような気がする。
- 仕事の面で役に立っています。医療と福祉の分野の仕事なので、一般の方の疑問に答える際にも利用できました。
- データなどでは興味深く関心もあり、良かったと思います。
- 身近な問題を学習出来、知識も正確に、これからは自身の考えを意見として発言していけそうな点です。
- ラジオ放送でしたが、印刷教材に沿って行われていて所々、印刷教材を補うような形で授業が行われていて、とても分かりやすく勉強できました。家族の事について色々と勉強できて、とても良かったです。今後の生活に活かしたいなと思います。
- 非常に簡潔にまとめてある文献で参考になった。

気になった点

- より分かりやすくするべきである。仕事をしながら学習する上で時間的余裕がないため、分かりやすさは重要である。
- いくらか他の国の様子が見えてきたのですが、いくぶん内容不足？期待していたほど内容が豊かだったとは思わない。
- 印刷教材のページが多く内容がつかみづらかったのもう少しページを少なくして内容を絞って欲しい。
- 内容が広範囲なので、少し焦点がぼやけたような気がする。
- 印刷教材通りに講義が進められる必要はないけれど、どこを今話しておられるか分からない時があった。
- 入門科目にしては専門的な言葉が多く出てきますので、もう少し分かりやすい工夫を、印刷教材や放送授業でしてもらいたい。
- 図解して説明していただいた方が良いのではと思われる内容もあり、テレビだとよりわかりやすかったと思います。
- 印刷教材を読み上げるだけの放送では意味がないと思う。それなら印刷教材だけで十分である。プラスアルファがなくては放送授業の価値がない。
- 教材に図表が少なかった。目で訴える資料も欲しい。
- テストが難しすぎるのではないか。専門職の人以外でも解けるのだろうか。

【学部】「発達と教育専攻」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	88	193	281
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	13	47	60
仕事・社会活動に役立つ	9	36	45
テーマについての興味が深まった	10	30	40
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	5	32	37
今後の人生・生活に役立つ	7	20	27
具体例・事例があった	4	18	22
視野が広がった、視点が変わった	6	15	21
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	7	10	17
現在の課題や問題点を学べた	3	14	17
楽しく学べた	8	7	15
知りたかったことを学ぶことができた	6	9	15
理解しやすい内容だった	1	11	12
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	3	5	8
他の科目の学習に役立つ	1	5	6
受講してよかった	1	5	6
最新の情報や研究が学べた	3	2	5
今後の学習に役に立つ		5	5
身近な生活に関わる内容だった	2	1	3
内容が充実していた、幅広い内容だった	1	2	3
資格取得に役立った		3	3
その他	1	8	9

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい授業だった	6	3	9
講師以外の人の話も聞けた		8	8
講師の話方がよかった、分かりやすかった	2	4	6
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2	3	5
映像で理解しやすかった	3	1	4
複数の講師による各専門分野から講義であった	1	1	2
実際の物や場面・現場を見ることができた		2	2
インターネットで受講できた		1	1
講師の私見・考え方も聞けた		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
練習問題・課題が役に立った	5	2	7
理解しやすい内容だった	3	4	7
内容が充実していた	1	3	4
練習問題の解答例・解説が役に立った	2		2
図表・写真等があり理解しやすかった		2	2
コラムがよかった		2	2
エピソード、事例があり理解しやすかった		1	1
キーワード・ポイント等が役に立った		1	1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
添削、コメントをしてもらえた		3	3

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
持ち込み可が良かった	3	1	4
試験がわかりやすかった	1	1	2
単位がとれた	1		1
設問数が適切		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 具体例や事例を増やす
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 専門用語の解説を詳しくする
- 科目案内で難易度や必要とされる基礎知識についても言及する
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- 印刷教材に放送授業で使用した資料やデータも掲載する
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

【学部】「発達と教育専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	13	19	32
具体例・事例を増やして欲しい	1	14	15
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	1	11	12
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい		12	12
分量が多すぎる	7	4	11
用語が分からない、解説をしてほしい	4	4	8
期待する内容、科目案内とは違っていた	4	4	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	1	5	6
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい		6	6
放送授業と印刷教材の内容が異なる		5	5
放送授業と印刷教材の内容が同じである		5	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		4	4
不要に感じる部分がある		4	4
今後に向けた解決策などもいれてほしい		4	4
内容に偏りがある		4	4
他の科目と内容が重複する	1	2	3
もっと実践的な内容にしてほしい		3	3
内容がばらついている、まとまりがない	1	1	2
参考文献を紹介して欲しい		2	2
最新の情報や研究を知りたかった		2	2
その他	8	16	24

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		32	32
印刷教材を読んでいるだけである	5	13	18
面白みがない	7	1	8
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	5		5
講師の話し方がよくない	3	2	5
複数の講師のため統一性・連携に欠ける		3	3
ポイントが分かりにくい		3	3
DVDが欲しい		2	2
その他	3	7	10

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業の資料やデータを載せて欲しい	4	1	5
図表・写真を掲載して欲しい	1	4	5
分かりにくい	3	1	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		4	4
まとめや学習のポイントが欲しい	3		3
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	2	3
カラー印刷にして欲しい	1	1	2
図表や写真が見にくい・不鮮明	1	1	2
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい		2	2
その他		3	3

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	1	2	3
もっとコメントしてほしい		2	2
易しすぎる		1	1
選択式にしてほしい		1	1
問題の解答例・解説が欲しい		1	1
問題文の文章表現が悪い		1	1
問題数が少ない		1	1
理解度や学習度合を図る内容になっていない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	2	10	12
理解度や学習度合を図る内容になっていない	4	4	8
授業や教材の内容と異なる	2	1	3
問題数が少ない	1	1	2
物足りない、易しすぎて試験として不適格	1	1	2
通信指導の内容とかけ離れている	1	1	2
問題文の文章表現が悪い		2	2
教材等持ち込み不可にして欲しい		1	1
選択式にしてほしい		1	1
解答と解説が欲しい		1	1

【学部】「発達と教育専攻」科目

よかった点

- 教育分野の一般的知識として受講しました。政治・経済以外の視点で歴史を見る事はあまりなかったので、隠れた近代史の原動力として社会の変化がよく分かったのが良かったです。
- 今まで、仕事に生活の時間もほとんど取られていた。しかし、この科目を受講して、自分が生きて行く基盤となる人と関わって行く生活のあり方を考えることが出来た。又、退職後の自分の生活に少し希望が持てるようになった。
- 仕事で地域活動を支援していますので、参考になりました。ボランティア活動を実践していますので、こちらにも参考となります。
- 一番強く思った事は、この科目に対して、学習意欲や興味、関心が高まる授業内容であった事です。職場を離れた今、地域で暮らす一員であるという意識を持つようになった。その中での役割というものを通して地域の中で実現していく事や、報道される社会の出来事や様々な活動、人々の生き方などまで、私にとって新たな視野で興味や関心事になった事です。
- 仕事上、研究を行うこともあったため、基本から勉強したいと思い受講した。基本的なところから勉強できたのでよかったと思いました。
- 看護の仕事上役に立ちます。自分の精神面においても、この勉強をする上で楽になりました。
- 全国各地の事例が数多く取り上げられ、応用可能なものが多かった。歴史的背景をきちんと説明した上で個々の活動内容が説明されており、成果を上げていくための苦勞とポイントがよく分かった。
- 新しい知識が身に付き、視野が広がった。身近な若者を見守る良い糧になります。学ぶは学問だけに限らないが、一生涯が学習である事を強く思った。
- 大学の発生と成立、世界各地の教育の起源、我が国の教育の時代背景等、細かく要領良くまとめられて学ぶ事が出来ました。教育がいつの時代でも自分にとっても社会にとっても、大きな財産であることを感じた。専門分野担当の先生方が詳しく、分かり易く説明され、理解出来ました。
- 各章の終わりにある演習問題は、その都度、その回に学んだことをどれぐらい理解したのか確認でき、そして回答コメントがあることから、よりわかりやすいと感じた。

気になった点

- 内容が難しく、理解するのに時間がかかった。自分が苦手としている分野だったこともあるが、もう少し易しい（範囲が狭い）とありがたかった。
- ちょっとカタイかもしれません。具体的なトピックなどが入ると意欲が湧くのかもしれません。
- どちらかというと、「小学校」等を取りまく状況についての記述・説明が多かったので、もう少し「大学」等についてのお話をしていただけるとよかったです。
- 心理と教育を専攻していますので、単位を取得するための取りやすい科目としては有難かったですが、せっかく学ばせて頂くのですから、もう少し深い内容でも良かったように思います。
- やむを得ないことなのかも知れないが、印刷教材のボリューム（页数）が多い。
- もう少し説明して欲しい言葉や用語があった。
- テレビ科目への変更も検討して頂きたい。放送授業の理想はビジュアルと思っている。
- 印刷教材を読むだけの先生もいらっしゃるので、印刷教材は自分で読んで理解していくので、もっと話題を広げて講義をしてほしいと思いました。
- 印刷教材に放送教材に示されている図表をもう少し入れて頂くと整理が効率的であると感じました。
- 印刷教材持込可にも関わらず、試験が難しかった。しっかり読み込んだが、問題文自体にも取り組みにくさを感じた。

【学部】「社会と経済専攻」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	146	247	393
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	17	33	50
視野が広がった、視点が変わった	27	22	49
テーマについての興味が深まった	14	30	44
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	8	15	23
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	7	11	18
楽しく学べた	7	10	17
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	5	8	13
受講してよかった	4	9	13
いろいろな視点から多角的に学べた	1	9	10
現在の課題や問題点を学べた	7	1	8
仕事・社会活動に役立つ	4	3	7
具体例・事例があった	1	6	7
今後の人生・生活に役立つ	2	3	5
理解しやすい内容だった	1	4	5
身近な生活に関わる内容だった	1	3	4
内容が充実していた、幅広い内容だった	2	1	3
その他	5	5	10

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい授業だった	5	14	19
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	3	9	12
対話形式の授業がよかった		9	9
講義の内容がよかった	4	2	6
映像で理解しやすかった	5		5
講師以外の人の話も聞けた	1	4	5
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	2	3
楽しく受講できた	2		2
図表があり理解しやすかった	2		2
講師に親しみがもてた	1	1	2
インターネットで受講できた		2	2
複数の講師による各専門分野から講義であった	2		2
実際の物や場面・現場を見ることができた	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	2	10	12
内容が充実していた	3	6	9
図表・写真等があり理解しやすかった	1	2	3
エピソード、事例があり理解しやすかった	1	1	2
練習問題・課題が役に立った	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
コメントが良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		2	2
記述式なのがよかった	1		1
問題を持ち帰れるのが良かった		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 分かりにくい箇所について詳しい説明・解説をする
- 具体例や事例を増やす
- 内容や解釈・説において一方に偏らない
- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- 現在の課題や問題点、最新の情報についても取り入れる
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する

【学部】「社会と経済専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	11	20	31
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	13	12	25
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	13	19
具体例・事例を増やして欲しい	6	8	14
内容に偏りがある	3	8	11
放送授業と印刷教材の内容が同じである	5	5	10
分量が多すぎる	5	4	9
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	3	5	8
今後に向けた解決策などもいれてほしい	5	2	7
現在の課題・問題点も取り入れて欲しい	5	1	6
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	4	6
簡潔に説明してほしい		5	5
放送授業と印刷教材の内容が異なる		5	5
上級または関連する科目を開設して欲しい	3	1	4
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	1	3	4
用語が分からない、解説をしてほしい	1	2	3
期待する内容、科目案内とは違っていた	1	2	3
もっと生活や実務に即したものにしたい	1	1	2
参考文献を紹介して欲しい	1	1	2
内容がばらついている、まとまりがない	1	1	2
内容を分割すべき		2	2
面接授業を実施してほしい	1	1	2
その他	13	19	32

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	1	31	32
印刷教材を読んでいるだけである	3	10	13
講師の話し方がよくない	4	4	8
面白みがない	3	3	6
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	5		5
対話形式の授業でない方がよい		4	4
ポイントが分かりにくい	1	2	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	2	3
講師の話が聞きづらい	1	1	2
インターネットで配信して欲しい		2	2
その他	4	5	9

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	9	4	13
図表・写真を掲載して欲しい	1	10	11
分かりにくい	3	7	10
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	4	5
まとめや学習のポイントが欲しい	1	4	5
誤字がある	1	4	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		5	5
補完教材を加えて欲しい	1	2	3
図表や写真が見にくい・不鮮明	1	2	3
カラー印刷にして欲しい	2		2
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	2		2
構成がよくない	1	1	2
その他	4	2	6

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
コメントが不満である	2	2	4
問題文の文章表現が悪い	1	2	3
もっとコメントしてほしい	1	1	2
易すぎる	1		1
選択式にしてほしい	1		1
記述式にして欲しい		1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	2	8	10
理解度や学習度合を図る内容になっていない	3	3	6
解答と解説が欲しい	2	3	5
問題数が多い、時間が足りない	1	2	3
通信指導の内容とかけ離れている		3	3
問題文の文章表現が悪い		3	3
問題数が少ない	1	1	2
通信指導の内容と同じである	1	1	2
記述式にして欲しい		2	2
内容に偏りがある		2	2
その他	2	3	5

【学部】「社会と経済専攻」科目

よかった点

- 社会的に関心をもたれている問題であり、このことに関して理解を深めることが出来た。
- 新しい知識を得る事が出来、自分にとってプラスとなったと思います。試験も終え単位も頂きましたが、引き続き勉強をしていきたいと感じました。
- 今まで余り考えたことのない内容で、見る目が変わったというか広がりました。総合科目に相応しい内容だと思います。
- 個人的に当該地域の歴史や地理に興味がありましたが、全体を概観できる書籍は少ないのが現状です。それを補うようにコンパクトで具体的な内容のため、理解が深まり、さらに興味を持ちました。
- 来年の国家試験の為の科目として基礎を学ぶことができてよかった。
- 最新の国際状況、問題の背景を体系的に知ることができた。
- 勉強をしている気がしないくらい面白かった。
- 持っていた多少の知識が体系的に整理でき、より深く学習する意欲が湧いてきた。
- 講師の方の説明がわかりやすかった。ただ、印刷教材を読むだけの授業と違いポイントを解りやすく説明していたと思う。特に私自身、日頃感じていたことを学ぶことが出来てとても有意義でした。
- 今まで学習したことがない科目で不安だったが、教材の内容がとてもわかりやすくて良かった。放送をほとんど視聴できなかったが、十分理解できた。

気になった点

- 私の理解の仕方が問題なのかもしれませんが、切り口が縦であったり、横であったりで、その断面では理解できても総合的に理解するためには、三次元的に組み替えする必要があります、その組み替えに苦労しました。この点について、学生が理解しやすいような捉え方を希望します。
- 15 回という限られた回数なので、やむを得ないと思われるが欧米や他の国々についても取り上げていただけたらと思う。
- 全体として解説という点では理解するが、もう少し問題点に深い考察があつてよい。
- 具体的な判例を取り上げて、解説していただけるとさらに法制度の実態像が浮び上がるのかもしれない。
- 講師の話は面白かったが、印刷教材を執筆する上での著者の立場が現状肯定すぎていて、アカデミックなあり方として疑問を感じた。
- 放送授業の内容と印刷教材の内容がほとんど同じでもう少し放送授業だけのものもあればよかったと思う。
- できればラジオ放送ではなく、テレビでやって頂ければ良かったと思います。テレビ放送の方が実際にグラフや写真なども見られるというメリットがあるのではないのでしょうか。
- 講義内容がテキストの棒読みであり参考にならなかった。要点を絞って特に重要事項について解説して欲しかった。受講生にとって印刷教材は最良の参考書であり、読んであらすじを理解し講義で詳しく解説していただくと一層知識が深まるのではないかと思います。
- 今、現代社会の変化が早く、何年と社会変化が続いているので、その点を気をつけて欲しいと思います。
- 印刷教材に図や写真がもっと入っていれば、ラジオの欠点を補えたと思う。

【学部】「産業と技術専攻」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	181	40	221
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	27	2	29
視野が広がった、視点が変わった	21	7	28
仕事・社会活動に役立つ	15	11	26
具体例・事例があった	16	2	18
テーマについての興味が深まった	12	3	15
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	10	5	15
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	8	5	13
今後の人生・生活に役立つ	9	3	12
現在の課題や問題点を学べた	7		7
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	5	1	6
楽しく学べた	5	1	6
受講してよかった	5		5
知りたかったことを学ぶことができた	4		4
理解しやすい内容だった	3	1	4
身近な生活に関わる内容だった	3		3
資格取得に役立った	2		2
他の科目の学習に役立つ	2		2
内容が充実していた、幅広い内容だった	2		2
その他	4	2	6

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい授業だった	9		9
講師以外の人の話も聞けた	5	3	8
講義の内容がよかった	5	1	6
映像で理解しやすかった	4		4
実際の物や場面・現場を見ることができた	4		4
講師の話方がよかった、分かりやすかった	3	1	4
対話形式の授業がよかった	3		3
講師が熱心だった、熱意が伝わった	3		3
インターネットで受講できた	1		1
講師に親しみがもてた	1		1
講師の私見・考え方も聞けた	1		1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	1	1	2
図表・写真等があり理解しやすかった	1		1
引用・参考文献があった、よかった	1		1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	1		1
記述式なのが良かった	1		1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
記述式なのがよかった	1		1
単位がとれた	1		1
試験がわかりやすかった	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- 具体例や事例を増やす
- 分かりにくい箇所について詳しい説明・解説をする
- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- 専門用語の解説を詳しくする
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 理解しやすい放送授業・印刷教材となるよう工夫する
- 練習問題とその解答・解説を多く取り入れる

【学部】「産業と技術専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	37	10	47
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	15		15
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	12	1	13
具体例・事例を増やして欲しい	8	4	12
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	2	8
放送授業と印刷教材の内容が同じである	4	4	8
分量が多すぎる	6		6
放送授業と印刷教材の内容が異なる	6		6
用語が分からない、解説をしてほしい	4	1	5
上級または関連する科目を開設して欲しい	4	1	5
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	3	2	5
期待する内容、科目案内とは違っていた	4		4
最新の情報や研究を知りたかった	3		3
今後に向けた解決策などもいれてほしい	3		3
内容に偏りがある	3		3
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	2		2
簡潔に説明してほしい	2		2
内容を分割すべき	2		2
面接授業を実施してほしい	2		2
その他	18	4	22

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		8	8
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	6		6
印刷教材を読んでいるだけである	1	3	4
DVDが欲しい	3		3
講義のスピードが速すぎる	2		2
面白みがない	2		2
対話形式の授業でない方が良い	2		2
講師の話方が早口すぎる	1	1	2
インターネットで配信して欲しい	1		1
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい	1		1
ポイントが分かりにくい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	5	2	7
分かりにくい	5		5
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	1	4	5
練習問題の解答例・解説が欲しい	4		4
索引が欲しい	3		3
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	3		3
誤字がある	2		2
放送授業の資料やデータを載せて欲しい	2		2
カラー印刷にして欲しい	1	1	2
補完教材を加えて欲しい	1	1	2
文字や図表が小さい	1	1	2
その他	2	0	2

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	3		3
もっとコメントしてほしい	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	1	4	5
教材等持ち込み可にして欲しい	3		3
授業や教材の内容と異なる	3		3
記述式にして欲しい	2	1	3
理解度や学習度合を図る内容になっていない	2		2
選択式にしてほしい	2		2
通信指導と同じ試験形式にしてほしい	2		2
物足りない、易しすぎて試験として不適格	1	1	2
問題数が多い、時間が足りない	1		1
通信指導の内容と同じである	1		1
点数配分が分かるようにして欲しい	1		1

【学部】「産業と技術専攻」科目

よかった点

- 現在の企業の特徴、一流企業の備えるべき条件がよく理解出来た。
- 普段 TV のニュースや新聞で、目にしたり耳にする事が具体的に理解できた。防災意識を自分自身の中で高める事ができた様に感じる。
- 物の見方が少し変わった。感覚的に見ていた物を、論理的に考えられるようになった。
- 会社における仕事に役に立っている。中長期計画の策定に特に活用できた。
- 色々な事例を通して企業が長くやっていく上で、どんな事を考えなければいけないのか、どんな問題が出てくるのかなど、経営者に要求される役割を一通り知る事が出来、これからもっと知っていかうとするきっかけになった。
- 履修後も授業で取り上げられた内容に触れる機会がある。博物館などでそれらを目にする時、理解を一層深められる。
- 日本の技術革新の概要について前から知りたいと思っていましたので、今回この科目を選考し、そして、勉強できて満足しています。
- 物流・ロジスティクス・サプライマネジメントを物的供給面から学んでいたのでこの科目を受講して「流通論」として完成することができた。
- なかなか目にする事の出来ないブラックボックスのような内容を素人にもわかりやすく、解説して頂き大変勉強になりました。
- 教材が大変良く出来ていたなので、理解が深まった。

気になった点

- 受け取り方に個人差はあると思うが、内容が概念的で難解。もう少し感覚的に受け入れ易く教えても良いと思うが。
- 教材の内容順と放送の内容順がかなり異なっていて、逆戻りしても視聴していると内容理解を逃してしまう。印刷教材に順序だてて放送教材があると助かる。
- 限られた中で過去から現代までの事例を交えての解説は難しいかもしれないが、過去の比重が少々高かったように思う。現代あるいは、これからの向けての提言も期待したい。
- 例えばケーススタディなど、もっと具体的事例があれば更に良かったと思います。
- 教材で説明されている公式等の解説は、もう少し詳しくして欲しい。
- テキストの印刷教材と放送教材が全く同じなので、放送教材を利用せず、テキストのみ（ほとんど）で学習してしまった。内容を若干変えた方がいいのでは？
- 全体的にボリュームが多過ぎ、かつ難しい内容、漢字、言葉があり取り組むまでに時間がかかった。もう少し内容を減らし分かりやすい言葉を使って欲しいと思った。
- 放送授業の内容が、もう少し印刷教材の中身に添っていた方が良かったのでは。
- 表やグラフがかなりあったので、テレビ科目として放送、説明して頂けるとより理解がしやすかったと思います。
- もっと図を活用して欲しかった。文章が続くと集中力が欠ける。

【学部】「人間の探究専攻」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	279	256	535
テーマについての興味が深まった	60	32	92
視野が広がった、視点が変わった	46	35	81
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	42	36	78
楽しく学べた	14	17	31
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	12	18	30
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	19	8	27
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	12	12	24
今後の人生・生活に役立つ	14	3	17
知りたかったことを学ぶことができた	9	5	14
現在の課題や問題点を学べた	4	10	14
理解しやすい内容だった	7	5	12
今後の学習に役に立つ	4	3	7
仕事・社会活動に役立つ	3	4	7
具体例・事例があった	5	1	6
資格取得に役立った	4	2	6
受講してよかった	3	3	6
他の科目の学習に役立つ	4	1	5
内容が充実していた、幅広い内容だった	1	2	3
いろいろな視点から多角的に学べた	1	2	3
身近な生活に関わる内容だった	1	1	2
その他	7	5	12

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた	6	10	16
実際の物や場面・現場を見ることができた	15		15
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	8	5	13
映像で理解しやすかった	10		10
講師が熱心だった、熱意が伝わった	4	3	7
理解しやすい授業だった	2	5	7
講義の内容がよかった	4	1	5
講師の私見・考え方も聞けた	2		2
複数の講師による各専門分野から講義であった	2		2
講師に親しみがもてた	1	1	2
その他	0	2	2

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が充実していた	3	6	9
引用・参考文献があった、よかった	3	6	9
図表・写真等があり理解しやすかった	2	5	7
理解しやすい内容だった	4	2	6
練習問題・課題が役に立った	2	1	3
キーワード・ポイント等が役に立った	1		1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
記述式なの良かった		2	2

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	4	6	10
記述式なの良かった	1	1	2
試験内容が適切だった	1	1	2

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 専門用語の解説を詳しくする
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- テレビ科目は映像を生かした内容にする
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 印刷教材をカラー印刷にする
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする
- 単位認定試験は、授業や教材に沿ったものから出題する

【学部】「人間の探究専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	26	30	56
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	22	21	43
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	16	25	41
分量が多すぎる	16	9	25
内容を分割すべき	16	4	20
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	11	7	18
用語が分からない、解説をしてほしい	7	8	15
上級または関連する科目を開設して欲しい	6	7	13
放送授業と印刷教材の内容が異なる	8	2	10
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	4	10
期待する内容、科目案内とは違っていた	6	3	9
内容がおもしろくない	5	4	9
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	3	5	8
具体例・事例を増やして欲しい	7		7
放送授業と印刷教材の内容が同じである	2	4	6
内容がばらついていて、まとまりがない	4	1	5
取上げられた本が絶版である、見つからない	3	2	5
もっと広い内容を扱って欲しい	3	1	4
分量を多くして欲しい	3		3
今後に向けた解決策などもいれてほしい		3	3
面接授業を実施してほしい	5	2	7
その他	31	28	59

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		33	33
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	25		25
印刷教材を読んでいるだけである	9	11	20
面白みがない	4	8	12
講師の話し方が早口すぎる	3	5	8
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	4	3	7
現場や講師以外の人の話も聞きたい	4	3	7
ポイントが分かりにくい	4		4
講義のスピードが速すぎる	2	2	4
講師の話が聞きづらい		4	4
講師の話し方がよくない	2	1	3
説明が分かりにくい		3	3
その他	6	3	9

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	20	18	38
カラー印刷にして欲しい	12		12
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	2	10
補完教材を加えて欲しい	6	3	9
誤字がある	2	5	7
文字や図表が小さい	3	3	6
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	5		5
図表や写真が見にくい・不鮮明	5		5
放送授業の資料やデータが載せて欲しい	4	1	5
参考資料等を掲載して欲しい	3	2	5
分かりにくい	3	1	4
まとめや学習のポイントが欲しい	3	1	4
その他	7	3	10

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	6	1	7
コメントが不満である	2	1	3
もっとコメントしてほしい	2	1	3
問題文の文章表現が悪い	1	1	2
問題の解答例・解説が欲しい		2	2
その他	3	1	4

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	23	4	27
授業や教材の内容と異なる	14	3	17
理解度や学習度合を図る内容になっていない	12	2	14
問題数が多い、時間が足りない	3	10	13
物足りない、易しすぎて試験として不適格	4	1	5
教材等持ち込み可にして欲しい	2	3	5
問題文の文章表現が悪い	2	2	4
問題数が少ない	2		2
記述式にして欲しい	2		2
通信指導の内容とかけ離れている	1	1	2
解答と解説が欲しい	1	1	2
通信指導の内容と同じである		1	1

【学部】「人間の探究専攻」科目

よかった点

- 自分の知らなかった事を詳しく知る事が出来た点です。自分に興味がある分野だけど自分から積極的に調べる気にはなれない事を一冊にまとめてあり、満足できました。
- 新しい知識が身に付き、また授業の中で出ている書籍を自分で読んでみたいという興味もわいた。
- 社会の成員としての視点を獲得できたような気がします。いままで漠然と見流していたニュースなども、新たな視点を獲得したことで別の脈絡から読み解くことができるようになり、いままで得ていた情報や知識が一遍通りの薄い理解だった事に気づかされました。
- 今回の講義を通じて改めて社会や人間のあり方を考えさせられる事が多く、非常に有意義であったと思います。
- とても楽しく、ドキドキしながら勉強した。全体におもしろくたまらなかった。もう一度ゆっくり学び直したい。
- 歴史学習の研究に取り組む基礎を学び体得することができた。
- 古文書を読む上で体系的に知識を得るに役立つと思う。
- これまで取得していた知識の再整理と新たな知識の取得が出来た。
- 放送でのゲストに作家の先生が来ること。教材での授業もしっかりしていたが、実際に世に出ている人が語る内容は非常に面白かった。
- テキストの下の部分の解説が大変詳しく書かれていて、大変参考になり、興味深く読んだ。

気になった点

- 全体的にかなりのわかりにくさがあり、受講中ほぼ毎度消化できないいらら感がありました。調べようにも専門的で用語が辞典にもなかったりしたので言葉ひとつにもしっかり解説があればと思いました。
- 特定の国や地域の例をあげて教材を作る事はもちろん重要なことと思いますが、その特定の地域の例と結び付けて、日本全体や世界全体のデータ等も取り上げれば、充分であったと思います。
- テーマが広範囲にわたる為、もう少しテーマを絞り込んでもらって授業を進めてもらおうと受講する側ももっと興味を持てると同時に取り組みやすいのではと考えます。
- 他の教材より厚過ぎて、勉強する前から重荷を感じた。教える立場からはあれもこれも掲載して教えた気持は分かるが試験をする側としては少し削除してほしい。
- 内容が盛りだくさんなので、Ⅰ、Ⅱと分けてもいいのではないかと思います。
- この科目に限らず、放送授業ではTVにしていただけたら、より一層分かり易く、臨場感もあってよいと思います。
- 放送授業の中で作品をもう少し写してほしい。印刷教材では細かい部分がよく見えないものも多くあったのでより大きな画面で見ることが出来ればと思いました。
- 先生によっては教材の丸読みの方もありました。丸読みするならその分、現地の映像などをもっと組み込んで、ポイントのみを口頭で説明されたら良いと思いました。
- 自分でやるべきことなのでは、各章の言説とその分野を年代として俯瞰できる年表のようなものがあるとダイナミックなものになるかなと思いました。
- 印刷教材や放送授業の内容に比較して、試験が難しいと感じた。先生の授業内容は良かったが、私には範囲が広すぎて、試験の際、勉強不足を感じたのだと思う。

【学部】「自然の理解専攻」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	184	47	231
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	27	7	34
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	18	3	21
テーマについての興味が深まった	17	4	21
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	14	6	20
視野が広がった、視点が変わった	11	4	15
他の科目の学習に役立つ	7	3	10
理解しやすい内容だった	6	3	9
内容が充実していた、幅広い内容だった	6	1	7
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	5	2	7
楽しく学べた	5	2	7
仕事・社会活動に役立つ	5	1	6
最新の情報や研究が学べた	3		3
受講してよかった	2	1	3
具体例・事例があった	2		2
今後の人生・生活に役立つ	2		2
身近な生活に関わる内容だった	2		2
学ぶ、知る楽しさを覚えた	2		2
知りたかったことを学ぶことができた	2		2
いろいろな視点から多角的に学べた	2		2
その他	12		12

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	7		7
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	5	1	6
理解しやすい授業だった	5	1	6
実際の物や場面・現場を見ることができた	3		3
講師が熱心だった、熱意が伝わった	3		3
講師に親しみがもてた	3		3
講義の内容がよかった	2		2
講師以外の人の話も聞けた	1		1
インターネットで受講できた	1		1
実験がよかった	1		1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	4	1	5
練習問題・課題が役に立った	2		2
練習問題の解答例・解説が役に立った	2		2
内容が充実していた	1		1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	1		1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	8	1	9
問題を持ち帰れるのが良かった	1		1
試験がわかりやすかった	1		1
解答が公表されるのが良かった	1		1
記述式なのが良かった		1	1
試験内容が適切だった		1	1
持ち込み可が良かった		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 分かりにくい箇所について詳しい説明・解説をする
- 科目案内で難易度や必要とされる基礎知識についても言及する
- 専門用語の解説を詳しくする
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 内容が広範囲すぎないようにする、テーマを絞る
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- テレビ科目は映像を生かした内容にする
- 印刷教材の解説を充実させる
- 練習問題とその解答・解説を多く取り入れる

【学部】「自然の理解専攻」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	70	20	90
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	12	8	20
期待する内容、科目案内とは違っていた	12	7	19
分量が多すぎる	16		16
用語が分からない、解説をしてほしい	15		15
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	8	1	9
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞って欲しい	8		8
具体例・事例を増やして欲しい	5	3	8
内容を分割すべき	7		7
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	5	1	6
質問や相談がしたい	3	1	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3		3
不要に感じる部分がある	3		3
内容がおもしろくない	2	1	3
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	2		2
内容がばらついている、まとまりがない	2		2
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1	1	2
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	1	2
その他	21	6	27

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		14	14
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	8		8
講義のスピードが速すぎる	7		7
印刷教材を読んでいるだけである	4	2	6
講師の話し方がよくない	3		3
講師の話し方が早口すぎる	3		3
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2		2
説明が分かりにくい	1	1	2
その他	5	1	6

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	9	3	12
練習問題の解答例・解説が欲しい	10		10
誤字がある	8	1	9
図表・写真を掲載して欲しい	6	1	7
練習問題を入れて欲しい、増やして欲しい	4	3	7
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	2	1	3
カラー印刷にして欲しい	2		2
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	2		2
補完教材を加えて欲しい	1	1	2
その他	1	3	4

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	3		3
コメントが不満である	1		1
問題の解答例・解説が欲しい	1		1
課題を増やした方がよい		1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	6		6
物足りない、易しすぎて試験として不適格	5		5
難しかった	4	1	5
問題数が多い、時間が足りない	4	1	5
通信指導の内容と同じである	2		2
内容に偏りがある		2	2
その他	3	3	6

【学部】「自然の理解専攻」科目

よかった点

- ハイレベルの内容を理解することができた。放送教材と印刷教材との融合が素晴らしかった。放送教材によって誘導され印刷教材で理解が深められた。
- 日常生活に古くから活用されている知恵や技術を再度、考え直せた点。
- 知識が断片的、且つ、部分的であったが、本講座により総合的、系統的に理解することが出来た。
- 新技術がここまで進み、発展していることに驚き、関心が持てた。
- 偏微分・重積分などの基礎が学べ、物理の数式を理解出来る様になり、他分野への学習も役立つようになった。
- 知識の幅が広がった。微生物に対する見識が大きく変わった。バイオサイエンスは、現代社会の中ではなくてはならないものになってきていると思った。
- 数学の考え方に触れる事が出来、他の科目を学習する上での役に立つと思った、数学の基本から学習しようとの思いを持つことが出来た。
- 「古典力学のおさらい」から古典物理の限界とその解明としての量子化までの講義は興味を持って無理なく受けられました。
- 関数のグラフを立体的に視覚化することで、関数の具体的なイメージをつかむことができ、理解を深めることができた。これはラジオや面接授業ではできないことでテレビの特性が生かされていた。
- 印刷教材の構成区分がとても良い。最新技術（背景を含む）と材料に関連付けてあるので、どの章からでも取り組み易い。

気になった点

- 何の基礎知識もなく本科目を選択された方には、難解な内容も認められた。受講者は、ある程度の予習（他の科目も含む）が必要である。
- 説明が段階を踏んでいないで、数字にかなり慣れている人でないとスラスラ読んでいけないと思った。
- タイトルは興味あるものであったが、内容的にはある程度の基礎的知識がないと理解できない。
- 広い範囲について扱われているので、内容量が多く感じました。
- 言葉が少し難しかったです。細菌の名称がややこしかったのでどうにかまとまれば（表とか？）解りやすくなるのかなと思います。
- 浅く広い展開のように感じた。もう少し理解が深まるような工夫が（私個人的に）欲しいと感じた。
- テレビ科目であると説明に文字や数字が書かれているので私はもっとわかり易いと思っています。ラジオ科目だったのでよくわからない点が多少あってつまづいた。
- 教科書に準ずるところは、その旨の説明として、画像等をもっと活用したら理解の助けになると思う。
- 印刷教材の内容が説明不足と感じた。参考文献等の記載をしてもらえると、参考図書も購入して勉強する事で、理解が深まると感じた。
- 演習問題の解答の説明が簡素なので、あまり理解出来なかった。十分な解説をつけてほしかった。

Ⅲ－３．大学院

【大学院】「総合文化プログラム(環境システム科学群)」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	29	29
視野が広がった、視点が変わった	6	6
最新の情報や研究が学べた	5	5
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	4	4
テーマについての興味が深まった	4	4
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	4	4
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	3	3
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	3	3
楽しく学べた	3	3
受講してよかった	3	3
内容が充実していた、幅広い内容だった	2	2
その他	4	4

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
実際の物や場面・現場を見ることができた	1	1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	1
図表があり理解しやすかった	1	1
講義の内容がよかった	1	1
講師の私見・考え方も聞けた	1	1
複数の専門家の講義を聞けた	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
練習問題・課題が役に立った	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	2	2
コメントがよかった	2	2

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
記述式なのがよかった	1	1
単位がとれた	1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- テレビ科目は映像を生かした内容にする
- 授業の進行スピードが早くなりすぎないようにする
- 複数の講師による授業では、講義内容・方法の連携・統一をはかる
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

【大学院】「総合文化プログラム(環境システム科学群)」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	4	4
分量が多すぎる	3	3
他の科目と内容が重複する	3	3
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	2	2
期待する内容、科目案内とは違っていた	2	2
具体例・事例を増やして欲しい	1	1
用語が分からない、解説をしてほしい	1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1
最新の情報や研究を知りたかった	1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1	1
不要に感じる部分がある	1	1
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	1
その他	7	7

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	2	2
講義のスピードが速すぎる	2	2
インターネットで配信して欲しい	1	1
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	1
ポイントが分かりにくい	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
複数の筆者による執筆で統一性に欠ける、重複がある	3	3
分かりにくい	1	1
参考資料等を掲載して欲しい	1	1
誤字がある	1	1
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	1	1
文字や図表が小さい	1	1

通信指導		
意 見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	1	1
易すぎる	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
難しかった	3	3
授業や教材の内容と異なる	1	1
問題数が多い、時間が足りない	1	1
物足りない、易すぎて試験として不適格	1	1
通信指導の内容とかけ離れている	1	1
記述式にして欲しい	1	1
点数配分が分かるようにして欲しい	1	1

【大学院】「総合文化プログラム（環境システム科学群）」科目

よかった点

- 大学卒業後 20 年以上経過し、古い知識しかなかったが、この科目を受講したことによって新しい知見を知ることができた。
- 視野が広がり、自身の考え方で変えた所があるような気がする。
- 最新の学問情報として、前半でグローバルに、後半でより詳細になっており、高度性を実感する事が出来て、納得をもって受講出来た。
- 幅広い内容で、今まで自分にとって曖昧であった事柄や学んでいなかった事柄を、きちんと整理し理解することができました。有難うございました。
- 宇宙の全体と人間の住む地球の関係は、良く理解出来た。時間の流れに沿う説明が出来ており、地球、月、太陽系等々の興味が持てるようになった。
- 生物学を総合的に理解するのに役立ちました。
- 生物進化の全体像が理解できた。話題の ES 細胞のことが少しだけ理解できた。
- 自分が存在する宇宙の誕生と人類のいとなみについて知るきっかけとなったこと。もっと深掘りしてみたいテーマが見つかった事。
- 未知の宇宙誕生から現在の宇宙まで勉強でき、わからないことばかりですが、興味深く楽しく勉強できるので、やりがいがあります。
- この科目は私にとっては良い教材の一つだと思いました。

気になった点

- 教材について初めての知識習得なので、もう少し容易に読み下せる様な内容だともっとよかったと思う。
- 理解していくには、あまりにボリュームが多すぎた。
- 地球環境科学と重複する部分がある。
- 細菌、微生物（感染症）は、特に重要であるが、ここでは触れていない。医学の領域で扱われる細菌、微生物、ウイルスの生態についての解説がほしい。
- 全くの専門外の科目を選択したので、科目選択のためのガイダンスを充実してほしい。
- 生物例は絵だけでなく、写真や映像を見せて下さい。せっかくのテレビなのにもったいないです。特に共生などの生物の行動の映像が見たかったです。
- 学習の内容が多いので、放送授業のテンポが速く密度が濃いのは良いと思いますが、印刷教材に載っていない図表など、再生を止めて手書きしました。しかし、必ずしも細部まで正確には描けません。印刷教材を補うフリップや図表を web 上で閲覧できるようになると、ポイントをおさえた効率的な学習ができ、理解を深めやすくなると思います。
- 執筆者が多いせいか、内容の流れの統一性に欠けるきらいを感じた。
- レポート、試験問題が難しすぎる。色々な研究家の講義だったので、広く浅く理解したつもりだったが、試験問題は専門の試験のように狭く深い問題だった。

【大学院】「政策経営プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	33	29	62
仕事・社会活動に役立つ	2	18	20
基礎的な知識を得られた、概要が分かった	1	15	16
視野が広がった、視点が変わった	7	6	13
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	3	7	10
テーマについての興味が深まった	4	2	6
楽しく学べた	3	2	5
現在の課題や問題点を学べた		4	4
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った		3	3
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた		3	3
今後の人生・生活に役立つ		2	2
その他	4	11	15

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師が熱心だった、熱意が伝わった	4	1	5
実際の物や場面・現場を見ることができた	4		4
映像で理解しやすかった	3		3
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	1	1	2
講師以外の人の話も聞けた		1	1
インターネットで受講できた		1	1
複数の専門家の講義を聞けた		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
CD-ROMが役に立った		1	1
内容が充実していた		1	1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		2	2
添削、コメントをしてもらえた		1	1

主な改善点の提案 《「気になった点」より》

- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- 分かりにくい箇所について詳しい説明・解説をする
- 科目案内で授業内容を誤解のないよう、分りやすく説明する
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 印刷教材の文章表現を理解しやすい言い回しにする
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

【大学院】「政策経営プログラム」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業と印刷教材の内容が同じである		7	7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	4	5
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	4		4
期待する内容、科目案内とは違っていた	1	3	4
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	1	3
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい		3	3
用語が分からない、解説をしてほしい		3	3
簡潔に説明してほしい		3	3
具体例・事例を増やして欲しい		2	2
その他	11	7	18

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである		8	8
テレビ科目にして欲しい		7	7
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	2	3
インターネットで配信して欲しい		1	1
講師の話し方がよくない		1	1
DVDが欲しい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
面白みがない		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい		7	7
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	2	3
補完教材を加えて欲しい	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
まとめや学習のポイントが欲しい		1	1
参考資料等を掲載して欲しい		1	1

通信指導			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
もっとコメントしてほしい	1		1
コメントが不満である		1	1

単位認定試験			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、易しすぎて試験として不適格	3		3
問題数が少ない	1		1
通信指導の内容とかけ離れている		1	1
通信指導の内容と同じである		1	1

【大学院】「政策経営プログラム」科目

よかった点

- 自分では得られない幅広い知識、情報について知り、学ぶことが出来た。
- 現在の担当業務に関連するテーマであったため、勉強、参考となる事項を多く学ぶことができた。
- 過去から現在までの歴史、そして業務内容ごとに説明があつて、大学全体から細部まで大まかに網羅できて、大変役立ったと思う。
- 大学職員として、大学を経営やマネジメントといったこれまでとは異なる視点から考えることができたので、よかったと思います。
- 現代社会において、芸術文化がどのような立場におかれているのかについて理解し、自国の文化について改めて考えさせられる良いきっかけとなった。
- 知らないことを多く学ぶことができた。大変興味を持つことができた。
- 科目構成が工夫されており、最後まで飽きなかった。
- 大学経営に関して、現状の問題点や課題が全体として把握できた。
- 各分野の専門の先生方の講義内容は、視座の多様性を示して下さった。熱意に刺激された。
- 芸術の普及、保存などに取り組んでいる各種組織・機関の映像紹介があり、興味・知識が深まりました。

気になった点

- 放送教材の内容は印刷教材とほとんど変わらないように思えた。もっと放送教材の利点を活かすような工夫があっても良いと思う。
- 公立大学ならではの特徴や事情をもう少し詳しく説明してほしかった。
- 日本の現在の芸術文化政策について、さらにくわしく知ることができればよかった。
- やはり今のカテゴリには似合わない人間探求系の科目では。
- やや冗長的であり、繰り返しの内容が放送授業、印刷教材とも多かった。予習、復習の実行を前提とした内容量としては、浅い気がした。(学部用であれば適量と思われるが)。
- 放送授業の内容がほとんど印刷教材の音読だったのは、残念だった。これでは放送授業を聴く意味がないので、印刷教材をより詳しく解説する内容にするなど、改善したほうがよいのではないか。
- テレビ科目として再編し、視覚・聴覚両面から学ぶほうがより学習効果が上がると感じました。
- 印刷教材について、もう少し図表を取り入れていただきたいかった。
- テキストの文章に関して、やや説明が上手でないと感じる場所もあった。
- 単位認定試験は、理解度をはかるには簡単すぎて、十分ではない。

【大学院】「教育開発プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた	15		15
仕事・社会活動に役立つ	3		3
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった	3		3
現在の課題や問題点を学べた	3		3
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	2		2
視野が広がった、視点が変わった	2		2
その他	7		7

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた	5		5
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	1		1
コメントがよかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1		1
問題を持ち帰れたのがよかった	1		1
試験がわかりやすかった	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 放送授業では印刷教材との関連を明確に説明する
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	1		1
分量が多すぎる	1		1
具体例・事例を増やして欲しい	1		1
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容がばらついている、まとまりがない	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1		1
期待する内容、科目案内とは違っていった	1		1
今後に向けた解決策などもいれてほしい	1		1
事例が不適切である	1		1
その他	2		2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	1		1
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
結果を認定試験の評価に加えて欲しい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	2		2
難しかった	1		1
物足りない、易しすぎて試験として不適格	1		1
判定結果だけでなく採点内容を知りたい	1		1
点数配分が分かるようにして欲しい	1		1

【大学院】「教育開発プログラム」科目

よかった点

- 国の行ってきた、又は、現在行われている教育改革等について、その意味付けや内容等についてよく理解できたこと。
- 現在、高校で仕事をしているため、大変役に立つものであった。
- 教員は目の前の授業、校務のみで手一杯になるが本科目より教育全体の仕組み、在り方を考える機会が持てた。
- 最新の教育行政や教育評価等、教育経営についての諸問題が説明されており、しかも様々な学説の対比も十分で、興味深く学習できた点。
- 普段の仕事（教諭）で、知っていることは多かったが、知識を体系化し、整理することができた。また、一歩引いた視点から、日常の仕事を見つめ直すことができた。
- 教育行政制度について視野が広がった。
- 放送授業では、多くのゲストが出演し、多様な角度から知見を深めるのに役立った。

気になった点

- 放送とテキストがあまりリンクしていない。
- ラジオ科目ではなく、ぜひテレビ科目にしていきたいです。
- 放送教材でのゲストの発言内容が、印刷教材にはあまり反映されていない。単位認定試験の出題内容が、やや知識偏重かと思った。

【大学院】「臨床心理プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身についた		28	28
仕事・社会活動に役立つ		10	10
視野が広がった、視点が変わった		7	7
基礎的な知識を得られた、概要が分かった		5	5
内容が充実していた、幅広い内容だった		3	3
理解しやすい内容だった		3	3
テーマについての興味が深まった		2	2
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけになった		2	2
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた		2	2
現在の課題や問題点を学べた		1	1
その他		1	1

放送授業			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人の話も聞けた		1	1
講師が熱心だった、熱意が伝わった		1	1

印刷教材			
意 見	テレビ	ラジオ	合計
内容が充実していた		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 具体例や事例を増やす
- 放送授業では印刷教材の内容だけでなく、教材以外も取り入れる
- 内容が浅くなりすぎないようにする
- 放送授業で印刷教材を朗読するだけの授業はしない
- ラジオ科目をテレビ科目に変更する
- 印刷教材は、図表や写真を増やす
- 現在の課題や問題点、最新の情報についても取り入れる
- 単位認定試験は、理解度・学習度合いをはかる試験として適切な分量・難易度にする
- 通信指導や単位認定試験を記述式にして、理解度や学習度合いをはかる内容にする

【大学院】「臨床心理プログラム」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般		
意 見	テレビ ラジオ	合計
具体例・事例を増やして欲しい	6	6
放送授業と印刷教材の内容が同じである	3	3
内容が浅い、もっと詳しい内容にして欲しい	2	2
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をして欲しい	1	1
もっと専門的にしてほしい	1	1
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった	1	1
用語が分からない、解説をしてほしい	1	1
参考文献を紹介して欲しい	1	1
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	1	1
内容に偏りがある	1	1
上級または関連する科目を開設して欲しい	1	1
その他	5	5

放送授業		
意 見	テレビ ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである	3	3
テレビ科目にして欲しい	2	2
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1	1
講師の話し方がよくない	1	1

印刷教材		
意 見	テレビ ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	3	3
資料・データが古い、改訂版を出して欲しい	2	2
補完教材を加えて欲しい	1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1
図表や写真が見にくい・不鮮明	1	1

単位認定試験		
意 見	テレビ ラジオ	合計
理解度や学習度合を図る内容になっていない	3	3
記述式にして欲しい	2	2

【大学院】「臨床心理プログラム」科目

よかった点

- 経験知として分っていると思っていたことが、実は分っていないということが理解できた。
- 特別支援教育の実施に役立つ知識が身に付いたこと。
- 社会的視野が広がったような気がします。
- 様々な障害について広く取り上げてあり、それらの概要が分かり易く述べられていた。
- 内容は詳しく説明があり、充実していると思います。
- 心理学科目は久しぶりの受講であったが、放送授業はよく理解できた。講師の熱意は申し分なし。細かい心理描写が理解できた。学習意欲のわく授業であった。
- 社会心理学特論→大学などでは受けたことのない講義で、興味深く、とても引き付けられました。
- 障害者の心理を学びたいと思い受講した。人はほとんど年を重ねるにつれ障害を負うことになる場合が多く、障害をごく当たり前、普通のこととして認識出来たこと、又、障害者になった際の心の乗り越え方など、学ぶことが多かった。勉強時間が足りなかったのも、引き続き学んでいきたいと思っている。
- この分野の知識を体系的に知ることができた。

気になった点

- 事例をもっと入れてほしい。当事者の「感情」や状況を知ることができたら、より理解や判断が深まるから。
- 放送内容と印刷教材の内容が同じなので、放送内容は別の視点が欲しい。
- 心理を扱う科目として、内容が表面的すぎる。特別支援教育の方法の説明が多く、障害児・者の心理について探究がうすい。
- 放送教材（放送授業）は、印刷教材をそのまま読んでいただけだったので、物足りなさを感じた。
- せっかくテレビという媒体があるのに、この科目は是非、視覚を通して学習されるべき授業だと思う。初めはラジオ放送も聞いていたが、教科書を読んでいるだけのようなので、ほとんど聞かなかった。
- テキストの言葉の説明を絵や図があれば、もっと分かりやすいと感じました。
- 社会の変化、学問の進歩により問題点が変化する。改訂を重ねて最近のものであり続けてほしい。
- 択一式の試験であるが、問題がひっかけ問題ばかりであった！これではなんのために学んだのか？もっと正当な問題にしてほしかった。
- 単位認定試験が難しかったです。マークシート形式ではなく、論述試験で広義を答えるようなテストを希望します。

平成21年度学生による授業評価集計結果の概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解の状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送法による質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	夏季集中	計
H17(試行)	-(-)	10(39)	10(39)	9(42)	24(35)	27(82)	29(49)	-(-)	109(286)
H18	-(-)	4(39)	5(39)	10(42)	0(36)	11(81)	4(49)	-(-)	34(286)
H19	0(14)	8(39)	11(39)	5(41)	8(35)	19(74)	6(42)	-(-)	57(284)
H20	14(22)	9(38)	9(39)	9(40)	5(31)	12(49)	7(37)	-(-)	65(256)
H21(2008)	9(23)	9(31)	11(33)	11(31)	9(23)	14(51)	8(25)	0(6)	71(223)
	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境		夏季集中	計
H21(2009)	4(4)	4(4)	5(5)	11(11)	9(9)	9(9)		4(4)	46(46)

※()内の数値は専攻(コース)ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

【大学院】

【大学院】	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	計	
	文化情報	環境システム					
H18	7(16)	6(13)	4(17)	2(15)	2(6)	21(67)	
H19	6(17)	5(13)	7(17)	6(14)	2(6)	26(67)	
H20	4(17)	1(13)	3(18)	4(14)	3(13)	15(75)	
H21(2008)	2(21)		3(13)	1(11)	1(7)	7(52)	
	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理 学	社会経営 科学	文化情報 学	自然環境 科学	計
H21(2009)	5(5)	3(3)	1(1)	4(4)	3(3)	3(3)	19(19)

※大学院の調査は平成18年度より実施

※()内の数値はプログラム・群ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

② 対象者

平成21年度第1学期履修登録者

※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出

※登録者数が上記の人数未満の科目は全数

※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期

質問紙配付: 10月23日(平成21年度第1学期単位認定試験終了後)

質問紙締切: 11月17日

調査結果の集計: 12月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H17(試行)	21,619	21,619	-	8,937	8,937	-	41.5%	41.5%	-
H18	11,429	8,008	3,421	4,667	3,078	1,589	40.8%	38.4%	46.4%
H19	18,047	13,837	4,210	7,053	5,132	1,921	39.1%	37.1%	45.6%
H20	17,960	15,853	2,107	6,809	5,860	949	37.9%	37.0%	45.0%
H21(2008)	18,609	17,671	938	5,897	5,543	354	31.7%	31.4%	37.7%
H21(2009)	13,708	10,882	2,826	5,020	3,836	1,184	36.6%	35.3%	41.9%

(2) 回答者の属性

【学部】

	全科履修生							選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	計		
H17(試行)	12.6%	12.0%	9.2%	10.7%	19.0%	11.7%	75.2%	16.2%	6.9%
H18	13.6%	15.3%	16.3%	3.0%	18.4%	4.7%	71.4%	18.9%	6.7%
H19	15.6%	18.6%	9.3%	7.4%	15.8%	6.1%	72.8%	16.8%	7.0%
H20	17.6%	17.3%	11.0%	6.6%	15.2%	7.1%	74.8%	16.9%	5.8%
H21(2008)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境				
	7.6%	9.8%	12.5%	11.3%	4.5%				
	旧専攻所属全科履修生					全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生	
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	4.8%	6.4%	5.5%	3.0%	6.9%	2.3%	74.5%	16.3%	7.4%
H21(2009)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境				
	8.4%	6.9%	9.2%	11.7%	5.5%				
	旧専攻所属全科履修生					全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生	
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	5.0%	4.2%	3.1%	2.9%	6.9%	3.1%	66.7%	19.5%	12.1%

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H17(試行)	51.9%	44.4%	0.7%	14.1%	19.4%	17.0%	20.2%	19.3%	7.7%
H18	42.9%	51.5%	0.6%	11.2%	19.5%	20.0%	20.0%	18.6%	8.2%
H19	42.1%	55.7%	0.4%	11.4%	20.5%	20.7%	20.8%	16.4%	7.8%
H20	44.9%	53.3%	0.5%	9.9%	17.4%	19.8%	20.5%	21.6%	9.3%
H21(2008)	47.4%	49.3%	0.4%	10.2%	16.7%	18.9%	18.8%	23.3%	11.0%
H21(2009)	47.6%	49.0%	0.4%	8.2%	16.0%	20.6%	18.5%	24.3%	11.5%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

(2) 回答者の属性

【大学院】

	修士全科生						修士選科生	修士科目生	
	政策経営	政策経営	政策経営	教育開発	臨床心理	計			
H18	11.0%	10.0%	6.2%	2.0%	1.8%	31.0%	52.4%	13.1%	
H19	8.2%	9.3%	9.1%	3.5%	1.7%	31.8%	52.3%	13.4%	
H20	7.9%	4.3%	5.7%	3.8%	2.6%	24.3%	59.9%	14.0%	
H21(2008)	新プログラム所属修士全科生						修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学			
	1.7%	1.7%	1.4%	4.0%	2.5%	4.8%			
	旧プログラム所属修士全科生								
	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理				
	文化情報	環境システム							
	2.8%	1.1%	2.5%	1.1%	0.3%	24.0%			
H21(2008)	新プログラム所属修士全科生						修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学			
	6.0%	2.2%	1.0%	4.2%	4.3%	2.2%			
	旧プログラム所属修士全科生								
	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理				
	文化情報	環境システム							
	2.3%	3.5%	3.4%	1.1%	0.4%	30.7%			

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H18	56.7%	36.1%	4.8%	18.1%	27.1%	22.8%	15.9%	9.4%
H19	57.9%	38.9%	3.6%	19.1%	27.6%	25.0%	15.9%	6.5%
H20	58.3%	39.6%	3.1%	17.9%	24.6%	25.5%	17.5%	10.2%
H21(2008)	63.8%	33.9%	12.4%	15.0%	25.7%	24.0%	14.1%	7.3%
H21(2009)	60.8%	35.4%	3.0%	13.8%	25.2%	26.9%	22.1%	8.4%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H21(2008)	3.15	3.19	3.13	3.19	3.20	3.17	3.18	3.17	3.19	3.18	3.24	3.11	3.17	3.19	3.15	3.22	3.20	3.23	3.19	3.19	3.19
H21(2009)	3.22	3.21	3.22	3.22	3.20	3.24	3.20	3.18	3.22	3.20	3.22	3.18	3.18	3.17	3.20	3.25	3.19	3.31	3.25	3.22	3.28

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		専攻別							
	全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	
H21(2008)	3.17(3.82～2.50)	3.17	3.17	3.03	3.14	3.24	3.24	3.20	3.25	2.96	
	全体	メディア別		コース別							
	全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	夏季集中	
H21(2009)	3.23(3.72～2.57)	3.18	3.27	3.34	3.22	3.31	3.16	3.27	3.13	3.19	

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別							
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
H21(2008)	3.17	3.16	2.71	3.05	3.11	3.17	3.17	3.23	3.26	
H21(2009)	3.18	3.27	2.94	3.13	3.25	3.18	3.23	3.24	3.33	

※平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H21(2008)	3.26	3.37	3.20	3.26	3.36	3.20	3.30	3.34	3.28	3.18	3.43	3.01	3.21	3.34	3.12	3.33	3.32	3.33	3.31	3.36	3.28
H21(2009)	3.30	3.31	3.29	3.32	3.34	3.31	3.33	3.33	3.32	3.29	3.39	3.23	3.28	3.29	3.27	3.31	3.30	3.32	3.37	3.35	3.39

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

年度	全体	メディア別		プログラム(群)別					
				総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	
				文化情報	環境システム				
H21(2008)	3.30(3.49～3.06)	3.35	3.27	-	3.25	3.41	3.36	3.06	
年度	全体	メディア別		プログラム別					
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学
H21(2009)	3.37(3.56～3.02)	3.34	3.38	3.37	3.28	3.02	3.47	3.44	3.25

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
H21(2008)	3.32	3.30	3.25	3.23	3.26	3.45	3.35	3.20	
H21(2009)	3.38	3.34	3.44	3.41	3.40	3.32	3.36	3.34	

※平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出して集計している。

平成21年度学生による授業評価の調査結果一覧【2008年度新規開設科目】(単純集計) 専攻・プログラム別

	回収状況		取組み姿勢				難易度・分量				放送授業				印刷教材				通信指導・単位認定試験					全体評価					授業にか かる評価 (B1-B20) の平均	全体A1- B20の 平均				
	調査対 象者数	回答者数 回収率	A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目 平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	項目 平均	B-16	B-17	B-18			B-19	B-20	項目 平均	
学部	全科目平均	17,671	5,543	31.4%		3.15	3.15	3.17	3.18	3.22	3.18	3.17	3.29	3.16	3.11	3.18	3.27	3.16	3.03	3.21	3.17	3.25	3.29	3.11	3.22	3.14	3.23	3.38	3.05	3.17	3.19	3.18	3.18	
	科目最高値					3.66	3.66	3.61	3.60	3.61	3.57	3.76	3.84	3.78	3.78	3.79	3.62	3.59	3.49	3.59	3.57	3.52	3.56	3.49	3.51	3.47	3.80	3.84	3.60	3.82	3.71	3.60	3.59	
	科目最低値					2.73	2.32	2.70	2.69	2.36	2.54	2.55	2.74	2.55	2.36	2.62	2.86	2.58	2.43	2.75	2.68	2.82	2.73	2.55	2.70	2.65	2.54	2.64	2.34	2.50	2.59	2.67	2.69	
	テレビ科目(TV)平均	8,952	2,787	31.1%		3.28	2.98	3.30	3.19	3.16	3.17	3.19	3.33	3.22	3.23	3.24	3.27	3.13	3.13	3.21	3.19	3.24	3.27	3.09	3.20	3.13	3.24	3.39	3.04	3.17	3.19	3.20	3.20	
	ラジオ科目(R)平均	8,719	2,756	31.6%		3.25	2.78	3.35	3.13	3.15	3.16	3.21	3.25	3.19	3.14	3.24	3.09	2.98	3.11	3.27	3.18	2.93	3.15	3.26	3.30	3.12	3.23	3.15	3.21	3.36	3.07	3.17	3.19	3.17
	「基礎科目」科目平均	2,250	680	30.2%		3.20	2.95	3.27	3.14	3.07	3.08	3.14	3.35	3.17	3.18	3.21	3.26	3.06	3.00	3.16	3.12	3.18	3.19	2.98	3.12	3.01	3.16	3.26	2.88	3.03	3.07	3.12	3.12	3.12
	「生活と福祉」科目平均	2,250	662	29.4%		3.19	2.62	3.35	3.05	3.10	3.07	3.20	3.21	3.15	3.05	2.99	3.06	3.23	3.18	3.02	3.23	3.17	3.30	3.33	3.14	3.26	3.22	3.17	3.37	3.07	3.14	3.19	3.16	3.15
「発達と教育」科目平均	2,750	811	29.5%		3.26	2.78	3.35	3.13	3.20	3.21	3.23	3.29	3.23	3.17	3.24	3.16	3.05	3.16	3.12	3.28	3.23	3.30	3.32	3.17	3.26	3.20	3.24	3.41	3.15	3.24	3.25	3.22	3.21	
「社会と経済」科目平均	2,750	868	31.6%		3.28	2.90	3.35	3.18	3.24	3.26	3.28	3.30	3.27	3.25	3.31	3.20	3.11	3.22	3.33	3.25	3.03	3.26	3.19	3.26	3.12	3.19	3.19	3.30	3.43	3.14	3.24	3.26	3.23	3.23
「産業と技術」科目平均	2,250	567	25.2%		3.32	2.92	3.30	3.18	3.16	3.19	3.17	3.25	3.19	3.09	3.24	3.13	3.12	3.15	3.20	3.13	3.14	3.16	3.21	3.26	3.09	3.19	3.13	3.24	3.40	3.11	3.20	3.22	3.18	3.18
「人間の探究」科目平均	3,439	1,367	39.7%		3.35	3.01	3.40	3.25	3.25	3.24	3.25	3.27	3.25	3.30	3.38	3.25	3.22	3.29	3.33	3.26	3.03	3.26	3.30	3.36	3.15	3.27	3.17	3.30	3.44	3.14	3.25	3.26	3.26	3.26
「自然の理解」科目平均	1,982	588	29.7%		3.13	2.88	3.13	3.05	2.90	2.98	2.88	2.99	2.94	2.96	3.19	2.99	2.97	3.03	3.17	2.82	2.90	3.00	2.97	3.17	3.22	3.00	3.13	2.98	3.07	3.24	2.72	2.96	2.99	3.01

	回収状況		取組み姿勢			難易度・分量				放送授業				印刷教材				通信指導・単位認定試験				全体評価					授業にか かる評価 (B1-B20) の平均	全体(A1- B20の 平均)								
	調査対 象者数	回答者数 回収率	A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目 平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	項目 平均	B-16			B-17	B-18	B-19	B-20	項目 平均			
大学	全科目平均	938	354	37.7%		3.41	2.90	3.48	3.26	3.29	3.26	3.32	3.33	3.30	3.18	3.22	3.12	3.18	3.18	3.32	3.22	3.02	3.26	3.21	3.35	3.40	3.23	3.33	3.23	3.32	3.30	3.31	3.26	3.26		
	科目最高値					3.68	3.34	3.54	3.49	3.54	3.54	3.47	3.53	3.52	3.57	3.64	3.51	3.59	3.56	3.62	3.46	3.36	3.43	3.43	3.49	3.59	3.47	3.47	3.30	3.55	3.68	3.58	3.49	3.49	3.49	
	科目最低値					3.23	2.19	3.29	3.00	3.07	3.06	3.13	3.06	3.08	2.79	2.69	2.62	2.90	2.75	3.10	3.00	2.85	3.14	3.09	3.20	3.24	2.96	3.13	3.16	3.07	3.29	2.88	3.06	3.13	3.14	3.13
	テレビ科目(TV)平均	326	139	42.6%		3.49	3.19	3.43	3.37	3.35	3.37	3.32	3.33	3.34	3.43	3.46	3.41	3.43	3.43	3.47	3.28	3.24	3.35	3.34	3.31	3.39	3.26	3.32	3.24	3.45	3.51	3.24	3.35	3.36	3.36	3.36
大学院	ラジオ科目(R)平均	612	215	35.1%		3.37	2.73	3.50	3.20	3.25	3.20	3.33	3.34	3.28	3.03	3.07	2.94	3.01	3.01	3.23	3.17	2.88	3.21	3.12	3.37	3.41	3.21	3.33	3.23	3.24	3.44	3.22	3.27	3.28	3.20	3.20
	「環境システム科学群 (総合文化)」科目平均	196	79	40.3%		3.39	3.07	3.34	3.27	3.21	3.24	3.21	3.17	3.21	3.33	3.37	3.33	3.32	3.34	3.35	3.14	3.23	3.30	3.26	3.29	3.32	3.10	3.24	3.21	3.38	3.48	2.99	3.25	3.26	3.26	3.26
	「政策経営」科目平均	400	166	41.5%		3.41	2.75	3.52	3.23	3.32	3.25	3.41	3.41	3.35	3.14	3.16	3.03	3.20	3.13	3.34	3.28	3.00	3.29	3.23	3.38	3.40	3.38	3.39	3.27	3.38	3.50	3.39	3.41	3.39	3.30	3.29
	「教育開発」科目平均	142	39	27.5%		3.51	3.28	3.51	3.43	3.37	3.45	3.31	3.46	3.40	3.42	3.42	3.32	3.03	3.30	3.37	3.26	2.85	3.26	3.19	3.49	3.59	3.34	3.47	3.26	3.41	3.62	3.31	3.36	3.39	3.35	3.36
	「臨床心理」科目平均	200	70	35.0%		3.38	2.87	3.49	3.25	3.24	3.22	3.25	3.27	3.25	2.99	3.09	3.00	3.08	3.04	3.22	3.11	2.91	3.14	3.10	3.26	3.40	2.97	3.21	3.16	3.07	3.29	3.07	3.06	3.13	3.14	3.15

(注) 平均評価は、調査票の選択肢「あてはまる.4点」「ややあてはまる.3点」「あまりあてはまらない.2点」「あてはまらない.1点」として算出した。

科目No.

2009年度学生による授業評価調査票 (学部)

※質問項目については、学部、大学院共通

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次のA及びBの各項目について、それぞれ1つだけ該当する番号に○をつけてください。
(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
A-2	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
A-3	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
A-4	単位認定のための学習方法について、次の1～3の該当する番号に○をつけてください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
B-1	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
B-2	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
B-3	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
B-6	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
B-8	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
B-18	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
B-20	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究 11. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 12. 選科履修生 13. 科目履修生			
(2) 性別	1. 男性	2. 女性		
(3) 年齢	1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等	2. 教員	3. 会社員	4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

